

# 経済産業省 令和3年度 「フェムテック等サポートサービス実証事業」 成果報告資料



Presentation by PwC  
2022/03/31

# 目次

1. 実証事業の実施実績 ..... P3
2. 実証事業の成果報告資料 ..... P8
3. 自治体向け実態調査結果 ..... P454
4. 成果報告会資料 ..... P469  
～パネルディスカッション  
『民間企業や自治体におけるフェムテックサービスの活用』



# 1

## 実証事業の実施実績

# 実証事業の実施実績\_実証事業者の概要(1/2)

本事業では20の実証事業者を採択し、下記の事業内容、テーマにおいて実証事業を行った。

実証事業			事業テーマ						
#	事業名	代表団体名	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
01	働く女性が乳がんを経験しても変わらず働くことのできる場所の提供・雇用と、価格・着け心地共にストレスフリーな国産パッド開発	アボワールインターナショナル株式会社					●		
02	大企業および中小企業の従業員を対象としたライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業	株式会社With Midwife	●	●	●	●	●		
03	潜在助産師を活用した、地方における育児期の女性の職場復帰を支援するオンライン相談事業: 「The CARE for Community」実証実験	株式会社With Midwife		●	●				
04	女性の意思決定支援サービスの構築およびライフデザインにまつわる社会環境整備に向けた実証事業	一般財団法人ウェルネスサポートLab	●	●	●	●	●	●	
05	不妊治療患者を対象にした遠隔医療スキームの確立、および、不妊治療啓発の動画コンテンツ作成	vivola株式会社		●					
06	働く女性の健康に対するオンライン支援プログラムの効果検証	株式会社Kids Public	●	●	●	●	●		
07	産婦人科による働く女性の健康やライフイベントに伴う悩みや不安に関するオンライン相談事業	医療法人葵鐘会	●	●	●	●	●	●	●
08	法人向けオンライン女性健康相談サービス「フェムラインかごしま」実証事業	社会医療法人博愛会 相良病院	●			●	●		●
09	生理用品の計量管理による生理周期の把握とデータを活用した健康課題の解決	シャープ株式会社	●					●	
10	働く更年期女性がキャリアをあきらめないためのヘルスリテラシー向上・相談窓口事業	株式会社ジョコネ。				●		●	

# 実証事業の実施実績\_実証事業者の概要(2/2)

本事業では20の実証事業者を採択し、下記の事業内容、テーマにおいて実証事業を行った。

実証事業			事業テーマ						
#	事業名	代表団体名	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
11	生命をつなぐ 世代をつなぐ 医療をつなぐ診療支援システム開発	株式会社シンフォニア		●					
12	妊活・不妊治療と仕事の両立を支援する妊活サポート事業	株式会社ステルラ		●					
13	更年期ケアの重要性を可視化し、社会へ啓蒙@渋谷区@神戸市 自治体連携	株式会社TRULY				●		●	
14	女性のライフプランとキャリアの両立支援事業	株式会社ninpath		●					
15	個人・企業のヘルスリテラシー向上と日本の8割の雇用を支えるローカル経済圏でのフェムテック普及展開の仕組みの構築に向けた実証事業	株式会社陽と人	●	●	●	●	●	●	
16	自治体と連携した 1. 妊活・不妊治療の当事者向けサポート 2. 妊活・不妊治療を支える周囲のサポート啓蒙	株式会社ファミワン	●	●		●	●	●	
17	日常生活の中で簡便に自身の疲労度・ストレスレベルを可視化し、リアルタイムで感覚刺激を通じた解決を行うアプリ「me-fullness」による、働く女性の疲労・ストレス緩和ソリューションの実証事業	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス							●
18	女性社員が入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する健康課題改善プラットフォーム事業	丸紅株式会社	●	●		●		●	
19	周産期遠隔医療プラットフォームを活用した仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業	メロディ・インターナショナル株式会社		●				●	
20	女性従業員と企業へのワンストップソリューション伴走支援による女性の健康課題解決と就業継続促進に向けた健康相談並びにセミナー事業	株式会社SUSTAINABLEME	●	●	●	●	●	●	●

# 実証事業の実施実績\_アウトプット(1/2)

20の実証事業において、55の企業、10の自治体、25の医療機関が関与し、フェムテック等サポートサービスを提供した。

サービス提供者数※

企業

55社

自治体

10団体

医療機関

25機関

※20の実証事業者およびコンソーシアム参画団体の総数

# 実証事業の実施実績\_アウトプット(2/2)

20の実証事業を通じて、フェムテック等サポートサービスを5,240の利用者、229の企業、86の自治体、23の医療機関に提供した。

サービス利用者、導入団体数※

利用者

5,240名

企業

229社

自治体

86団体

医療機関

23機関

※マス向けセミナー等への参加も含む

# 2

## 実証事業の成果報告資料

# 01.

働く女性が乳がんを経験しても変わりなく働くことのできる場所の提供・雇用と、  
価格・着け心地共にストレスフリーな国産パッド開発  
(代表団体：アボワールインターナショナル株式会社)





アボワールインターナショナル株式会社  
代表取締役 中村 真由美



2022.2.15



働く女性が

乳がんを経験しても変わらず働くことのできる  
場所の提供・雇用と

価格・着け心地共にストレスフリーな  
国産パッド開発

1

シリコンパッドの開発

2

販路開拓

3

がん患者の雇用

# 1

## シリコンパッドの開発

## ◆目的

### ① 日本製で安心・安全でお手頃価格を目指す

#### 《現在の課題》

現在販売されているシリコンパッドは海外製で2~6万円

### ② 整容性の良い商品

#### 《現在の課題》

左右乳房の外側にボリュームが出ない  
= 自然なバストラインになりにくい

### ③ 再生可能

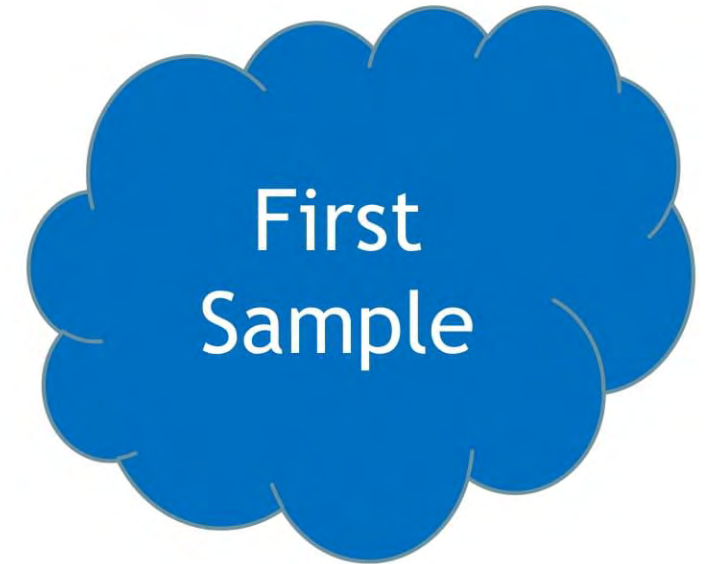
#### 《現在の課題》

数年で破損するのでは継続的に使用が困難



## ◆成果

### シリコンパッドモニター開始





◆ 整容性の良い商品



開発中パッド：右



患者自身のパッド：右



左：健側



## ◆気づき

- ・他社の特許侵害調査が必要
- ・自社での特許取得も視野に入れる必要性
- ・コロナ禍のため、患者会でのモニター協力は困難

## ◆今後の進め方

- ・まずは形状毎のモニター数・データ数を増やす

次段階として・・・

- ・軽量化と着け心地を求めたサンプル開発
- ・併せて、持続継続の可能性における開発



# 2

## 販路開拓

## ◆東京 恵比寿ショールーム出店

- ・ 当社の事業と活動に共感して頂いた経営者
- ・ 一等地のオフィスの半分を使用して出店

【2022年2月5日OPEN】

- ・ 2月の予約はほぼ埋まっている
  - ほとんどの商品が試着できる  
(購入商品は京都本店から送料無料で発送)

## ◆課題と気づき

- ・乳がん患者にとってのコロナに対する恐怖
- ・大丸梅田店
  - 2度イベント日程を調整するも現在保留

## ◆成果

- ・大丸梅田店とのイベント共催は今夏以降
- ・恵比寿ショールーム開店に持ち込めた
  - 東京のクリニックから問い合わせ有

# 3

## がん患者の雇用

## ◆成果

### 【実績①】 短期アルバイト

- 9月横浜開催 乳房オンコプラスチックサージャリー学会

### 【実績②】 パートタイム雇用

- 恵比寿ショールーム 現在3名雇用決定
  - ※但し、コロナ禍に付き2月は4日/月のみ営業
  - ※3月については2月半ばに営業日決定予定

## ◆取材

→乳がん患者の雇用、乳がん患者にとっての商品の在り方など





*avoir*  
アボワール

®

# 02.

大企業および中小企業の従業員を対象とした  
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業（関西エリア）  
（代表団体：株式会社With Midwife）





The CARE 実証事業成果発表資料

**大企業および中小企業の従業員を対象とした  
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業**

THE  
CARE

詳細はこちら



看護師と助産師の**国家資格**をもつケアラーが  
健康や子育てに関する**専門知識**をもって  
**24時間365日**、社員を**公私ともに支援**する



# THE CARE

詳細はこちら



企業専属の助産師が、企業とそこではたらく人を継続的にサポートします。



## オンライン相談

24時間356日、秘密厳守で健康や子育て、メンタルの相談が可能。オンラインでも、人対人の密なコミュニケーション、温度感を大切に寄り添います。



## 育休サポートプログラム

妊娠中から職場復帰まで専門家が継続的に支援。産前産後の知識はもちろん、自宅に訪問しての専門ケアは他社にはない先進的な取り組みです。不妊治療の段階からの支援も可能です。



## ウェルネストレーニング

看護師や保健師、助産師の資格を活かし、健康やキャリアに関する講義やワークショップを実施。共通の課題を共に学ぶことで、ダイバーシティ・インクルージョンな社風を醸成します。



## コンサルティング

相談実績を統計データにまとめ、企業の担当者へ毎月報告。また社会的な動向も含め、専門的な目線と、蓄積された社内実績から御社にあった今後の取り組みを提案します。

※育休サポートプログラムは  
今回の実証事業では含まれておりません。

# THE CARE

詳細はこちら



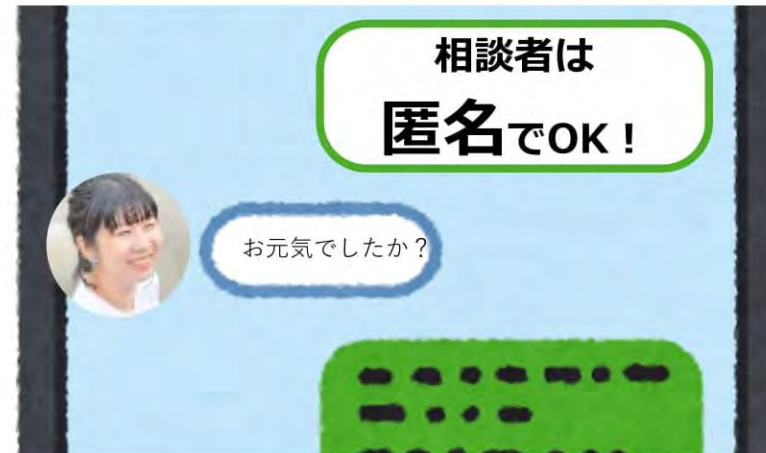
## ▶ 顔が見える安心感



企業様



3名以上





THE  
CARE

詳細はこちら



## ▶幅広い相談をワンストップ解決

こんな時に相談を!!

キャリアと子育ての相談、  
専門家に聞いてほしい...

最近よく眠れない。  
この気分の落ち込み、  
早めに解決したいな。



男性にも更年期があるんだね。  
どうすればいいのかな？

妻の生理が  
辛そう...

THE  
CARE

# TRIBUS

## 結果

- ・サービス利用者は92%の高い満足度と、96%の導入意向
- ・非利用者であっても76%が導入意向あり
- ・利用者の3割が男性、幅広い年齢層から利用がある

## 課題

- 1) 対象者が少なく、業種、企業規模が限定的
- 2) 客観的指標が不足している
- 3) 外部研究機関の介入がない

**大企業および中小企業の従業員を対象とした  
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業**



## 1 企業規模・業種のバリエーション

- ・対象者数：317名→12,000名
- ・業種：1業種→10業種以上
- ・企業規模：大企業→大企業と中小企業

## 2 客観的指標として4つのスケールを使用

満足度や利用意向だけでなく、ライフワークバランスやストレス、幸福度などにおいて客観的スケールを活用。

- ・ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度日本語版（渡井,錦戸,村嶋,2006）
- ・ワーク・ファミリー・コンフリクト対処行動尺度（加藤,金井,2006）
- ・Public Health Research Foundationストレスチェックリスト・ショートフォーム（今津,村上他,2006）
- ・主観的幸福感尺度（伊藤,相良,池田,川浦,2003）

## 3 外部機関との連携



研究機関として

東京慈恵会医科大学（浅川 友祈子氏，医学部看護学科助教）との連携



事業目標：①企業への助産師介入の有用性検討

①汎用性のあるエビデンスを提示しトップランナーとして当分野の今後の発展に資すること

実証事業  
期間中



従業員数1,000人以上の企業

目標：3社

目標総従業員数：10,000人



従業員数300人以下の企業

目標：10社

目標総従業員数：2,000人

企業選定のバックアップ



公益財団法人  
大阪産業局



経済産業省  
近畿経済産業局

- ①属性 ②働きやすさ
- ③ストレス度 ④幸福度 など

導入前後のアンケート調査

集計・分析・エビデンスの報告

実証事業  
後

1

トップランナー  
として分野の開拓

2

他企業の新規参入  
当分野が醸成する




3

だれにとっても  
働きやすい  
職場環境

だれもが自己実現できる  
ジェンダー平等な社会へ

離職率の低下/産業の発展/ウェルビーイング向上



-  第1回「**ライフをととのえるーウェルネス・マネジメントー**」  
(約60分)
-  第2回「**メンタルヘルスを update  
ー自分の心の動き・他者との違いを知るー**」  
(約60分)
-  第3回「**パパのための育児ー男性育休のリアルー**」  
(約60分)

# ■ 結果

## ■ 調査規模



目標：3社→**3社**  
 目標総従業員数：10,000人  
 →**11,426人**



目標：10社→**11社**  
 目標総従業員数：2,000人  
 →**3,201人**

SAISON CARD

パーソルキャリア PERSOL

mercari

株式会社 アワーズ

under design

オーツァミカル株式会社

FC\*OSAKA

THE DAL

ジェイアル西日本ウェルネット

株式会社タウ Globaloop Company

中農製作所

Park KSB

廣田証券株式会社

MBS



# サポートミッドワイフ15名



加藤 千香

お口の機能と体の成長を支援する  
助産師



助産師による訪問型サポ  
ート Tia

川添 梨沙

助産師



株式会社With Midwife

岸畑 聖月

臨床助産師/CEO/起業家支援PJマ  
ネ



佐藤 祐佳

助産師/パーソナル栄養コンサル  
タント



助産院 まる眼鏡ママ相談  
室

鈴木 円香

助産師/授乳/パートナーシップ



竹崎 澗

助産師 / 心理カウンセラー



谷本文葉

Fumiyo Midwifery



Your midwife

中島 じん

福岡・助産師・相談・性教育・お  
むつなし育



株式会社WithMidwife

中瀬 摩美

助産師/看護師/保健師/顧問助産  
師



大切なものを守れる力を

土方 由香

助産師 カラーセラピスト



福田 遥奈

助産師



藤木 安澄

助産師



Your Midwife ~  
support for non-  
Japanese people~

ブラウンみゆき

助産師 / Midwife



Hug Style 生きるチカラ  
のはぐくみかた

松吉奈保美(Naho)

助産師 ライフコーチ



宗内 優美香

株式会社With Midwife



## ■ 実証事業参加者

- 導入前アンケート

**2604**件（全体回収率17.8%）

- 導入後アンケート

利用者：**101**件

非利用者：**322**件

- 利用状況

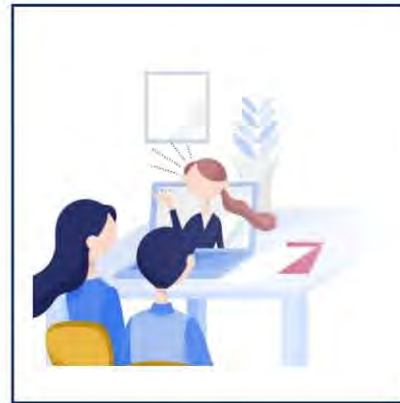
メール相談	341件 (内2割は 導入前アンケート 非回答者)	
オンライン相談	10件	
セミナー	第1回目	204名
	第2回目	234名
	第3回目	129名

# 前後比較可能な**89**名のデータについて発表



導入前アンケート  
回答者

+



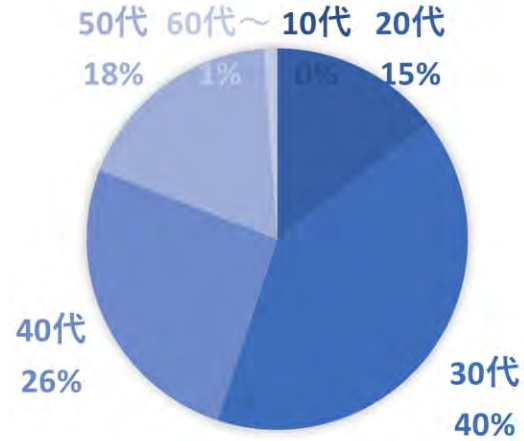
何らかの  
サービス利用者

+

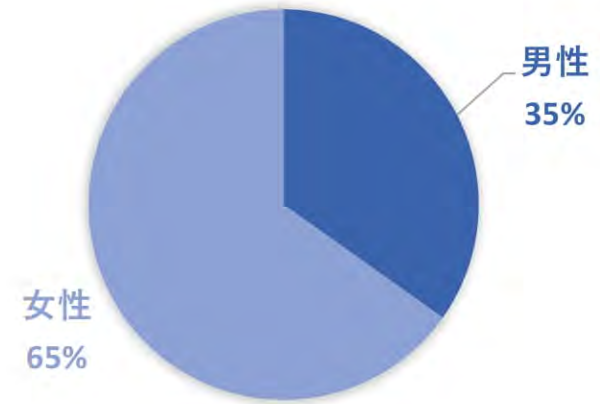


導入後アンケート  
回答者

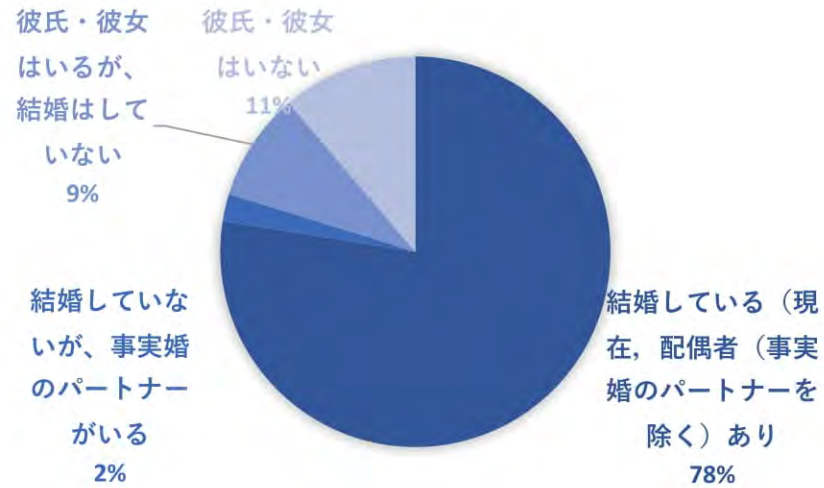
### ■ 年代



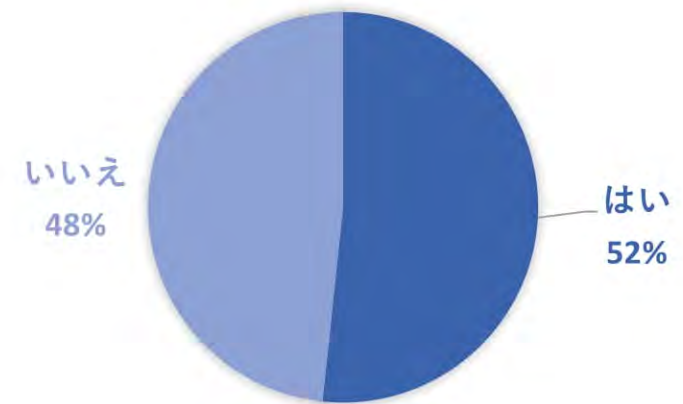
### ■ 性別



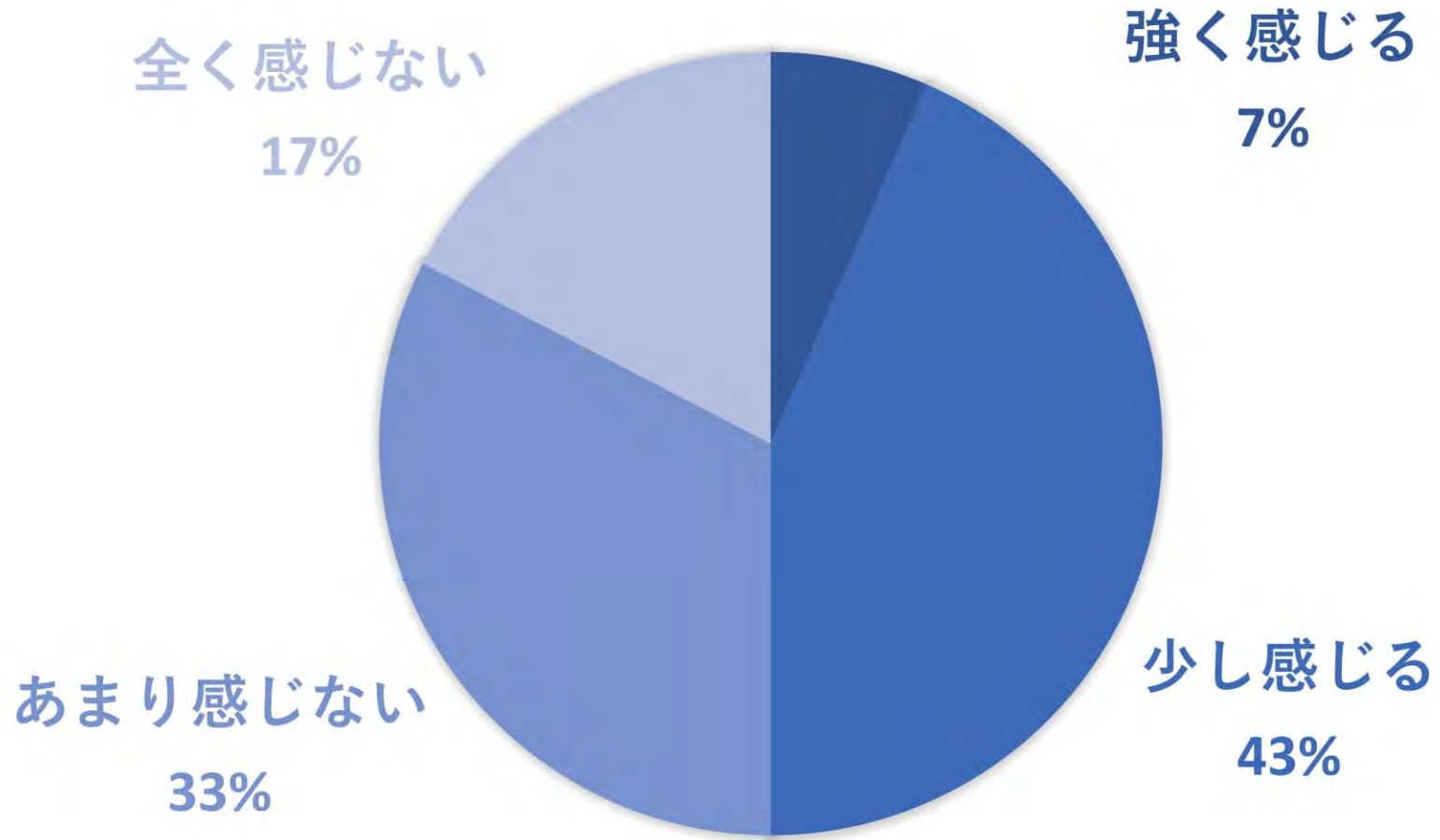
### ■ 婚姻の有無



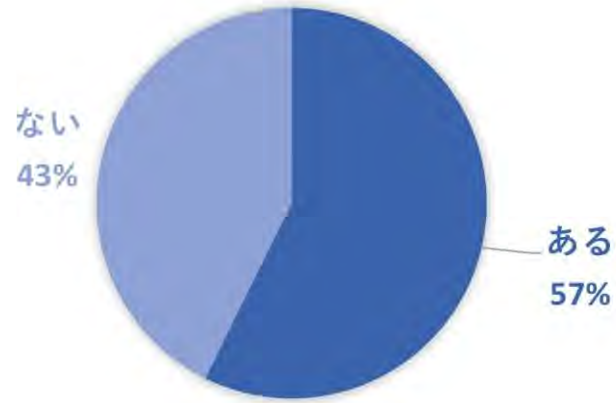
### ■ 子どもの有無



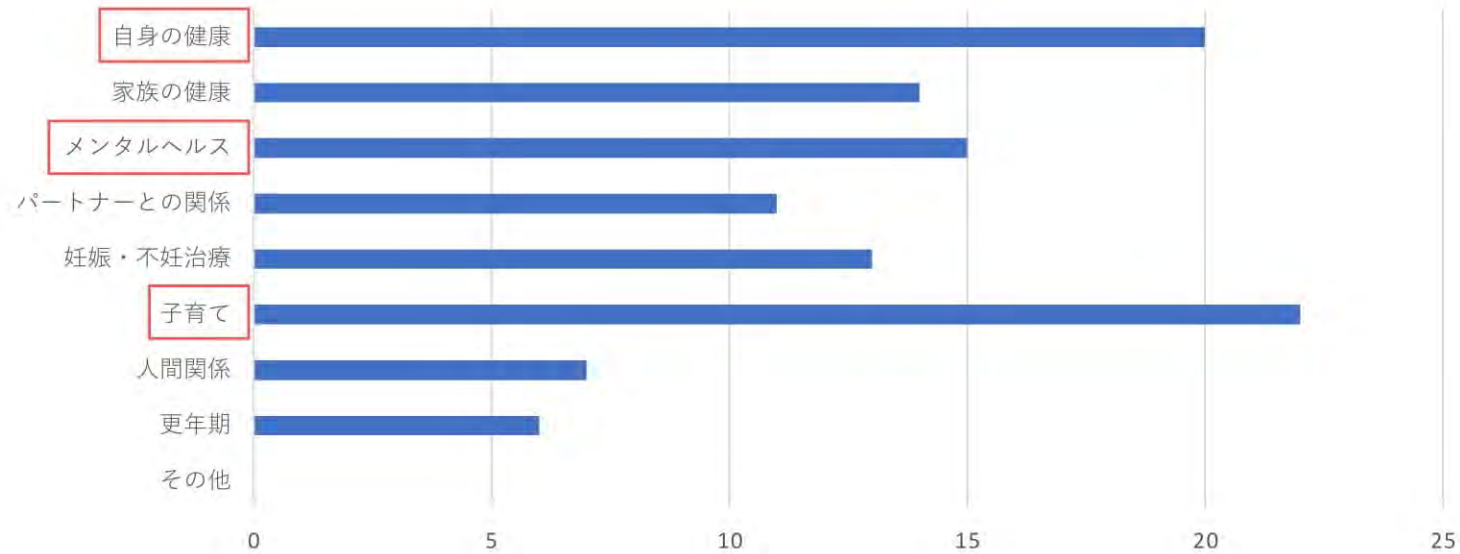
## ■ 育児困難感 (n=46)



## ■ 悩みの有無

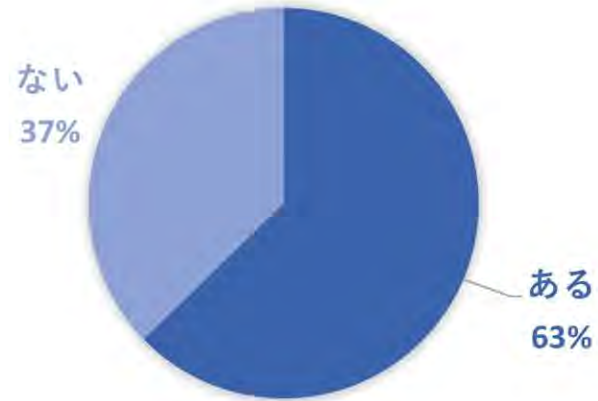


## ■ 悩みの内容 (n=51)

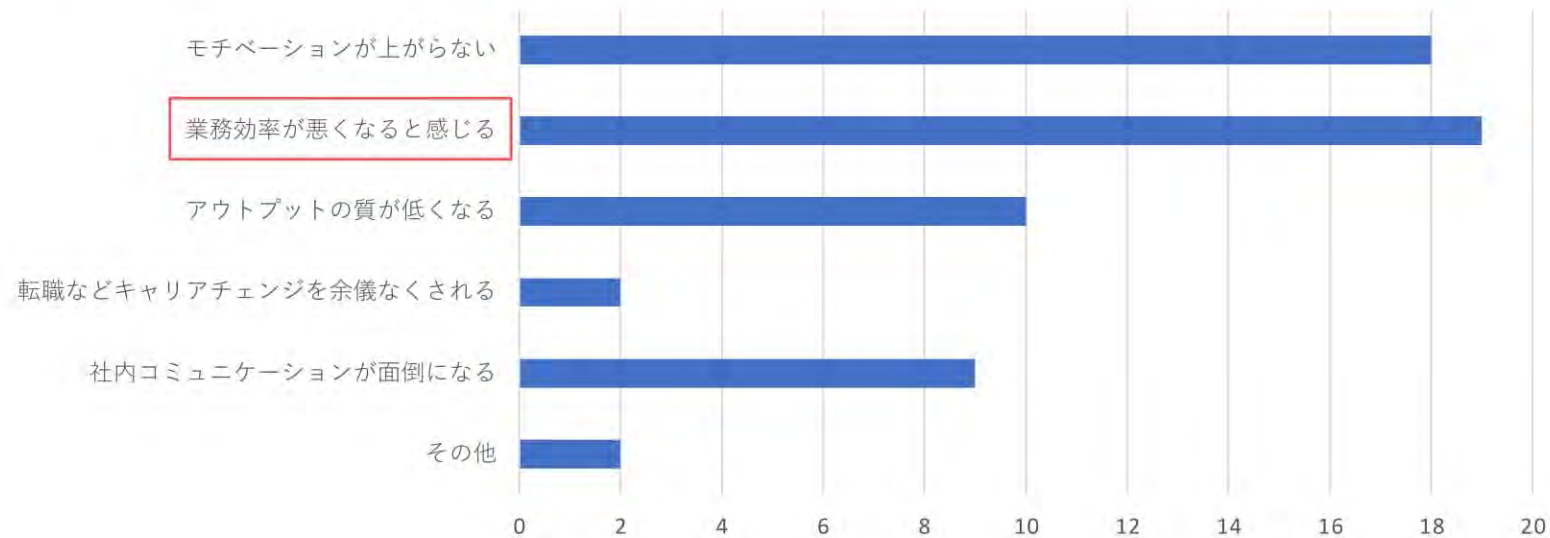




## ■ 仕事への影響 (n=51)



## ■ 仕事への影響の内訳 (n=39)



妊娠したらみんなで  
「助け合う」のはわかっている。  
けれど、不妊治療中の私は  
助けるばかりでもやもやする...  
(38歳・女性)



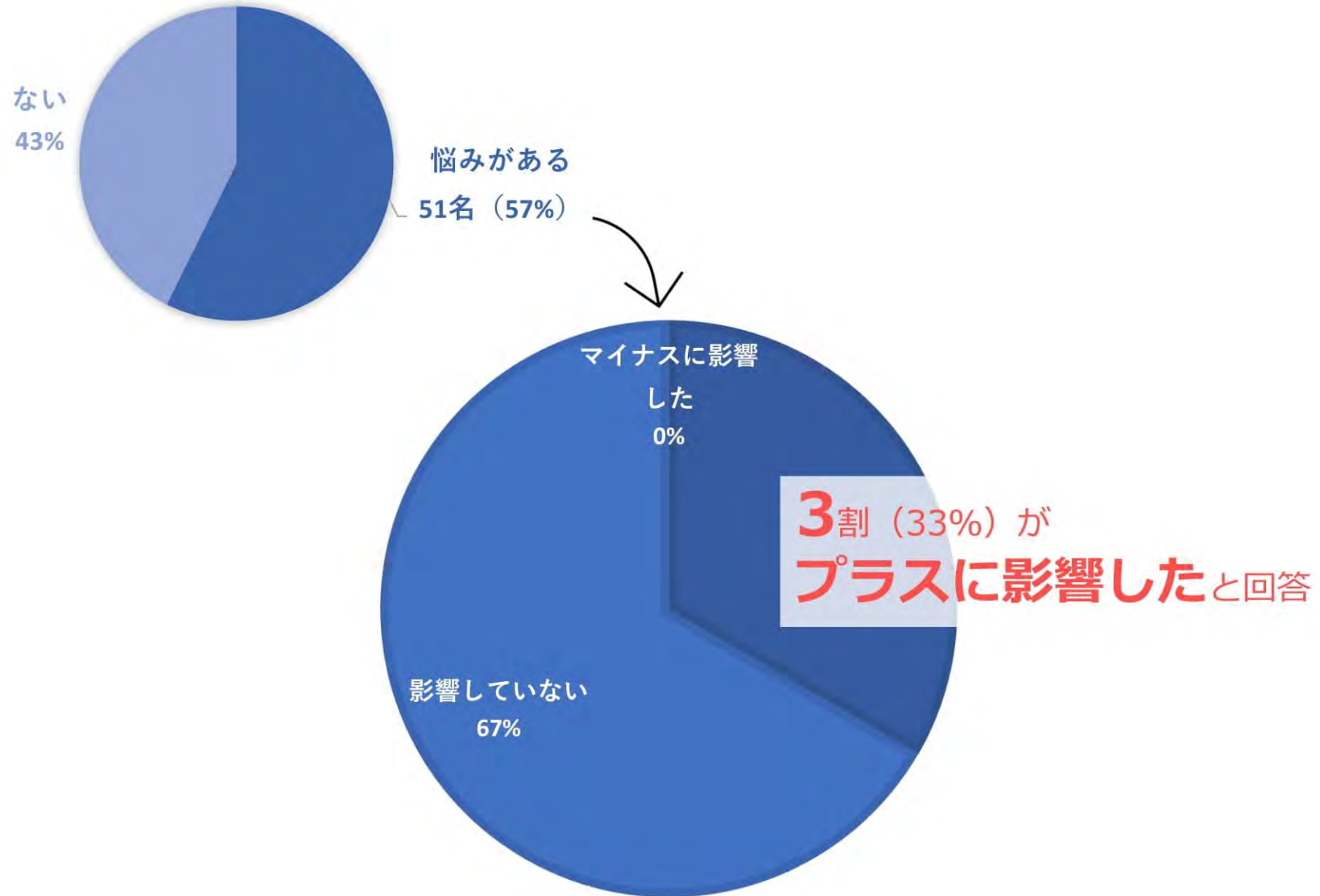
契約社員は  
契約更新時期に妊娠出産が重なると  
正当な評価をしてもらえない。  
(32歳・女性)



パートナーが流産。  
自分も気持ちに整理がつけられないし、  
異動したばかりで仕事も大変。  
余裕がありません。  
(25歳・男性)

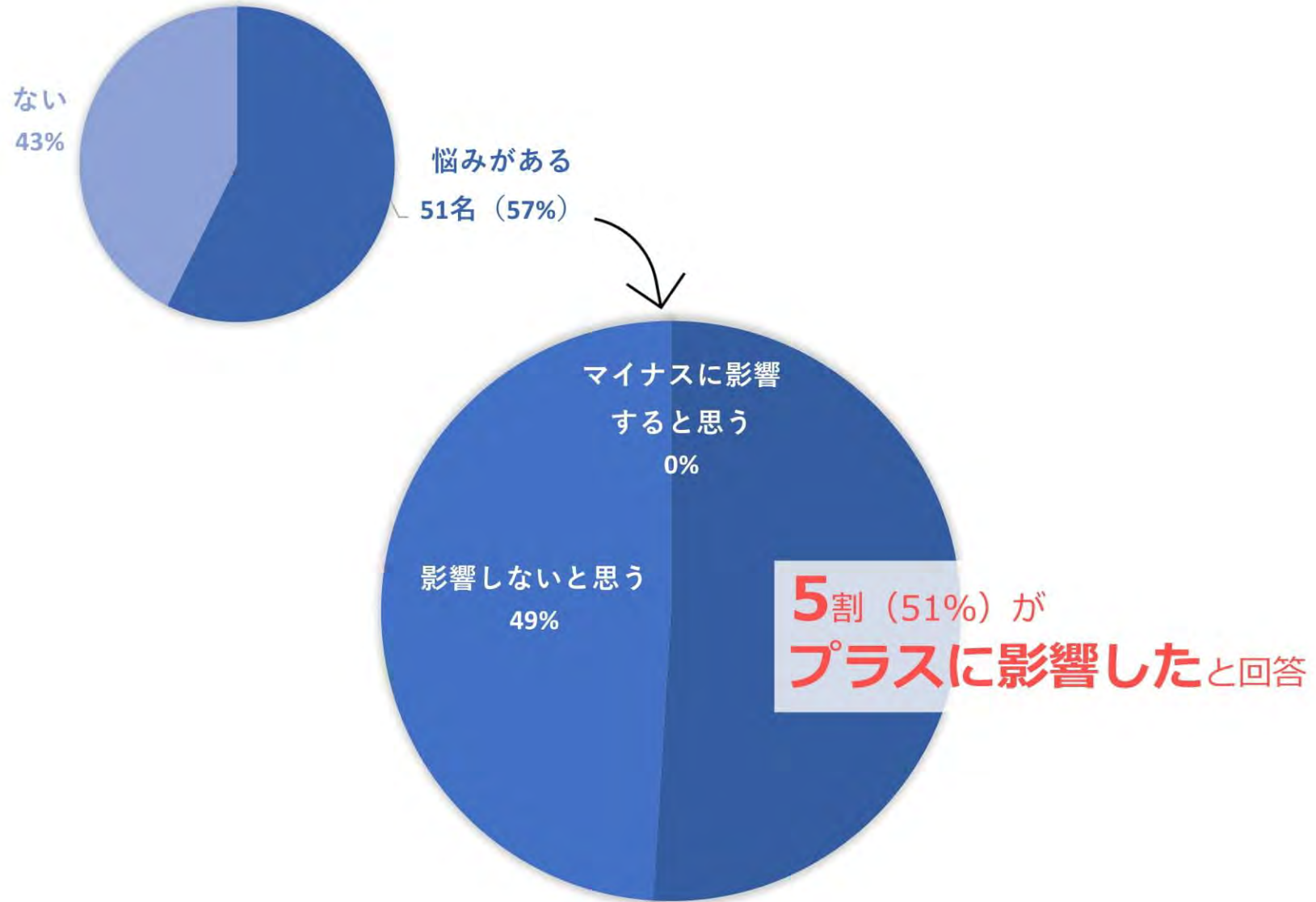


## ■ サービスが仕事に影響をおよぼしたか (n=51)



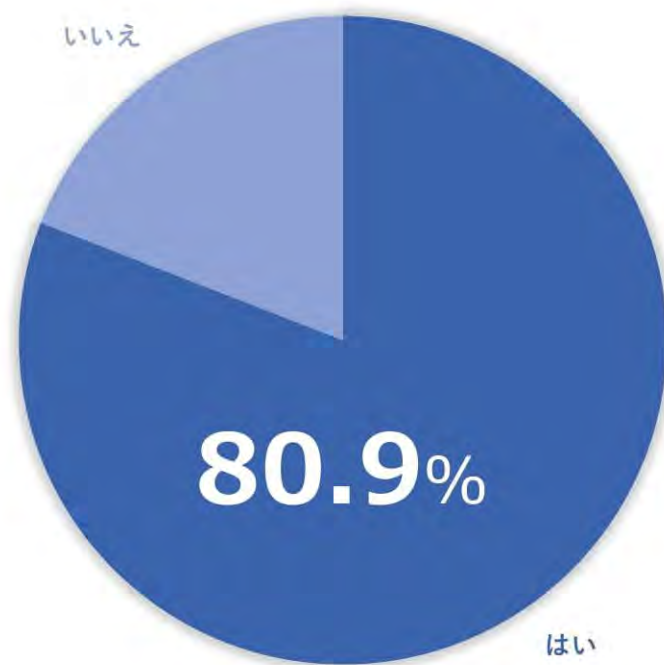


## ■ サービス利用後にキャリアへの影響はあったか (n=51)

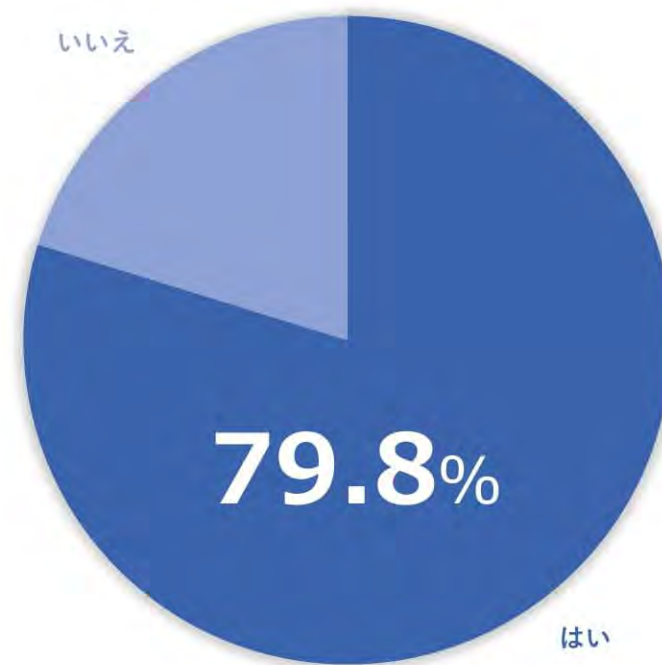


- とても優しいお声がけをいただき安心してすることができました。また匿名という部分も非常に安心要素です。
- 家族・友人・同僚にも相談しづらかったことだったが、第三者の専門家に相談できるサービスだった。回答も迅速で温かみがあり丁寧で、きちんと向き合っていただけで安心感があったため。また悩んだときには再度利用したいサービス。
- とても有益だったし、孤独からくる産後うつを防げるのでは、と思えるほど親身になって下さったから。
- 日々発生する些細な不安もタイムリーに相談できることは、精神衛生上も良く、仕事への良いパフォーマンスに繋がると感じる。
- お試し期間中に職場の同僚にも早速すすめました。悩みを気軽に相談でき、その内容もとても充実している。

## ■ 推薦・導入意向



社内の同僚などに勧めたいか



会社に本導入して欲しいか



## ■ 利用前後の変化①

### ▶ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度日本語版

#### <時間に基づく家庭から仕事への葛藤>

有意に上昇↑

- 家族としての責任に時間を費やすために、自分の職務が妨げられることがよくある
- 家族と時間を過ごすために、自分のキャリアアップに役立つ職場での活動に時間をかけられないことがよくある
- 家族としての責任を果たすために多くの時間を使うので、仕事の活動が犠牲になっている

(P<0.01)

#### <ストレス反応に基づく家庭から仕事への葛藤>

有意に上昇↑

- 家庭でのストレスのために、職場でも家族のことが頭を離れないことがよくある
- 家庭での責任からくるストレスがよくあるので、仕事に集中するのが難しいことがある

(P<0.05)

## ■ 利用前後の変化②

### ▶ワーク・ファミリー・コンフリクト対処行動尺度

#### <家庭役割充実対処>

有意に減少↓

- 親や配偶者としての責任をきちんと果たそうと努力する
- 家族の一員としての役割を果たそうと心がける
- 仕事が大変でも、家庭をおろそかにしない

( $P < 0.05$ )

## ■ 利用前後の変化③




### ▶Public Health Research Foundation ストレスチェックリスト・ショートフォーム

## ■ 利用前後の変化④

### ▶主観的幸福感尺度

有意な変動なし



-  サービス提供の前後で有意に家庭の時間が自身の職務やキャリアアップに役立つ活動を妨げていた。
-  サービス提供の前後で有意に家庭でのストレスが仕事中も頭から離れなくなり、集中できなくなっていた。
-  サービス提供の前後で有意に家庭役割を調整（縮小）し、仕事と家庭を両立しようとしていた。



仕事やキャリアアップの活動を妨げ



家庭のストレスで仕事に集中できず



仕事よりも家庭役割を制限せねばならない



## ■ 新型コロナウイルス第6波の影響でバイアスが強くなった

導入前アンケートの回収が開始された10月1日は第5波がおちつき**緊急事態宣言が解除**された時期。一方事後アンケートを回収した1月下旬は第6波により全国で過去最多の6万人以上の新規感染者が確認され、**保育園の休園**なども相次ぎ、蔓延防止等重点措置も発令された時期。未曾有の社会変化の影響が、サービス評価を困難にした可能性がある。

## ■ 長期・継続的な介入で効果測定されやすい

今回サービスを客観的に評価するために用いた、ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度日本語版、ワーク・ファミリー・コンフリクト対処行動尺度、Public Health Research Foundationストレスチェックリスト・ショートフォーム、主観的幸福感尺度の4つの尺度において、さらに長期間介入したほうが効果が出るものである可能性が高い。今後はストレス関連物質を多く含む唾液での検証など、より短期間・客観的に評価しやすい生体反応を測定するなど、サービスに適した検証方法を検討する必要がある。



## ■ サービス提供期間が4ヶ月と短かった

まだ世の中になくサービスであるが故に、1万4千人以上に周知し活用、その変化を実感するためには4ヶ月という期間が短かった可能性がある。これまでの実績から導入後半年以上たってから定着し始めることも分かっており、今回の検証期間がやや短く、有意に変化する指標が少なかった。



- **利用しなかった人の変化、利用の有無に関わらない母集団の変化がどうだったのかさらに分析を進める**
- **主観的評価に関しては、大変高評価であった性別や年代、企業規模などで違いがあるか、さらに多角的にデータをみていく**

01

6ヶ月で新規企業14社をリクルートし、新しくサポート助産師を育成、サービス運用し、データを回収することができた

02

ワークとライフに関わるサービスだからこそ、会社の経営状態や、社会情勢の変化など、サービス以外の外的要因に影響を受け、客観的評価が難しかった

03

初めて14社一斉オンライン研修なども挑戦でき、The CAREクライアント企業を1つのコミュニティとして新たな価値創造のきっかけを得られた



# インベーションの種を熊本

UXプロジェクトとは



# 内閣府主催少子化社会対策大綱の推進に関する検討会（第4回）に有識者として弊社代表の岸畑が出席

株式会社With Midwife 代表取締役 岸畑 聖月が内閣府主催少子化社会対策大綱の推進に関する検討会（第4回）に出席いたしましたのでお知らせいたします。



[内閣府ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [子ども・子育て本部](#) > [少子化対策](#) > [会議・プロジェクトチーム](#) > 少子化社会対策大綱の推進に関する検討会の開催について

## 少子化社会対策大綱の推進に関する検討会の開催について

HOME

制度・取組

大綱・法令

会議

調査・白書  
・公表資料

イベント・  
普及啓発物

子ども・子育て  
本部について

令和3年5月31日

内閣府特命担当大臣（少子化対策）決定

### 1 趣旨

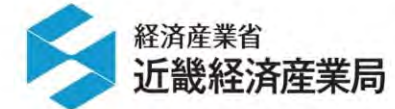
少子化社会対策基本法（平成15年法律第133号）第7条に基づき策定された少子化社会対策大綱における施策について、進捗状況等を検証・評価し、必要な見直しにつなげるPDCAサイクルを適切に回すため、少子化社会対策大綱の推進に関する検討会（以下「検討会」という。）を開催する。



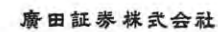
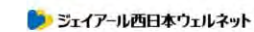
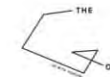
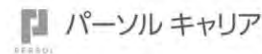
Data analysis



Recruiting cooperation



Research cooperation



Supported by





The CARE 実証事業成果発表資料

**大企業および中小企業の従業員を対象とした  
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業**

# 03.

潜在助産師を活用した、地方における育児期の女性の職場復帰を支援する  
オンライン相談事業：「The CARE for Community」実証実験（信州エリア）  
（代表団体：株式会社With Midwife）





実証事業成果報告資料

# 潜在助産師を活用した、地方における 育児期の女性の職場復帰を支援するオンライン相談事業： 「wellvic」

With Midwife.Inc

2022.2.15



**事業目標：**

- 1) 地方における女性の妊娠・出産等のライフイベントにおける離職の現状把握
- 2) 助産師のオンライン相談サービスの有用性評価
- 3) 収益性を担保するためのサービス展開方法の検証

**対象：**

長野県在住の育児休業中の女性および家族

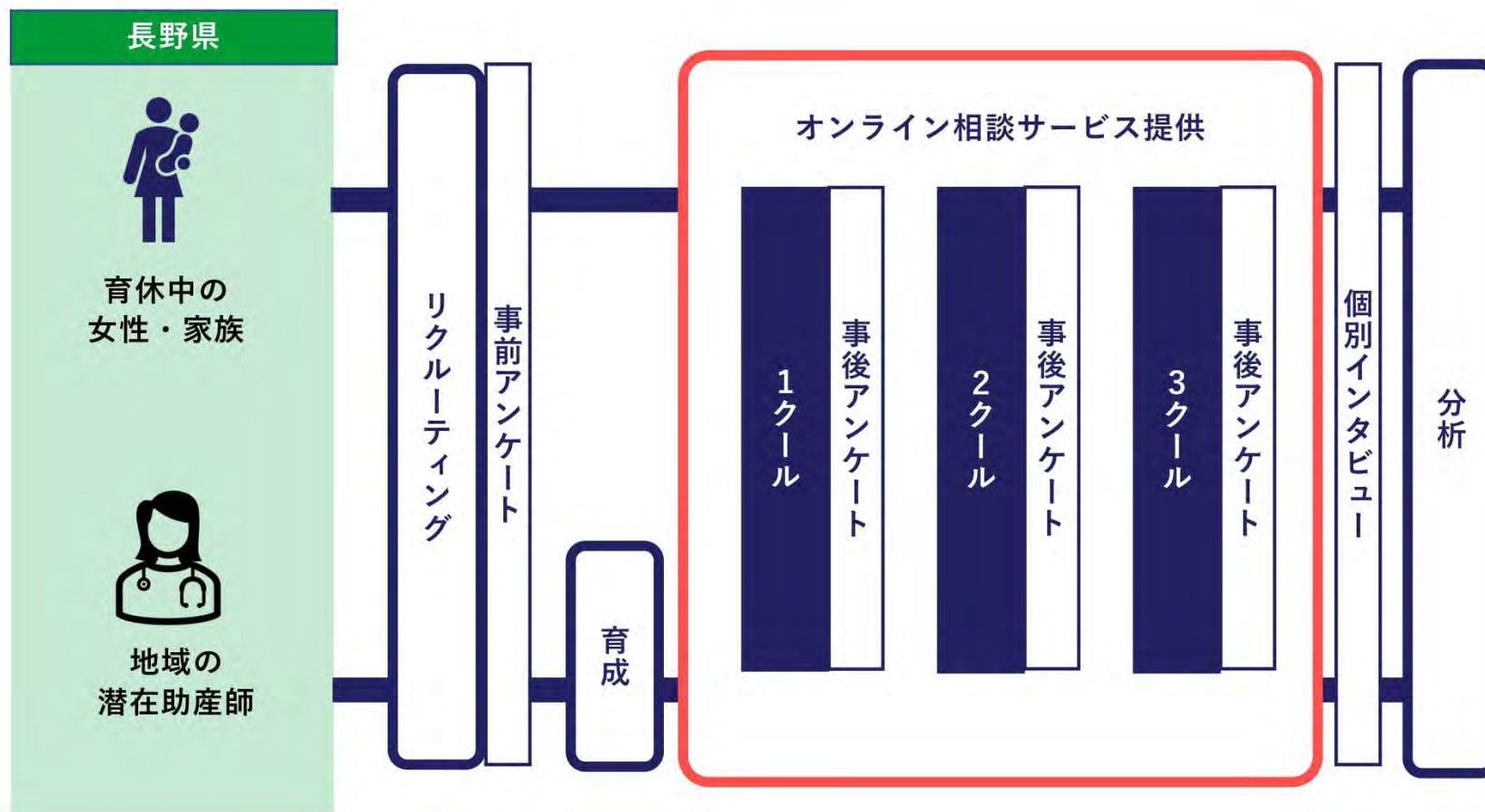
**実証内容：**

同地域の潜在助産師による24時間365日オンラインシステムを用いた健康と子育て個別相談

**評価指標：**

- ・ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度（渡井ら：2006年）
- ・職場復帰意欲 など





スケジュール





実施したこと

---

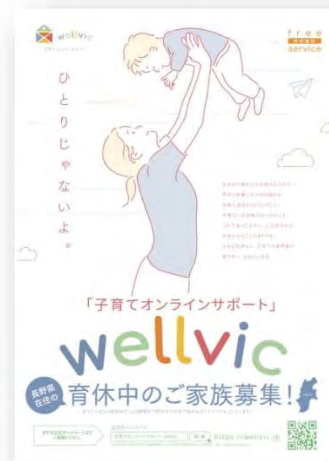
## 実施事項





子育てオンラインサポート

## ブランド名、ロゴ、LP、チラシの作成





子育てオンラインサポート



地域のステークホルダー  
との連携



子育てオンラインサポート

## 5名の サポート助産師



**新羽 広恵**

経験年数/7年目  
エリア/長野県東信



**川尻 彩織**

経験年数/10年目  
エリア/長野県南信



**小林 幸子**

経験年数/30年目  
エリア/長野県中信



**菱沼 紗恵子**

経験年数/11年目  
エリア/長野県東信



**本田 有希子**

経験年数/7年目  
エリア/長野県南信



## 対象者の リクルーティング

長野県	長野県松本市「イクジィ」への掲載
	毎日新聞長野紙面への掲載
	毎日信濃新聞への掲載
	中日新聞長野紙面への掲載
	読売新聞長野紙面への掲載
	NHK長野「イブニング信州」での放送
	NHK日本「おはよう日本」での放送
松本市	出生届時の連絡
	子育て支援包括センター(4箇所)で設置
	保育園入園・申し込み窓口設置
	子ども福祉課での相談窓口資料設置
	4か月乳幼児健診時のご案内
	10か月乳幼児健診時のご案内
	子育てアプリでの情報発信
	松本市役所育休中の方への発信
	松本市企業への周知
	WithMidwifeでのSNS各種アカウントでの周知
SNS	SNS広告の実施
	DMなどの個別連絡
	インスタライブの実施
信州大	信州大医学部付属病院でのチラシの配布
	信州大医学部付属病院の育休の方へ連絡
	10/25村上先生登壇オンラインイベント
	Jリーグ試合イベントでのチラシ配布
その他	長野県の育児コミュニティへの依頼
	長野県企業への依頼
	関東経済産業局とのディスカッション
	地元商業施設とのディスカッション
	リアルイベントの開催



## 妊産婦の悩み、助産師がいつでも聞きます ベンチャーが11月開始

暮らし・学び・医療 | 速報 | 家族・子育て | 長野

毎日新聞 | 2021/10/28 09:24(最終更新 10/28 09:30) | 有料記事 | 729文字



赤ちゃんの人形を使って、オンラインで育児相談に応じる助産師=With Midwife提供

ひとりじゃないよ——。信州大医学部の「周産期のこころの医学講座」と連携する大阪市のベンチャー企業が、育児休暇中の長野県内在住の母親や家族が助産師に子育ての悩みなどをオンラインで無料相談できるサービスを11月から始める。相談をためらい孤立しがちな妊産婦や家族に寄り添い、丁寧にサポートする。

【坂根真理】

「赤ちゃんが寝ない」「泣きやまない」「とにかく話を聞いてほしい」。24時間いつでも助産師に相談できるサービスを県内で始めるのは「With Midwife」。経済産業省の補助金を活用して提供する。



### 11/18放送 “潜在助産師”活用で子育て悩み解消へ

厚生労働省の補助金を受けた調査では、新型コロナウイルスの影響で妊娠中や出産後の女性の「うつ」が以前の3倍に増えているおそれがあることが報告されています。こうした中、子育ての悩みなどを受け付け、助産師がオンラインで対応するという実証実験が始まっています。

実は、助産師は全員が看護師で、多くが保健師の資格を持つため、出産時の対応だけでなく、幅広い悩みに対応できるのです。その一方で、現場を離れた“潜在助産師”という女性も多くいます。“潜在助産師”で母親の悩みを解消しようという新たな取り組みです。





子育てオンラインサポート



アカチャンホンポ



イトーヨーカ堂

日時：12月4、5日  
場所：イトーヨーカ堂南松本店  
アカチャンホンポ

参加者：

- ・チラシ500部配布
- ・手形アート：105組
- ・フォトブース：70組
- ・助産師相談：10組
- ・体重測定：6組



wellvic FES  
with akachanhonpo

ちょっと早めの  
クリスマスプレゼント付!

助産師子育て  
相談会開催

2021 12/4 SAT. 5 SUN.  
[土] [日]  
13:00-16:00

free event  
参加無料



## 助産師による相談対応

	11月	12月	1月	合計
利用者数	7名	18名	17名	40名
メール 相談	31件	78件	93件	202件
テレビ 電話相談	2件	4件	4件	10件



成果と課題

---

**成果と課題**

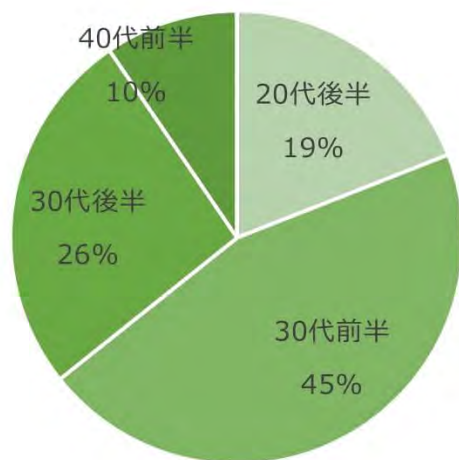
# 分析対象(n=28)

└総エントリー人数 (N=40)

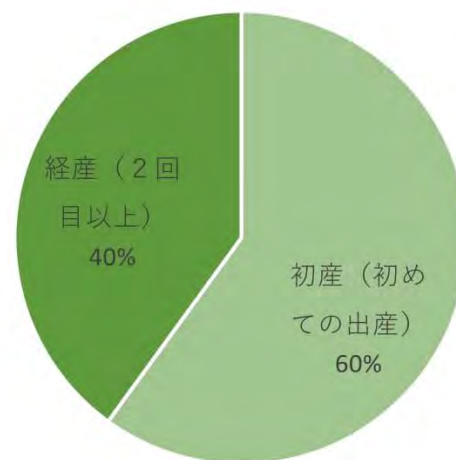
※男性 (n=1) ,未婚 (n=1) ,アンケート不備 (n=10)

+個別インタビュー (n=12)

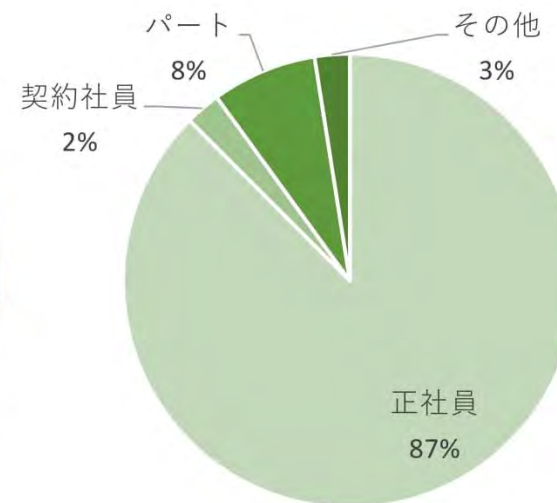
### 年代



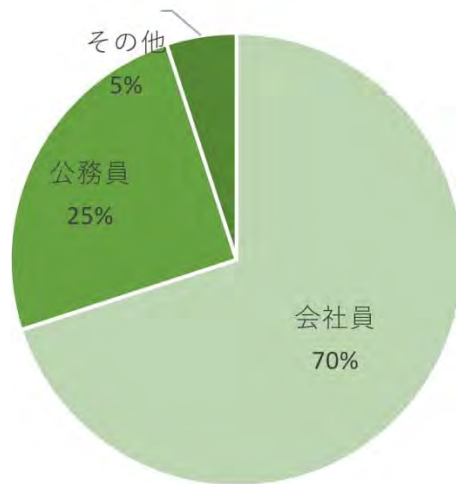
### 出産回数



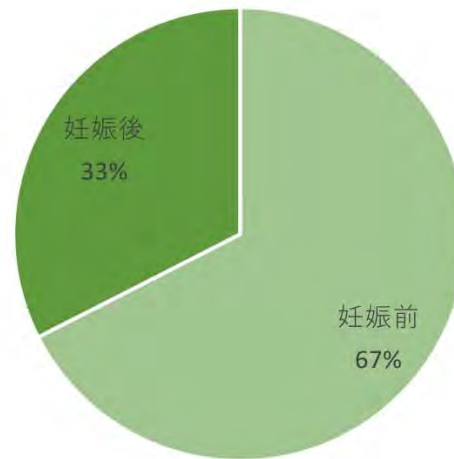
### 雇用形態



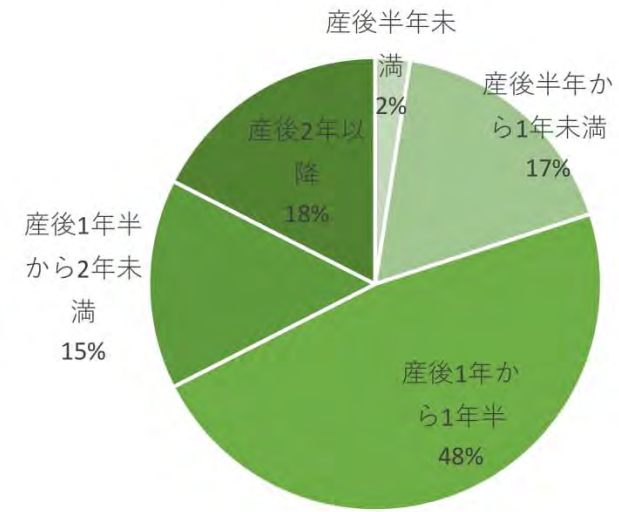
### 職業



### 育休決断時期

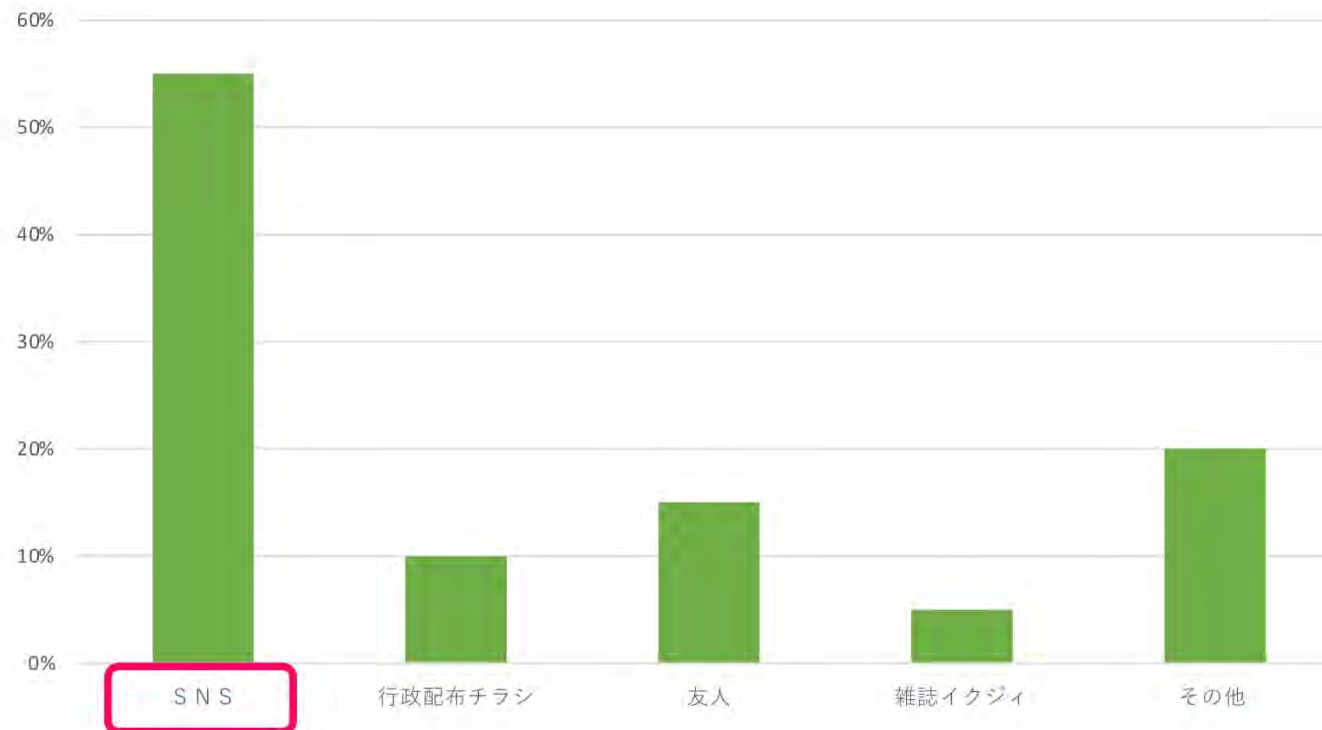


### 育休復帰時期

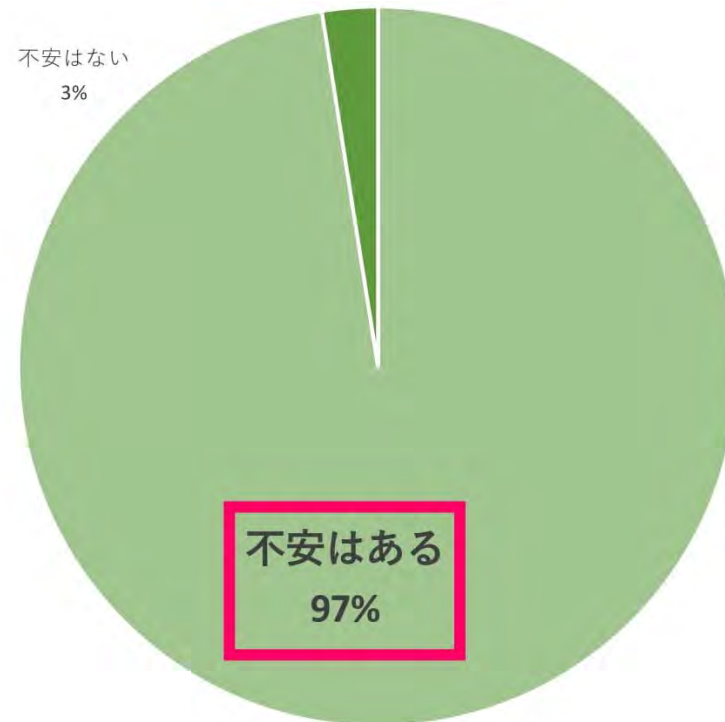




## ■ 事業をしったきっかけ (\*複数回答可)



## ■ 復職への不安



## ■ 復職への不安理由 (\*複数回答可)



## 相談カテゴリー



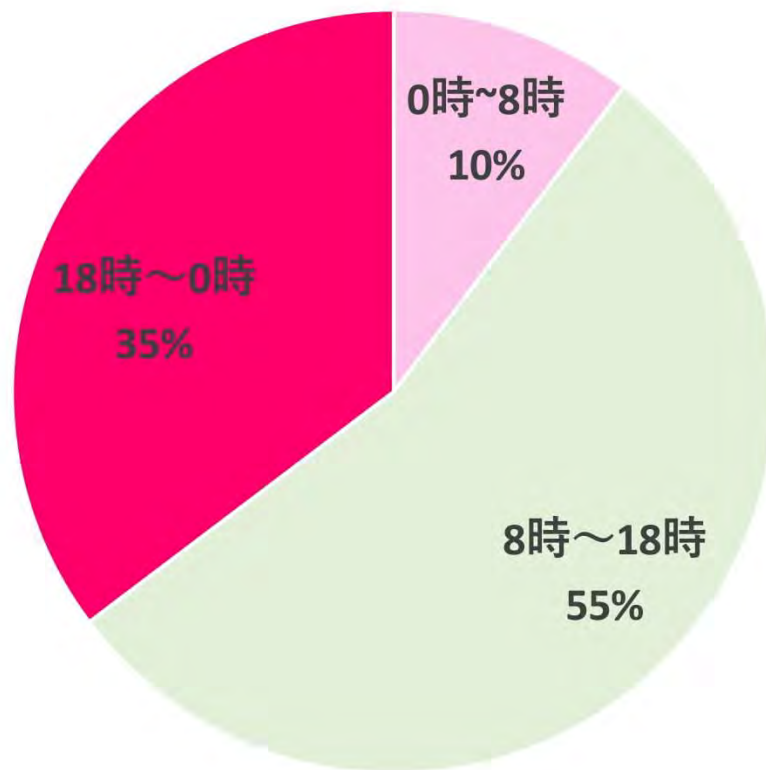
\*相談フォームからの相談 (73件)



## ■ 相談事例

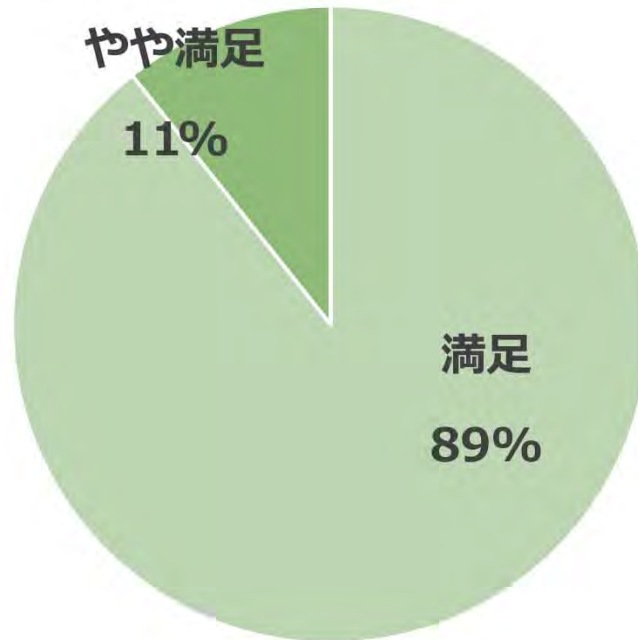
- ・最近悪露が少し増え、**生理痛のような痛み**があります。
- ・**子どもがあまり寝てくれない**ことで悩んでいます。赤ちゃんはこんなに大きな声で泣くものなのか初めての出産でわからず・・・
- ・保育園に来年の4月から預ける予定で、月に何日か一時預かりを利用してはいるのですが、**ミルクを全く受け付けてくれません**。
- ・**仕事に復帰した後の授乳**について、相談させていただきたいです。子供は託児所に預けるのですが、それに合わせて昼間の授乳をやめたいと思っています。どのようにしていけばいいのでしょうか。
- ・同じくらいの月齢の方が**夜間断乳**を始めているのをSNSで見かけます。あまりSNSを見すぎるのは良くないと思うのですが気になっています。
- ・来年の4月に職場復帰予定です。今から再来年職場復帰できるかが不安です。なかなか相談するところもなく、ただ漠然とした気持ちです。
- ・**保活**について相談です。受かるかは運次第ということになるのでしょうか。

■ 相談時間

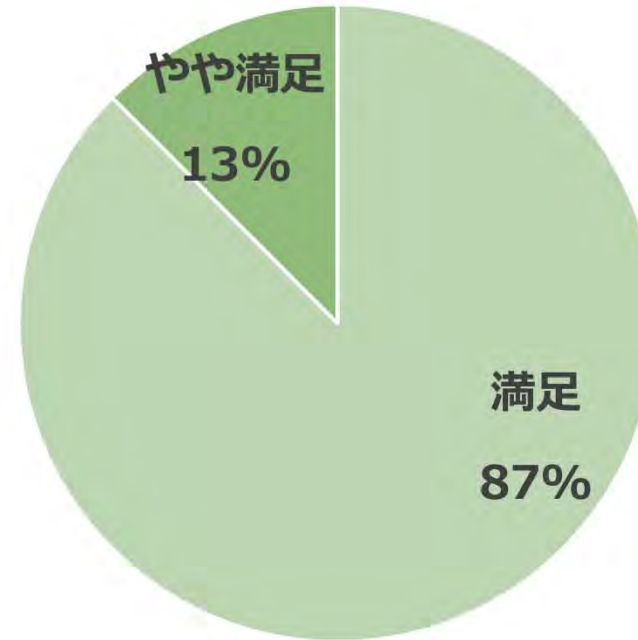


## サービス満足度

### ■ メール相談満足度



### ■ テレビ電話相談満足度



## ■ 満足度理由 (自由記述)

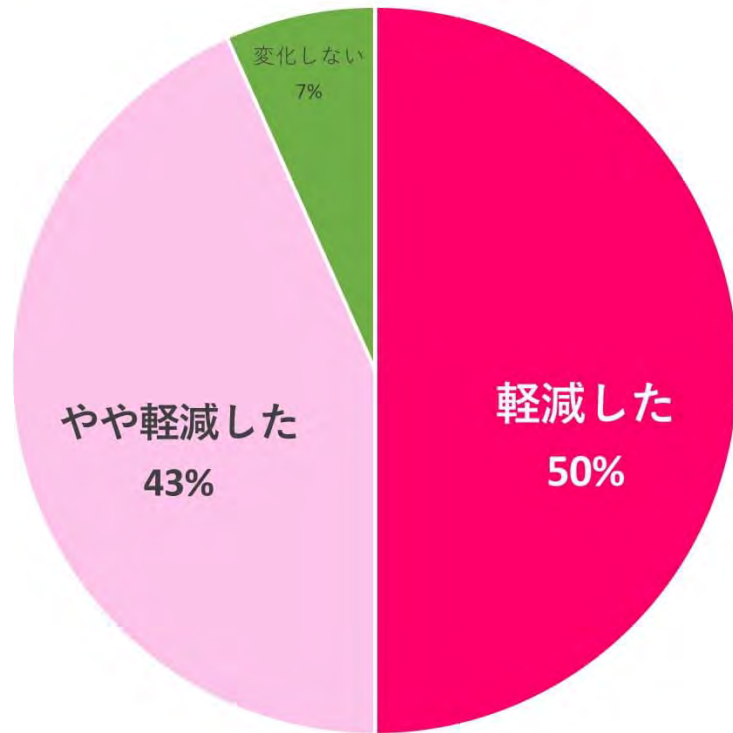
- ・話を聞いて貰えるだけでもありがたかった。
- ・自分の空いた時間に相談することができたから
- ・24時間受付なので、寝かしつけ後の余裕のある時間に考えをまとめられてよかったです。すぐに適切なアドバイスを送ってくださいました。悩みに寄り添っていただき、気が楽になりました。
- ・返信がすぐに来て、適切なアドバイスをしていただいたから。
- ・とても丁寧に回答していただいたから
- ・メールでとても丁寧に回答いただきました。文章なので状況も汲み取りにくかったと思いますが、大変参考になりました。ありがとうございます。
- ・相談に対する返信を早く頂けてありがたかったです。また、その内容も寄り添っていただけるととても温かいものでした。
- ・気になったことを気軽に聞くことができる
- ・親身になって相談にのっていただけ
- ・初めての子育てで不安が多かったが、不安を十分に解消してもらえたため。
- ・家族以外には話しづらい悩みに的確なアドバイスをいただいたから



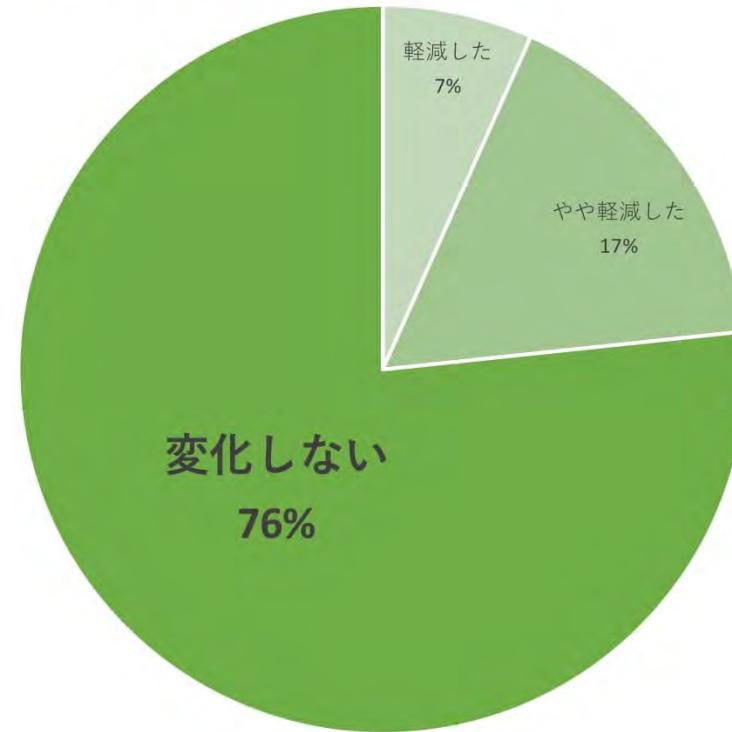
## ■ 個別インタビュー

- ・一定期間、一人の専属助産師さんにいつでも相談できるというのは、育休中に大きな味方となりました。なかなかmy助産師を見つけにくいこのご時世なので、またサービスがあったら利用したいなと思います。
- ・乳児との外出はなかなか難しい面があり、心配なことはネットで検索していました。時間を気にせず、信頼のおける助産師さんに相談できることが大変心強かったです。
- ・仕事に復帰してからも、サービスが受けられたら良いなと思います。
- ・専門家に相談ができるシステムはありがたいです。
  
- ・こんなことで質問をしてもよいのかと悩んでしまい、発信するまでのハードルが高かったです。たとえばLINEやチャット形式だともう少し手軽に質問ができたかもしれません。
- ・相談をするとき、ホームページを開いて助産師さんを選んだりするのが少し手間がかかると思ったので、ラインみたいに気軽な感じで相談できると良いなと思いました。
- ・LINEなどでコミュニケーションができるとより相談しやすいと感じた。
- ・1ヶ月では短く、不安もやや残るなと思った。

### ■ 育児不安



### ■ 職場復帰不安



## ■ 不安変化理由

- ・ 育児書にとらわれず現状を肯定していただけた。実家の母や友人が近くに住んでいない中、支えられていると思えたのもよかった。
- ・ 助産師さんの早い返信で、すぐに不安が解消されたから。
- ・ 丁寧に答えていただいたのと、オンラインで顔を見て話すことでかなりストレス発散になったから
- ・ 専門家の方に相談できたので、不安がかなり軽減しました。
- ・ いざという時頼れる場所が増えた、というのは心理的に安心した。
- ・ 何度も相談に乗って頂いたため
- ・ 産後の自分の体調に関して相談をし、納得のいく回答がいただけたため、現在（育児休業中）の不安は解消された。
- ・ 復帰してみないと、育児との両立ができるかなどわからないため
- ・ 復帰まで時間があり、実践できていないため
- ・ 新生児期に利用したため、職場復帰そのものが先のことでそこまでイメージできておらず、不安をいなく点にまで至ってないため

事後アンケート結果 (n=28)

GAD-7(Generalized Anxiety Disorder -7)日本語版(2018)

この2週間、次のような問題にどのくらい頻繁に 悩まされていますか？	全く ない	半分 数日	ほとんど 以上	毎日
(1)緊張感、不安感または神経過敏を感じる.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2)心配することを止められない、または心配をコントロールでき ない.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3)いろいろなことを心配しすぎる.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4)くつろぐことが難しい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5)じっとしていることができないほど落ち着かない.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6)いらいらしがちであり、怒りっぽい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7)何か恐ろしいことがおこるのではないかと恐れを感じる・	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

0~3点とし、合計点をオンライン相談前後で比較

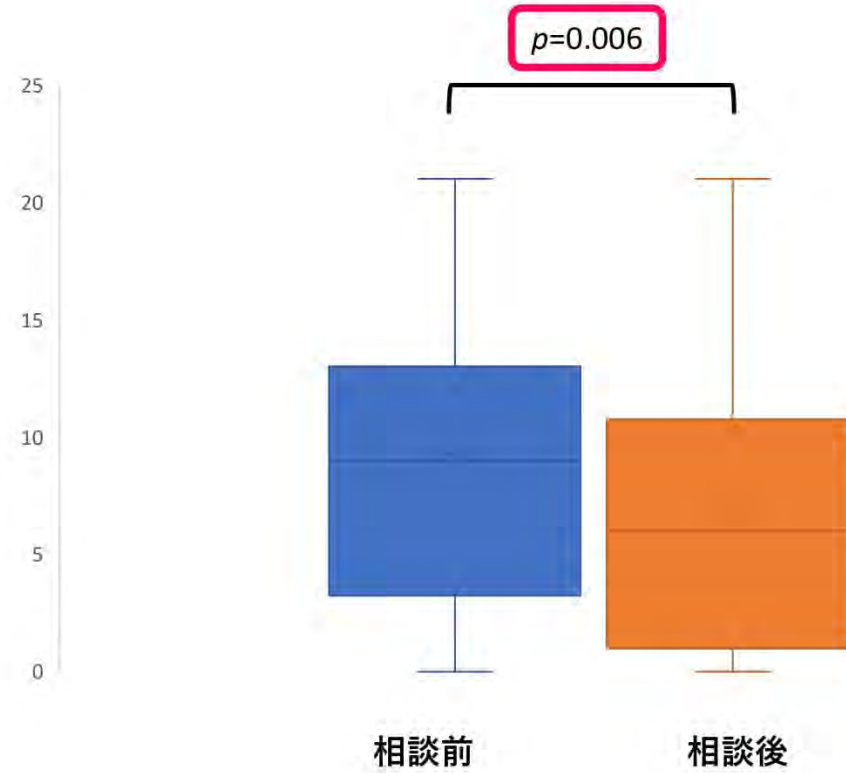
あなたがいずれかの問題に一つでもチェックしているなら、それらの問題によって  
仕事をしたり、家事をしたり、他の人と仲良くやっていくことが  
どのくらい困難になっていますか？

全く困難でない	やや困難	困難	極端に困難
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



事後アンケート結果 (n=28)

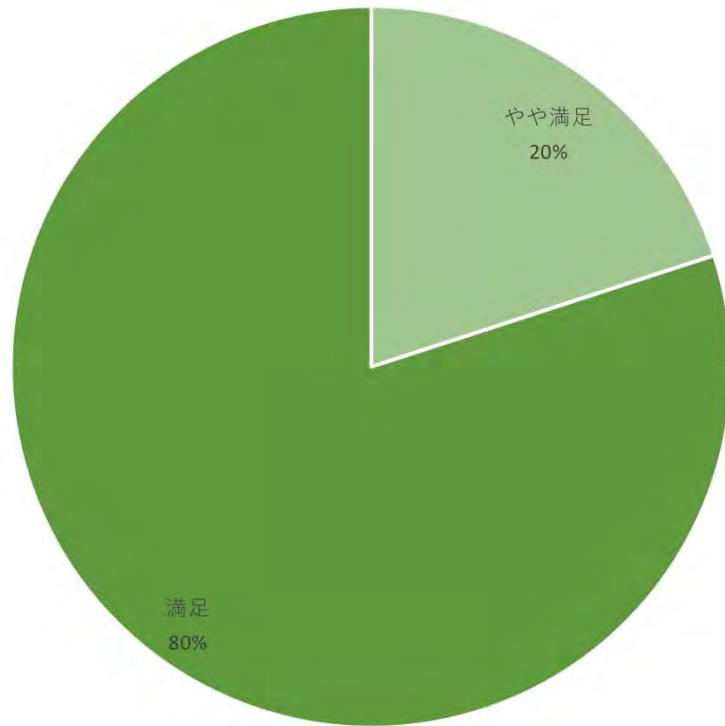
GAD-7スコアのオンライン相談前後の比較 (n=28)



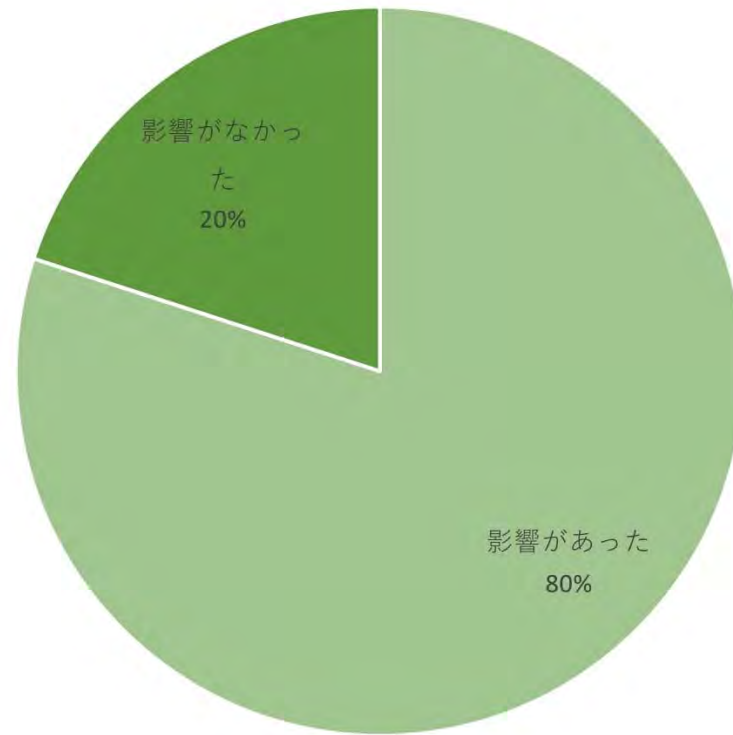
Wilcoxon の符号付き順位検定

# 助産師アンケート結果 (n=5)

### ■ 満足度



### ■ 復職への影響



## 自由記載

- ・相談者様から様々な悩みや不安をお聞かせいただき、わたし自身も一緒に悩み考えていくことで、助産師としてとても成長できたと感じています。
- ・タイミング的にも、事業の内容も、私が漠然とこんなことしたい、と考えていたことと重なり、とても楽しく参加できました。研修で受講させていただいたプログラムも素晴らしく、とても勉強になり、刺激をいただきました。そして、事務局の方の細やかなサポートや、メンバーと事例検討したり、意見交換できたことも、自信につながり、とてもありがたかったです。
- ・会社のサポートが安心できた、他の方との共有が勉強になった。自宅にいて子育て中でも助産師として活動している実感があった。
- ・助産師という資格を、今までの病院勤務とは違った形で活かしていくことができると実感しました。
- ・私が今後どのような仕事をしたいか方向性がはっきりしました。
- ・完全オンラインという形でのお仕事だったので、子育てしながら復職する最初のお仕事として、とても参加しやすく、仕事の形としての選択肢が増え、復職のハードルが下がりました。また、相談業は初めての経験だったのですが、研修やフォローのおかげで対応できるようになり、手応えも感じたので、復職への自信にもなりました。



## ■ 助産師によるオンラインサービスの有用性

対象者数は少ないが、200件を超える相談があり、サービス満足度は非常に高い。24時間いつでも相談できること、返信の速さ、自分専属の助産師に相談できること、助産師による専門的かつ寄り添う返信内容が評価につながったと考える。相談方法に関しては、メールよりチャットツールの方が相談しやすいとの声があった。

また、育児不安の軽減にはつながったが、職場復帰への不安軽減には、十分につながらなかった



- オンラインにて24時間体制での相談窓口の開設の必要性が示唆された。
- 相談システムに関し、現在開発中。より相談しやすい環境を整えていく
- 今回相談期間が短く、今後は職場復帰後も継続的にフォローできる方法が必要と考える

## ■ サービス展開に関して

行政との連携やメディア、SNS、イベントなどさまざまな広報活動を行なったが、想定したサンプル数が集まらなかった。

個別インタビューにて、**育休をとらず退職する割合が一定数いることなどが聴取され、「職場復帰」という文言ではリクルーティングが難しかった可能性がある**



- ご家族や地域のステークホルダーからの情報収集により、その地方の特色を踏まえた対象を設定することが必要
- 「助産師」と「復職に関する相談」をひもづけるためにも、HPなどの表記方法を検討

## ■ 今後の事業展開

- 今回のケースをパイロットとし、同じ手法を使用し、
  - ・対象者の範囲の拡大、検証期間の延長、対象地域の拡大を行ない、より対象人数を増やした実証を検討中。

地域で眠っていた潜在助産師という人材を活用し、  
同じ地域の女性及びそのご家族の  
仕事と家庭の両立をサポートするこの仕組みに  
ご興味がある自治体や企業の方々が  
いらっしゃいましたら、  
ぜひご連絡いただけますと幸いです。



実証事業成果報告資料

## 潜在助産師を活用した、地方における 育児期の女性の職場復帰を支援するオンライン相談事業： 「wellvic」

ご静聴ありがとうございました。





# 04.

女性の意思決定支援サービスの構築およびライフデザインにまつわる社会環境整備に向けた実証事業  
(一般財団法人ウェルネスサポートLab)

# 1

## 事業名

女性の意思決定支援サービスの構築  
および ライフデザインにまつわる  
社会環境整備に向けた実証事業  
報告書



一般財団法人 ウェルネスサポートLab

2022年3月8日

# 2-1 事業目的と実施内容



## <目的>

- ◆デリケートな女性特有の心身バランスやライフイベントに起因する心身不調、不安の柔和・改善を行う
- ◆働く地方女性のリアルな「健康×働く」の課題の抽出、ニーズの把握とサービス構築に向けての検討
- ◆同性間・異性間・世代間の意識ギャップを埋め、エイジレスで働きやすい職場・社会づくり

## 2-2 テーマ

健康

女性の  
カラダ

ライフ  
イベント

かかりつけの「フレンドナース」によるサポート



継続可能なキャリア形成に取り組める社会

これまでの活動より、女性の方が健康課題が大きく、首都圏女性と比較して地方女性の意思伝達に対する苦手意識も大きい。  
そのような背景より、地方都市では相談窓口が機能しない傾向にあると推測する。



首都圏女性と比較して、地方女性が「意思決定・意思伝達」への苦手意識が強いことが、「さらなる身心不調」かつその身心不調に対する「相談行為に至らない」一因だと仮定し、かかりつけナース制度の機能を使つての効果を確認する。

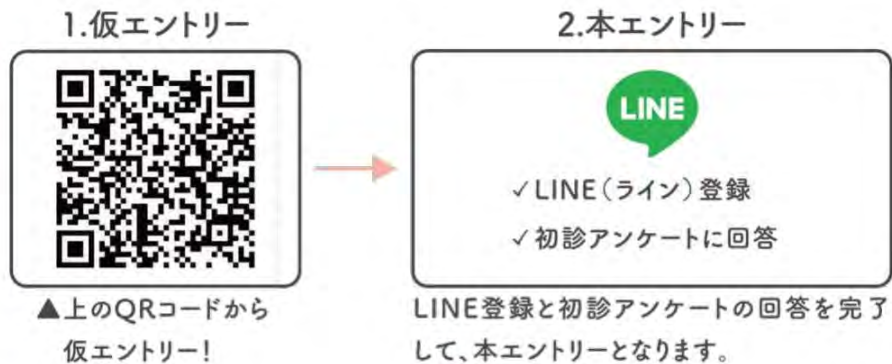
- 24時間好きな時に何度でもかかりつけナースが担当
- 一個人・一家族に寄り添ったパーソナルなサービス
- 小さな不安・不調・サインを見逃さない
- 豊富な人脈と情報で信頼できる施設・専門家へ引継
- 未病期・療養期両面の専門家窓口対応でスムーズかつ安心

## かかりつけナースの価値

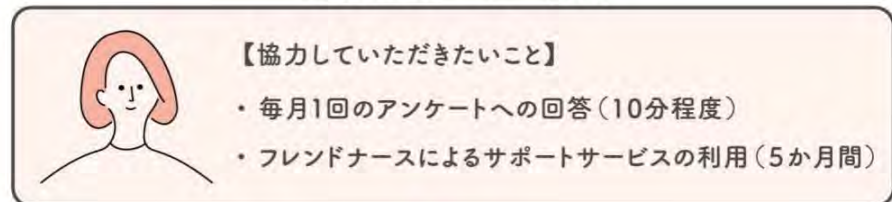
### 利用者にとっての価値

最高の友人  
プロフェッショナル  
最強のサポーター

# 3-1 モニター募集(500名)



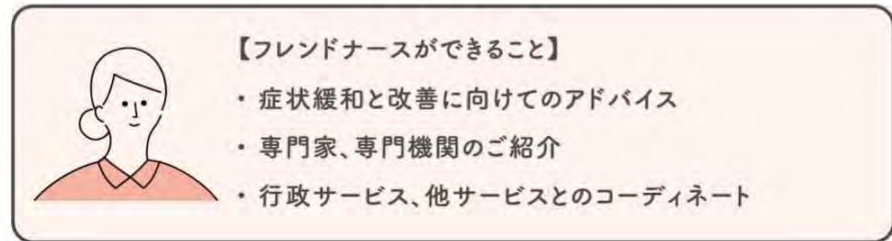
## 5ヶ月間のモニター体験



アドバイス  
紹介  
コーディネート

相談

## フレンドナース



## 募集期間

8/20(月)まで

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

## 応募条件

福岡在住or勤務  
20~50代の働く女性  
Line利用可能  
相談の意思がある

## 5カ月のモニター体験

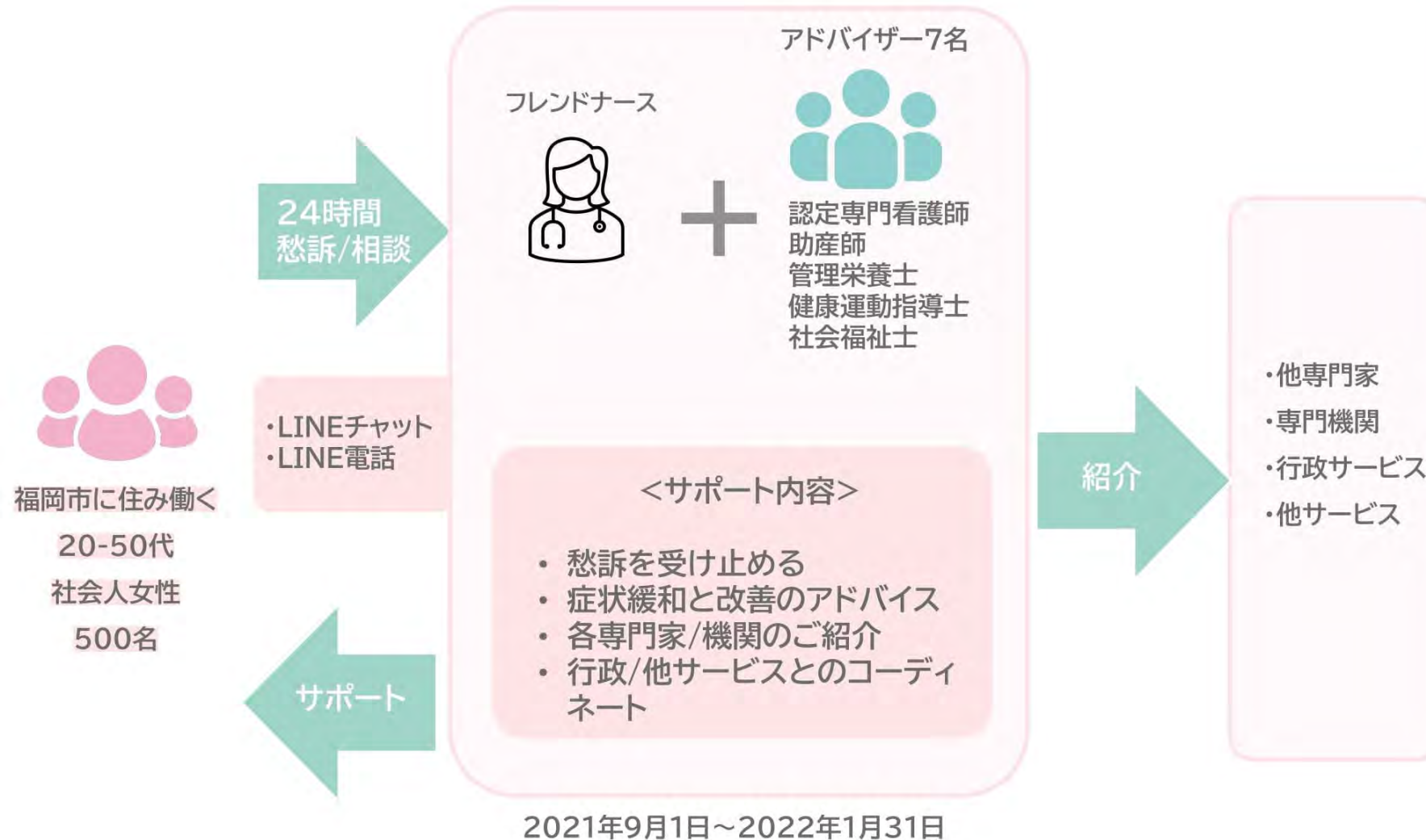
・2021/09/01~2022/01/31

## 主に相談にのれること

・ご自身のことだけでなく、ご家族について  
またどんなに小さな症状や不安でもご相談いただけます。

- ① 症状に関する不安不調  
・PMSや月経不調や整理痛など、整理に関すること  
・不妊治療や疾病などのホルモン治療に関すること  
・産前産後に関すること  
・更年期や不定愁訴に関すること
- ② ライフイベントに関する不安  
・結婚/妊活/出産/社会復帰/子育て/看護/介護/セカンドライフについて
- ③ その他 気になること

# 3-2 意思決定支援の実施体制





# 3-3 意思決定支援の詳細

フレンドナース



アドバイザー



<相談にのれること>

ご自身だけでなくご家族のこともご相談ください。

① 症状に関する不安不調

- ・PMSや月経不調や整理痛など、生理に関すること
- ・不妊治療や疾病などのホルモン治療に関すること
- ・産前産後に関すること
- ・更年期や不定愁訴に関すること

② ライフイベントに関する不安

- ・結婚/妊活・出産/社会復帰・子育て/看護・介護/セカンドライフについて

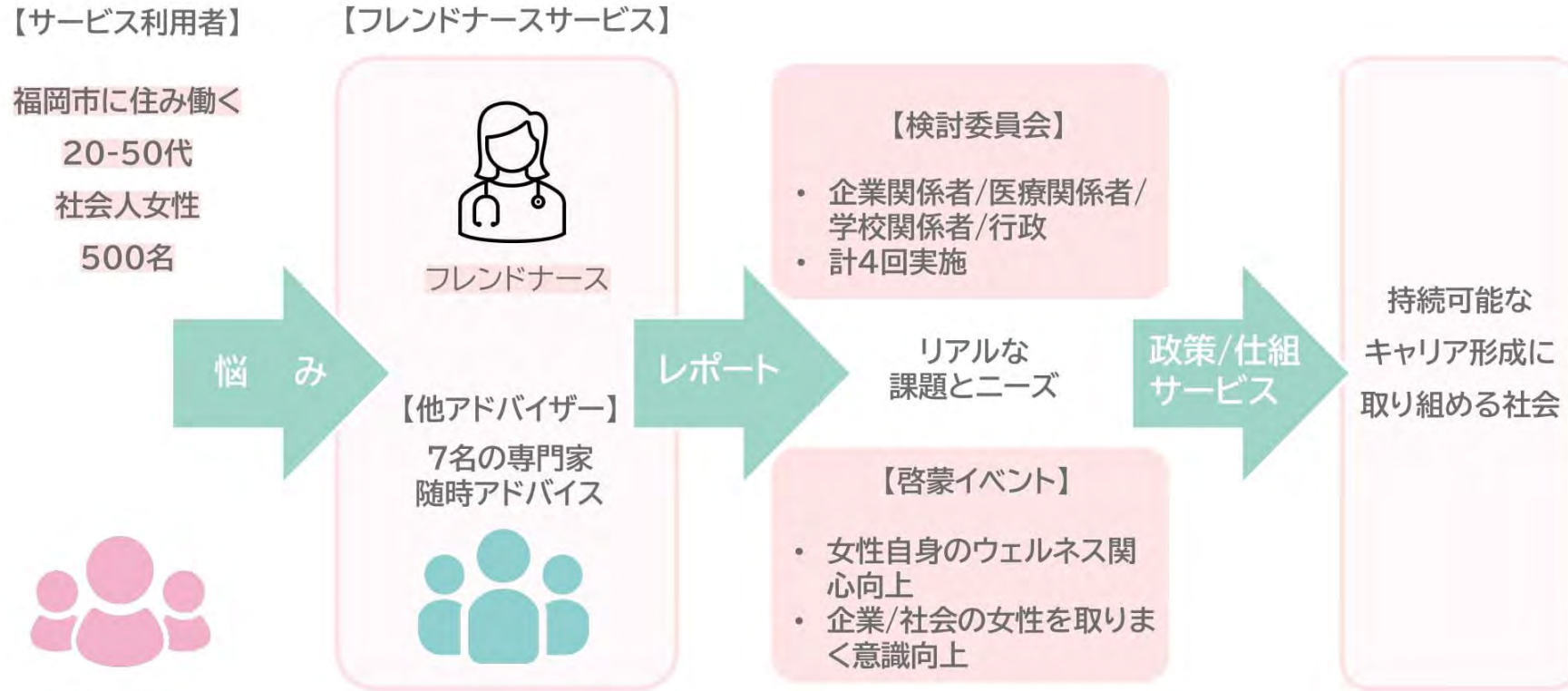
③ その他 気になること

- ・健康なカラダとココロづくりに関する様々なこと

2021年9月1日～2022年1月31日



# 3-4 事業全体の体制



## ～啓蒙イベント～

#

政府・大企業も注目するフェムテック。  
フェムテックとは、Female+Technologyを組合せた造語で、女性が抱える月経や不妊治療などの健康問題をテクノロジーで解決できる分野を指します。SDGsにおけるジェンダー平等や健康といった観点からも注目を浴びるトピックスです。

# Femtech Friendly Fukuoka

フェムテックで変わる私たちの暮らし

8/12(木) 19:00～20:30

オンラインにて開催

参加費無料

お申し込みはこちら

<http://ptix.at/NAQpS6>

Peatix →



生理や出産、それに関わるキャリアの展望といった女性の体と生活をめぐる悩みは今も昔も変わりませんが、フェムテックと関わることで、私たち福岡に住み働く女性たち、そして企業活動はどのように変わるのでしょうか？

「Femtech Friendly Fukuoka」は、フェムテックで変わる私達の暮らしについて考えるオンラインイベントです。

そもそも「フェムテックって何？」という方から、企業内でのダイバーシティ推進や新たなビジネスチャンスとして注目していらっしゃる方、そして9月から始まるサポートサービス実証実験に参加してみたい女性の方々まで役立つイベントになっております。どうぞご参加ください！

参加対象 企業関係者（女性が多く勤める企業など）  
実証実験の参加希望者  
フェムテックに関心のある事業者など

実施方法 オンライン

お申し込み方法 上記QRコードでのお申し込み、もしくは  
[info@wellsuppo.or.jp](mailto:info@wellsuppo.or.jp)にお名前とメールを記載の上  
お申し込みください

主な内容

- ウェルネスサポートLab事業紹介・本実証実験の内容
- パネルディスカッション～なぜ、いまここで、フェムテック？～  
《登壇者》  
笠 淑美（一般財団法人ウェルネスサポートLab代表理事）  
春口 浩子（九州経済産業局 総務企画部 企画調査課）  
企業からのスペシャリスト



一般財団法人ウェルネスサポートLab（本社：福岡市中央区/代表理事：笠淑美）は、日々の暮らしをそして最期の瞬間まで自分らしくありつづけるための社会サポートを行っています。当団体は、女性のからだ・健康の悩みなどのデリケートな問題について、まるで友人のように気軽に相談できる「かかりつけナース」がLINEを使ってサポートする実証実験を、経済産業省 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」を活用して実施します。

主催：一般財団法人ウェルネスサポートLab、株式会社YOUI 協力：九州経済産業局（調整中）

- 両イベントの動員数：150名（アーカイブ参加含）
- 福岡女子商業高等学校での啓蒙活動も実施

# Femtech Friendly Fukuoka

フェムテックで私たちも変わってみよう

2/14月 10:30～12:00

オンラインにて開催

参加費無料

参加対象 企業の人事・経営・新規事業担当者、フェムテックに関心のある方、福岡女性の健康に関心のある方など

「Femtech Friendly Fukuoka」は、福岡市に住み働く20代から50代までの働く女性500名の方とともに実施したフレンドナース実証実験を通じてわかってきた、私たち福岡女性のありようを多くの方にお伝えし、そしてこれからの暮らしを企業や家庭の中でどのように形作っていくことができるか、みんなで考えるオンラインイベントです。

内容

- 1 ウェルネスサポートLab事業紹介・本実証実験の内容
- 2 パネルディスカッション～福岡女性は、変わらなきゃいけない？～

ゲスト



株式会社nijito  
マーケティング戦略室PRチーム  
カスタマーシップ部  
山下 未紗 Yamashita Misa

短大卒業後は化粧品通販の立ち上げ第一号社員として入社。約10年間コンタクトセンターの立ち上げからロイヤルカスタマーの専属担当として顧客との関係構築を経験。その後nijitoの創業からブランド開発までの一連に携わる。プライベートでは国家資格のキャリアコンサルタントを取得。



株式会社岩田屋三越  
取締役執行役員  
総務・経営企画部長  
和田 金也 Wada Kineto

平成4年同志社大学法学部卒業後、同年株式会社岩田屋（現株式会社岩田屋三越）入社。リビング売場担当、人事担当、サロン営業部長を経て、平成28年に取締役総務・経営企画部長に就任。女性が多く働く会社における、多様な物産展、ライフスタイルをふまえたキャリア形成支援に取り組んでいる。

ホスト



一般財団法人ウェルネスサポートLab  
代表理事  
笠 淑美 Iiyu Yashimi

九州芸術工科大学卒業後、ランドスケープコンサルタント会社に入社。その後、長女の小学校入学を機に「持続可能なキャリア形成」を求めてフリーランスに転身し、女性の働き方支援を行う。その一環としてフレンドナースの育成と働き方支援に取り組み始める。2020年1月、一般財団法人ウェルネスサポートLab代表理事に就任。

申込方法

下記QRコードでのお申し込み、もしくは [info@wellsuppo.or.jp](mailto:info@wellsuppo.or.jp) にお名前とメールを記載の上、お申し込みください。



主催：一般財団法人ウェルネスサポートLab  
株式会社YOUI

お申し込みはこちら → Peatix





# 4

## フレンドナースサービス実施内容



## ～人数に関すること～

利用率:45.5%  
(241人/530人中)

相談人数		9月	10月	11月	12月	1月
相談人数	新規人数	128	22	55	16	20
	既存人数	0	43	79	64	85
	計	128	65	134	80	105
	累計人数	128	150	205	221	241

## ～内容に関すること～

女性特有:44.1%  
(365/827件中)

相談内容		9月	10月	11月	12月	1月	合計
身心不調不安	PMS等の月経に関する身心不調・不安	40	5	13	4	6	68
	不定愁訴に関する身心不調・不安	81	46	59	20	12	218
	更年期に関する身心不調・不安	15	5	3	6	6	35
	女性特有の疾患に関する身心不調・不安	4	0	2	2	3	11
	不妊治療に関する身心不調・不安	2	0	4	2	1	9
	産前産後に関する身心不調・不安	11	3	3	2	1	20
	療養期に関する身心不調・不安	11	7	10	15	12	55
	その他の身心不調・不安	28	4	6	19	38	95
	受診(科)に関する迷い・不安	7	4	4	2	2	19
	アピアランスに関する悩み・不安	6	3	3	3	7	22
ライフイベント	仕事に関する迷い・悩み	13	1	5	11	14	44
	妊活・出産に関する悩み・不安	1	1	1	0	1	4
	子育てに関する悩み・不安	4	3	2	5	3	17
	看護・介護(家族)に関する悩み・不安	8	5	17	6	8	44
	老後に関する悩み・不安	1	0	0	0	0	1
	人間関係(パートナー)に関する悩み・不安	3	0	3	1	0	7
	人間関係(職場)に関する悩み・不安	4	4	8	3	1	20
その他	人間関係(その他)に関する悩み・不安	0	0	4	2	2	8
	生活習慣(運動・食・睡眠)	3	0	1	1	0	5
	その他(サンクスメール、日程調整)	9	7	17	11	43	87
	その他(コロナ)	27	3	1	1	6	38
相談件数合計		278	101	166	116	166	827
相談累計件数		278	379	545	661	827	



～対応に関すること～

傾聴:48.2%  
FN単体:42.7%

対応内容	9月	10月	11月	12月	1月	合計
傾聴 (フレンドナース)	74	49	114	70	92	399
アドバイス (フレンドナース)	167	41	45	35	65	353
アドバイス (アドバイザー1人含む)	21	6	5	8	7	47
アドバイス (アドバイザー2人以上含む)	5	1	0	0	1	7
紹介 (アドバイザー)	1	0	0	0	1	2
紹介 (その他専門機関)	10	4	2	3	0	19
月次合計	278	101	166	116	166	827

～対応内容の詳細～

受診の推進130件  
中、女性特有の症状  
に対するものは2/3

サポート内容	9月	10月	11月	12月	1月	合計
食習慣改善	21	6	5	2	5	39
運動習慣改善	26	3	4	8	4	45
睡眠習慣改善	31	8	12	3	9	63
基礎体温測定	2	2	2	0	0	6
生理対策	2	1	1	0	0	4
冷えむくみ対策	2	1	2	0	0	5
疾患症状治療について	7	7	8	3	0	25
薬剤について	16	3	2	0	0	21
メンテナンス提案	1	0	0	2	1	4
医療機関受診の提案	13	6	5	5	17	46
婦人科受診提案	18	9	5	5	7	44
女性特有症状に関する受診科の提案	24	7	1	5	3	40
傾聴	74	49	112	30	9	274
フォロー・経過伺い	75	45	111	65	65	361
その他(承認含)	18	9	9	13	6	55
月次合計	330	156	279	141	126	1032

●受診推進55件/130件中受診、内9名が疾病発見に至る

※甲状腺腫瘍、緑内障、非結核性抗酸菌症、微小血管狭心症、ヘルニア、靭帯損傷、坐骨神経痛、良性発作性頭位めまい、過敏性腸症候群

●傾聴、フレンドナース単体アドバイスでほとんどを占める

●生活習慣(受診のタイミング含)のアドバイスがほとんどを占める、習慣として定着するまでの長期的なかかわりが重要

## ～AD別相談件数～

アドバイザー種別	9月	10月	11月	12月	1月	合計
助産師	8	3	0	3	1	15
管理栄養士	3	3	1	0	0	7
健康運動指導士	7	0	1	2	0	10
社会福祉士	0	0	0	0	2	2
乳腺専門看護師	0	1	0	0	3	4
不妊治療看護師	0	0	0	0	0	0
がん認定看護師	0	0	0	0	1	1
アピアランス	4	1	3	3	1	12
月次合計	22	8	5	8	8	51

## ～クーポン利用詳細～

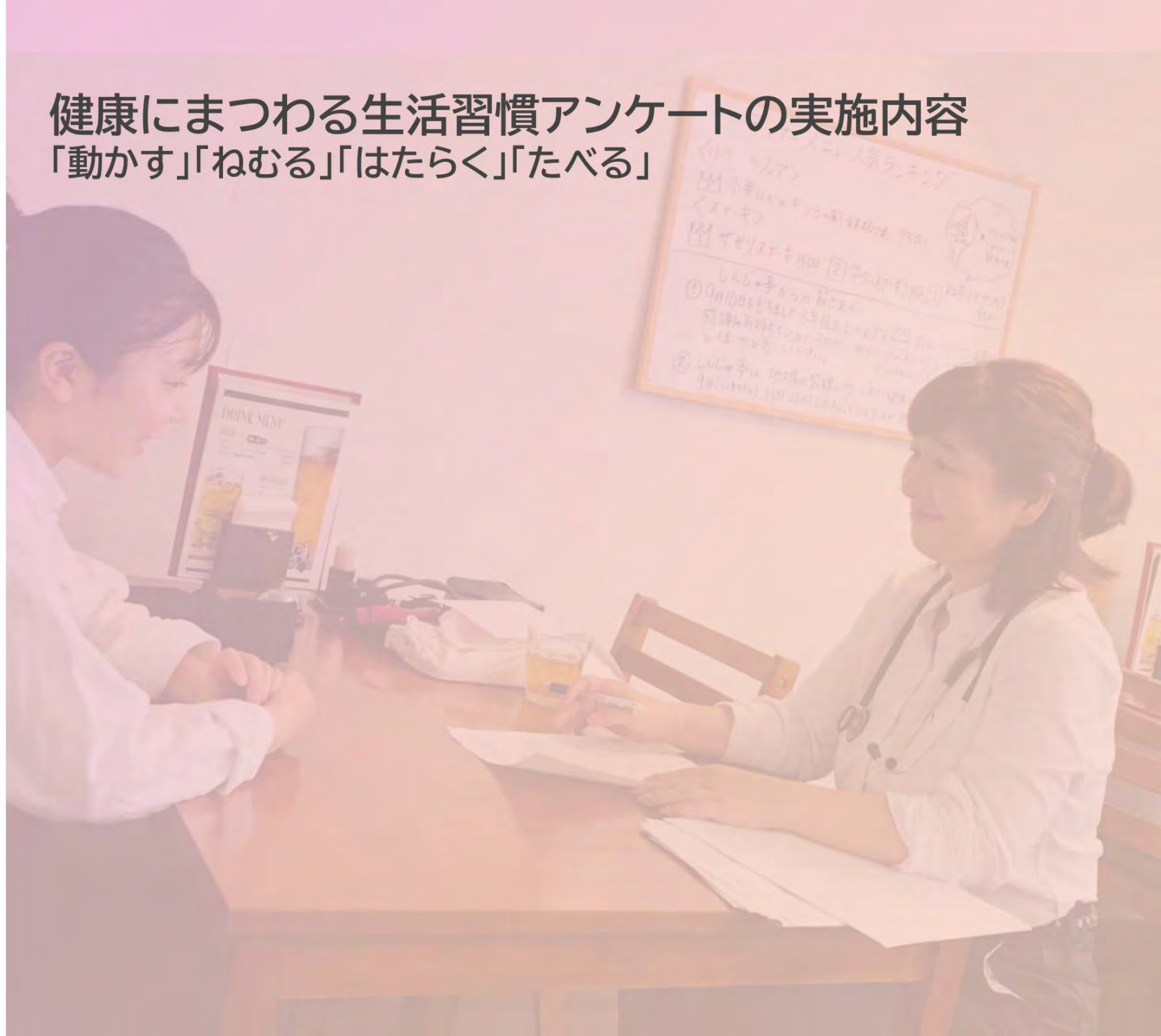
アドバイザー種別	9月	10月	11月	12月	1月	合計
助産師	0	0	0	1	0	1
管理栄養士	0	0	0	0	0	0
健康運動指導士	0	0	13	3	10	26
社会福祉士	0	0	0	0	0	0
乳腺専門看護師	0	0	0	0	0	0
不妊治療看護師	0	0	0	1	0	1
がん認定看護師	0	0	0	0	0	0
アピアランス	0	0	0	1	0	1
月次合計	0	0	13	6	10	29

- 専門家別の「助産師」「健康運動指導士」「管理栄養士」の利用が多い
- ライフイベントでは「産前産後」チームの身心の変化に対応できる気軽な相談窓口の不足が推測される
- 長期的な生活習慣内では「動かす」「食べる」ための個別なアドバイスを要していることが推測される



# 5

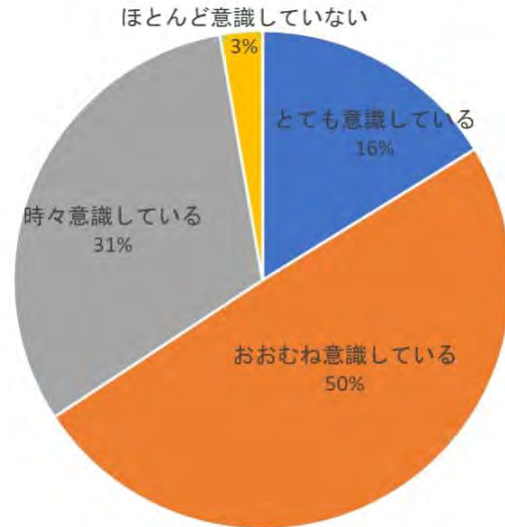
## 健康にまつわる生活習慣アンケートの実施内容 「動かす」「ねむる」「はたらく」「たべる」



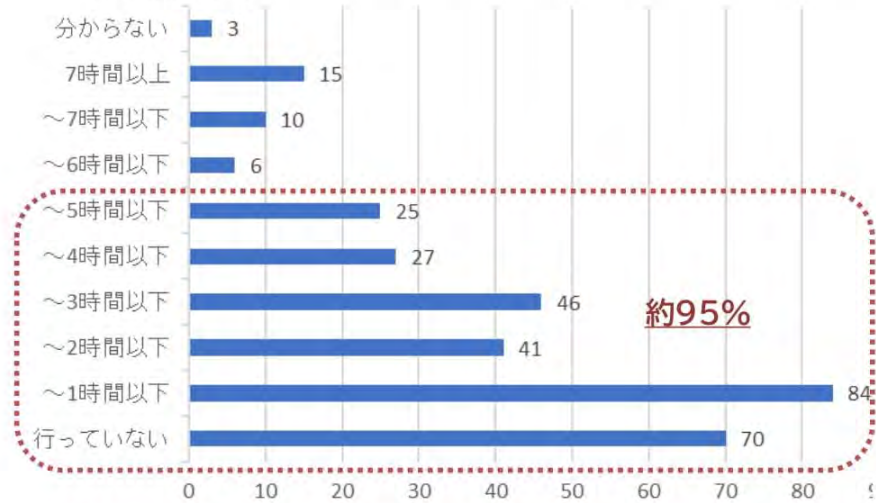
～福岡の働く女性の7割が健康意識を持つが、実際の運動量・強度は少ない傾向に！！～

うごかす

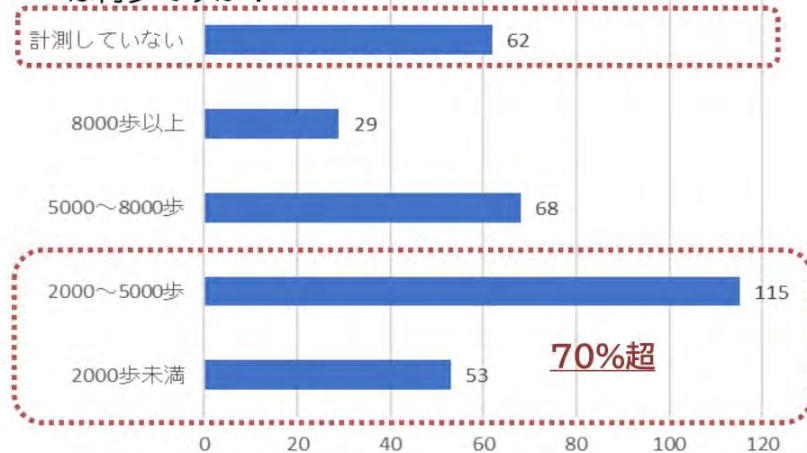
Q:現在、どれくらい健康に意識して暮らしていますか？



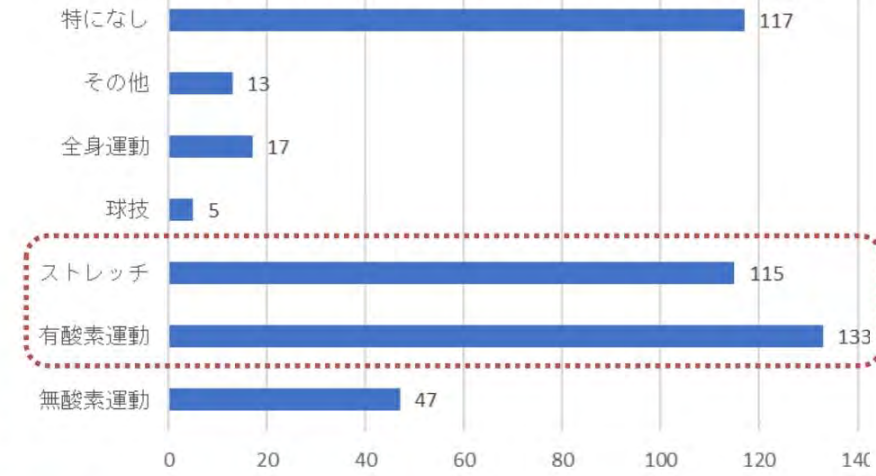
Q:過去1ヶ月を振り返って、一週間当たり合計で何時間運動をしましたか？



Q:過去1ヶ月を振り返って、日常生活での一日平均歩数は何歩ですか？



Q:過去1ヶ月を振り返って、どんな運動を主にしていますか？



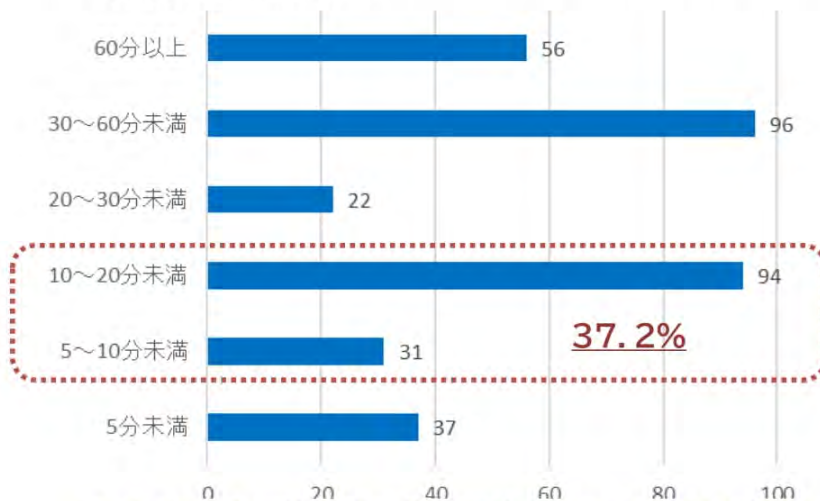
世界保健機構(WHO)「運動・身体活動と座位行動に関するガイドライン」

●週に150～300分の中強度の有酸素運動、もしくは75～150分の高強度有酸素運動、またはその組み合わせで同等の時間・強度となる身体活動 ●一週間のうち2日は、中強度以上の負荷で筋力トレーニング ●座位行動は低強度でもいいので身体活動に置き換える

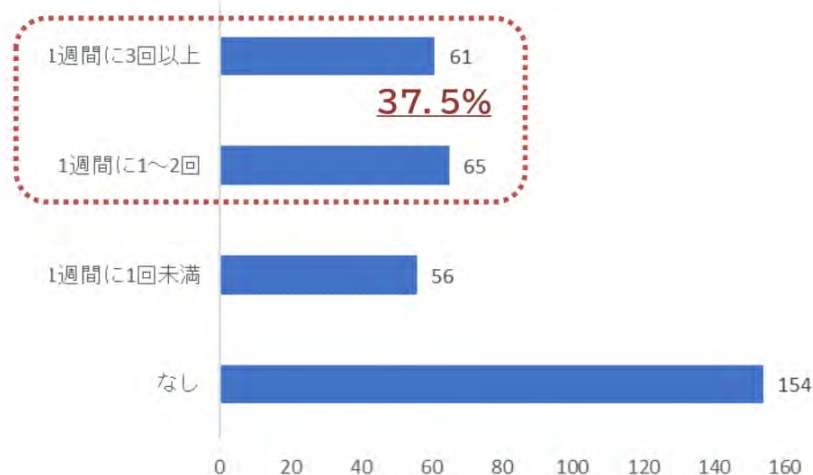


## ～回答者の2/3が睡眠障害を抱えている！！～

Q:過去1ヶ月を振り返って、寝床に入って寝るまでにどれくらい時間を要しましたか？

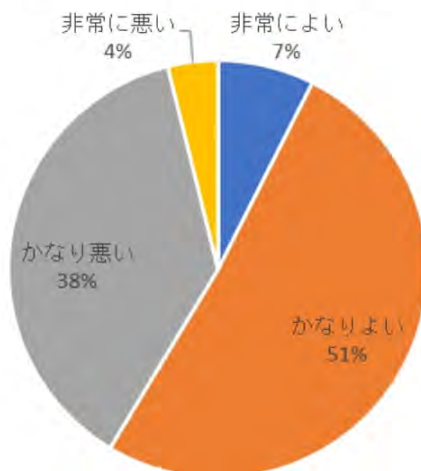


Q:過去1ヶ月を振り返って、「途中覚醒」のために睡眠が困難でしたか？

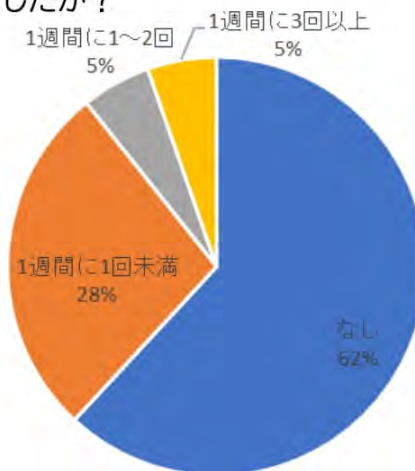


そのほか自由回答による他睡眠障害については62件/336件中寄せられ、一般的な体調不良・不安だけでなく、女性特有の身心不調や、家族に起因するものも多く含まれる。

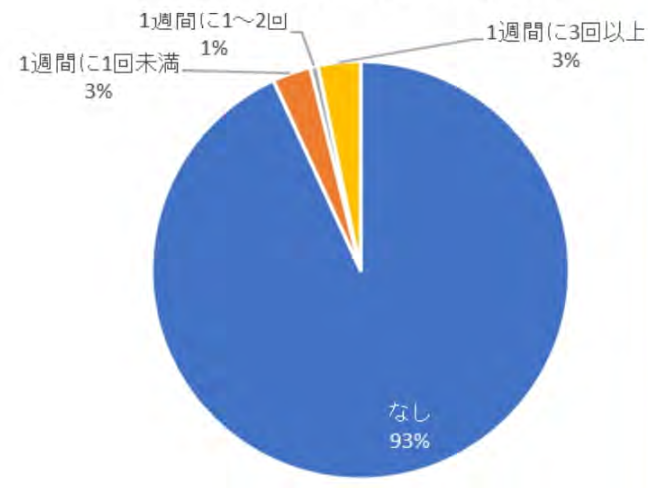
Q:過去1ヶ月を振り返って、睡眠の質をどのように感じますか？



Q:過去1ヶ月を振り返って、社会活動中に眠くておきていられなくなりましたか？



Q:過去1ヶ月を振り返って、眠るために薬(市販薬)を服用しましたか？



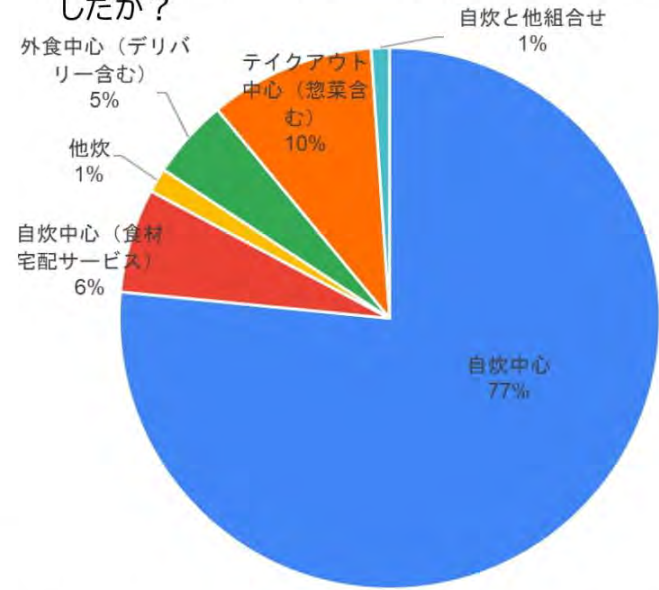
実際の「睡眠の質」と自意識の差に関する意識差や、不調を改善しない傾向より、対処に至っていない現状が推測

～福岡の女性は仕事・家事が忙しくても、「美容・体質改善」のために断然自炊派！～

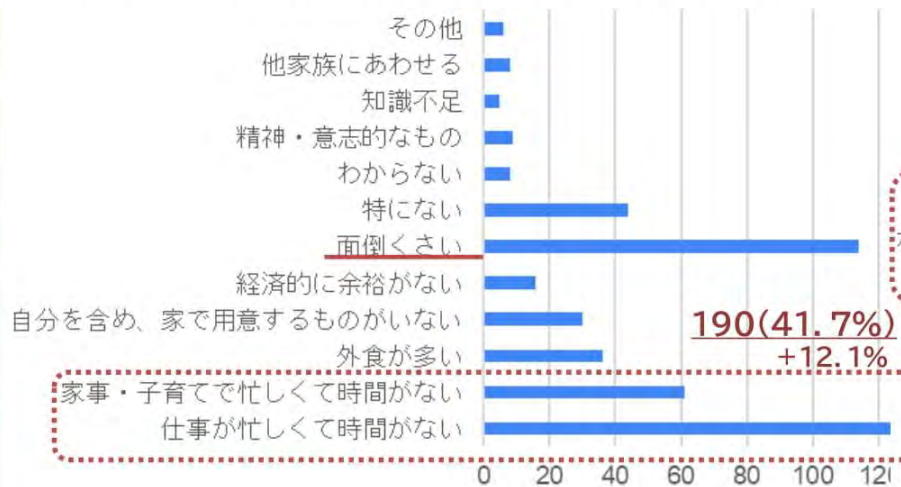
Q:食生活を改善しようとしていますか？



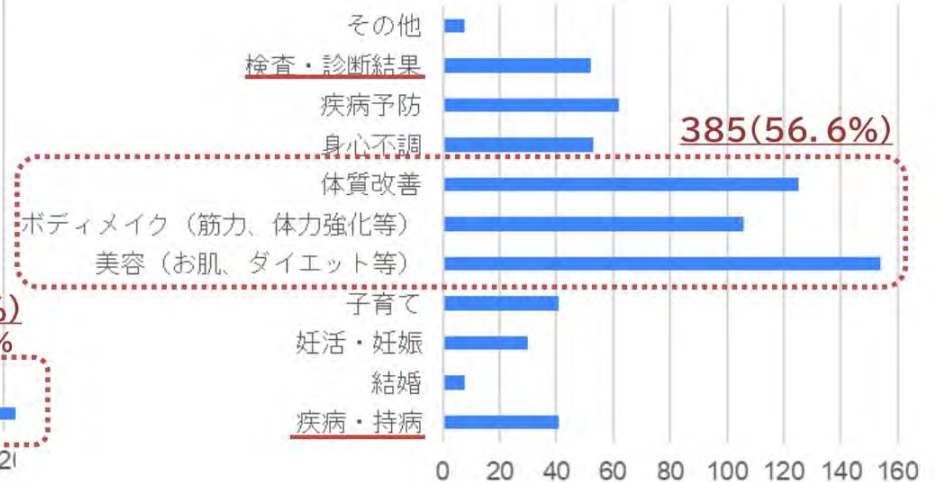
Q:過去1か月を振り返って、主な食事の方法はなんでしたか？



Q:健康な食習慣の妨げとなっていることは何ですか？



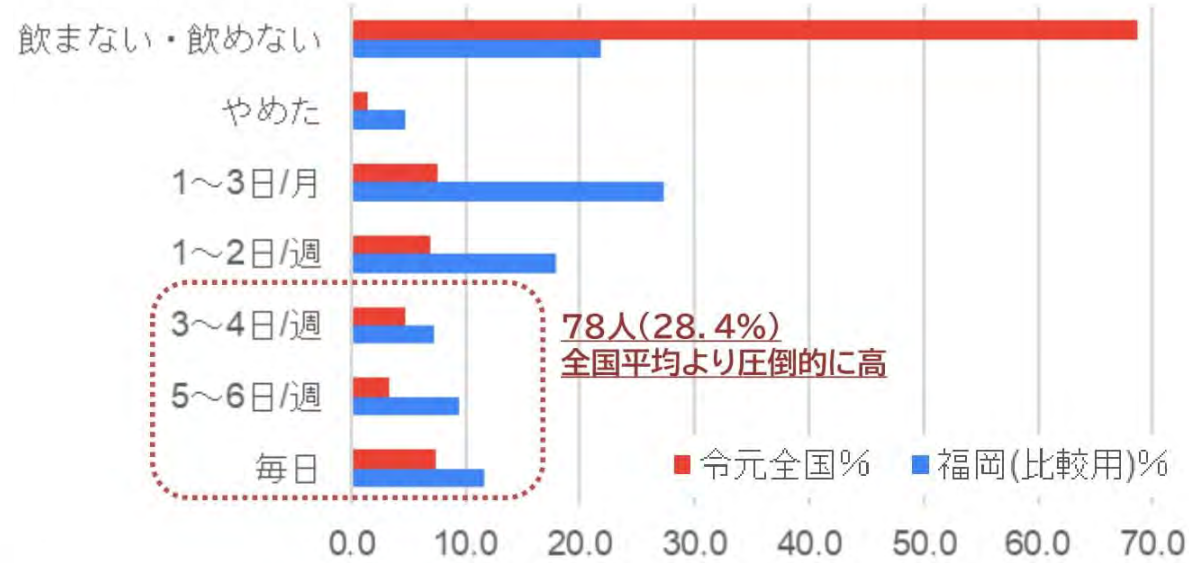
Q:食習慣の改善に関心を持ったきっかけは何ですか？



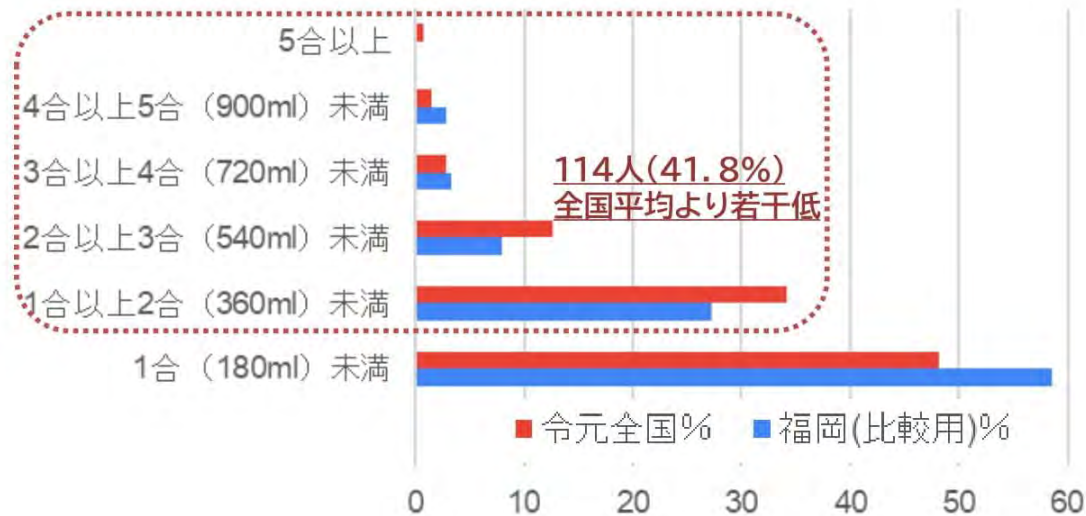


～福岡の女性は飲みにケーションが好き?!生活習慣病予備軍が潜む～

Q:過去1か月でお酒をどれくらいの頻度で飲みましたか？



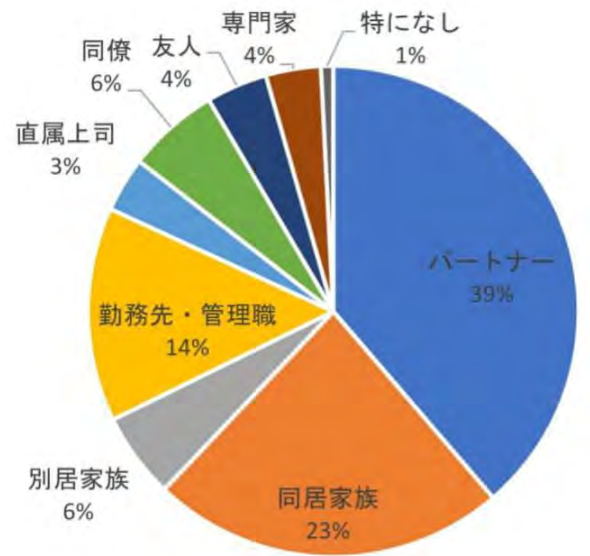
Q:お酒を飲むときは一日あたりどれくらいの量を飲みますか？



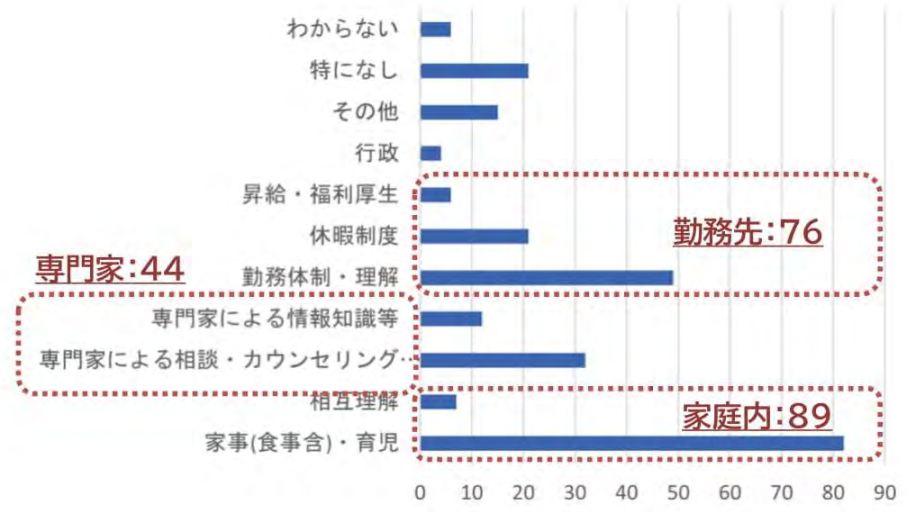
健康日本21では生活習慣病のリスクを高める量を「3日/週以上、20%<sup>2</sup>(男性の半量)/日以上」としています。

～福岡の女性の約7割が「パートナーや家族」から「家事育児」サポートを必要としている！～ はたらく-1

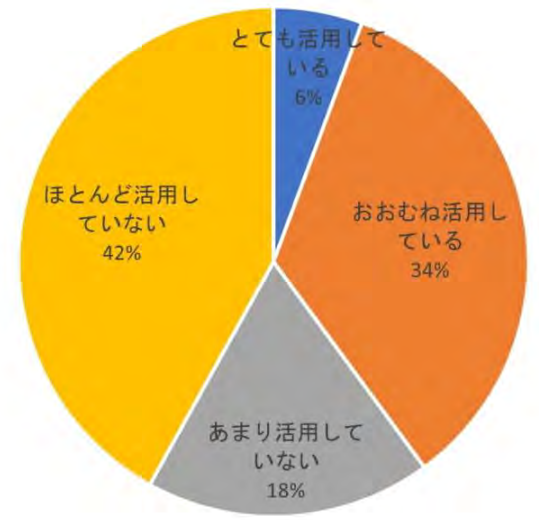
Q:健康と仕事を両立するために誰からのサポートが一番必要ですか？



Q:健康と仕事を両立するためにどんなサポートがあるとよいですか？



Q:勤務先の制度をどれくらい活用していますか？

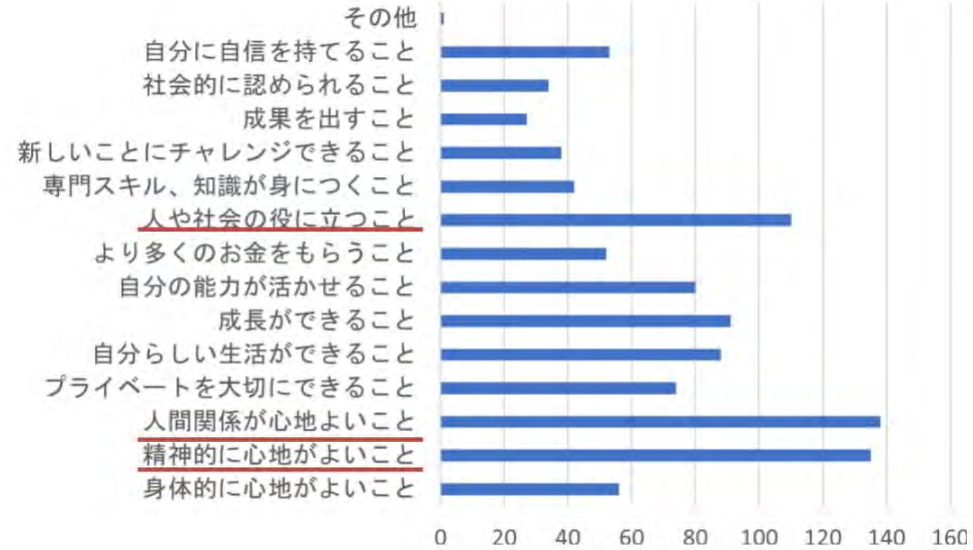




## ～福岡の働く女性は職場の人間関係が良いと精神的に心地よい?!～

はたらく-2

Q:働くことを通して求めているものは何ですか？



## ～福岡の働く女性とパートナー・職場間に認識ギャップは?!～

Q:パートナーや職場に理解してほしいことは何ですか？



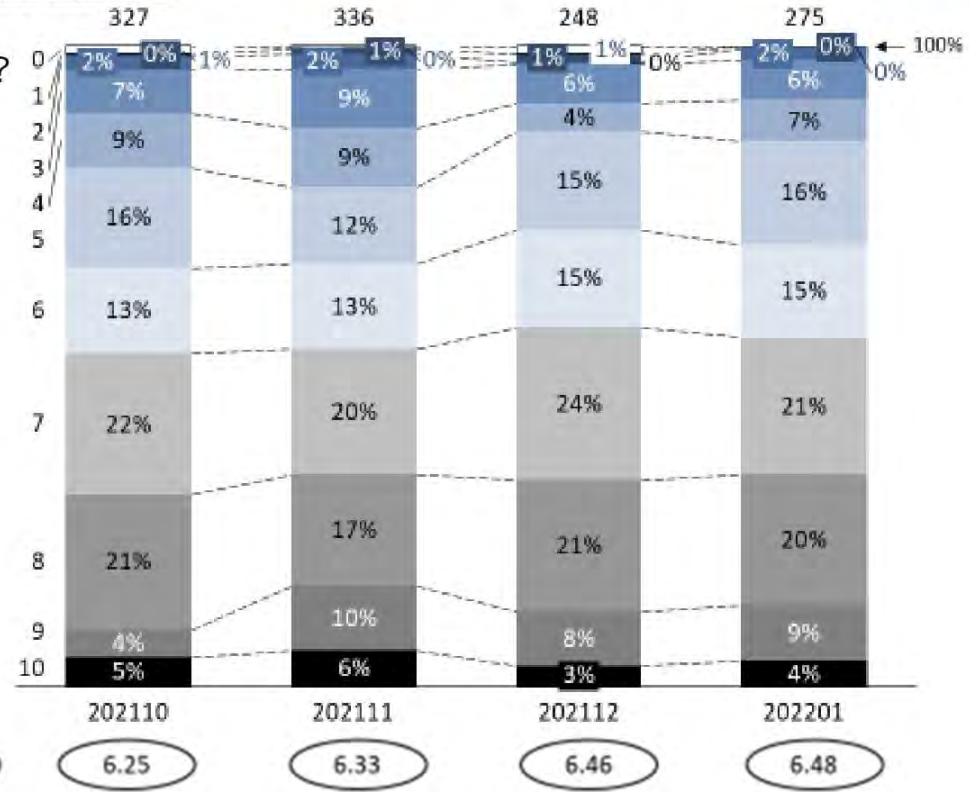
# ～福岡の働く20代女性は幸せを感じていない?!～

ウェルビーイング

Q:現在の暮らし全般について満足していますか？

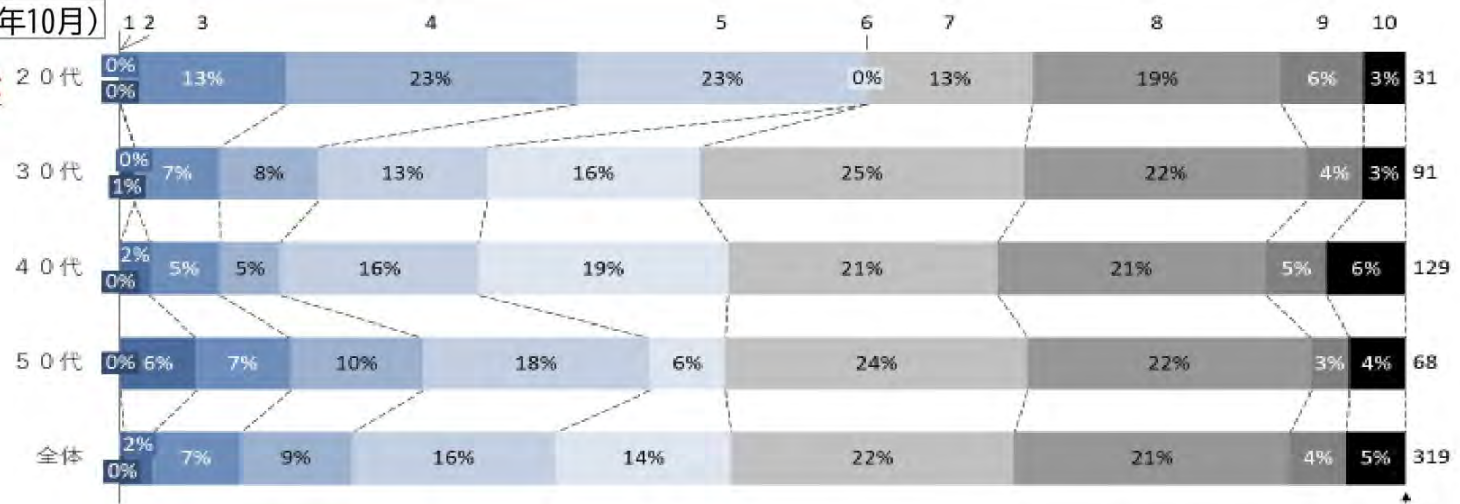
全体推移(2021年10月～2022年1月)

2021年全国平均5.8に比べて  
高い傾向



年代別分布(2021年10月)

20代の満足度が  
低い傾向





# ～啓蒙リーフレット～

## 動かす

### 健康への意識 回答合計 327人

とても意識している	53人
おおむね意識している	162人
時々意識している	103人
ほとんど意識していない	9人

健康への意識は約7割の人が意識している一方、実際運動をしている人は少ない



### 一日平均歩数 回答合計 327人

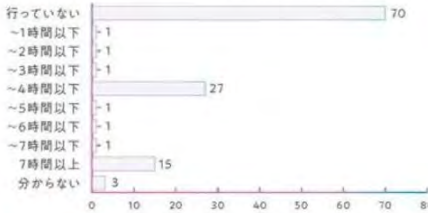
過去1ヶ月を振り返って、日常生活での一日平均歩数は何歩ですか？

2000歩未満	53
2000～5000歩	115
5000～8000歩	68
8000歩以上	29
計測していない	62



### 運動時間 回答合計 814人

過去1ヶ月を振り返って、一週間あたり合計で何時間くらい運動をしましたか？

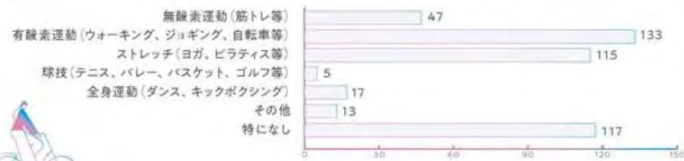


世界保健機関 (WHO) 「運動・身体活動と座位行動に関するガイドライン」  
対象別運動・身体活動の推奨事項(一部抜粋)  
※一般的な成人 18～64歳  
●週に150～300分の中強度の有酸素運動、もしくは75～150分の高強度の有酸素運動、またはその組み合わせで同等の時間・強度となる身体活動を実施する。  
●1週間のうち2日は、中強度以上の負荷をかけた筋力トレーニングを取り入れる。  
●座位行動は低強度でもいので身体活動に置き換える。

運動をしている人も、理想的な運動量と比較すると、十分な量ではない。

### 運動種類 回答合計 580人

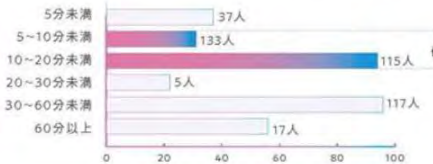
過去1ヶ月を振り返って、どんな運動(通勤での自転車、ジョギングも含む)を主にしていますか？



## 眠る

### 入眠時間 回答合計 336人

過去1ヶ月を振り返って寝床について寝るまでどれくらい時間を要しましたか？

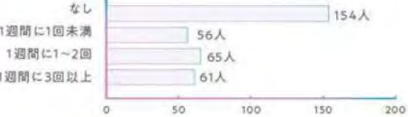


健康的な入眠時間

回答者の2/3が睡眠障害を抱えている

### 中途覚醒頻度 回答合計 336人

過去1ヶ月を振り返ってどれくらいの頻度で、以下の理由のために睡眠が困難でしたか？



1週間に1回以上の頻度で、夜間または早朝に目が覚め、睡眠が困難と感じた人は約30%



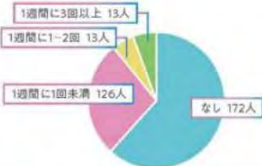
### 睡眠の質 回答合計 336人

過去1ヶ月を振り返って睡眠の質をどのように感じますか？



### 睡眠影響の頻度 回答合計 336人

過去1ヶ月を振り返ってどのくらいの頻度で、車の運転や食事中、勤務中などその他の社会活動中に眠くて起きていられなくなりましたか？



### 市販薬服用の頻度 回答合計 336人

過去1ヶ月を振り返って、どれくらいの頻度で、眠るために薬(市販薬)を服用しましたか？



# 6

## サービス提供について





# 6-1 企業ヒアリングの結果

## ① A社（スキンケア・ヘアケア商品の製造・販売）

- 女性の多い会社には向いていると思う。
- 導入メリットが伝わりづらい印象。働く人が大事、働く人が健全に働くうえで「ちょっとしたこと」を伝える場があることの重要性をお伝えする必要があるのでは。
- 福利厚生としてであれば、1社員あたり1000円以下／月額ほどが予算なのではないか。オプションとしてセミナーの開催、啓蒙啓発の機会を作るなど。人事が研修をするのも大変なので、オプションでセミナー・ワークショップをするなど。
- 守秘義務の範囲内で、傾向がわかる、大きな心身の不調がある時に会社への報告をするなどはほしいが、会社とは別のサービスとして軸にしたほうがいいのではないか。

## ② B社（インテリア・ライフスタイル雑貨販売）

- 自社は女性社員が多く、女性特有の心身不調の課題はあることは経営層も理解している。日常的に相談を受けてもらえるサービスはよい。
- メールのアカウントのシステムみたいに、ひとり〇円で、何人あたりいくら、年間で〇〇円など。福利厚生費として一人あたり月1,000円100人だと月額10万円。年間で120万円と考えると安いのではないか。
- どういった傾向があるか、他社との差などがわかると、自分の会社がどうかなどわかるのでいいのではないか。
- 他社でもニーズがあるのではないか。既存に女性専用サービスがあるが、女性と男性とが働きやすくなるためのサービスとしてPRすることがよいのではないか。

# 6-2

## 企業ヒアリングの結果

### まとめ

- 女性社員が多く働く企業3社へのヒアリングを実施(ヒアリング対象者は男性2名・女性 1名ずつ)
- アンケート結果および、福利厚生としてフレンドナースサービスを導入するにあたっての所感をヒアリングした。
- 3社とも、福利厚生としてサービスを導入することについては前向きなコメントを頂けた。
- 会社として相談内容を把握することは必要がないが、企業としての状態をフィードバックしたり、状態に合わせて改善策提案についてのニーズを伺えた  
(セミナーの実施、経営陣への戦略アドバイスなど)

# 6-3

## モニターインタビューの結果

### 背景

- モニター530名中、利用の合った方の中から20代、30代、40代、50代の各世代より、正社員とパートタイマーの方を合計13人選出し、ビデオチャットまたは電話でインタビュー(約30分)を行った。
- インタビュー項目は、①モニター登録をしたご自身の背景、②チャット相談を始めて使った際の動機、③使ってみて良かったこと、④改善してほしいこと/プラスであると良いこと、⑤暮らしの変化、⑥値段について、⑦その他

### まとめ

- 病院に行くほどではない身心不調や不安(コロナ含)を認識している方、ナースが行うオンラインサービスに興味がある方が該当
- 配信情報での「相談事例」が最初のきっかけとして効果的
- 一度利用すると友人感覚で、気軽に利用でき、専門家としての安心感が感じれる
- 不調を受容し、振り返る習慣で自己肯定感が向上した方がほとんど、行動改善につながると自信がもてる
- 利用時、不利用時の同一金額への抵抗があるよう
- ウェルサポの活動やフレンドナース制度に興味を示す方が多い



# 7-1

## 問題点

不調が  
通常化

年代を重ねる毎  
長期化・複雑化  
慢性的

健康がフック  
ではない

公私ともに  
Myプロジェクトの  
設定がない

コミュニケーション  
苦手意識

何を相談していいか  
相談していい内容が  
わからない

行動喚起(相談含む)+習慣化が困難な状況



「健康＝不安不調がないこと」という前提社会



# 7-2 課題点

不安不調を  
明らかにする  
受け入れる

はたらきかけ・継続的  
寄り添い・For You  
多種多様

## 啓蒙活動

自身と企業・社会間の認識ギャップを埋めるための多種多様なイベント

## 相談窓口

オンライン・オフライン両様で働きかけと傾聴(ディープリスニング)力を駆使した長期的かつかかりつけ感で安心な環境づくり

## 振り返り

定期的なmyプロジェクト設定と振り返りで習慣化トレーニング

## 他地域展開

各地域のステークホルダー・社会資源との協力体制

# 8-1

## 来年度以降の事業展開

### ① フレンドナースチャット相談業務

- 【To B】 福岡市内3企業へのトライアル実施
- 【To C】 活動PRの検討実施、サービス内容の見直し提供
- 【To G】 他地域展開

### ② サービス・施策への提言

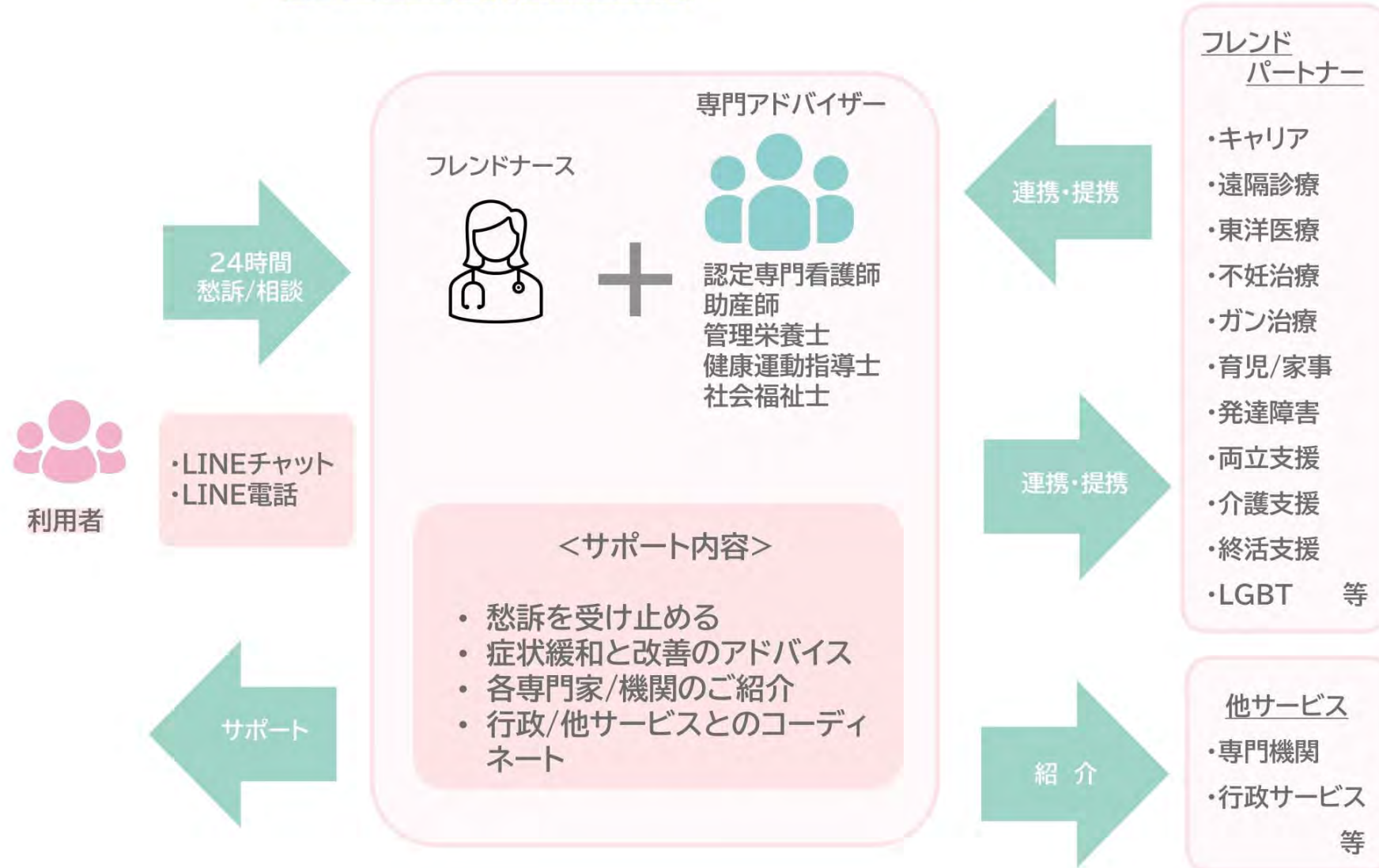
- 「記録」「振り返り」をテーマとしたプロダクツの検討

### ③ 啓蒙活動

- リーフレット、実証事業結果をもとに教育機関、企業を中心に啓蒙イベント、講習の実施
- 「自分磨き」「美容」「社会貢献」をキーワードにしたイベント開催
- メディア活動

# 8-2 意思決定支援の体制強化

実証事業期間に連携協定企業さまの他に、誰しもが「心身ともに健やかで持続可能なキャリア形成」のできる社会づくりにともにチャレンジして下さる「フレンドパートナー」を募集しております。





# 8-3

## 企業・自治体の皆様へ

誰しもが「心身ともに健やかで持続可能なキャリア形成」のできる社会づくりにともにチャレンジして  
くださる企業・自治体様のお問合せお待ちしております。

【目的】 不安不調期と療養期のワンストップ対応で、働く（住む）人々の持続可能なキャリア形成と健やかな地域社会づくり

### ① 3ヶ月の企業向けトライアルパックの実施

- ・ 期間：3ヶ月（以降、有料プランにて継続可能）
- ・ 費用：トライアル期間中は無料
- ・ 提供サービス：フレンドナースによるチャット相談24時間受付、対応時間は7:00-21:00
- ・ 健康情報や相談喚起の情報配信
- ・ 傾向に合わせたセミナー
- ・ 担当者様への報告面談

### ② 他自治体（地域）展開モデルの実施

- ・ 各自治体の課題と特徴を活かした独自モデルの提案とトライアル実施
- ・ 各自治体の社会資源をフルに活用
- ・ 看護スキルを活かしたオフラインとオンラインのハイブリッド型のサービスモデル
- ・ イベントや講習なども交えた啓蒙活動と不安解消の両面でサポート
- ・ 各自治体の傾向分析よりリアルな課題の抽出

#### 【お問合せ】

一般財団法人ウェルネスサポートLab  
メール：[ryu.y@wellsuppo.or.jp](mailto:ryu.y@wellsuppo.or.jp)

担当者：笠 淑美/ Yoshimi Ryu  
web：<https://www.wellsuppo.or.jp>



# 05.

不妊治療患者を対象にした遠隔医療スキームの確立、および、  
不妊治療啓発の動画コンテンツ作成  
(vivola株式会社)

# vivola

経産省 令和4年度  
「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」

## 最終報告会

vivola株式会社  
代表取締役CEO 角田夕香里



# 本プロジェクトメンバー

vivola

doctor

NPOフォレシア ライフサカス



齊藤英和先生  
生殖医療専門医



前田恵理先生  
妊活/不妊の母子保健の研究者



佐藤高輝代表  
不妊治療と仕事の両立支援



西部沙緒里  
「UMU」メディア運営

実証実験の場の提供

生殖医療  
クリニック

自治体

徳島市、広島県等  
6か所

ウエルネス  
コミュニケーションズ  
株式会社

東京海上  
HD

# Agenda

1. 事業計画（事業目的と実施事項）
2. 事業計画の実施内容および成果と課題
  - －啓発コンテンツ導入
  - －遠隔診療システムのスキーム確立
3. 今後の事業展開



# 1.事業計画

不妊治療と仕事との両立には職場と通院環境の両側面からのサポートが必要

不妊治療と仕事  
両立

企業研修の啓発コンテンツ

アニメ動画 + 有識者 + レポート



リテラシー

医療機関向け診療システム

病病連携システム



1. 企業のリテラシー導入

2. 遠隔医療スキームの確立

## 2.事業計画に基づき実施したこと

### 1. 啓発コンテンツ（3分動画制作）

—不妊治療患者向け—  
プレニンカツ



アニメ動画  
シリーズ化  
啓蒙効果促進を狙う

令和2年度厚生労働科学研究費補助金  
「『不妊に悩む方への特定治療支援事業』のあり方に関する医療政策的研究」事業

### 本事業対象

—若年層の健康管理—  
プレコンセプションケア



未来の当事者  
を減らす

—企業の人事・管理職向け—  
不妊治療と仕事の両立ケア



いまの当事者  
負担を減らす





## 2. 事業計画に基づき実施したこと

### 1. 啓発コンテンツ（企業研修導入、2カ月間）

#### 自治体共催セミナー

#### 個社セミナー



自治体 **6** か所  
中小企業  
**80** か所

東京海上日動

SHISEIDO

meiji

FANCL

WELLNESS  
communications

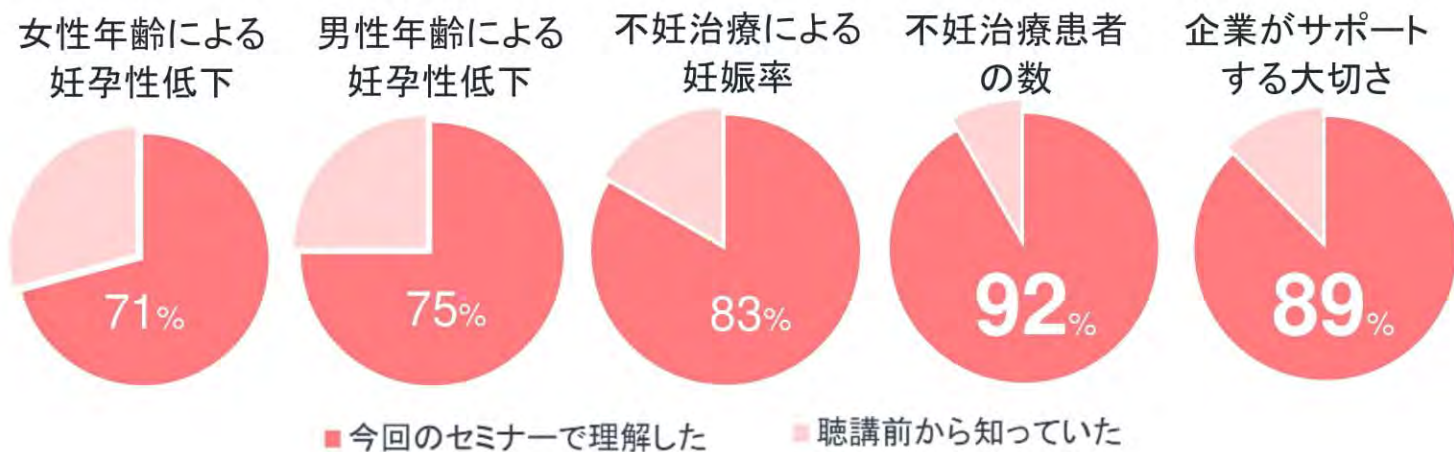
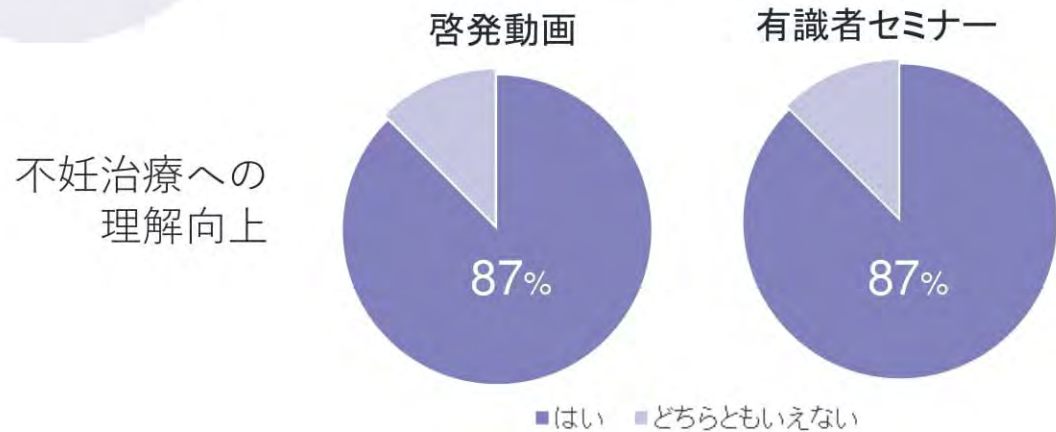
大企業  
**20** か所



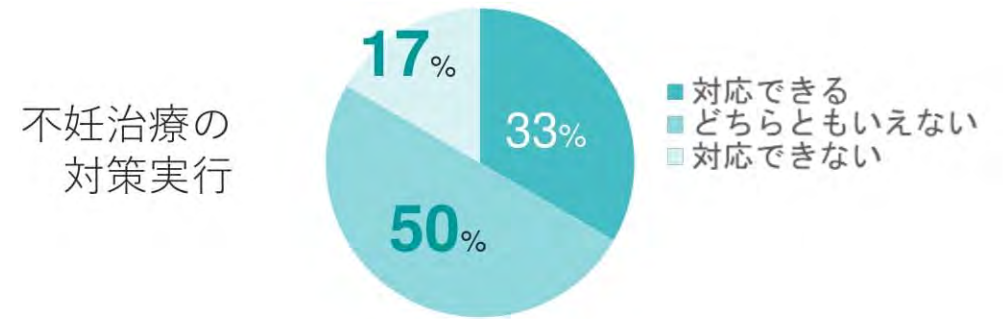
## 2.実施成果と課題

### 1. 啓発コンテンツ（効果検証：大企業）

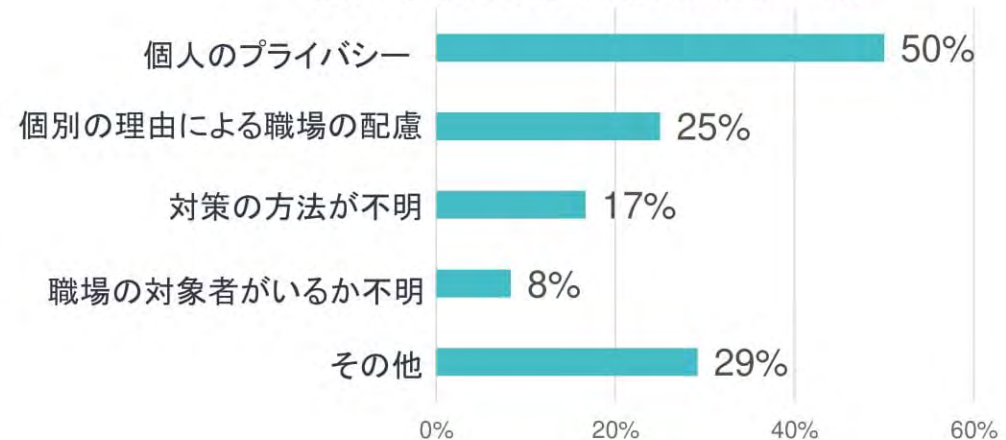
#### 実証結果



#### 今後の課題と対策



#### 社内で不妊治療対応の障壁は何か



## 2.実施成果と課題

### 1. 啓発コンテンツ（効果検証：大企業）

本セミナーにより、**9**割の企業が、

生殖医療の知識を身に着け、

不妊治療患者の数を  
知り、  
企業としてサポート

が重要であることを理解した。



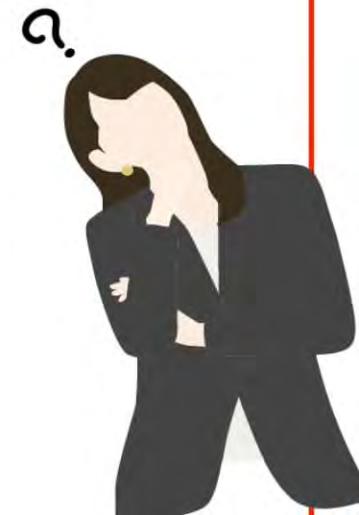
すぐには対応できない企業が**67%**

各企業の回答理由から、  
対策モデルケース化

- ①第3者機関設置
- ②特別でない柔軟な制度設計
- ③アクションプランとKPIの提示



5月以降正式ローンチへ



## 2.実施成果と課題

### 1. 啓発コンテンツ（効果検証：地方・中小企業）

#### 実証結果

不妊治療への  
理解向上



■はい ■どちらともいえない

#### セミナーTIPS

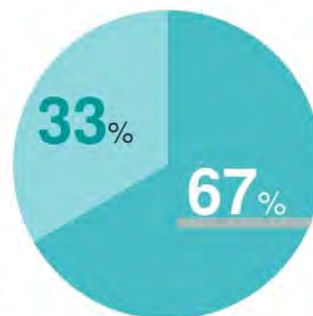
女性の年齢による妊孕性低下  
男性の年齢による妊孕性低下  
不妊治療における成功率  
不妊治療患者の数  
治療と仕事の両立の難しさ  
企業がサポートする大切さ

大企業より、  
平均**8ポイント** 知識up

#### 今後の課題と対策

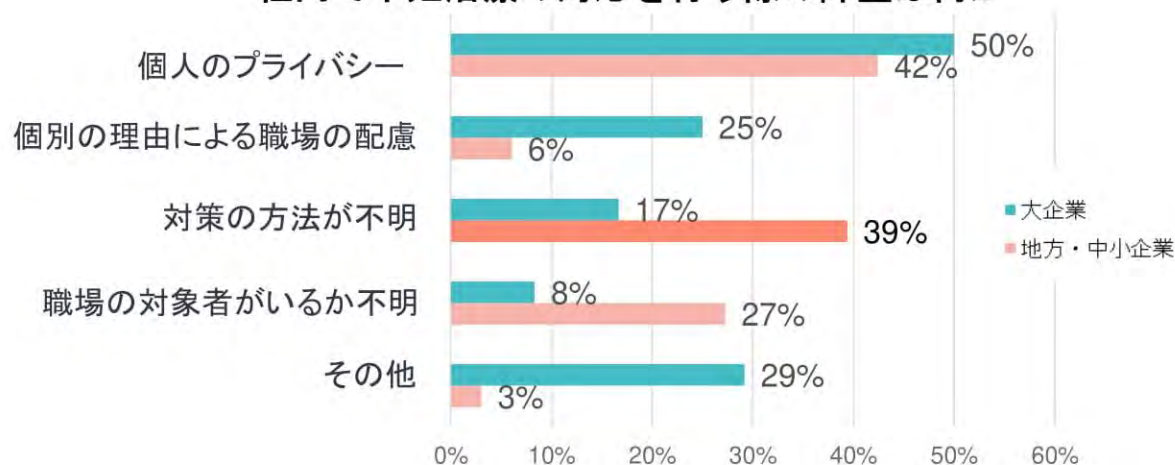
不妊治療の  
対策実行

■対応できる  
■どちらともいえない



大企業より、  
平均**34ポイント** up

#### 社内で不妊治療の対応を行う際の障壁は何か





## 2.実施成果と課題

### 1. 啓発コンテンツ（効果検証：地方・中小企業）

すぐに対応できる企業が**67%**

地方・中小企業においては、  
不妊治療について知らないから対策が打てなかった

**知る機会**が増えれば  
社内で行動に移していける企業が多い。



これまで通り、**自治体や保険会社様**と連携し、  
**セミナー**を定期開催していく。



■大企業

■地方・中小企業

60%




# 事業計画に基づき実施したこと

## 2. 遠隔医療スキームの確立（アドバイザーボード設置）


### ボードメンバー




沖縄県  
空の森クリニック 理事長  
徳永 義光 先生




兵庫県  
神戸元町夢クリニック院長  
河内谷 敏 先生



高知県  
レディースクリニックコスモス 院長  
桑原 章 先生

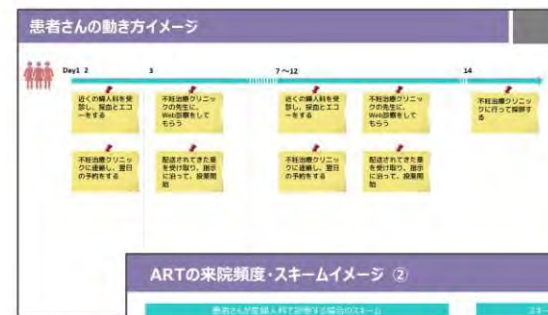


宮城県  
京野アートクリニック仙台 院長  
五十嵐 秀樹 先生

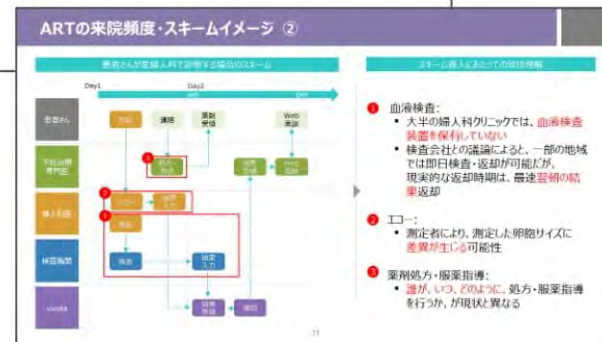


梅が丘産婦人科 不妊センター長  
国立成育医療研究センター 臨床研究員  
浅田レディースクリニック 顧問  
齊藤英和 先生

### 論点抽出 & 対策立案



患者導線...



連携データ...  
検査スキーム...

# 事業計画に基づき実施したこと

## 2. 遠隔医療スキームの確立（プロト開発と導入）

産婦人科医、生殖医療の医師、患者の3者が揃わないと導入まで至れないため、**効率的なアプローチ**が必要

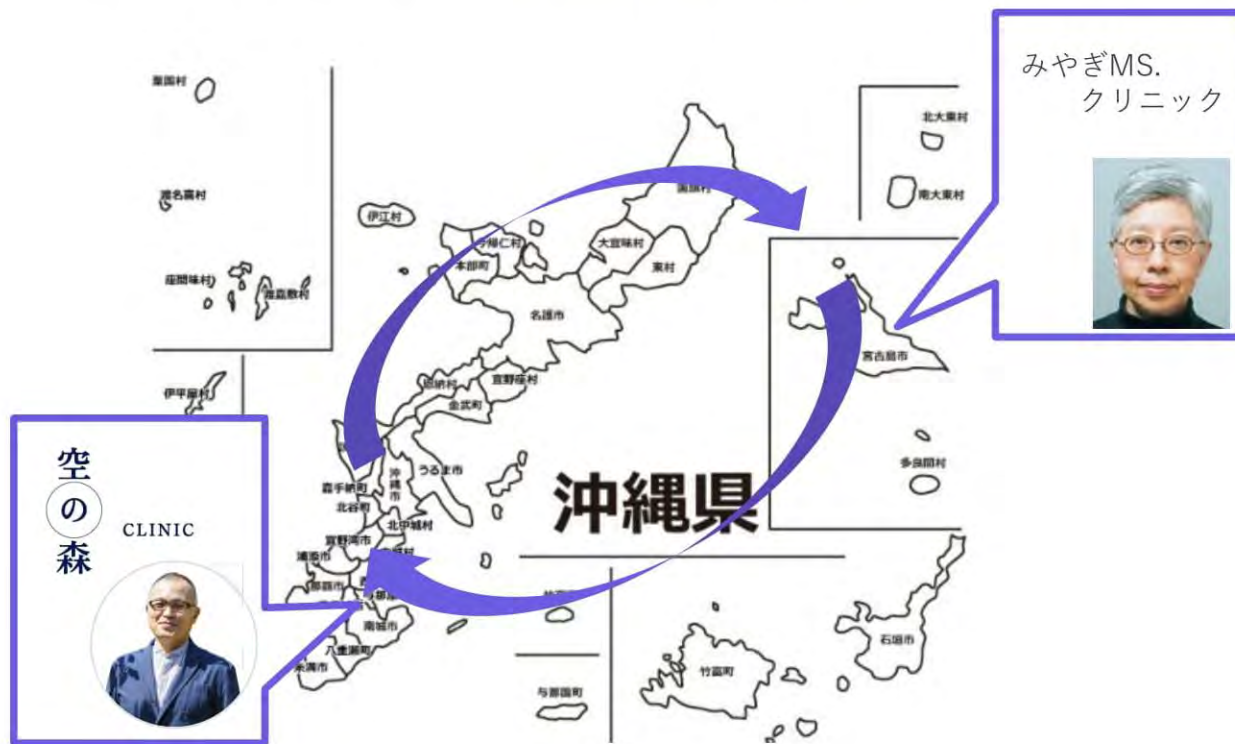
vivola KARTE<sup>(仮)</sup>



実証事業先

【準備作業】

- プロト改善点抽出
- 通信環境設定
- 説明会実施





# 事業計画に基づき実施したこと

## 2. 遠隔医療スキームの確立（その他地域導入準備）

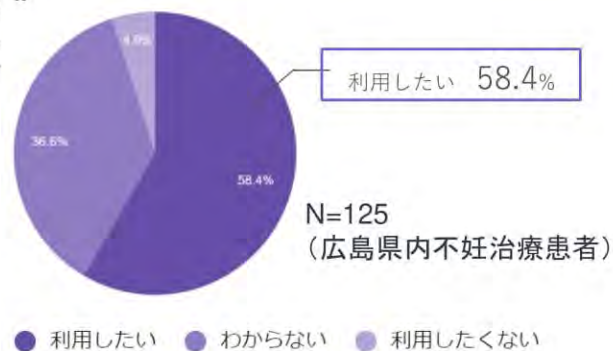
自治体連携や学会発表等のアプローチ手法を加え、引き続き導入エリアの交渉を行っていきます。



2/9(水) 子供未来応援課  
「不妊症・不育症支援ネットワーク協議会」

県内全10か所の生殖医療機関へ  
弊社システムのご紹介を実施

県内賛同医療機関と  
実証実験の準備へ。



# 3. 今後の事業展開

## 自治体連携

目的：不妊治療環境改善

県内中小企業様向けセミナー  
不妊治療理解促進/対策サポート



アプリ内特設コラボページ  
患者の情報アクセスの向上



医療機関向け診療システム導入  
病病連携による待ち時間緩和



ぜひご関心のある自治体様ご相談ください。

## 事例：山梨県アプリ内特設

県内医療機関40か所へポスターやリーフレット配布



以下、行政サービスの情報提供

- ・相談窓口設置
- ・独自の助成金情報
- ・県内医療機関の紹介記事
- ・イベント情報/アンケート実施等





# 06.

働く女性の健康に対するオンライン支援プログラムの効果検証  
(株式会社Kids Public)



[産婦人科・小児科オンライン]

令和3年度

フェムテック等サポートサービス実証事業  
成果報告

株式会社Kids Public  
2022年2月15日

- 1.事業計画（事業目的と実施事項）
- 2.事業計画に基づき実施したこと
- 3.成果報告
- 4.本事業の課題
- 5.今後の事業展開

## 働く女性の健康に対する オンライン支援プログラムの効果検証



小児科オンライン 産婦人科オンライン

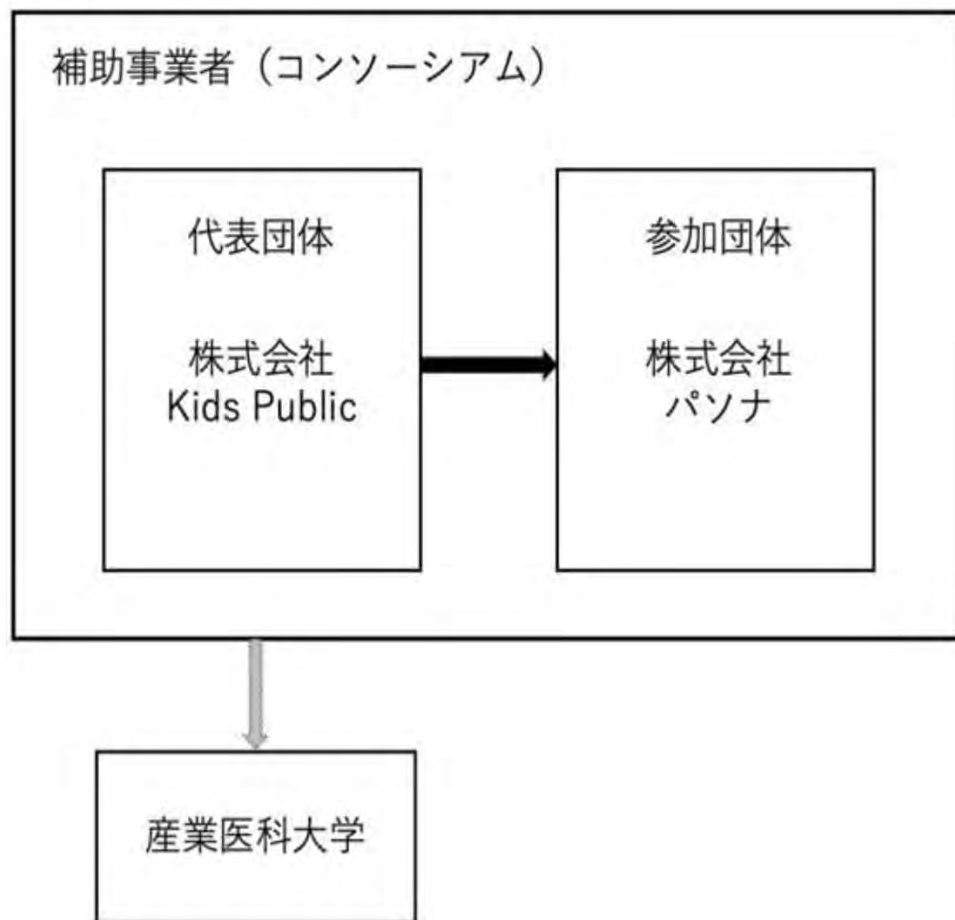
### 働く女性への 健康支援プログラム

- オンライン相談**
  - リアルタイムの予約制相談
  - いつでも送れるメッセージ相談
- 産婦人科医と  
オンラインで定期的にお話**
  - 産婦人科医と定期的にお話
  - 全7回で自分に合った健康情報もらえる
- 定期的な医療記事配信**
  - LINEやメールで健康情報を提供
  - ヘルスリテラシー向上に貢献

### -成果指標-

1. ヘルスリテラシーの変化
2. 生活習慣の改善
3. 適切な産婦人科受診
4. 生産性の変化
5. 就労継続の意向





————→ 協業関係/補助金活用有

————→ 業務委託/補助金活用有

### 【株式会社Kids Public】

- ・ サービス（支援プログラム）の提供
- ・ オンラインアンケートの実施
- ・ 得られた結果の分析、評価

### 【株式会社パソナ】

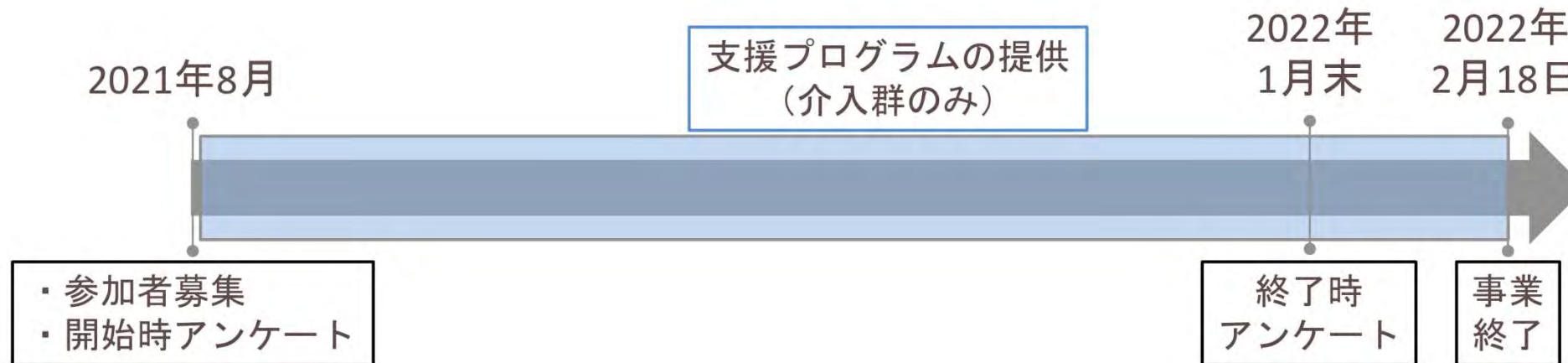
- ・ 対象者のリクルート
- ・ 対照群のリクルート

### 【産業医科大学（柴田喜幸 教育教授）】

- ・ 医師向け共有資料の監修
- ・ 評価指標の監修
- ・ 得られた結果の分析へのアドバイス

## 【参加者】

- 株式会社パソナ（協力団体）の軽～中労働（営業やデスクワーク等）を主とする女性従業員（妊娠中や産休・育休中の女性は除く）
- 介入群 30名募集 → アンケート＋プログラム提供
- 対照群 30名募集 → アンケートのみ（プログラム提供なし）



## オンライン定期面談の実際

近況確認とアドバイス  
(10-15分)



\*面談イメージ

ミニレクチャー  
(10-15分)

株式会社Kide Public

テーマ1  
月経関連について

### ホルモン関連の治療について

①低用量ピル

ベネフィット	リスク
<ul style="list-style-type: none"><li>・月経周期の調整</li><li>・月経痛の緩和</li><li>・月経量の減少</li><li>・子宮内腫瘍の治療</li><li>・癌や腫瘍の予防</li><li>・ニキビや多毛症の改善</li><li>・PMSの改善</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・血栓症</li><li>・その他の副作用</li></ul>

②子宮内黄体ホルモン徐放システム

医療保険適用にミレーナという製品  
ミレーナは黄体ホルモンを持続的に少しずつ放出する器具  
重篤な副作用がなく、飲み忘れがない  
しばらく妊娠を予定していない人に適している



## オンライン定期面談内のミニレクチャー（全6回）

### 【20-30代】

1. 月経関連について
2. 月経前症候群
3. プレコンセプションケア
4. 婦人科がん  
（子宮頸がん、乳がん）
5. 不妊治療
6. 働く女性とメンタルヘルス

### 【40代～】

1. 月経関連について
2. 月経前症候群
3. 婦人科がん  
（子宮頸がん、子宮体がん）
4. 婦人科がん（乳がん）
5. 更年期
6. 働く女性とメンタルヘルス



## 【開始時アンケート】

- ・ 介入群 回答率100%（30名）
- ・ 対照群 回答率100%（30名）

1. 参加者背景情報（年齢、勤務環境、月経状況など）
2. ヘルスリテラシー
3. 生活習慣
4. 産婦人科への受診
5. 月経等による生産性への影響
6. 社内の支援制度について

## 【参加者背景】

	介入群（30名）	対照群（30名）
20-30代	50%	50%
子どもあり	53%	40%
在宅勤務あり	53%	67%
月経あり	90%	97%
月経時の辛い症状あり	53%	62%
妊娠希望あり	50%	34%
更年期症状の自覚あり	20%	17%

介入群と対照群の参加者背景に  
大きな乖離は認めなかった  
(→支援プログラムの差を測定可能)

## 【定期面談】

- ・ 総実施数 165回（各30分間） ←確保枠は193回分
- ・ 平均面談数 5.6回
- ・ 平均レクチャー実施数 4.6回
- ・ 当日キャンセル率 15%

## 【オンライン相談】

- ・ 夜間相談 1回（更年期について）
- ・ いつでも相談 4回（排卵痛・ピル関連・月経中の胸痛・不正出血）

## 【定期的な情報配信】

- ・ メール（週1回）＋LINE（週1回） ←産婦人科・小児科それぞれ



## 【終了時アンケート】

- ・ 介入群 回答率100%（29名：11月に退職のため1名辞退）
- ・ 対照群 回答率100%（30名）

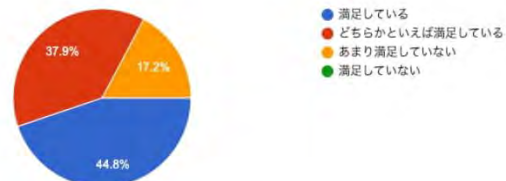
1. ヘルスリテラシー
2. 生活習慣
3. 産婦人科への受診
4. 月経等による生産性への影響
5. 社内の支援制度について
6. 本プログラムへの評価（介入群のみ）



## 【介入群のみ】

1、今回のオンライン支援プログラム（オンライン相談窓口の利用、定期面談、LINEでの定期的な情報提供）を総合して、どの程度満足しましたか？

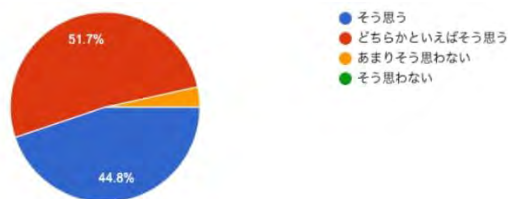
29 件の回答



介入群の83%が  
プログラムに総合的な満足感あり

3、産婦人科医との定期的なりモート面談によって健康や医療の知識が増えたり、健康的な生活習慣に興味・関心が高まりましたか？

29 件の回答

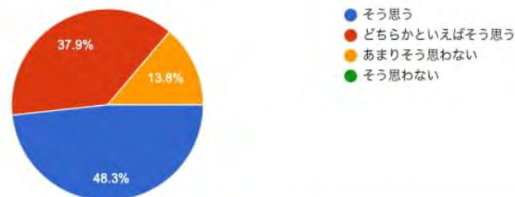


介入群の97%が、定期面談により健康・医療の知識や健康的な生活習慣への関心が高まった

## 【介入群のみ】

4、定期面談時のレクチャーの内容は、興味や関心がもてるものでしたか。

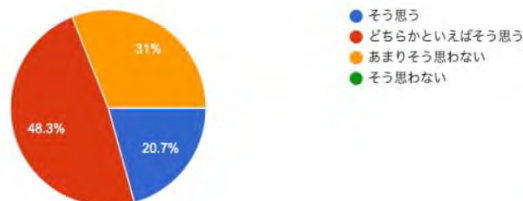
29 件の回答



介入群の**86%**が、レクチャー内容に興味・関心を持っていた

5、LINEからの定期的な医療・健康情報の提供は役に立ちましたか？

29 件の回答



介入群の**69%**が、医療・健康情報の定期配信が役立ったと回答

## 【介入群のみ】

7、実証事業に参加する前と比較して、ご自身の考えや行動、日常生活に変化があれば教えてください。

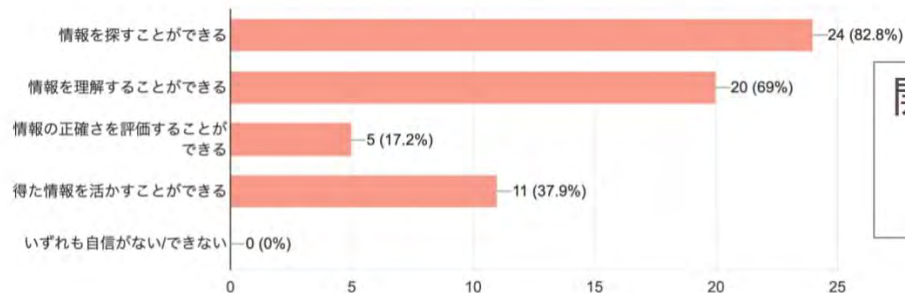
17件の回答

- 知識が増えたため、日常生活でも関心を持つようになった（5名）
- 日々健康を意識し、自分の身体と向き合うようになった（3名）
- 娘のこと（ワクチンや生理痛など）について伺えた事が非常に良かった（2名）
- プロに質問できたため安心感や納得感が高い（1名）
- 疑問や不安に思っていたことが解消された（1名）
- 得られた情報をさらに調べたり、同僚との会話の話題にしたりした（1名）
- 未婚・妊娠予定なしだったが定期面談でのレクチャーを受けて意識に変化があった。いずれこどもができたらいいなというぼんやりとしたイメージだったが、計画的に体調を整えたりライフプランを考える必要性を感じた。（1名）
- 特になし（3名）



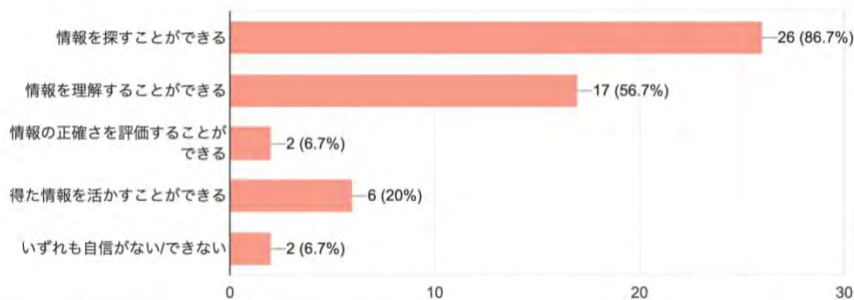
「女性特有の疾患に関する情報に対して、  
ご自分はどのようにアプローチができますか？」

介入群



開始時  
・ いずれも自信がない  
→3%

対照群

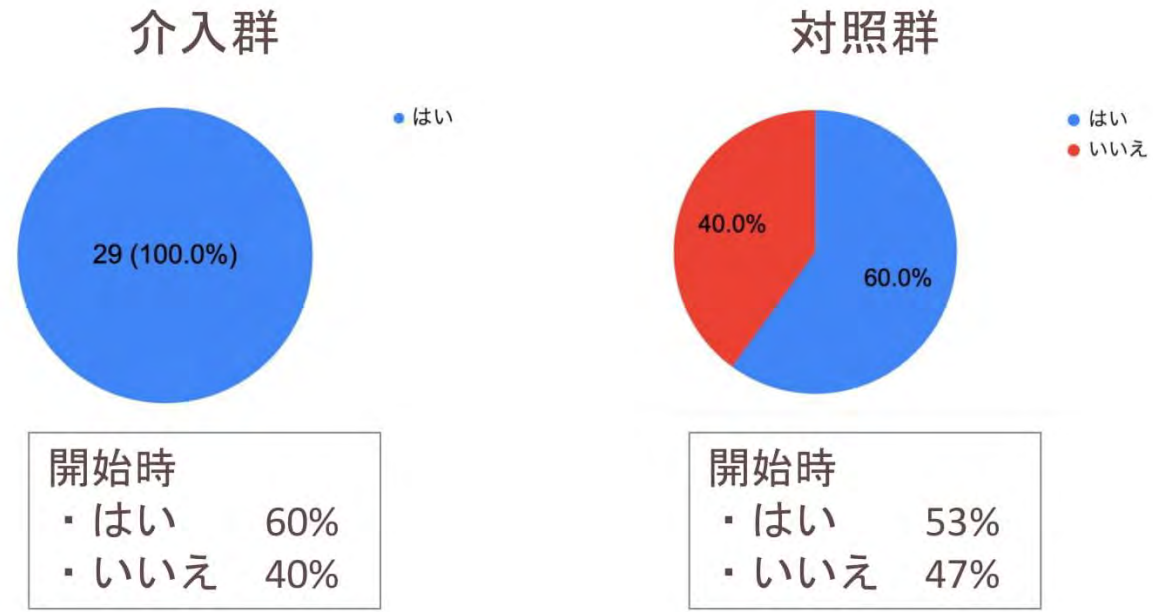


開始時  
・ いずれも自信がない  
→7%

4項目のいずれも自信がない人の割合が  
介入群では3%→0%へ減少した  
(対照群では7%→7%と不変)



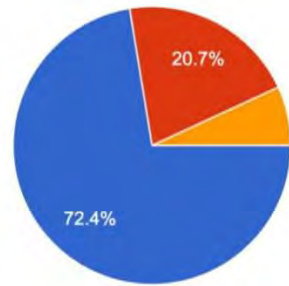
「HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンは小学校6年生～高校1年生の女の子が接種しておくことが大事だということを知っている。」



HPVワクチンの正しい知識を持つ人の割合が**介入群**では60%から100%へ増加した  
(**対照群**では53%→60%に増加)

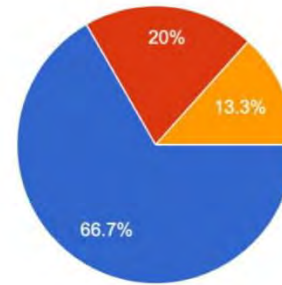
「月経痛で生活や仕事に支障がある場合、これは病気だと思いますか。病気ではないと思いますか？」

介入群



● 病気である  
● 病気ではない  
● わからない

対照群



● 病気である  
● 病気ではない  
● わからない

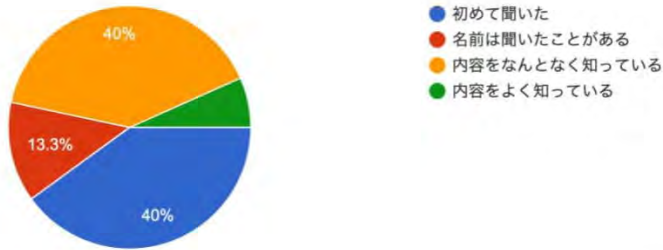
開始時  
・ 病気である  
→67%

開始時  
・ 病気である  
→73%

月経困難症の正しい知識を持つ人の割合が  
介入群では67%から72%へ増加した  
(対照群では73%→67%へ低下)

## 「プレコンセプションケアという概念を知っていますか？」

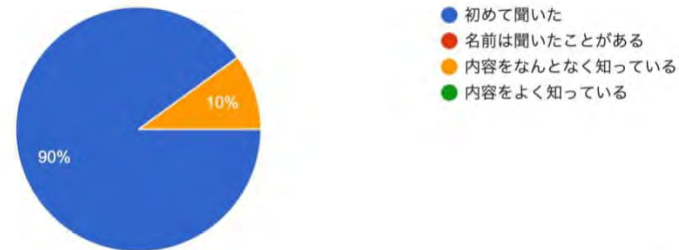
介入群



開始時

- ・内容をなんとなく知っている
  - ・内容をよく知っている
- 合計20%

対照群



開始時

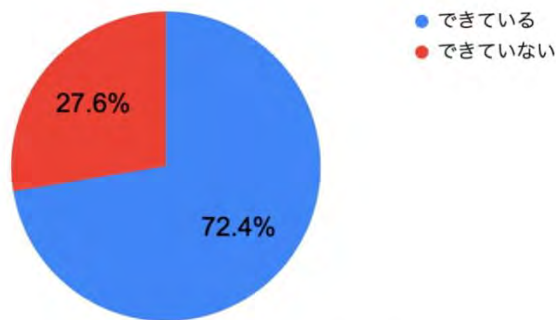
- ・内容をなんとなく知っている
  - ・内容をよく知っている
- 合計0%

プレコンセプションケアの内容を知っている人の割合が  
介入群では20%から47%へ増加した  
(対照群では0%→10%へ増加)



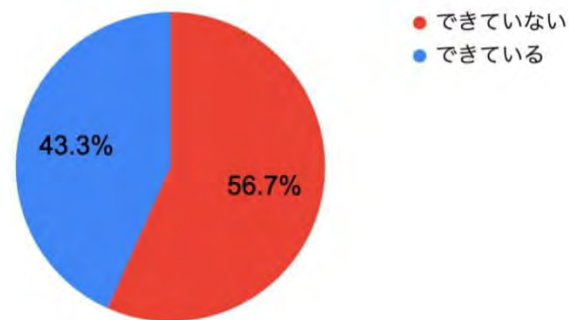
「婦人科系の症状や泌尿器系の症状を感じた時は、適切に産婦人科を受診できていると思いますか？」

介入群



開始時	
・ できている	43%
・ できていない	57%

対照群



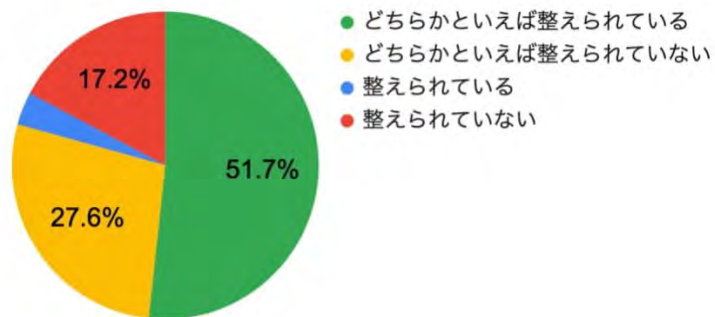
開始時	
・ できている	47%
・ できていない	53%

適切に産婦人科を受診できている人の割合が介入群72%(+29%)、対照群では43%(-4%)だった



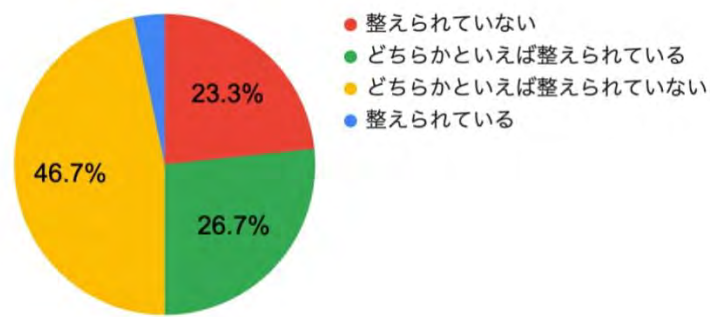
## 「月経や婦人科疾患（お持ちの場合）を意識して、 普段の運動習慣を整えられていますか？」

介入群



開始時  
・上位2つの合計 28%

対照群

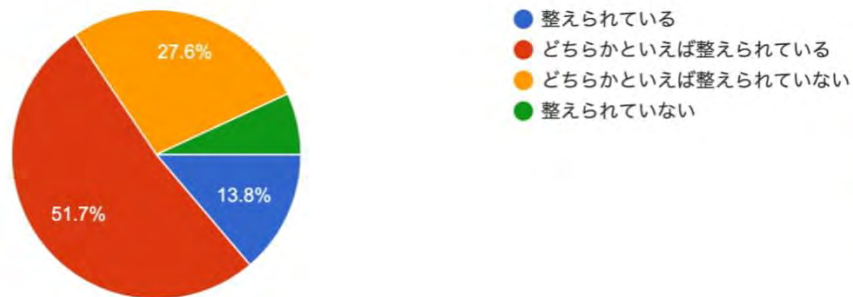


開始時  
・上位2つの合計 17%

健康状態を意識して運動習慣を整えられている人が  
介入群55%(+27%)、対照群30%(+13%)だった

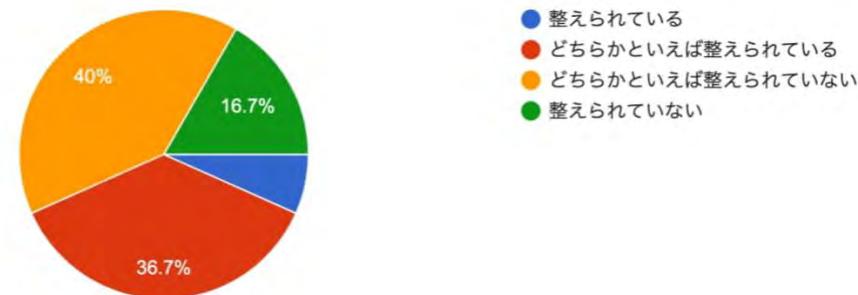
## 「月経や婦人科疾患（お持ちの場合）を意識して、 普段の食事習慣を整えられていますか？」

介入群



開始時  
・上位2つの合計 40%

対照群

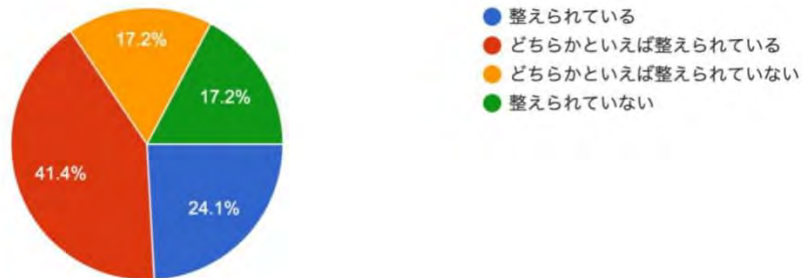


開始時  
・上位2つの合計 33%

健康状態を意識して食事習慣を整えられている人が  
介入群66%(+26%)、対照群43%(+10%)だった

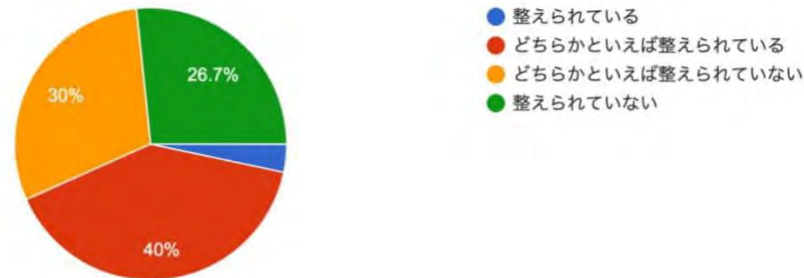
「月経や婦人科疾患（お持ちの場合）を意識して、  
普段の睡眠習慣を整えられていますか？」

介入群



開始時  
・上位2つの合計 47%

対照群



開始時  
・上位2つの合計 33%

健康状態を意識して睡眠習慣を整えられている人が  
介入群66%(+19%)、対照群43%(+10%)だった



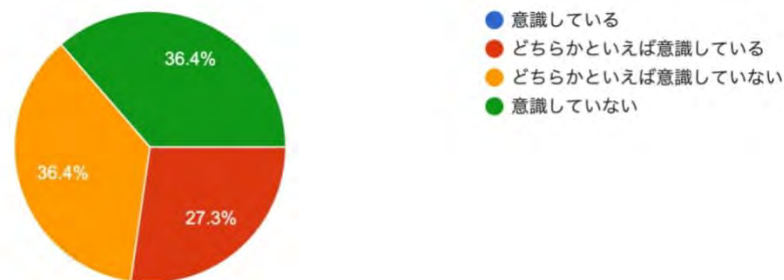
「【閉経前の方のみ】月経周期に合わせて、生活リズムを調整することを意識していますか？」

介入群



開始時  
・上位2つの合計 38%

対照群



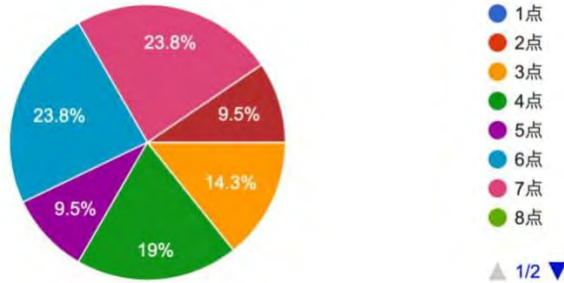
開始時  
・上位2つの合計 29%

月経周期を考慮し生活リズムを整えられている人が  
介入群46%(+8%)、対照群27%(-2%)だった



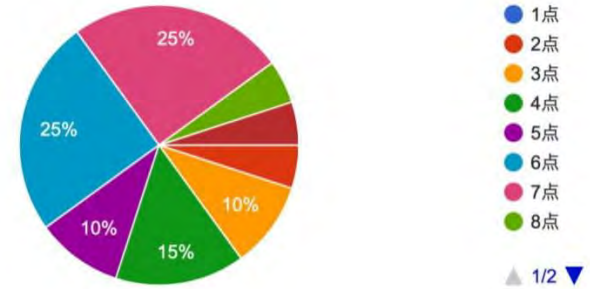
「気分が落ち込んだりイライラしやすかったり体調が変化しているときに  
あなた自身のパフォーマンスは変化しますか？  
元気なときのパフォーマンスを10点として、1～10点で回答してください。」

介入群



開始時  
・ 6点以上の合計 43%

対照群



開始時  
・ 6点以上の合計 42%

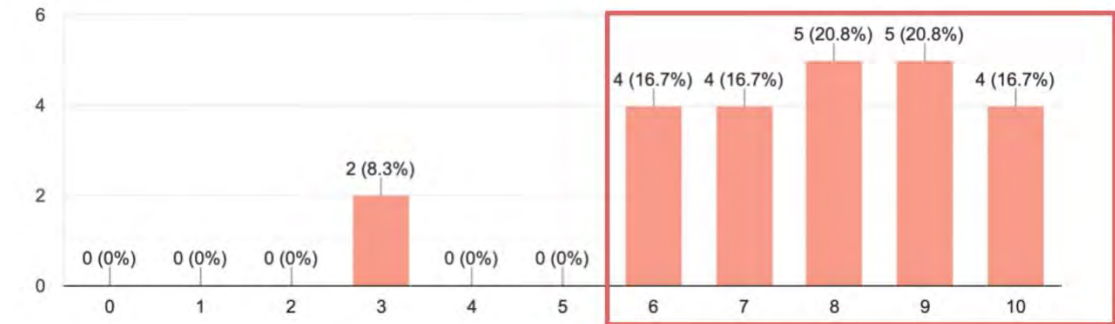
体調変化がある際のパフォーマンスを  
60%以上維持できる人が  
介入群57%(+14%)、対照群60%(+18%)だった

「この1ヵ月間における、  
あなたの健康上の問題や不調について当てはまるもの（複数選択）」

• 介入群		
「月経随伴症状による不調」	45%	(-15%)
「月経前症候群に関する不調」	52%	(-8%)
「更年期症状に関する不調」	14%	(-6%)
• 対照群		
「月経随伴症状による不調」	43%	(+3%)
「月経前症候群に関する不調」	50%	(-3%)
「更年期症状に関する不調」	17%	(+4%)

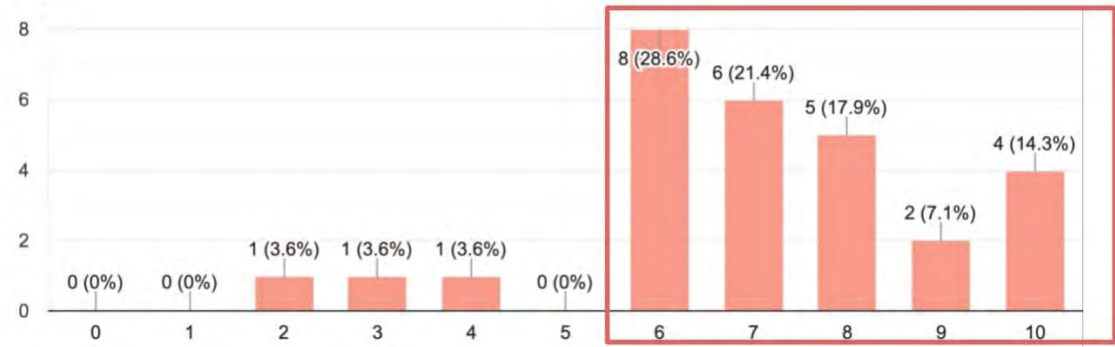
## 「症状や不安、負担があるときに、こなせている仕事の量」

介入群



普段に比べた時の仕事の量  
(0~10点)

対照群



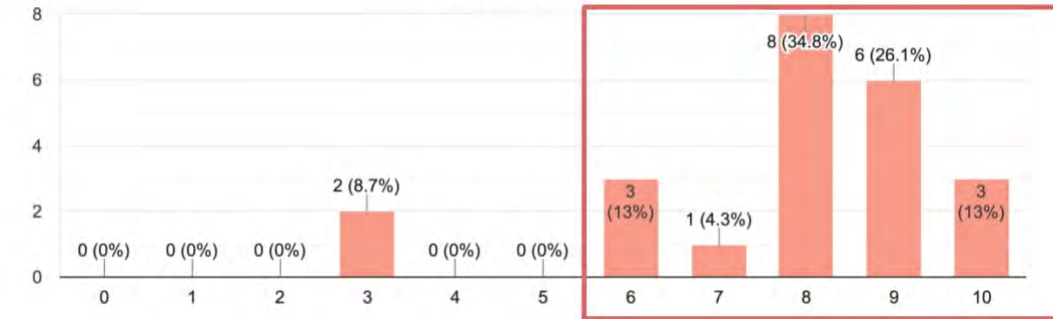
普段に比べた時の仕事の量  
(0~10点)

体調変化がある際の仕事の量を普段の60%以上維持できる人が  
介入群92%(+6%)、対照群89%(+6%)だった



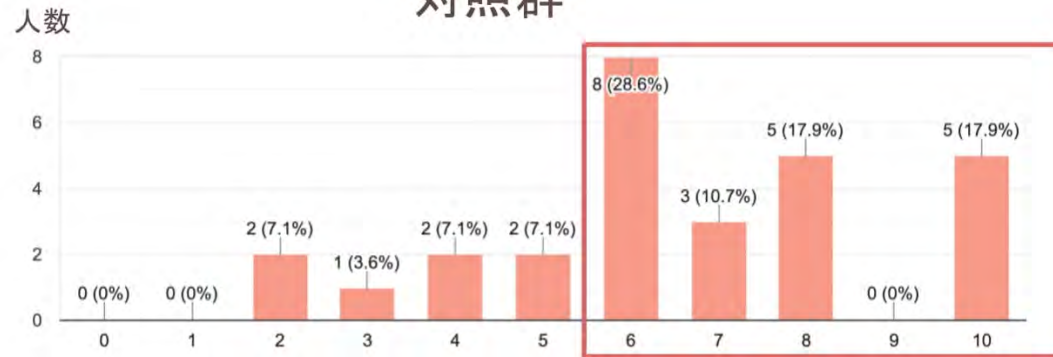
## 「症状や不安、負担があるときに、こなせている仕事の質」

介入群



普段に比べた時の仕事の質 (0~10点)

対照群



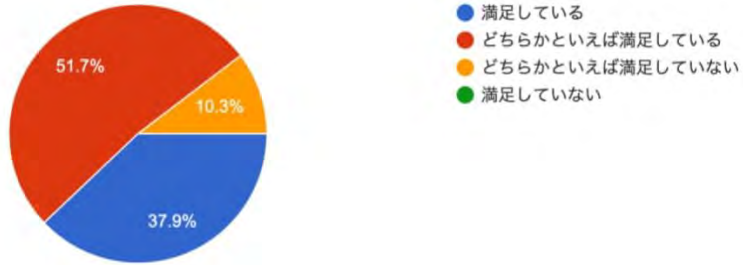
普段に比べた時の仕事の質 (0~10点)

体調変化がある際の仕事の質を普段の60%以上維持できる人が  
介入群93%(+4%)、対照群75%(±0%)だった



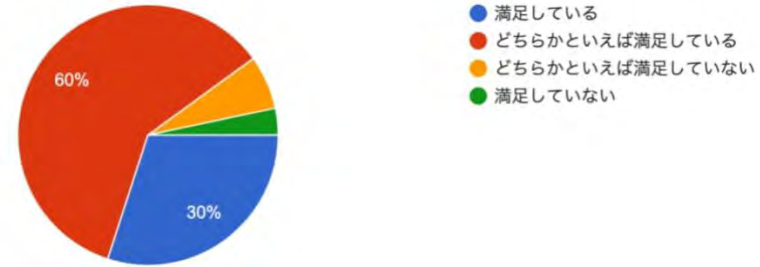
「パソナでは様々な健康に関する取り組みを実施しています。  
会社からの健康に関するサポートに満足していますか？」

介入群



開始時  
・ 上位2つの合計 73%

対照群



開始時  
・ 上位2つの合計 73%

社内の健康関連の取り組みに満足している人が  
介入群90%(+17%)、対照群90%(+17%)だった

1. 事業期間内の6ヶ月間に、支援プログラムを概ね想定通りに提供することができた
2. 参加者の介入群と対照群の背景に大きな差はなかった（比較可能性が担保できた）
3. 開始時と終了時のアンケートは100%の回収ができた
4. 支援プログラムの総合満足度は83%と高いものだった
5. 介入群では「ヘルスリテラシー」「生活習慣」「生産性」「受診行動」で良好な変化が認められ、支援プログラムが有効だったと考えられた

## 【プログラム提供】

- 相談や面談のスムーズな管理と実施のためのシステム開発の必要性
- 日中に定期面談を希望する人への対応
- 面談の頻度や回数のカスタマイズ
- 個々の状況や希望に合わせたレクチャーのカスタマイズ

## 【本事業で得られた結果の解釈】

- 妊娠中や育休中の女性は含まれていない
- 都市部のデスクワークを中心とする女性が対象
- 介入群と対照群の参加者背景が完全に揃っていない



## 【プログラム内容の拡充】

- 相談や面談のスムーズな管理と実施のためのシステム開発の検討
- 日中のサービス提供や面談の頻度や回数に関する検討
- レクチャー資料の工夫や拡充

## 【他業種等への事業展開】

- 妊娠中や育休中の女性への提供（小児科オンライン含む）
- 非都市部の事業者への提供
- 非デスクワークを主とする女性への提供

あらゆる地域、規模、種類の  
事業者へのオンライン支援  
プログラム提供を目指す



# 07.

産婦人科による働く女性の健康やライフイベントに伴う悩みや不安に関する  
オンライン相談事業  
(医療法人葵鐘会)



産婦人科による働く女性の健康やライフイベントに伴う  
悩みや不安に関するオンライン相談事業  
成果報告

# 1. 事業計画

## 実施目的

産婦人科・医療法人葵鐘会による、質が担保された医療相談サービスを B to E で展開し、中部エリアでの事業拡大、中部エリアから各地域へ横展開していく契機とする

1. 働く女性のライフイベントに起因する望まない離職の防止
2. 働く女性のウェルビーイングの実現
3. 企業の人材の多様性を高め、中長期的な企業価値向上

## 実施事項

セントレアで働く500名の女性従業員に対して、オンライン医療相談サービスを提供する



# 1. 事業計画



ベルネットオンライン



顔なしの ZoomでもOK♪

## 働く女性の悩みを 看護師・助産師に 相談できます

セントレアで働く女性限定

相談したくても仕事やご家庭の予定でなかなかタイミングがつかめない。そんな女性の為のオンラインサービスです。

※相談内容は企業に公開することはありませんのでご安心ください

このようなご質問に対応しています

実施期間

2021/8/1-  
2022/1/31

予約時間

9:00-18:00  
(月曜から土曜)

- ✓ 生理やおりものについて疑問をお持ちの方
- ✓ 生理周期の不調でお悩みの方
- ✓ 生理痛でお悩みの方
- ✓ 病院で診てもらわなければならないでお悩みの方

- ✓ 妊活相談でお悩みの方
- ✓ 妊娠中の働き方でお悩みの方
- ✓ 更年期障害でお悩みの方

### ベルネットオンラインの特長



**専門家が対応**  
医療法人英鐘会に所属する助産師・看護師が対応します



**1回30分  
何度でも無料**  
ご自身の悩みについて、些細なことでもご相談いただけます



**完全予約制**  
待ち時間ゼロで、相談したいその日も空きがあれば予約可能です

### ご利用までの流れ

01



QRコードにアクセスし、会社コード「C0801」を入力する

02



予約サイトでお好みの日時を選択する

03



当日オンラインにて、助産師と会話していただけます

## セントレアへの告知 リーフレット



## 2. 事業計画に基づき実施したこと

すべて計画通り実施完了

年	2021							2022			
月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
本年度事業期間											
1.システム設計		→									
2.質問紙の作成		→									
3.社内告知ツール作成		→									
4.社内告知			→								
5.サービス提供、質問紙回収			→								
6.データ集計、解析、考察									→		

## 2. 事業計画に基づき実施したこと

### 利用促進として映像コンテンツを4回配信

- 1回目（10月） 配信日：2022年10月11日

9人に1人が診断される「乳がん」のセルフチェック◆ピンクリボン月間◆

- 2回目（11月） 配信日：2021年11月5日

オレンジリボン運動 -SOSに189（いちはやく）気づく社会へ

- 3回目（12月） 配信日：2021年12月2日

今年の子宮がん検診はもう受けましたか？

- 4回目（1月） 配信日：2022年1月17日

プレコンセプションケアをご存知ですか？



### 3. 本事業の成果と課題

#### 対応件数 38

月曜日から土曜日（9時～18時迄） 相談1時間前まで予約受付  
1回30分の相談。終了後にアンケート協力

月	人数
8月	9
9月	5
10月	10
11月	4
12月	4
1月	6
<b>計</b>	<b>38</b>

年齢層	人数
20代	13 (34%)
30代	17 (45%)
40代	6 (16%)
50代	2 ( 5%)

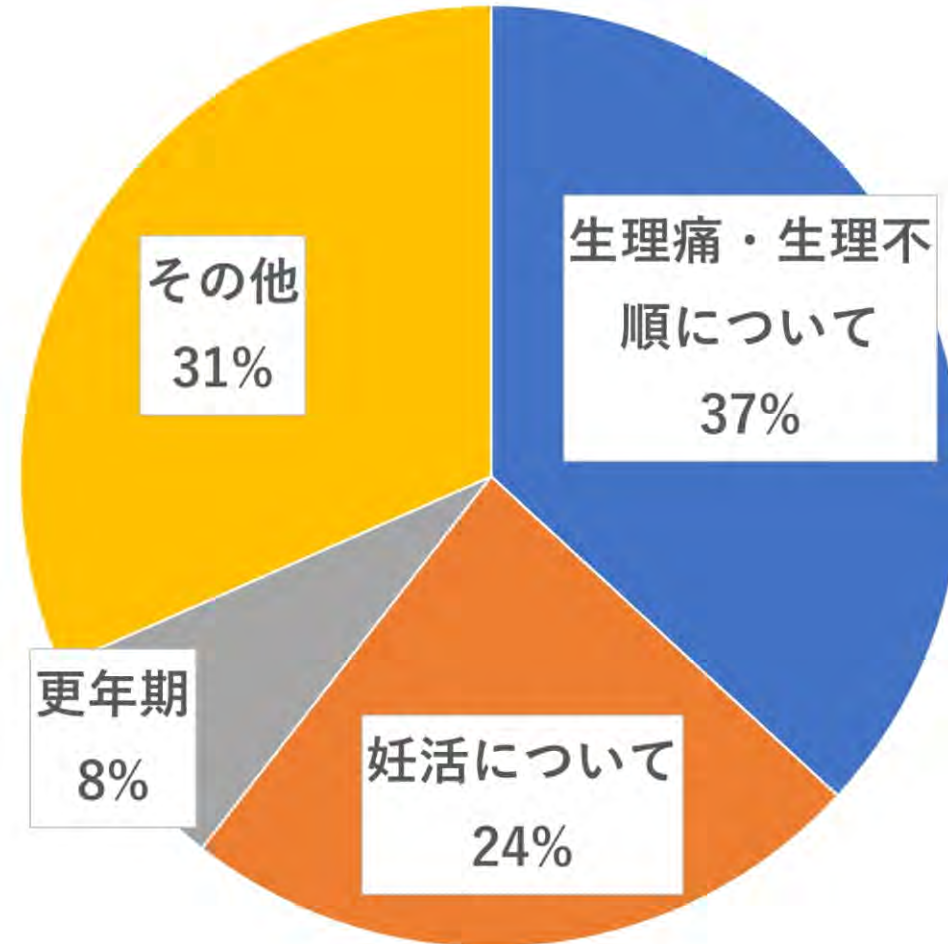


### 3. 本事業の成果と課題

#### 相談内容

##### カテゴリ

- ・ 生理痛・生理不順
- ・ 妊活
- ・ 妊娠中の生活
- ・ 更年期
- ・ その他



## 具体的な相談内容

項目	相談内容
<p data-bbox="529 739 749 853"><b>生理痛</b> <b>生理不順</b></p>	<ul data-bbox="886 479 2063 1071" style="list-style-type: none"><li data-bbox="886 479 2063 576">□ 生理前のイライラ・落ち込み・頭痛、生理痛（腹痛）がひどい</li><li data-bbox="886 608 2063 705">□ 生理前～生理中の体調不良やメンタルダメージについて適切な対処法</li><li data-bbox="886 736 2063 785">□ 他人と比較して出血量の多さが分からない</li><li data-bbox="886 816 2063 865">□ おりものが比較的が多い</li><li data-bbox="886 896 2063 945">□ 生理の間隔が開いてきた。更年期かどうか</li><li data-bbox="886 976 2063 1071">□ 不規則な勤務体系により、生理痛はひどくなることはあるのか</li></ul>

## 具体的な相談内容

項目	相談内容
妊活	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 不妊治療時のメンタルの保ち方</li><li>□ 現在の通院病院からの転院について</li><li>□ クリニックの選び方</li><li>□ 人工授精から体外受精への移行タイミング</li><li>□ 肥満度と妊娠率の関係について</li><li>□ ストレスがどう妊娠率に影響するのか</li><li>□ 妊活をする上で生活習慣で気を付けること</li><li>□ 基礎体温の乱れや不正出血について</li></ul>



## 具体的な相談内容

項目	相談内容
更年期	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 更年期の症状全般</li><li>□ 疲れやすく、関節の痛みや気持ちの落ち込み</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>□ めまい、だるさについて</li><li>□ 服用している薬について</li><li>□ 睡眠の質低下による体調不良</li><li>□ 子宮内膜症について</li></ul>

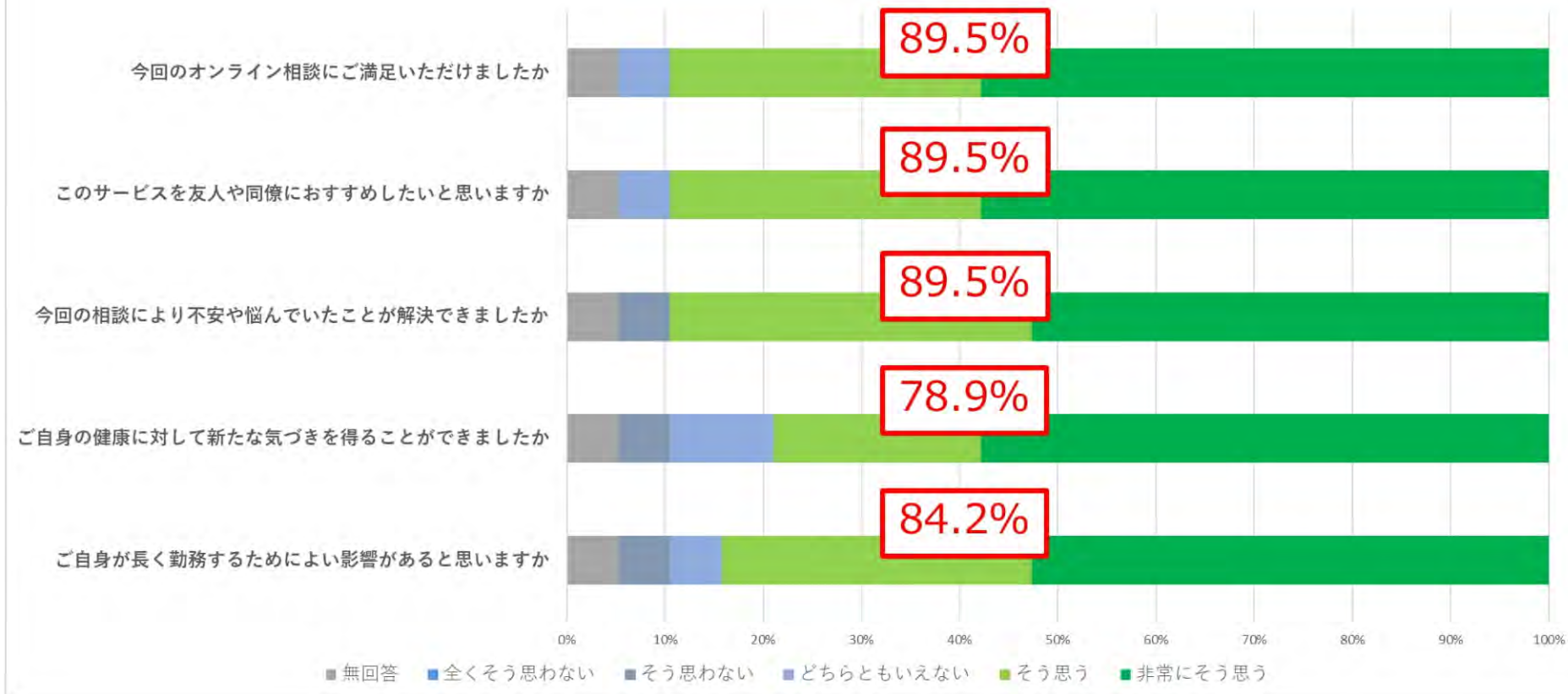
### 3. 本事業の成果と課題

女性従業員の視点

高い満足度

実施後、意識変容もみられた

【2021年8月1日～2022年1月31日】アンケート回答結果



### 3. 本事業の成果と課題

導入企業の視点

#### 望まない離職防止の解決策になりうる

セントレア総務部人材開発グループへ聞き取り調査を実施した。

#### オンライン医療相談の高いニーズ

利用しなかった従業員85名にアンケート調査を行った。73名（96%）が今後、時間・環境が許せば必要に応じて利用したいと回答した。

#### 望まない離職の防止に資するサービスであるがあくまで選択肢のひとつ

望まない離職の理由は多様で複合的であるため、企業として様々な選択肢を用意する必要がある。常駐している保健師や産業医との棲み分けを明確にする必要もある。

#### 従業員への周知が課題

全従業員に行ったアンケートの回収率が17%と低かった。



## 3. 本事業の成果と課題

### メディア掲載

プレスリリースを配信し、  
2つのメディアに掲載

静岡新聞 2021年11月20日夕刊  
特集面に掲載

P&G 「ウィスパー」ブランドサイト  
特集「フェムテックとは」にて  
本事業が紹介

**女性最新技術で安心感**

掛川市の八神クリニックなど、愛知、岐阜県を中心に産婦人科主体の21のクリニックを運営する医療法人「英鐘会」（愛知県）は、助産師らがオンラインで働く女性の健康に関する相談に乗る事業を展開している。経済産業省が本年度採択した「フェムテック実証事業」の一つ。それぞれが望むキャリア形成や職場での

から予約した上で、1回30分間のオンライン相談を何度でも受けられる。これまでに、生理痛、妊活、更年期の症状などの相談が寄せられた。今後、相談を通じた利用者の意識や行動の変化などを調査する。

同法人の助産師と看護師が現場で培った知識や経験を基に、相談者に寄り添う。女性の健康に関するオンラインサ

**生理、妊活…助産師ら助言**

活躍を実現するため、体調面から女性をフォローする。

実証事業は、中部国際空港旅客サービス（同県）の女性社員約500人を対象に行う。希望者はスマートフォンなど

ービスやアプリはすでに多く存在するが、事業を担当する最高戦略責任者の中上富雄さんは「各地にクリニックを持っているため、必要があればスムーズに受診につながれるのが強み」と話す。

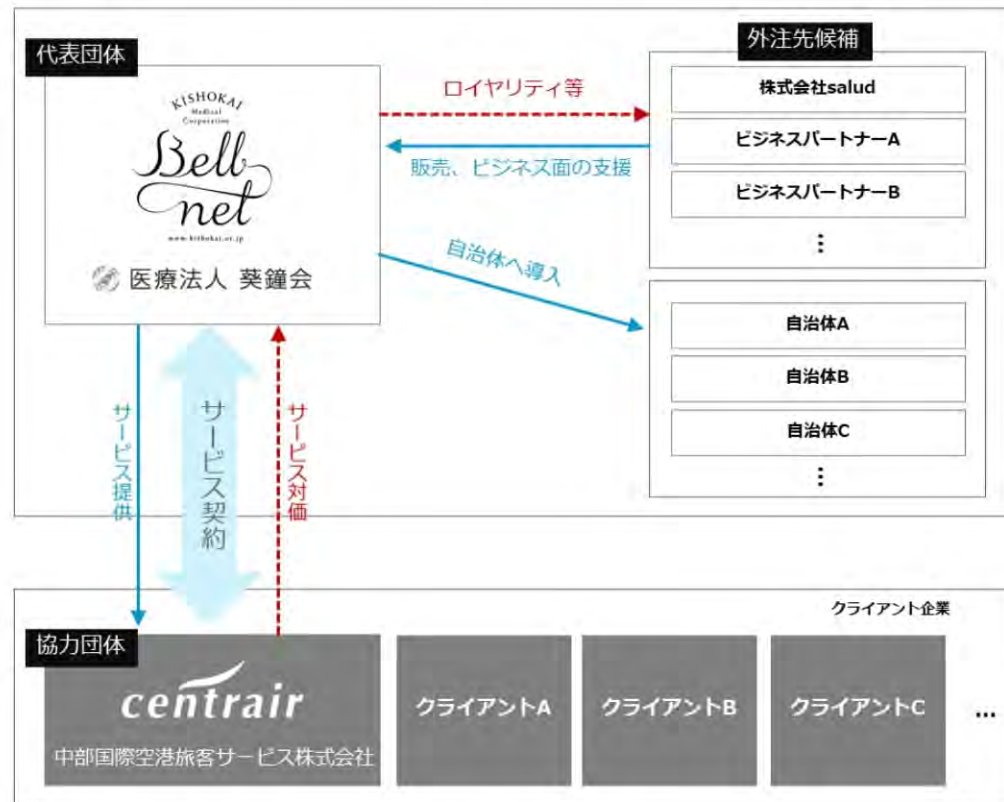
八神クリニックの看護師長、笹本裕子さんは「生理などに関して、インターネットでも一般的な情報は得られる時代だが、実際は個々に応じた情報が求められている。気軽に1対1の相談ができる環境は安心につながるのでは」と事業の意義を語った。

相談事業の実施に向け、動画教材を視聴する看護スタッフ  
＝掛川市の八神クリニック

**オンライン健康相談**

## 4. 今後の事業展開

本サービスの導入企業数を本年度はセントレア1社に絞り実証した。  
この実績を活かし翌2022年度は30社、2023年度は100社、のべ利用者数を2022年度は10,000人、2023年度は30,000人へと拡大していく。



### サービス導入状況

テスト導入 10社

サービス導入 2社

5社と協業など協議中

**新規性を付加**



## 4. 今後の事業展開

### 新規性を付加

### ウェアラブル胎児モニタ

#### 家庭 妊産婦



遠隔監視  
オンライン相談

- ① 自分で手軽にコンパクト超音波検査機器により、赤ちゃんを観察
- ② CTGにより、赤ちゃん心音や子宮収縮をモニター（自己分析装置付き）
- ③ 血圧計+蛋白尿、浮腫により、PIH（妊娠高血圧症候群）の早期関知

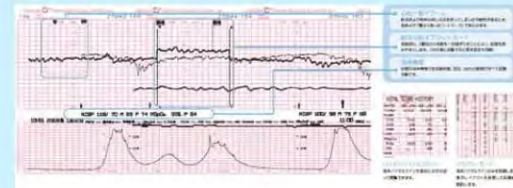
左記の妊婦データの定期チェック、  
異常波形の相談などに応用

#### 利点

医師による妊婦健診の合間に、  
簡単な妊婦健診を毎日自宅で行うことができる

- ① 異常妊娠の早期発見
- ② 直視下に日々児の観察ができ、自ら母児の愛着形成に有効

#### 医療機関







KISHOKAI  
Medical  
Corporation  
*Bell  
net*  
www.kishokai.or.jp

**【本件に関するお問合せ先】**

**医療法人葵鐘会 マーケティング部**

**E-mail : prd@kishokai.jp**

# 08.

法人向けオンライン女性健康相談サービス「フェムラインかごしま」実証事業  
(社会医療法人博愛会 相良病院)

Femline Kagoshima

# Femline

KAGOSHIMA

最終報告書

Femline Kagoshima



目的

1

フェムテックや女性の健康課題に関する現状調査と把握  
—管理職、女性従業員の意識調査の実施—

目的

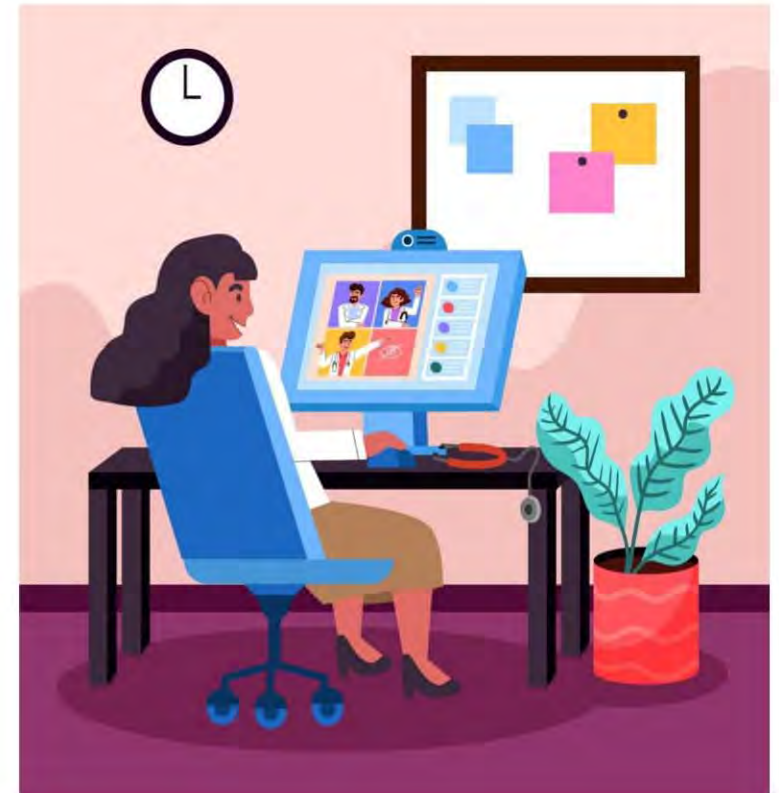
2

医療機関受診前に医師に気軽に相談できる場を提供し  
課題解決や病気の予防・早期発見につなげる  
—医師による法人向けオンライン健康サービスの実施—

目的

3

オンライン健康相談利用の場を設けることでサービスの潜在需要や  
利便性を調査し、可視化される課題への対策・改善につなげる  
—今後の事業展開の検討—



# 協力団体6社の管理職・女性従業員への意識調査アンケート

## ◆目的

鹿児島県の有業者に占める女性の割合は46.7%で全国4位である一方、管理的職業従事者に占める女性の割合は12.4%と全国38位（※）。鹿児島で働く女性の健康課題の実態をつかむべく、協力団体6社の管理職・女性従業員にアンケートを実施。

※出店：令和2年度「鹿児島県の男女共同参画の現状」（鹿児島県）

[https://www.pref.kagoshima.jp/ab15/kurashi-kankyo/jinken/danjyokyodo/documents/60559\\_20210623152940-1.pdf](https://www.pref.kagoshima.jp/ab15/kurashi-kankyo/jinken/danjyokyodo/documents/60559_20210623152940-1.pdf)

## ◆調査概要（女性従業員）

調査対象：フェムラインがごしま実証事業協力団体で働く10代～70代の女性 5,700人

回答数：1,175人（回答率20.6%）

調査手法：オンライン・アンケート用紙回答併用

調査期間：令和3年10月8日～11月19日、令和4年1月12日～1月24日

## ◆結果レポートについては県記者クラブならびにホームページ「お知らせ」にてリリース予定





## 医師による法人向けオンライン健康相談サービス（WEBプラットフォーム）

対象団体：協力団体6団体（銀行、百貨店、人材派遣業、菓子業、ホテル・旅館業、自治体〈鹿児島市〉）

対象者：女性従業員5,700人 URL <https://femline.jp/public/>

POINT

1 医師が相談対応を行う

POINT

2 匿名無料で気軽に相談できる体制

POINT

3 女性従業員だけでなく、経営者・管理責任者・同僚男性にも課題喚起や情報提供を行う



乳腺外科

乳房の症状

女性泌尿器科

排尿・骨盤臓器脱  
などの悩み

産科・婦人科

女性特有の悩み  
不妊・妊活の悩み

美容外科  
美容皮膚科

肌のトラブル  
美容の悩み



### 管理職・女性従業員への意識調査

#### ◆成果

回答者数、管理職258人（40.3%）、女性従業員1,175人（20.6%）の回答を得た。

#### 管理職サマリー

1. 女性特有のからだの悩みが原因で働くうえで困った経験があると答えた女性従業員は60%という結果に対し、相談を受け、対処に困った経験があると回答した管理職の割合は26%
2. 女性特有のからだの悩みが休職や退職、スキル向上、昇進等に影響を与えていると感じている管理職の割合はそれぞれ10%以下で、女性従業員の同割合2～4割と比べ、悩みを抱える女性との認識が浮き彫りになった。
3. 管理職の80%がフェムテックサービスの導入を「検討したい」と回答

#### 女性従業員サマリー

1. 働く女性の60%が女性特有のからだの悩みで働くうえで困ったことがある
2. 働くうえで困った経験がある女性の68%が生理にまつわる悩みを抱えている。月経、精神的ストレスに次いで多いのが、更年期にまつわる悩み。回答者の30%が悩みの原因にあげている。一般的に更年期を迎えるのは40～50代と言われるが、女性がキャリアを重ねる中で体調の変化にとまどう姿が浮かびあがっている。
3. 女性の健康課題を解決する「制度」や「コミュニケーション」が企業に求められている

#### ◆課題

上司が男性の場合、女性特有の健康課題で体調がすぐれないことを伝えにくいと感じている女性は全体の67%（1,155人中771人）、我慢してつらい思いをしていることを理解してもらいたいと感じている女性も全体の62%にのぼっていることから、職場における男性上司の理解と、一人で抱え込まずに相談できる環境が求められる。

また、女性特有の健康課題の対策として、女性が職場に求めるトップ3は、治療のための休暇や柔軟な勤務形態、業務分担・適切な人員配置と言った「制度の充実」と、上司や部署内での「コミュニケーション」であるが、こうした制度の充実やコミュニケーションの改善を企業が図るためには、性別や役職に関わらず、女性特有の健康課題に対する理解を深める必要があり、女性活躍推進においては、社員のヘルスリテラシー向上策の検討が急務である。

### 医師による法人向けオンライン健康相談サービス

#### ◆成果

アクセスデータ／訪問数：5,706 ページビュー数：10,321 (2021/10/1～2022/2/28)

健康相談利用者予測を対象者5,700人の15%に設定したが、実績は45人(0.8%)と大きく低迷  
利用者アンケート／サイトの見やすさ(満足度62%)、相談のしやすさ(同91%)、回答までの時間(同76%)  
医師の対応(同67%)、総合(同76%)

- ・年代別にみると20代の相談が最も多く、続いて30代、40代の2倍の順だった。
- ・相談内容の内訳は、婦人科が44.4%と最も多く、次いで泌尿器科・美容皮膚科15.5%、産科(不妊・妊活)13.3%と続いた。婦人科の相談者の年代は20～50代と幅広く、月経随伴症状と更年期に関するものが多く、女性のライフステージの変化に伴う症状に関する相談が寄せられた。
- ・泌尿器科の相談者は少数ながら20～60代と各世代に分布しており、特に産後、妊娠中の尿漏れや繰り返す症状に悩む声や寄せられた。
- ・産科(妊活・不妊)の相談者は、20代と30代。何から始めればいいのか、どこに相談すればいいのか分からないという声や具体的な症状、状況に言及し、アドバイスを求める相談が複数寄せられた。また、セカンドオピニオンを検討しているという相談も見受けられた。
- ・1回の相談だけでなく、2回相談した方が27.2%以上いた
- ・地域の有名病院医師が相談対応したため、サービスの信頼確保、品質の担保ができた

#### ◆課題

相談件数は少なかったが、「気軽に相談できる匿名無料のWEBサービス」として利用者の満足度も高く、また企業における解決策のひとつとしてフェムテックの導入を検討したい意見も多いことから、一定の需要があると考えられる。

課題は収益化、品質担保(相談対応する医師あるいは医療専門職の拡充)。そのほか、遠隔健康医療相談サービスの範囲策定(行政ガイドライン)も求められる。

また、今回インターネットブラウザによるサービスとしたが、利用者を増やすためには、スマートフォンアプリ開発や情報配信などの利便性の向上が必要。



- 1 女性自身の健康リテラシーや健康管理・能力の向上に関する取り組み
- 2 企業に対する働く女性の健康課題についての啓蒙活動
- 3 運営体制の拡充（保健師、看護師など）
- 4 オンライン健康相談サービスの有料化の検討（収益化）
- 5 オンライン健康相談サービスからオンライン診療への移行検討
- 6 行政・今年度フェムテック補助事業採用社・その他協賛企業との連携





# 09.

生理用品の計量管理による生理周期の把握とデータを活用した健康課題の解決  
(シャープ株式会社)

## 生理用品IoT収納ケース・サービスの実証事業成果報告

「生理用品の計量管理による生理周期の把握とデータを活用した健康課題の解決」



## 実施概要



## こんなストレスがあります…

### 生理周期の管理が面倒、続かない

#### 入力の手間・入力忘れが課題



忙しくて入力を忘れてしまう  
入力の手間が煩わしい

### 生理用品のトラブル

#### 収納のストレス



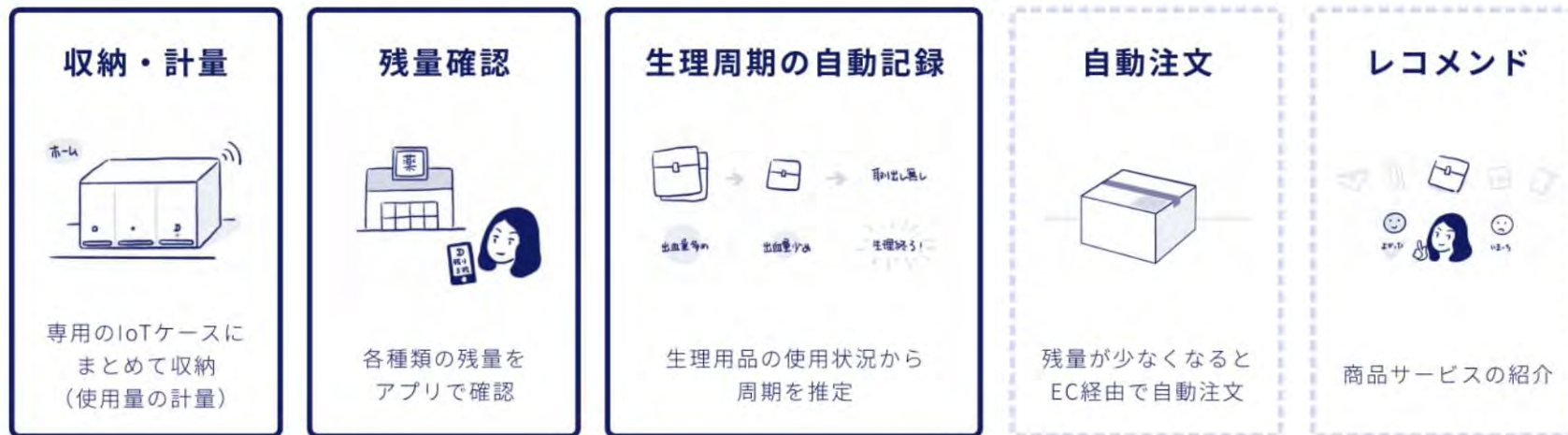
生理用品の収納が難しい  
買い忘れや買いすぎ

#### 自分に合う生理用品 分からない



種類が多い  
他人に相談しづらい

## 生理のストレスを少しでも緩和できますように



## 実証事業の概要

<p><b>事業目的</b></p>	<p>① プロダクト利用の効果測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在庫管理や生理周期の記録に関する負担や不安の軽減</li> <li>・ 生理や用品に関する意識の変化</li> </ul> <p>② サービスの価値向上検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェムテックサービスとの連携</li> </ul>
<p><b>対象者</b></p>	<p>国内の働く女性</p>
<p><b>検証方法</b></p>	<p>プロトタイプ（IoT収納ケース・スマホアプリ）を使った実証</p>
<p><b>検証期間</b></p>	<p>2ヶ月～3ヶ月</p>



## 効果測定の実施

### ユーザーアンケート



- ・負担や不安軽減の効果測定
- ・意識と行動の変化

### リモートインタビュー



- ・女性被験者の心理や感情、意見を深く聞き出す

### 計量データ分析

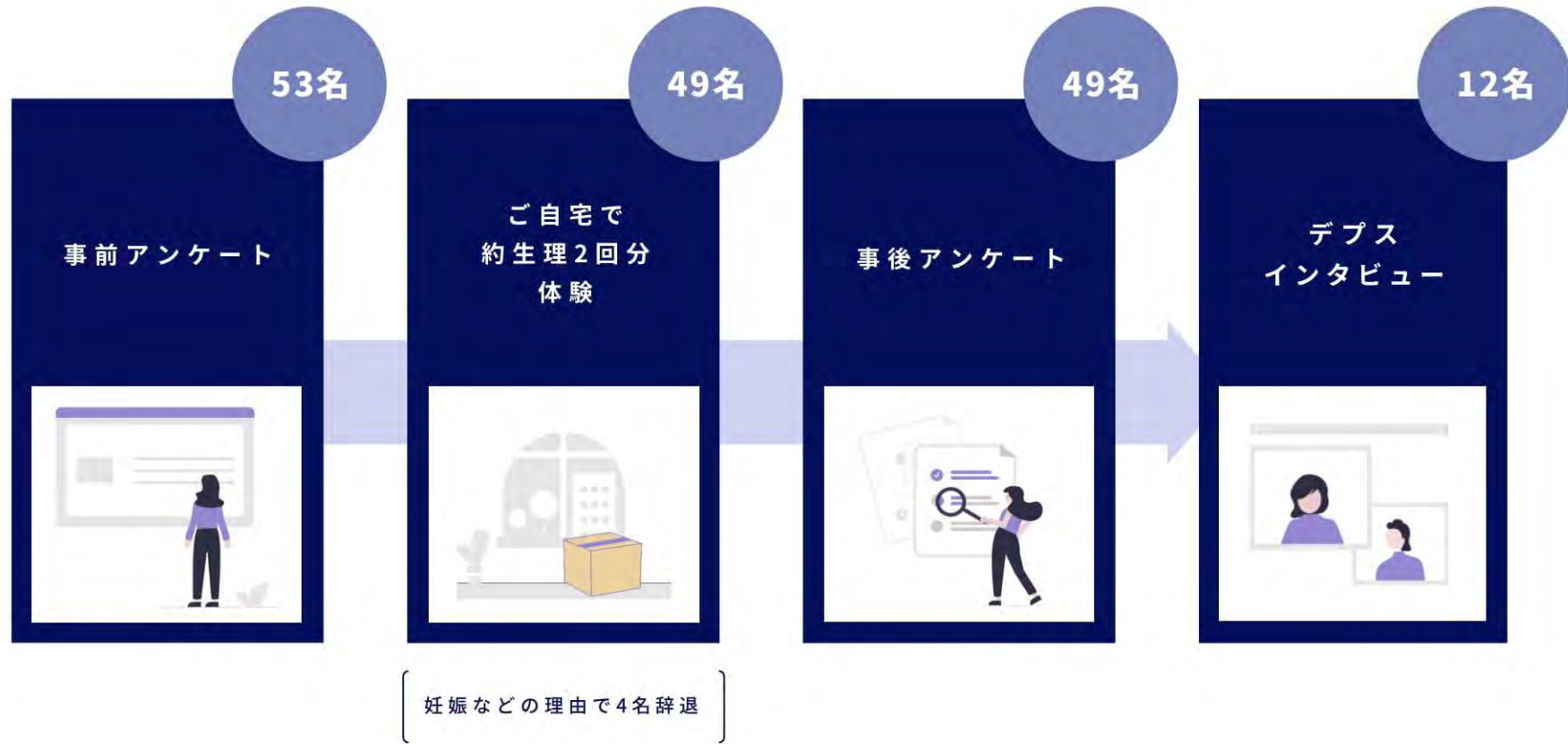


- ・生理用品利用実態の分析
- ・アルゴリズムの検証

## 実証事業の流れ



## 実施状況





## 実証事業の実施状況



モノづくり

本体ブラッシュアップ

アプリブラッシュアップ

配布資料・梱包設計



実験運営

被験者募集・対応

アンケート設計

法務審査・運営委託契約



その他の活動

関係事業者様ヒアリング

蔦屋家電Plus出展中

NHK・日経BPなどの取材

## 成果報告

## ストレスの軽減効果について

収納のストレス軽減

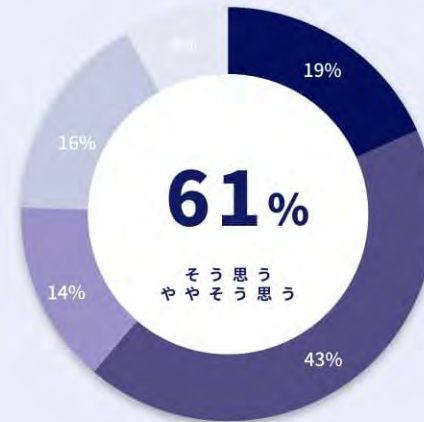


30代 共働き

少しコンパクトな方がよ  
かったが、まとめて便利。

あと、生理のことは必要以  
上に隠さなくていいのだな  
という気付き。

残量管理のストレス軽減

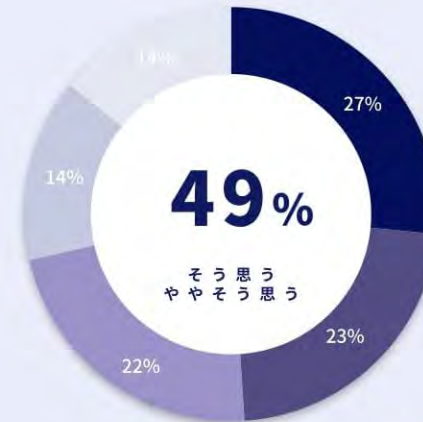


30代 共働き

今まで夜中にコンビニに  
ダッシュが何回もあった

買い物の予定を考える  
手間が省けてよかった！

周期管理のストレス軽減



20代 新社会人

生活しているだけで  
記録してくれることが  
一番魅力。

※ n = 49

■ そう思う

■ ややそう思う

■ どちらでもない

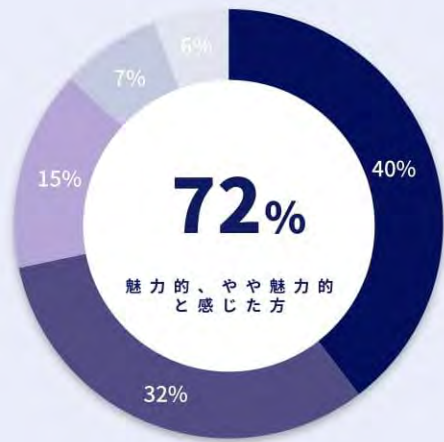
■ あまりそう思わない

■ そう思わない



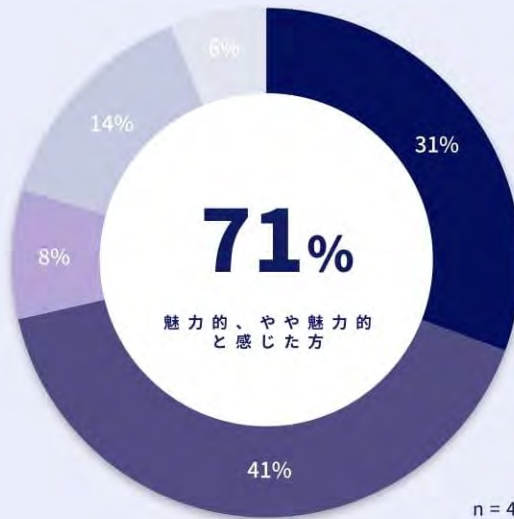
## 「生理用品在庫管理」についてのニーズ検証

事前アンケート



n = 53

事後アンケート



n = 49

■ 魅力的 ■ やや魅力的 ■ どちらでもない ■ あまり魅力的でない ■ 魅力的でない



### 20代 一人暮らし

便利なのかわからないで  
使い始めたが、

何回も買い物前に  
残量を確認していて  
結構便利なのがあった。

## 「周期自動記録」についてのニーズ検証

事前アンケート



n = 53

事後アンケート



n = 49

■ 魅力的   ■ やや魅力的   ■ どちらでもない   ■ あまり魅力的でない   ■ 魅力的でない

デプスインタビュー:

ニーズの違いによって意見が分かれる

40代 2児の母



あまり魅力でない ✖

基礎体温を20年ほど記録  
正確に生理を記録してほしい  
遅れて判定に違和感

30代 1児の母



○ 魅力的だ！

妊娠して以来、  
周期管理が途切れていた。

今は子供欲しい状態ではない  
ので、自動記録でゆるく管理  
できたらとても楽！

## 各ライフステージでの周期管理ニーズの違い



各ライフステージの女性をサポートするために  
月経関連サービスの事業者様と連携していきたい



## 行動と意識の変化

### リテラシー



20代 新社会人

社会人になってから生理のしんどさを実感した。これを機に周期をつけてみようかなと思っている。



20代 新米ママ

イライラなど気分や体調の変化が自分のせいだと思っていたが、生理周期を把握することで原因がわかって楽になった。

### 習慣の見直し



30代 家族暮らし

履歴を見て、自分が思ったより使っていないことが分かった。だからいつも買いすぎてしまうね

自分が使ってる商品や習慣を見直すきっかけになった。



20代 家族暮らし

婦人科受診時出血量の参考になると思う。

### 生理の共有



20代 新米ママ

このきっかけで生理の話題になって、生理の大変さを夫に共感してもらった。



40代 二児の母

職場の男性の同僚たちと実証実験の話共有し、初めて生理について話をした。

## 利用データ解析



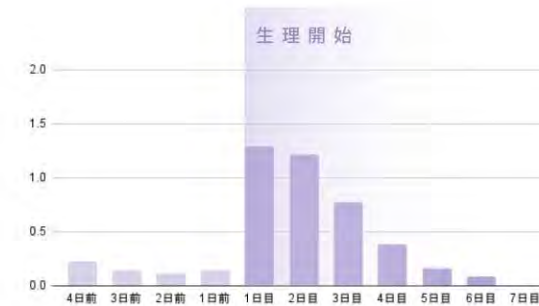
軽い日用、おりものシート  
生理期間中平均使用枚数



昼用ナプキン  
生理期間中平均使用枚数



夜用ナプキン  
生理期間中平均使用枚数



今後蓄積されるデータからこんなことも分かります：

- 個人の使用枚数の変化
- 生理の平均継続日数
- 各種類のナプキンの人気商品ランキング
- ...

## 今後の課題と展開

## 課題

### ハードウェア

計測精度

サイズ・設置方法

### ソフトウェア

生理判定アルゴリズムの精度

パーソナライズ

### サービス

ターゲットユーザー検討

他の生理用品との兼用

家族との共有



## 今後の事業展開

### ターゲットをフォーカスした事業展開

- 各ライフステージの女性に向けたサービス展開
- 生理初心者に向けたサービスの可能性

### 事業化に向けた取り組み

- ハードウェアとアルゴリズム改善
- サービス連携（EC・生理管理・ヘルスケアなど）

女性のヘルスリテラシー  
向上のきっかけを  
一緒に作っていきたいです！

フェムテックが家電のような身近な存在となって  
多くの人々が便利で安心できる暮らしのために

**SHARP**

Be Original.

# 10.

働く更年期女性がキャリアをあきらめないためのヘルスリテラシー向上・相談窓口事業  
(株式会社ジョコネ。)



**働く更年期女性が  
キャリアをあきらめないための  
ヘルスリテラシー向上・  
相談窓口事業**

**代表団体 株式会社ジョコネ。  
北 奈央子**

# Mission

女性がヘルスリテラシー高く  
生きられる社会の実現を目指す

# オンライン骨盤底筋トレーニング 底トレ®



# 実施内容概要

目的：以下の事業を通して、働く女性自身と職場の周囲のヘルスリテラシーの向上、そして仕事のパフォーマンスやモチベーションの向上度合を検証する



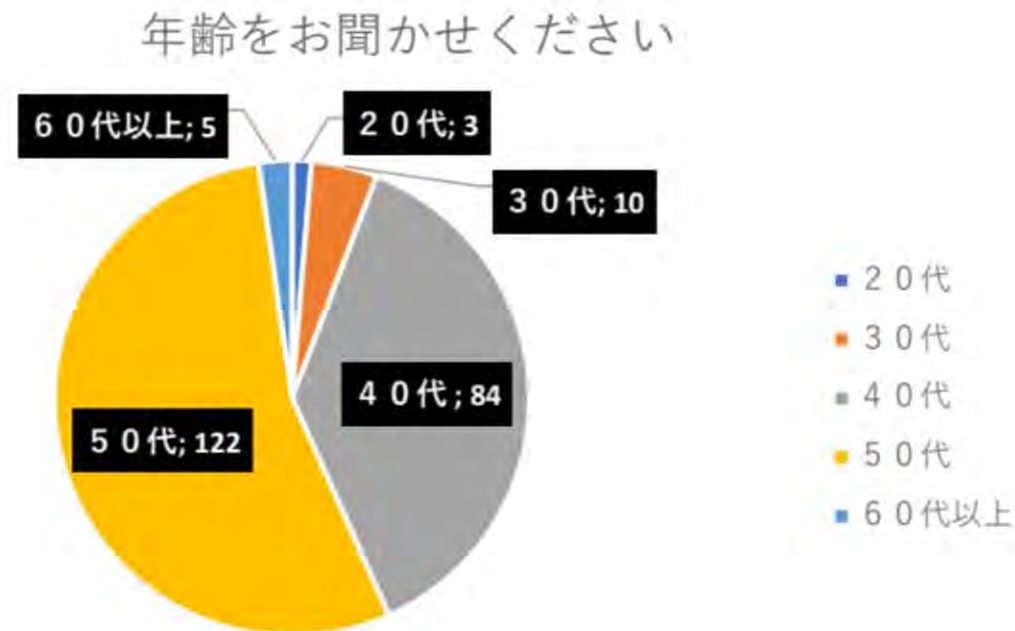


# 参加者数全体像

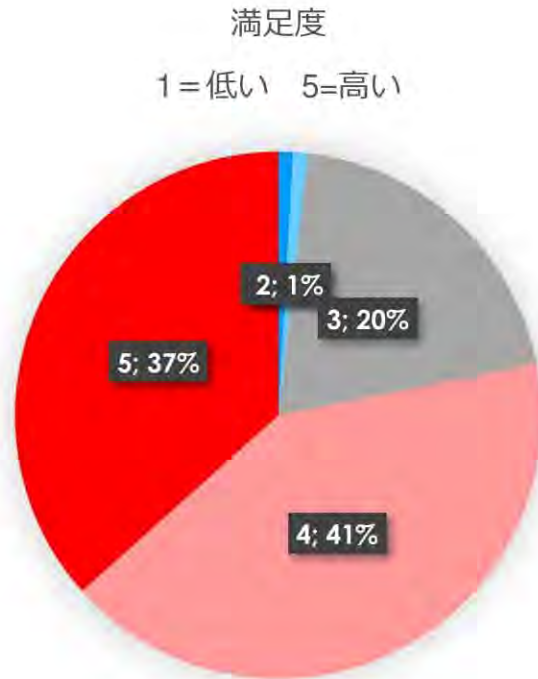
		参加者人数	内キャンセル数	
第1回セミナー参加者数		300		事前申し込み 500名
第2回セミナー参加者数		125		事前申し込み 200名
カウンセリング申込者数		62		
カウンセリング予約数		57		
カウンセリング受講者数		57		1件業務都合にてキャンセル連絡あったが、カウンセラーの好意で時間変更により実施
改善策：	パーソナルトレーニング	15		
	グループトレーニング	8	3	日程あわない、家庭事情
	東洋医学	10		
	パーソナルカウンセリング	10	1	日程調整連絡なし
	グループカウンセリング	5		
	なし	9		
改善策実施開始前キャンセル		3		
改善策途中キャンセル		1		

# 実施概要：セミナー①

- タイトル：「わかる, カラダ, かわる。働く女性の持続可能なボディメイク」
- 実施日時：9月17日（金）19時～20時30分
- 形式：オンライン+1か月間のアーカイブ配信
- 案内方法：国内大手企業の全社員へのメールに流す仕組みを使い、10万人以上に告知
- 申込者数：520名程度（リアルタイム参加300名超）
- カウンセリング希望者数：60名超  
→実際の予約40名+



# アンケート結果：セミナー①



アンケート回答数224  
平均4.18点

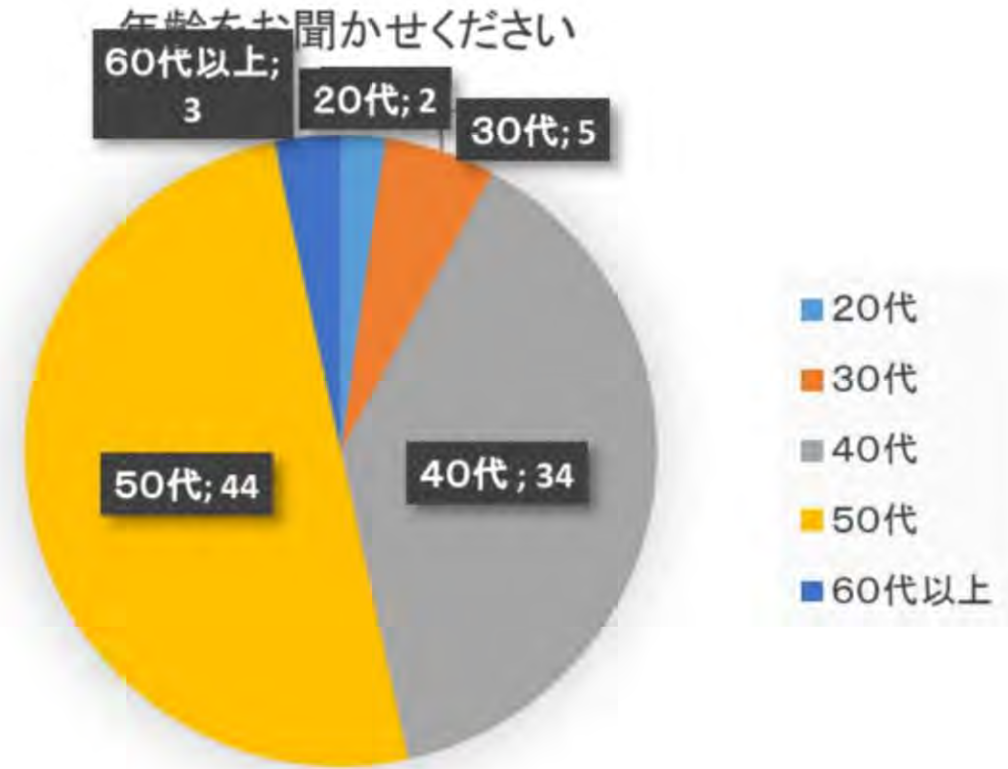
## コメント記述、170件いただきました！

- 女性の生まれ持った特性には共感する部分が多かったです。
- 「ついで」に行う事で習慣化する→心理的ハードルが下がりました
- 隙間時間の活用。女性は本当にマルチタスクなのだな、という気付き。
- 頑張りすぎないで大丈夫、Do nothingからDo somethingでOKというのが安心しました。
- 自分の身体に対して、客観的に捉えることが大事。カラダのサインに耳を澄ませて自分に起きていることを知ることが大切。
- 自分の身体の声聞くこと、自分の身体を丁寧に扱う、自分の身体を大切にすること、怖がらないで体を治す、こと
- 婦人科の受診のハードルが少し下がった気がします。
- 具合が悪くなる前に平均値を知っておく、と聞いて、早速足が遠のいていた病院の予約をしました。



# 実施概要：セミナー②

- タイトル：「働く女性の健康デザイン」
- 実施日時：10月12日（火）19時～20時30分
- 形式：オンライン+1か月間のアーカイブ配信
- 案内方法：国内大手企業の全社員へのメールに流す仕組みを使い、10万人以上に告知
- 申込者数：200名程度（リアルタイム参加120名超）
- カウンセリング希望者数：20名→実際の予約10名+

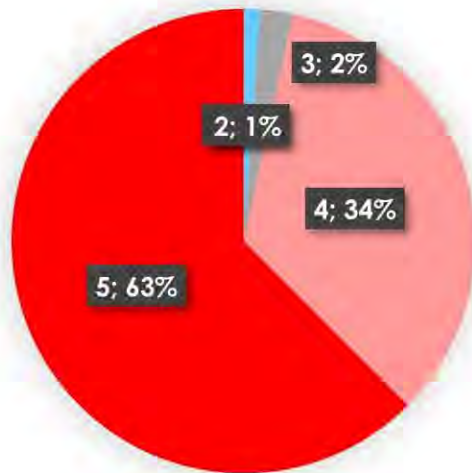




# アンケート結果：セミナー②

セミナー満足度

1=低い 5=高い



アンケート回答数88  
平均4.58点

## コメント記述、79件いただきました！

- 今後自分の心や身体にどんな変化が起きるのか知らなくて不安だったが、知れて、何を今すべきかわかった。
- 更年期対策は自分から情報を取りに行き、自分に合った方法を選ぶようにする。
- 更年期以降は、自分を作り直す、新たな自分になるチャンス、という意識を持つこと。できなくなったことにフォーカスしない。
- 更年期は誰にでも来るもの 自分の症状は特別ではないということがわかって安心した
- 自分の健康をデザインするという考えに納得しました。ありがとうございました。
- 更年期での受診のハードルが少し低くなりました。近々行ってみます。
- 強い症状がなくても、複数症状があるので、婦人科を受診しても良いということがわかりました。
- HRTについて間違ったイメージがあったので正しい情報を得られてよかった

1  
2  
3  
4  
5

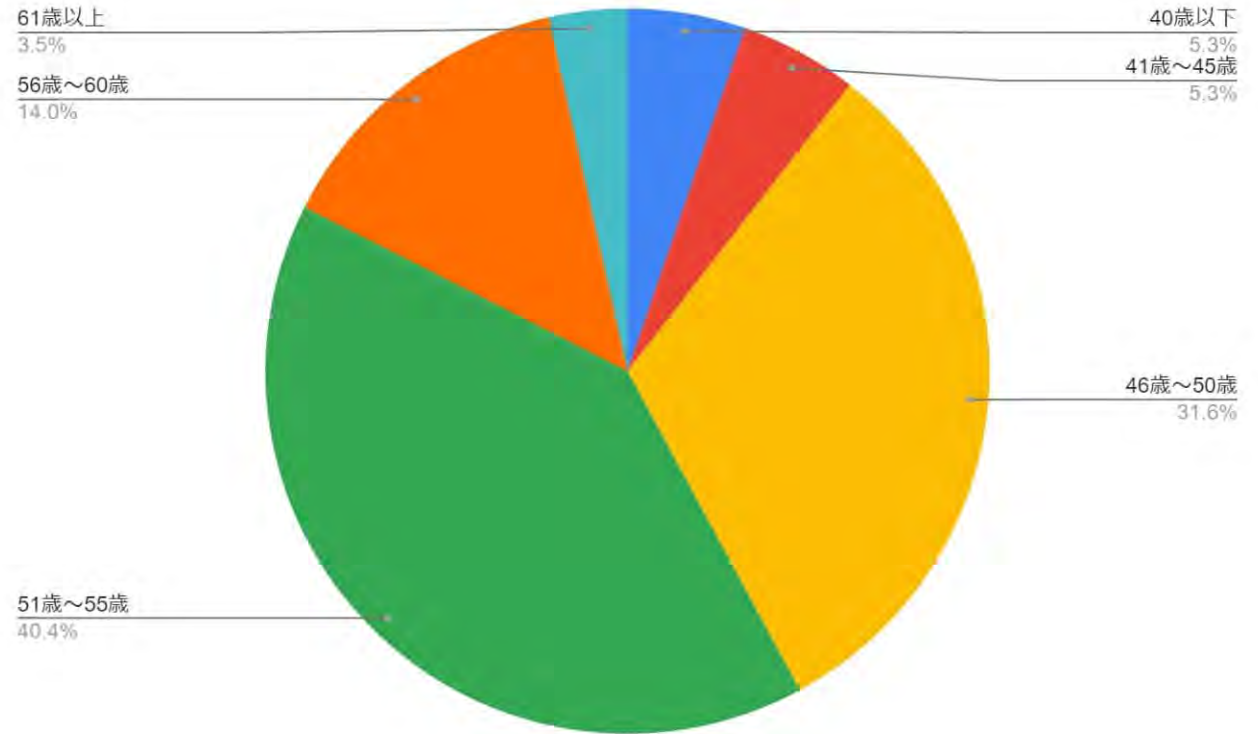
# セミナーからの学び

- 準備が前もって必要であったが、全社員に告知されるメールプラットフォームの活用が大きかった（社内で活動実績をもち、ノウハウがあった）
- 告知に「更年期」という言葉は避けたのが功を奏した可能性がある
- セミナー内容としては、具体的な方法や事例への関心が高かった。
- セミナーに登壇したカウンセラーへの予約が多かった
- セミナー参加（カウンセリング非該当者も含む）から実際にアクションをする人は1-2割程度であった



# 実施概要：カウンセリング

- オンラインで45分間1対1のカウンセリング
- カウンセラー3名（うち2名はセミナー登壇者）
- 予定数50名に対し、57名の予約
- 予約後キャンセルは1名（仕事の都合）
- 9割がた改善策を選択、人気のあるものは早々に定員に達した
- オンライン接続にとまどう人が2割ほど

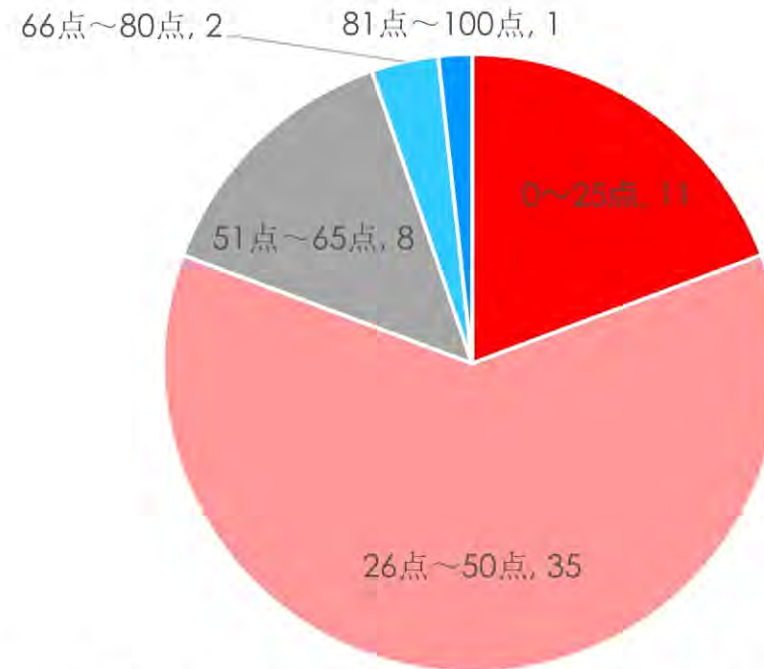


# カウンセリング事前アンケート結果 更年期症状

## 更年期症状



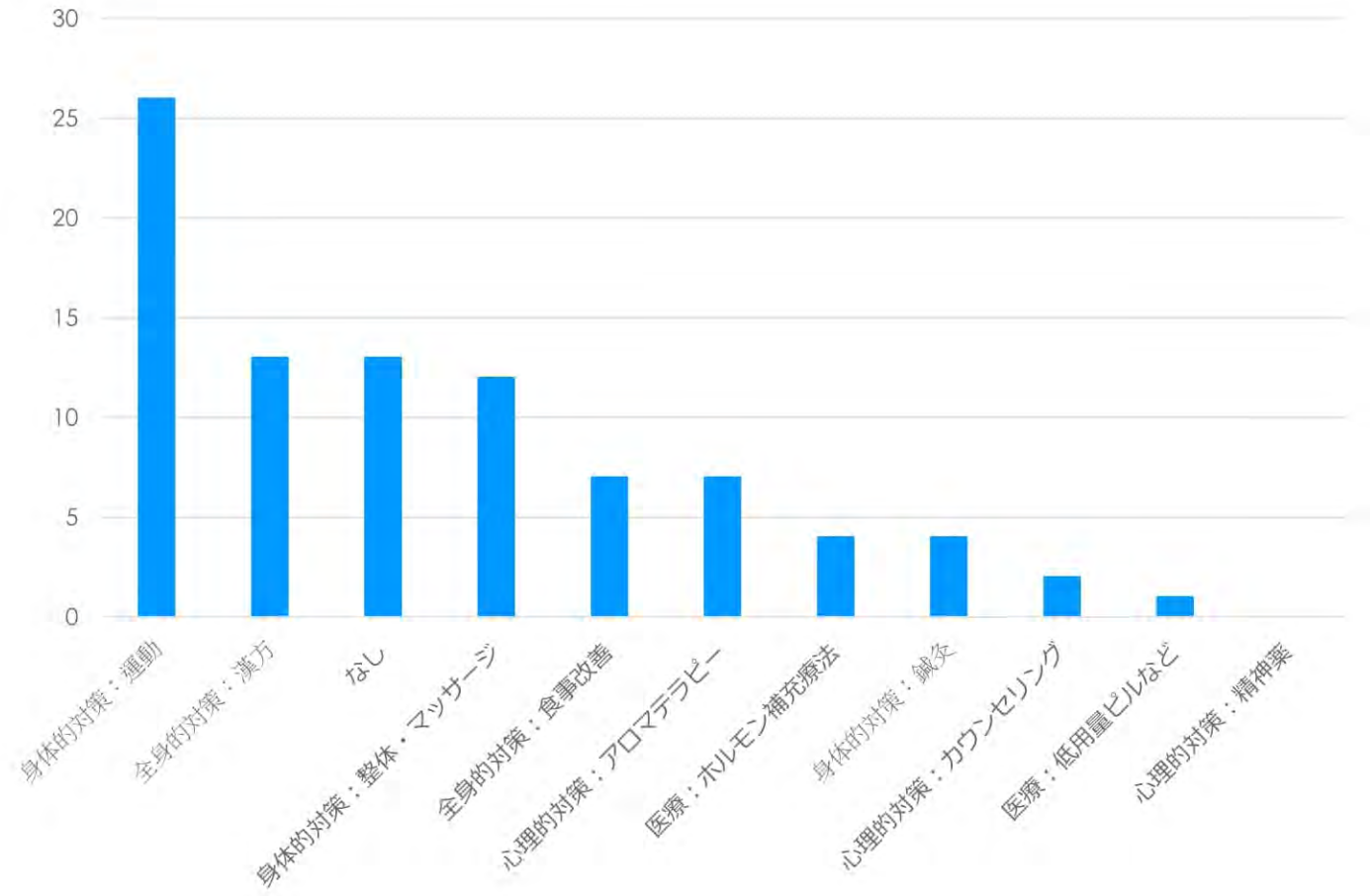
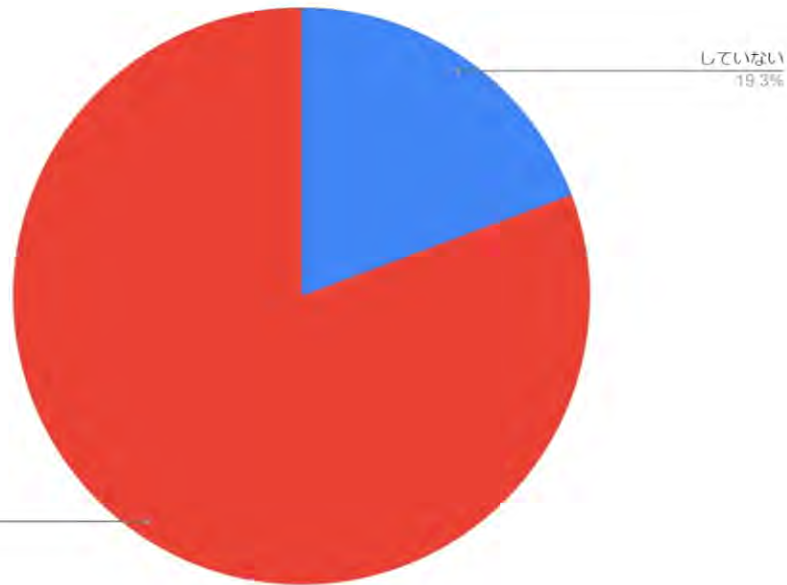
## SMI



0～25点：上手に更年期を過ごしています。これまでの生活態度を続けましょう。  
 26～50点：食事、運動などに注意を払い、生活様式などにも無理をしないように。  
 51～65点：医師の診察を受け、生活指導、カウンセリング、薬物療法を受けた方がいいでしょう。  
 66～80点：長期間（半年以上）の計画的な治療が必要でしょう。  
 81～100点：各科の精密検査を受け、更年期障害のみである場合は、専門医での長期的な対応が必要でしょう。

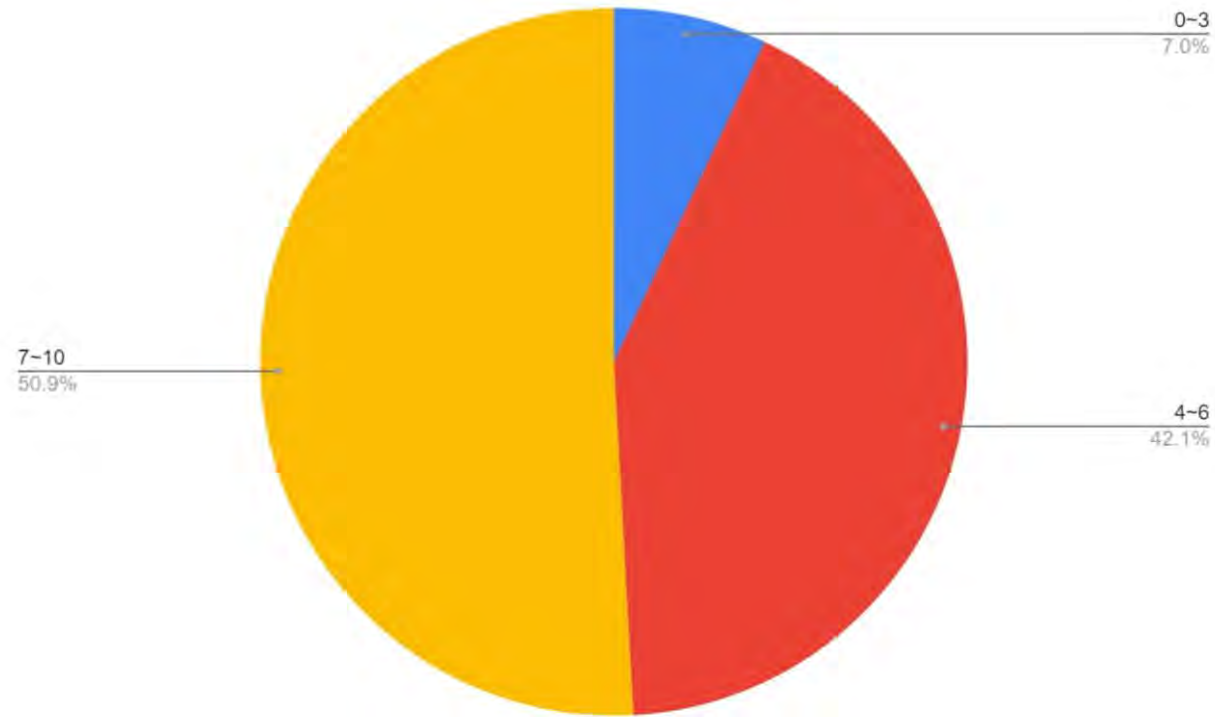


# カウンセリング事前アンケート結果 更年期への対策状況



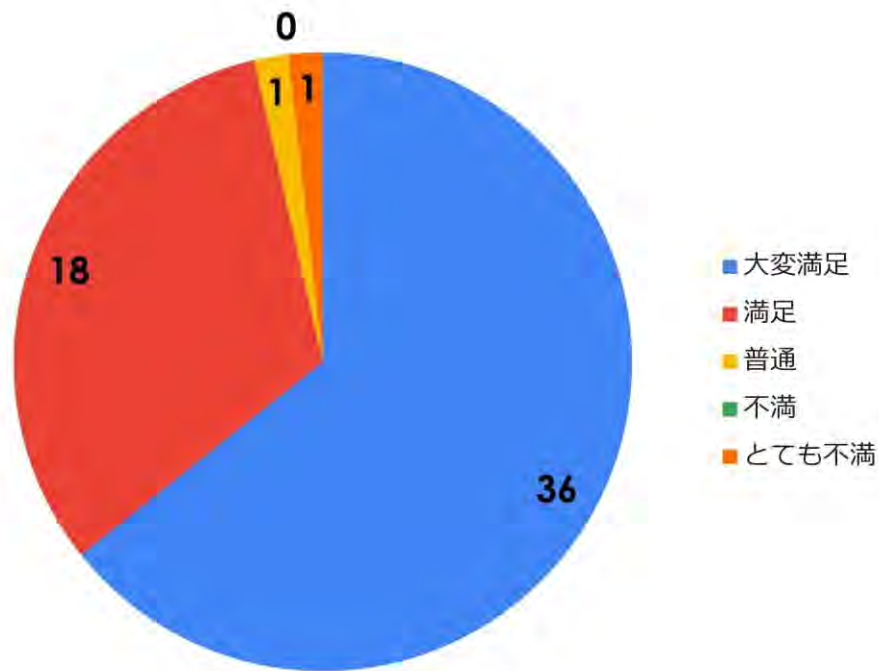
# カウンセリング事前アンケート結果 仕事への影響

更年期症状の仕事のパフォーマンス  
への影響 10点満点



平均6.18点

# カウンセリング実施後アンケート結果 満足度



◆「とても不満」の方のご意見：お話しを聞いていただき色々情報もいただきました。申し込みが遅かったせいか選べる選択肢がトレーニングでしたが、東洋医学等も選択肢にあったら試してみたかったです。

◆「普通」の方のご意見：色々アドバイスしたいというお気持ちがあっただけ、展開が早くてちょっと急かされた感じを受けました。

◆「大変満足」「満足」の方のご意見（一部抜粋）：

- 気持ちに寄り添って話を聞いていただきスッキリしました。今、まず、何をした方がいいのか、明確になり、また、やってみようと思いました。
- 更年期の過ごし方について、正解は医師でも持ち合わせていないし、人それぞれなので、いろいろ試して、実証実験を自分の身体で行っていると思えばいいと伺い、とても気持ちが楽になりました。
- 1人で悩んでいた事を聞いてもらい、改善のアドバイスを受けられた
- 自分の症状を思い出しつつ話すうちに、点と点がつながるような感覚になり、安堵感がありました。その上でもっと元気で美しい未来のために今やっておきたい解決策に取り組んでみようという決意が生まれました。
- 今の自分の状況を分かっただけで、自分に合ったアドバイスをいただけたので、大変ありがたいと思っています。これまで近所の病院では一般論しか得られずどうにもならなくて悩んでいた
- 長年の体の不調を細かく聞いていただいたり、何をお問い合わせしても的確に納得いく説明をしていただきました。
- 今まで相談する場所がなかった為



# カウンセリングからの学び

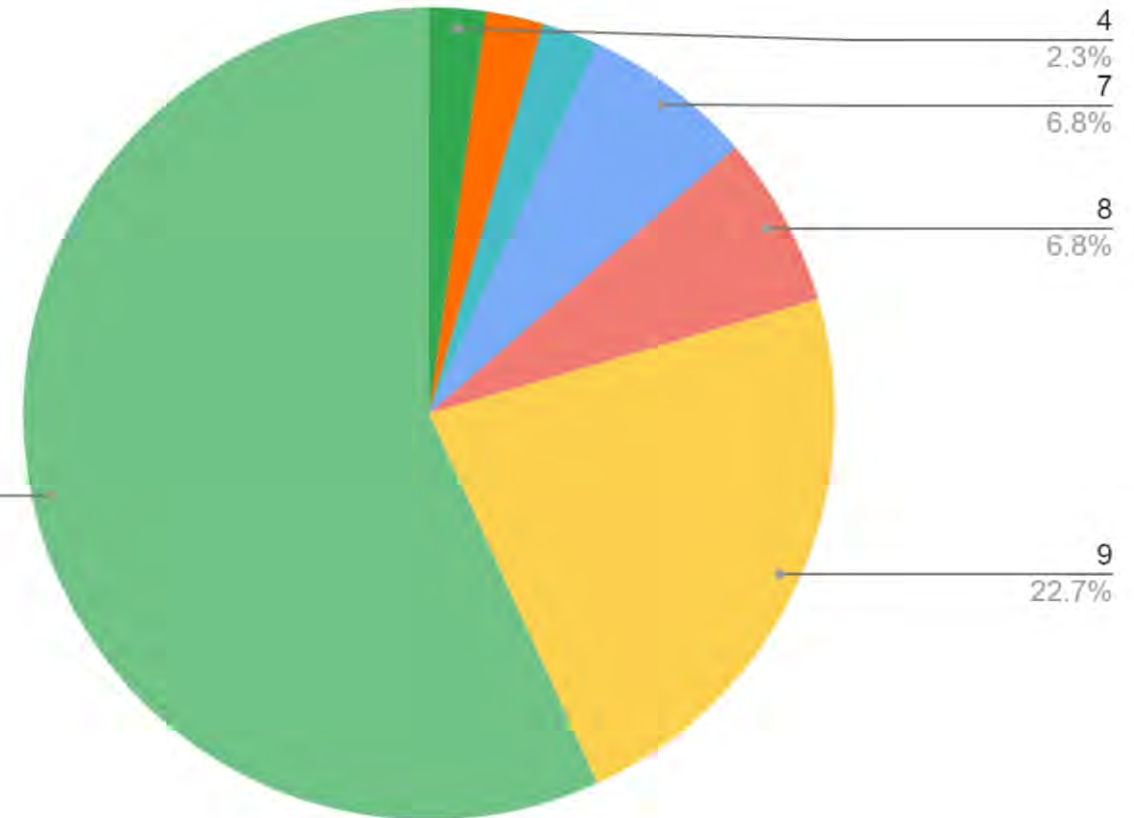
- 更年期をよく理解しているカウンセラーに依頼したのが功を奏した
- 何等か対策している人は8割と多かったが、カウンセリングを受けることで何等かメリットが得られておりカウンセラーの重要性が示唆された
- カウンセラーの役割として、アドバイスをすることより、寄り添って話をきき、本人の要求を明確化して振り分けることが重要であった
- セミナー後であったため、質問をもっていたり、意識が高まっていたのでカウンセリングはやりやすかった



# 実施概要：改善策

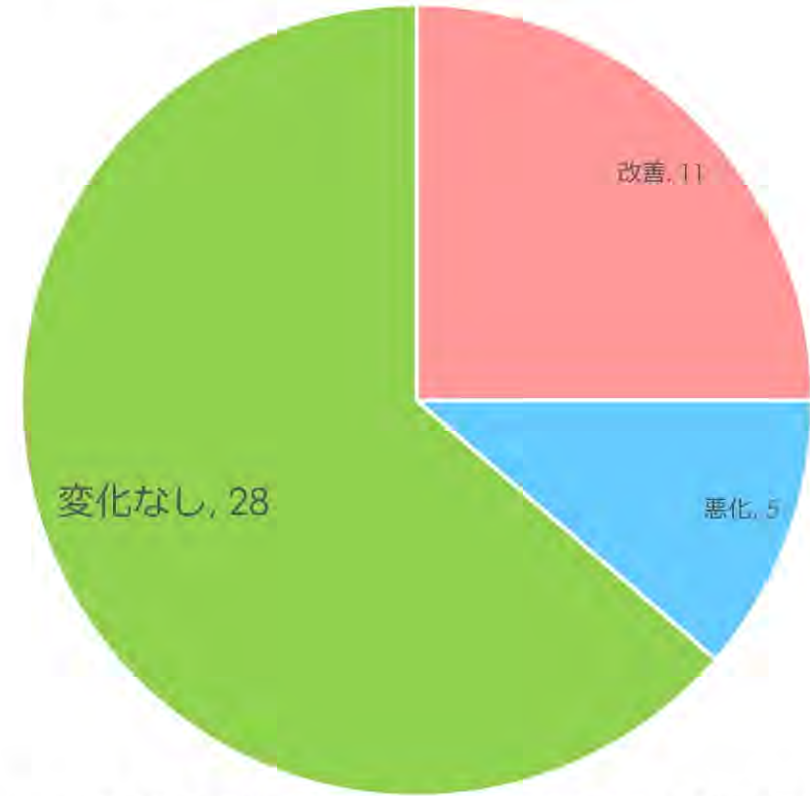
サービスへの満足度は10段階評価で平均8.48点

- オンライン（＋一部郵送）で3か月間継続
- メニューは運動（パーソナル、グループ）、漢方、カウンセリング（パーソナル、グループ）
- 回答済み44名の回答結果より



# 改善策受講前後の変化 更年期症状尺度 (SMI) n=44

- 平均40.1 → 37.1と平均点は改善
- 点数による改善は22名、悪化は16名、変化なしが6名であった
- SMIのカテゴリーを超えて改善11名、悪化5名、変わらず28名 (右図)



0～25点：上手に更年期を過ごしています。これまでの生活態度を続けましょう。26～50点：食事、運動などに注意を払い、生活様式などにも無理をしないように。

51～65点：医師の診察を受け、生活指導、カウンセリング、薬物療法を受けた方がいいでしょう。

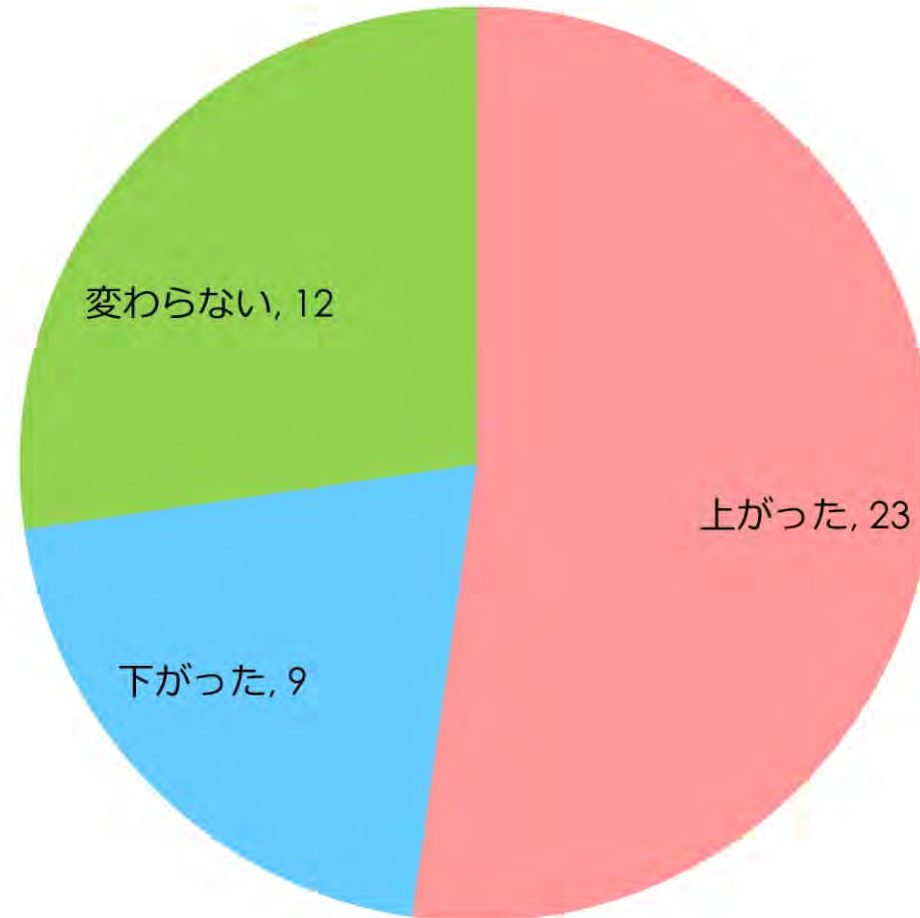
66～80点：長期間（半年以上）の計画的な治療が必要でしょう。

81～100点：各科の精密検査を受け、更年期障害のみである場合は、専門医での長期的な対応が必要でしょう。

# 改善策受講前後の変化

## 仕事のパフォーマンス n=44

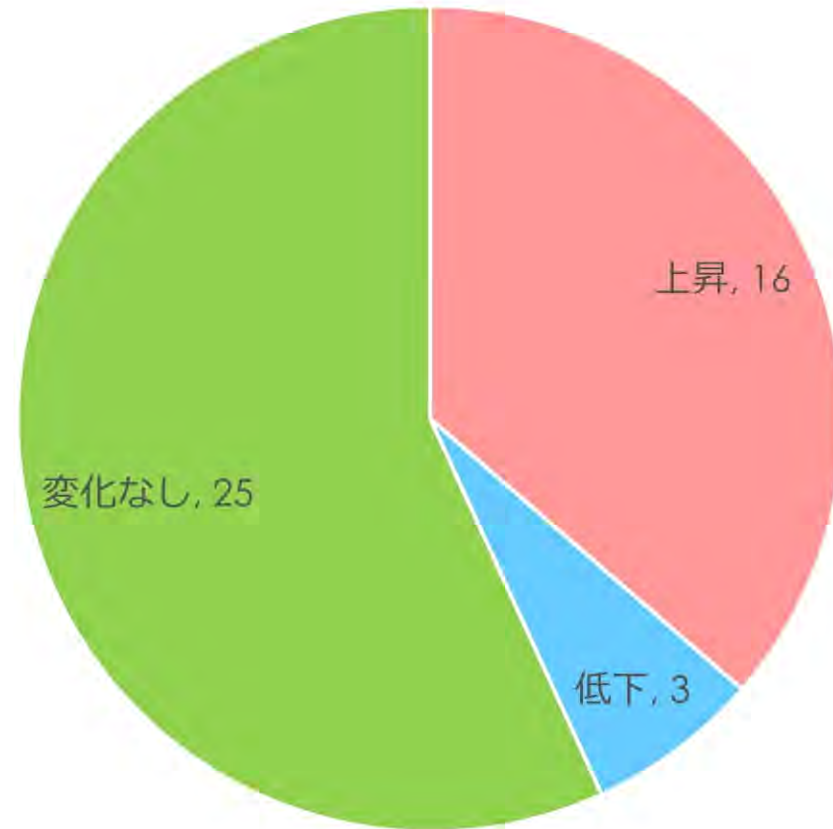
- 平均6.1 → 7.1と改善
- 上がった人が半分以上
- 下がった人のうちほとんどがSMIが上昇





# 改善策受講前後の変化 仕事のモチベーション n=44

- 平均28.5→32.5と上昇
- 上昇25名、低下14名、変わらない5名であったが、
- 3点を誤差とみれば、低下は3名のみで、上昇した人は何十点も上昇している人もいる（右図）





# 改善策で大きく効果があった方

Aさん (54歳、閉経前)  
東洋医学  
SMI52点→41点  
モチベーション**9点→47点**  
パフォーマンス**3点→8点**

Cさん (54歳、閉経前)  
パーソナルトレーニング  
SMI10点→**0点**  
モチベーション29点→42点  
パフォーマンス8点→10点

Eさん (40歳、閉経前)  
パーソナルカウンセリング  
SMI**45点→16点**  
モチベーション**18点→48点**  
パフォーマンス**4点→9点**

Bさん (58歳、閉経済み)  
東洋医学  
SMI40点→25点  
モチベーション**20点→48点**  
パフォーマンス7点→8点

Dさん (44歳、閉経前)  
パーソナルトレーニング  
SMI50点→27点  
モチベーション37点→48点  
パフォーマンス**5点→10点**

Fさん (44歳、閉経前)  
パーソナルカウンセリング  
SMI**85点→69点**  
モチベーション32点→37点  
パフォーマンス**4点→8点**

種類によらずパーソナルプログラムにて高い効果が出る人が散見された

# 改善策からの学び

- 全体的には更年期症状、仕事のモチベーション・パフォーマンスともに改善傾向にはあったが、一部効果がなく悪化する人もいた
- 改善策の種類によらず、その人にあったもの、原因を改善するものを提供できているかが重要であると考えられた。また振り分けが大事であることと、今回は改善策の枠に制限があったため希望に添えなかったことがあった。
- パーソナルプログラムにて高い効果が出る人が散見されたため、ひとりひとりに合ったパーソナライズと寄り添われている感覚が重要と考えられた。

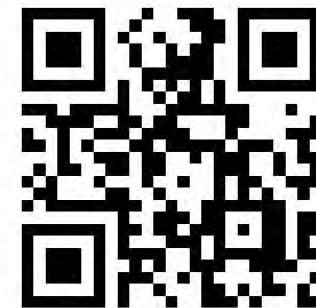
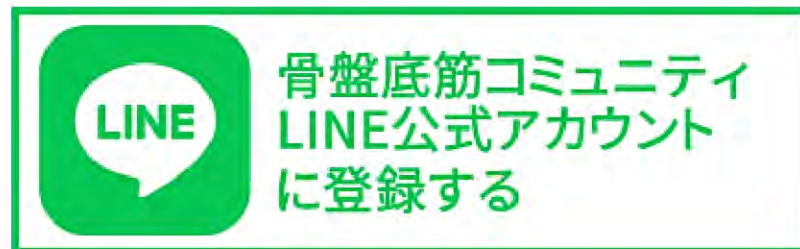


# 今後について

- 一定の有効性は示せたため、企業の更年期施策として提案をしていく。
- その人にあった改善策が提供できるよう、振り分けの標準化（チェックリストなど）を行っていききたい。
- 寄り添って話をきき、その人に合った改善策につなげられるアプリの開発、カウンセラーの養成に取り組んでいきたい。
- 継続を希望する人には継続して提供していく。

ありがとうございました。

お問い合わせなど：  
株式会社ジョコネ。 北 奈央子  
<kita@joconne.com>





# 11.

生命をつなぐ 世代をつなぐ 医療をつなぐ 診療支援システム開発  
(株式会社シンフォニア)

# 生命をつなぐ・世代をつなぐ 医療をつなぐ診療支援システム

～ 女性が輝きつづける社会のために ～



## ～女性が輝きつづける社会のために私たちができること～

- 産婦人科の医療を通して、妊娠・出産に直面する妊産婦様へ出産への希望や幸福感を追求できる支援を行います。
- 不妊治療に臨む方へ、より深い理解と治療に前向きに臨める支援を行います。
- 核家族化する社会の中で、出産・育児に悩むお母さんへの早期支援に着手できる仕組みを作ります。

診療支援ソフトウェア



Eveformaは、産婦人科に特化した診療支援ソフトウェアです。

妊娠から出産までの胎児の成長グラフや出産時の様子などを、分かりやすいイラスト・動画でまとめた診療説明のためのソフトで、最大の特徴はとことん患者目線であること。デザインは「女性が見るもの」であることを第一に考え、不安を与えないよう優しいタッチで温かみのある色合いを採用しています。

2002年の初版リリース以来、20年以上ベストセラーを続ける弊社の代表商品です。

### Eveformaの歴史

2002年 Eveforma初版リリース

2006年 Eveforma3 リリース

2011年 Eveforma5 リリース

2021年 EveformaNeoリリース

最新OS対応、症例メニュー追加、

最新OS対応、症例メニュー追加、画像の一新  
グラフ表示の精度アップなど

最新OS対応、症例メニュー追加、  
基本情報入力項目追加など

フェムテックサポートサービス実証事業の一環として3点の改良を加えました。





女性が輝きつつける社会のために

システムの改良を行います

- ① 電子カルテとの連携機能追加
- ② 不妊治療に関する症例の追加
- ③ EPDS (エジンバラ産後うつ病質問票) テスト機能搭載

## ① 電子カルテとの連携機能追加

電子カルテとの連携機能を搭載することで、カルテ内の診療情報の可視化が可能に、また、診療説明の時間短縮により、妊産婦や患者様の時間的制約を軽減するとともに、医療従事者の負担も軽減可能となります。



### 電子カルテと連携導入済⇒3院

電子カルテとの連携は、電子カルテ業者さまとの打合せや、各クライアントでオリジナルの機能の追加や修正が加えられていることから、1院あたりの作業に相当の時間がかかることが判明。そのため、実証事業として、効果の測定や課題の特定が進められないことから電子カルテ未導入院（弊社クライアント約50%）への導入をすすめるため、**Eveformaの入力情報量を電子カルテを網羅できるレベルへ上げ、医療従事者の負担軽減**に取り組むこととしました。

## ② 不妊治療に関する症例の追加

妊娠を望む女性の3人に1人が不妊治療を受けているとされています。  
 解明されていない点も多く、精神的苦痛や経済的負担も伴うため治療からの離脱や  
 治療にかかる時間的負担のための離職も多く見られます。

原因や治療方法をイラストや動画で可視化することで、より理解を深め前向きに治療に  
 取り組むための支援を行います。

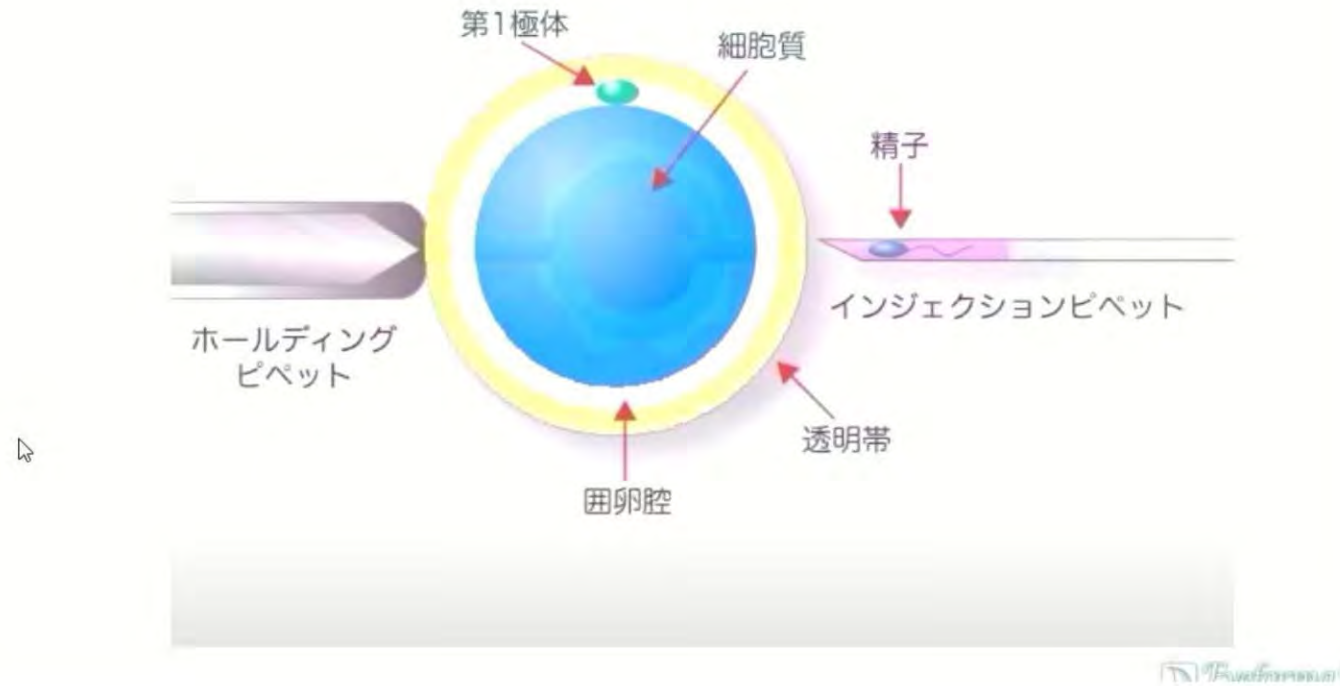
不妊			症例リスト 表示 / 非表示
妊娠のしくみ	卵巣過剰刺激症候群	人工授精 (AIH)	
排卵の力とメカニズム	多嚢胞性卵巣症候群	高度生殖医療	
正常ホルモンの変化	不妊の調べ方と治療	体外受精-胚移植	
不妊の原因	不妊症の一般検査	受精方法	
不妊の因子	検査の時期	顕微授精 (ICSI)	
不妊の因子 (女性側)	ホルモン負荷テスト	子宮奇形	
不妊の因子 (男性側)	卵管造影	子宮後屈	
妊娠の4つの力	フーナーテスト	子宮筋腫	
子宮について	タイミング指導	卵巣嚢腫	
男性側の力	排卵誘発	子宮内膜症	
抗精子抗体	採卵		

**不妊治療に特化した症例の追加を行いました**



## 顕微授精 [ ICSI ]

男性の精液の状態が非常に悪い場合に行われる受精法です



**CGやイラストを使い  
わかりやすく可視化しています**



[関連する症例へリンク](#)

## 卵管造影

### 子宮卵管造影法

子宮口から造影剤を注入して、X線撮影により卵管の疎通性を調べる検査です  
子宮の形態異常や子宮頸管の形状もわかります

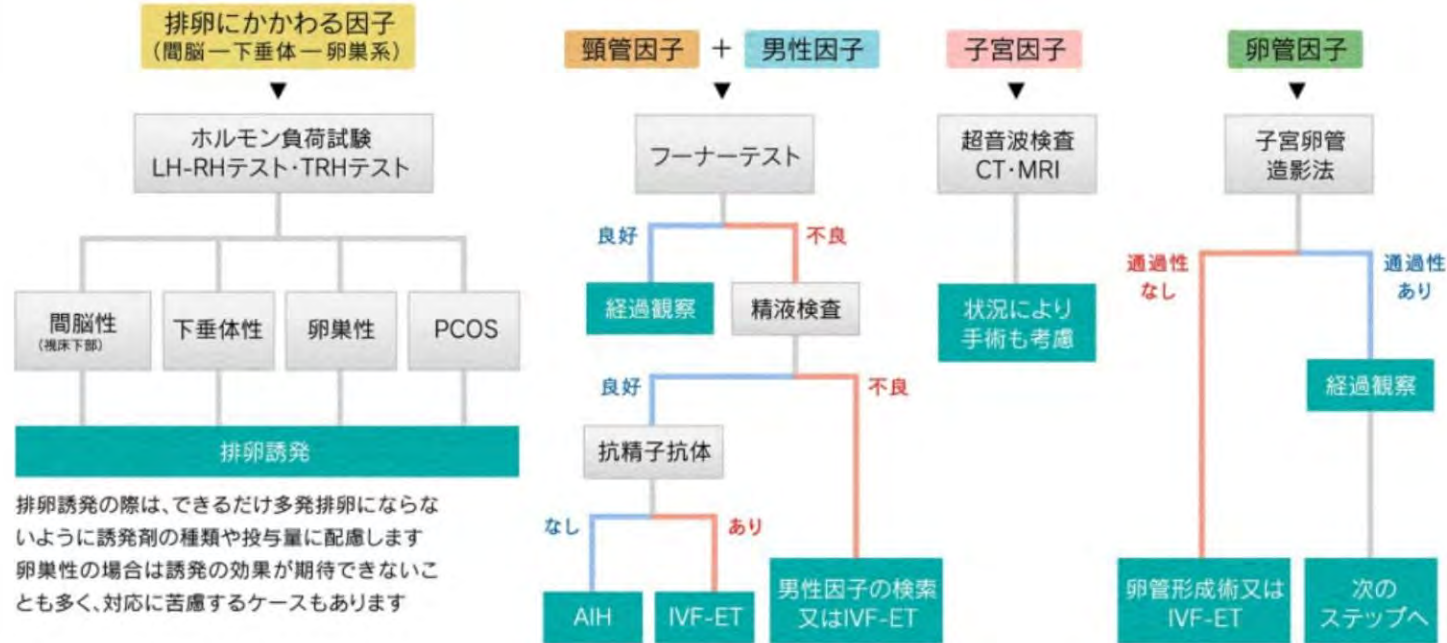
検査は月経開始後7～8日目



【造影剤を注入する際に使う器具】

**CGやイラストを使い  
わかりやすく可視化しています**

## 不妊の調べ方と治療



**治療方法を体系的に図示することで  
治療方法や治療経過の理解につながります**

### ③ EPDS(エジンバラうつ病質問票) テスト機能追加

EPDSは産後うつ病のスクリーニング票として英国で開発されました。  
 出産前後は、ホルモンバランスの乱れや生活の変化に対する不安感や疲労感から、  
 情緒不安定に陥ることも少なくありません。  
 このような症状の早期発見につなげるため、健診時に実施できるように搭載します。  
 点数も自動計算される設計とし、医療従事者の負担も軽減されます。

健診時に使用する画面上にEPDSのSTARTボタンを挿入  
 気になる症状を発見した際は、すぐにEPDSの検査指示が出せます

妊婦管理 患者様一覧

妊娠調査結果 紹介状発行 助産録発行 出生届発行 おめでとうカード 出生記録カード エコー台紙 **EPDS Start**

表示行数: 100

<input type="checkbox"/>	全チェック	件数: 1152	インデックス	患者様名	ふりがな	分娩予定日	出産経験	分娩予約	転院	マーク	紹介	助産	出生	EPDS
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	≡ 成長記録	10105	中井 智美	なかい とみみ	2021/04/17	P	R	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	≡ 成長記録	10132	廣門 舞	ひろかど まい	2020/08/24	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	≡ 成長記録	10558	藤井 桂子	ふじい けいこ	2021/06/22	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	≡ 成長記録	10641	江前 彩乃	えのまえ あやの	2020/08/13	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	≡ 成長記録	10775	土肥 香苗	どいかなえ	2021/07/19	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	≡ 成長記録	10881	伊藤 愛	いとう めぐみ	2021/11/10	P	R	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	≡ 成長記録	10886	竹内 尚子	たけうち なおこ	2021/06/10	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	≡ 成長記録	10961	田中 芳恵	たなか よしえ	2021/09/20	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	≡ 成長記録	11034	齋藤 恵美子	さいとう えみこ	2020/12/20	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1



EPDSの検査指示は自動的に  
タブレット端末に送られます

EPDSアンケートの  
登録があります

登録を確認

EPDS アンケート

中井 智美 様

10105

▶ 実行 × キャンセル

過去7日間にあなたが感じられたことに最も近い答えをタップしてください。

Q1. 笑うことができたし、物事のおもしろい面もわかった。

いつもと同様にできた

あまりできなかった

明らかにできなかった

全くできなかった

戻る 次へ

10問の設問の回答の入力が終わると  
回答データが自動的に  
Eveformaに戻ってきます

### EPDS問票全問

Q1.笑うことができたし、物事のおもしろい面もわかった

Q2.物事を楽しみにして待った

Q3.物事がうまくいかないとき、不必要に自分を責めた

Q4.はっきりとした理由もないのに不安になったり心配したりした

Q5.はっきりとした理由もないのに恐怖に襲われた

Q6.することがたくさんあって大変だった

Q7.不幸せな気分なので眠りにくかった

Q8.悲しくなったり、惨めになったりした

Q9.不幸せな気分だったので泣いていた

Q10.自分自身を傷つけるという考えがうかんできた



EPDS 患者様一覧

合計 20件

表示行数: 10

回数	記入日	状況	インデックス	患者様名	出産日	EPDS値 (点数)										合計	備考	詳細
3	2021/10/25	完了	10105	中井 智美	2021/04/17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	16		
1	2021/10/21	完了	11034	野崎 恵美子	2020/12/20	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	9		
1	2021/10/21 (登録日)	調査中	00006	テスト2	2021/12/14													
1	2021/10/21 (登録日)	調査中	00004	テスト	2021/11/10													
3	2021/10/21	完了	00005	テスト	2022/03/01	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10	aaa	
2	2021/10/21	完了	00005	テスト	2022/03/01	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10		
1	2021/10/15	完了	00005	テスト	2022/03/01	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	9		
1	2021/10/15	完了	11253	朝明 千春	2020/09/26	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10	友志 あま	

検索 削除

検査指示後の未実施分の管理ができます

妊産婦さまからお預かりした  
回答データは全て蓄積されます  
個別の検索もできるので  
経過観察や実施日の管理等が  
可能です

EPDS 検索結果リスト表示

合計 3件

表示行数: 10

インデックス: 10105

回数	記入日	状況	インデックス	患者様名	出産日	EPDS値 (点数)										合計	備考	詳細
3	2021/10/25	完了	10105	中井 智美	2021/04/17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	16		
2	2021/10/15	完了	10105	中井 智美	2021/04/17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	21		
1	2021/10/14	完了	10105	中井 智美	2021/04/17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	20		

患者様一覧 削除

名前検索ができます

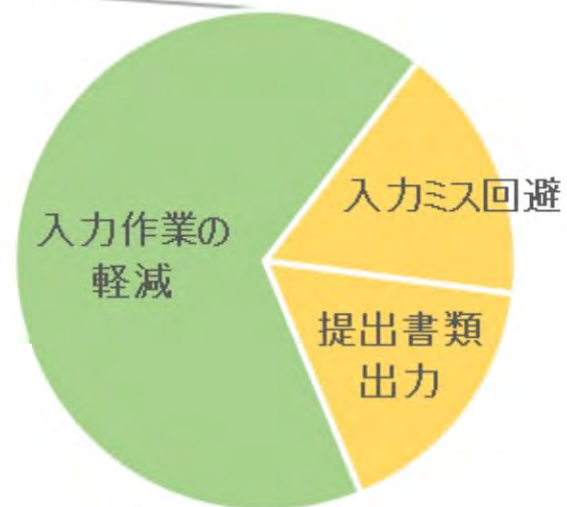
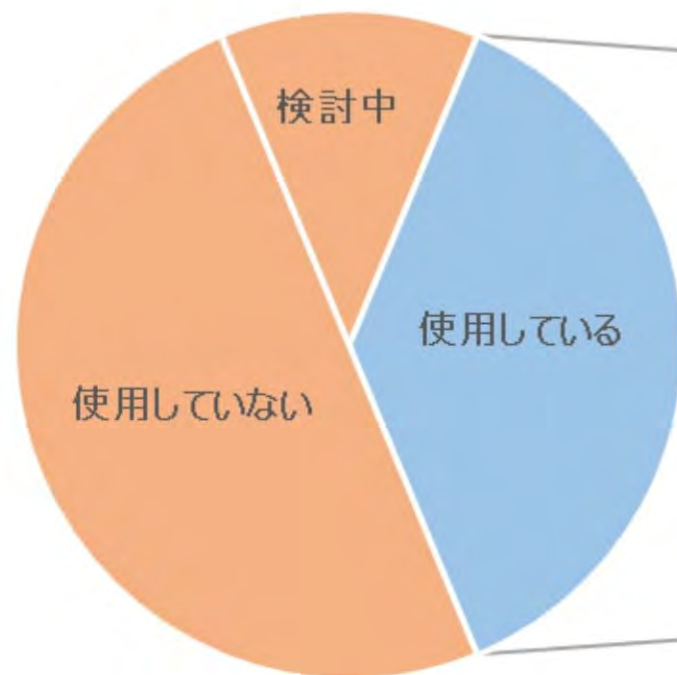
## ●電子カルテの導入について

### ①電子カルテ使用状況

導入済 6院

未導入 8院

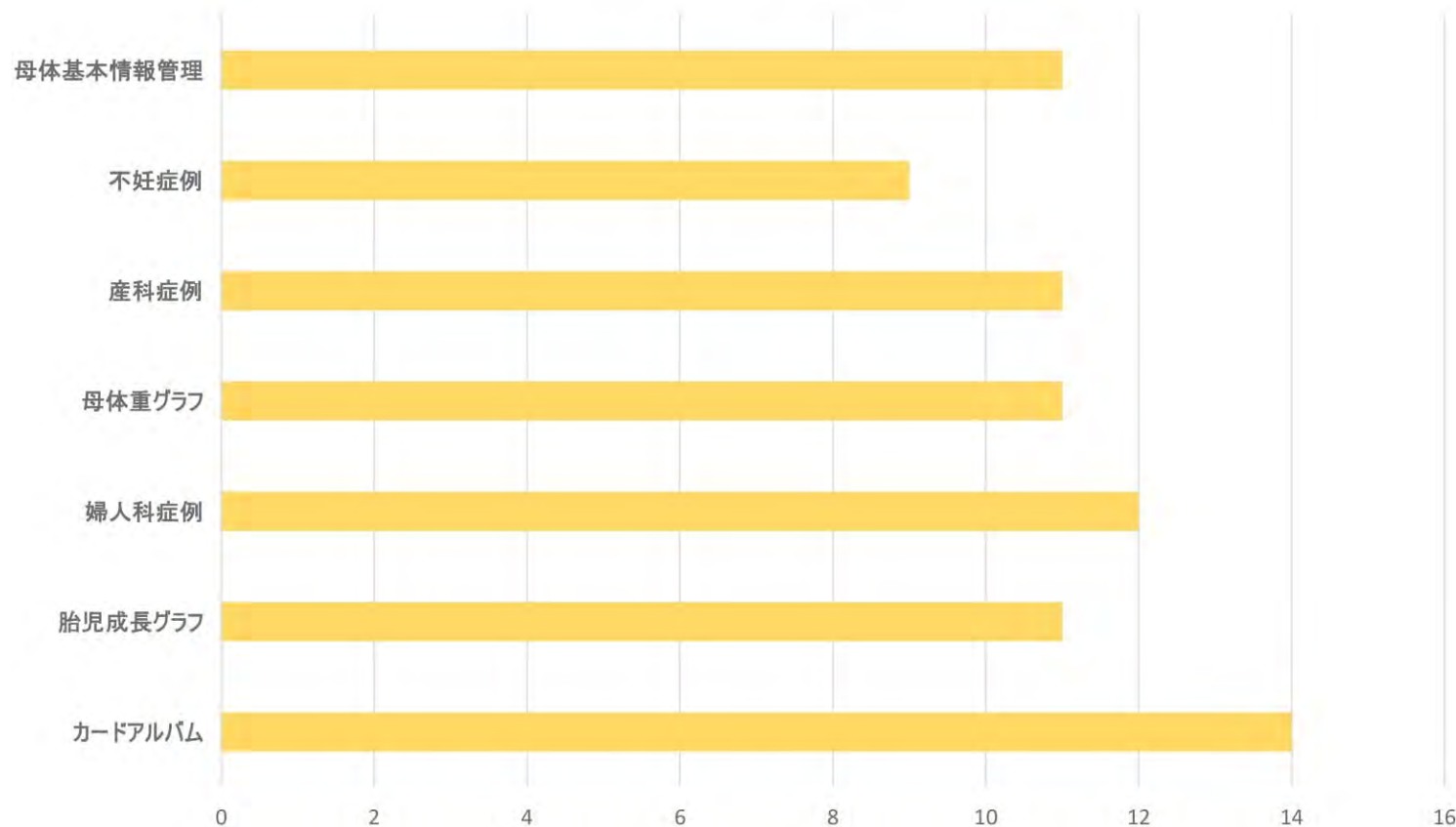
検討中 2院



導入の目的は入力作業の軽減が最も多い

## ● Eveforma使用機能について

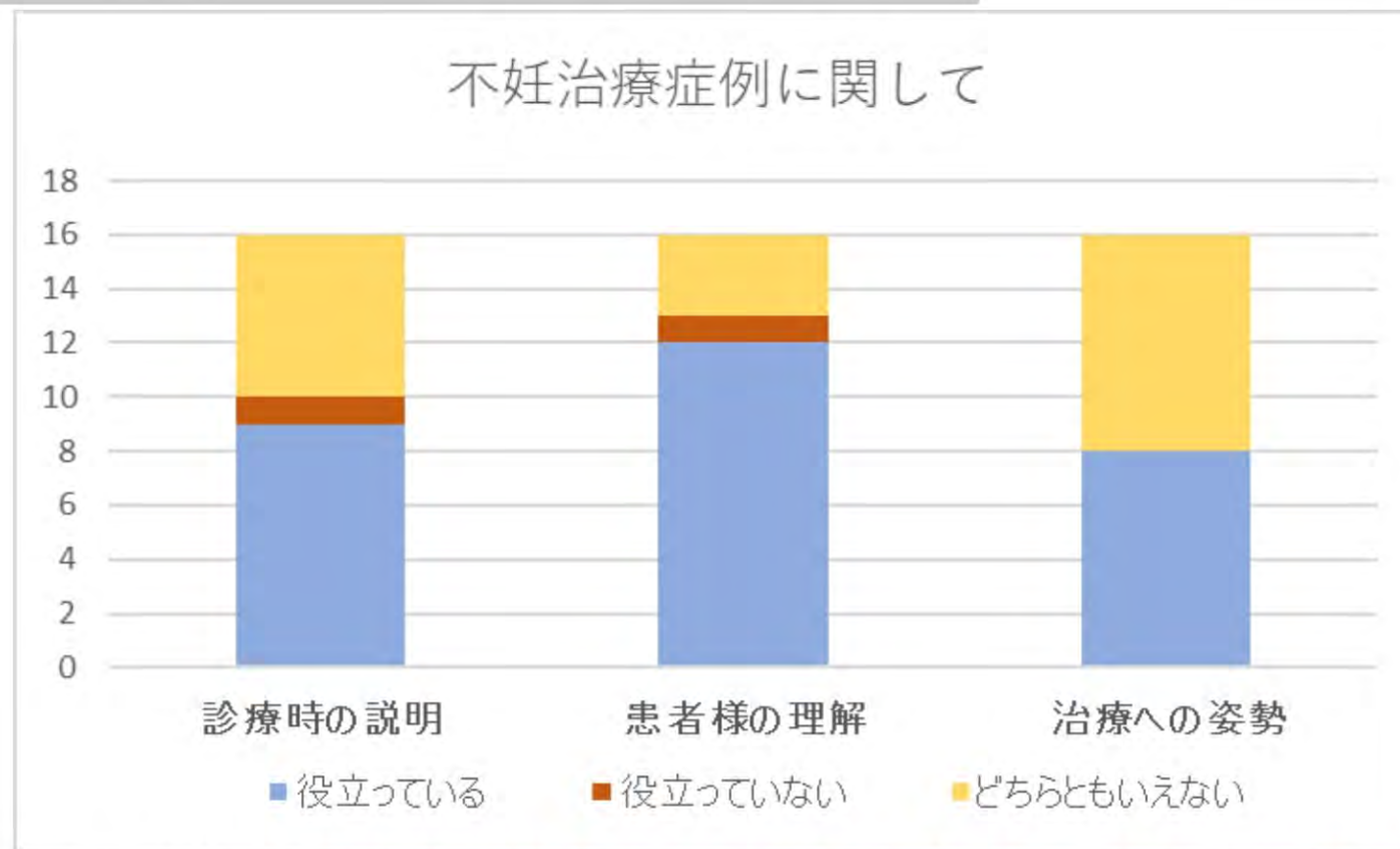
Eveforma使用機能



**母体基本情報管理について、電子カルテ未導入院 6 院の使用率は100%  
ヒアリングから、患者様の情報管理ツールとして利用しており必要な情報がタイムリーに  
取り出せることと、助産録などの手書き作業が軽減されたというお声を頂いている**



## ●不妊症例追加に関して



役立っているの回答が **診療時の説明56%** **患者様の理解75%** **治療への姿勢50%**となった。  
可視化したことで説明や理解にはお役立て頂いてるが、治療への前向きな姿勢につなげるところでは課題が残る結果となった。今後も改良を重ね、協力院からのご意見をいただき、不妊治療への貢献につなげたい。



## ●EPDS(エジンバラ産後うつ病質問票)機能搭載について

EPDSテストは100%の導入済医療機関で実施をいただいております、導入院様全てから早期発見や専門医療機関の紹介、患者様の産後うつへの理解につながっているとの回答をいただいております。

## ●今後の課題

電子カルテとの連携機能では、想定外の時間がかかり計画していた導入院の数を達成することができませんでした。

⇒スピーディに作業をすすめるための、各クライアントごとのデータ整理と管理の方法を見直す必要があります。

不妊症例追加では、不妊治療に臨む方へのメンタル面へのサポートについて、十分に効果が得られていませんでした。

⇒協力院へのヒアリングなどを行い、必要な改良の方法を検討、システム修正後の効果検証を行っていきます。

## ●本事業終了後の展開計画

- ① 産婦人科に特化して構築してきた診療支援システムの他診療科へも展開します。
- ② 他診療科医への拡大と並行して、スマートフォンのアプリと連携させることで診療情報の閲覧を院外でも可能なものとします。  
家族間でも共有可能なものとなり、治療内容への理解やモチベーションアップにつながります。
- ③ クラウドシステムなどを利用して、地域内のクリニック等での情報の共有化ができるシステムを構築することにより、正確な診療情報の取得、診療や検査にかかる時間の短縮を図ります。患者様だけでなく、医療従事者の方の負担も軽減します。

医療とITをつなぐことで  
社会全体のウェルビーイングに寄与します



## ●弊社実証事業に関しましてご協力いただきました。

医療法人社団 吉本レディースクリニック  
医療法人友仁会 おおひらレディースクリニック  
医療法人寿恵会 船橋レディースクリニック  
医療法人慈愛会 秋葉産婦人科病院  
医療法人愛弘会 横田マタニティーホスピタル  
医療法人 久保産婦人科医院  
依田産婦人科クリニック  
あさもとクリニック産婦人科  
藤村レディスこどもクリニック  
医療法人社団 江川レディースクリニック  
医療法人 産婦人科南ヶ丘クリニック  
医療法人 仁徳会 渡辺産婦人科

(敬称略 順不同)

ご協力いただき誠にありがとうございました。



診療支援ソフトウェア  
イブフォーマ  
 **Everforma**  
Informed Consent Supporter

 **SYMPHONIA**  
株式会社シンフォニア

# 12.

妊活・不妊治療と仕事の両立を支援する妊活サポート事業  
(株式会社ステラ)

令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証  
事業費補助金」補助事業者  
成果発表会

2022/2/15

株式会社ステルラ



# 会社概要

会社名	株式会社ステルラ (SUTELURA INC.)
設立日	平成31年2月12日
本社住所	東京都千代田区内神田1-8-9-2F

## 【採択プログラム】

- ・ YJキャピタル／East Ventures共同運営「Code Republic」第7期
- ・ EY新日本有限責任監査法人主催「EWW女性起業家アクセラレータープログラム」第2期
- ・ Plug and Pkay Japan主催「Winter/Spring 2021 Batch」
- ・ 東京都主催アクセラレーションプログラム「ASAC」第1 2期



**PLUG AND PLAY JAPAN**



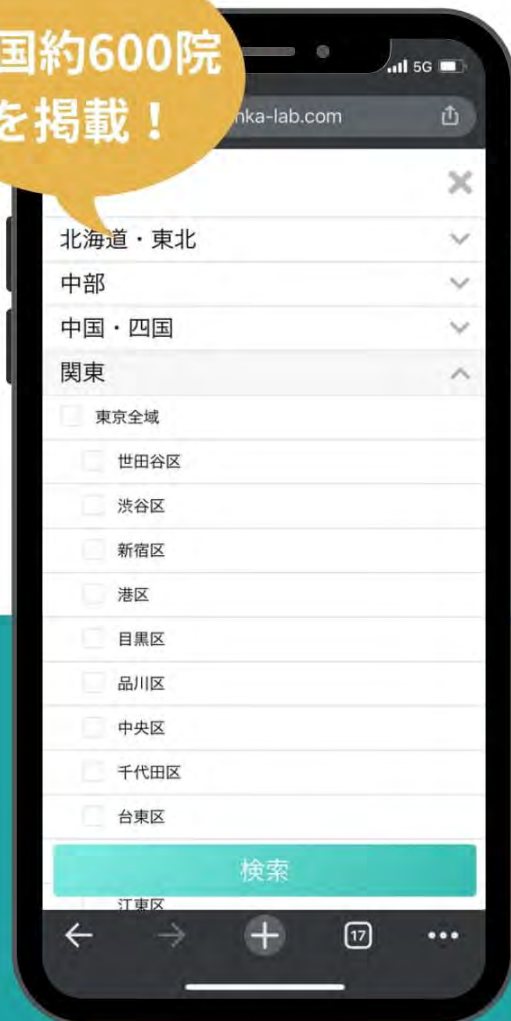
# 婦人科ラボ

豊富なこだわり条件から探せる！  
妊活・不妊治療のクリニック検索サイト



エリアを選択

全国約600院  
を掲載！



こだわり条件を選択



あなたにぴったりの  
クリニックを表示！



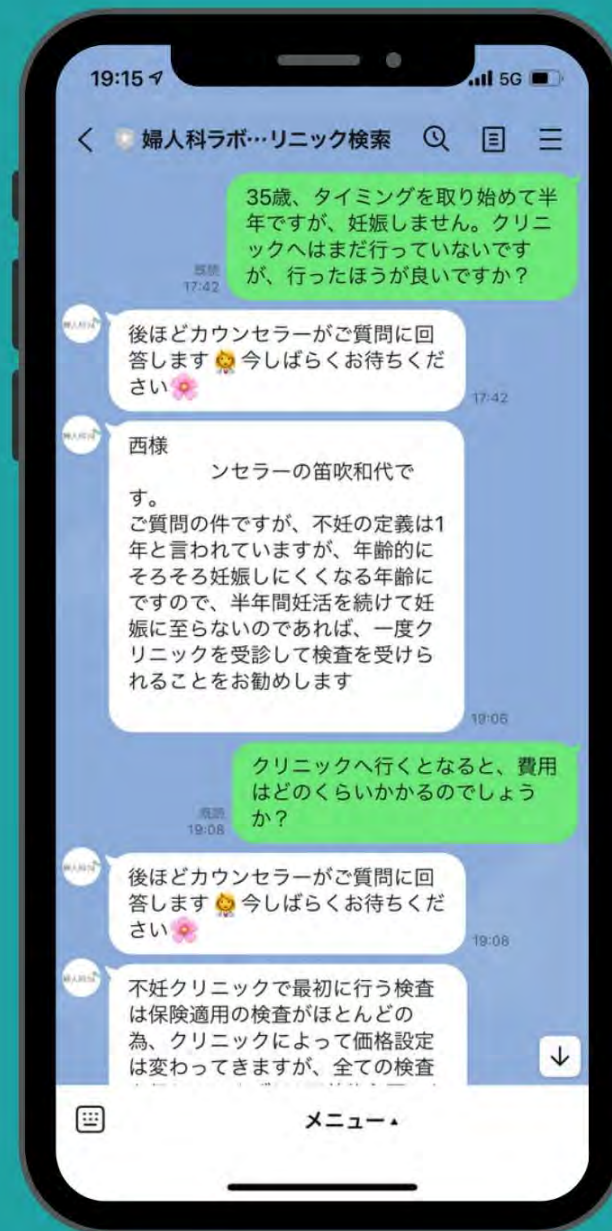




婦人科ラボ公式LINE友だち追加はこちら

# LINE相談

月額3,980円で相談し放題。  
最初の3通まで無料！



# 1. 事業計画（事業目的と実施事項）

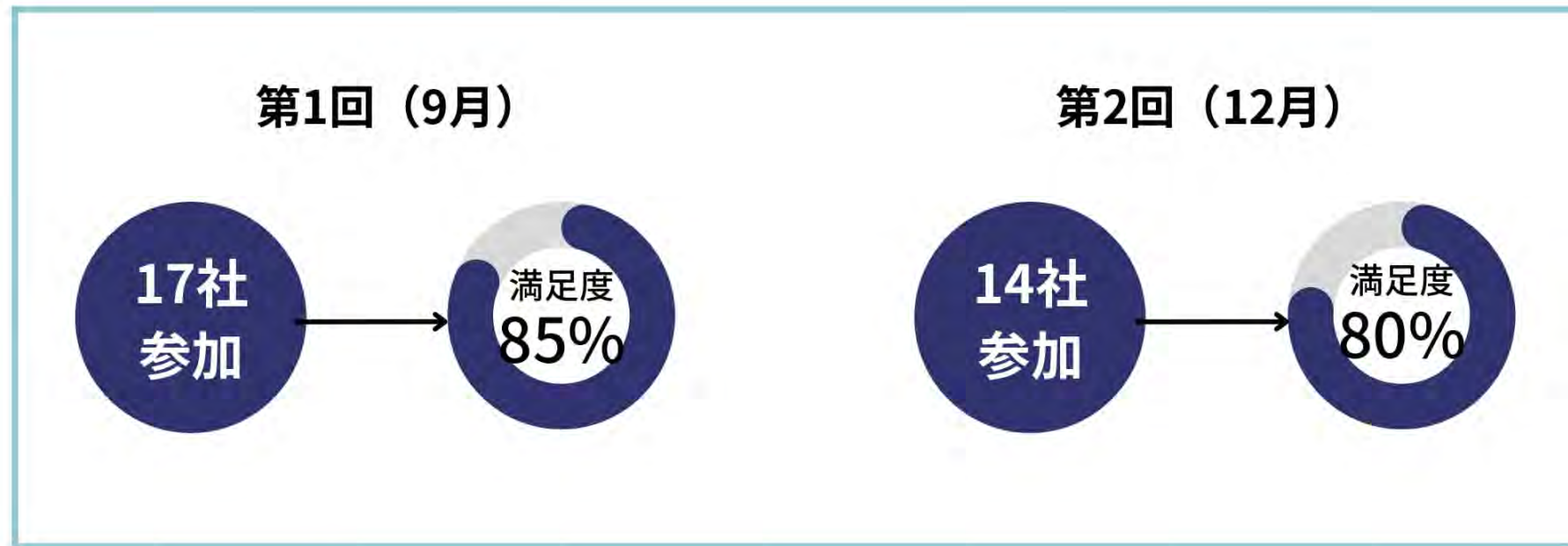
## 【事業のテーマ】

妊活・不妊治療をしながら働きやすい社会の構築を目指し、企業の理解促進や制度設計を支援する。

1. 企業（従業員）向け「妊活と仕事の両立セミナー」の実施
2. 企業（従業員）向け「妊活と仕事の両立パンフレット」の作成
3. e-Learning動画の作成、導入
4. 妊活、不妊治療、卵子凍結のカウンセリング、相談の実施

## 2. 事業計画に基づき実施したこと

### 1. 企業（人事担当者等）向け「妊活と仕事の両立セミナー」の実施



#### 【アンケートコメント】

将来の自分、あるいは周囲の人に起こりうるかもしれない話であると思いながら拝聴しました。個人差があること、周囲に伝えづらい場面もあるなどあらためて認識いたしました。「当事者にならないと情報をなかなかキャッチしない」とはまさにその通りで、女性であったとしても感度には差があるなど自分自身を振り返っても感じました。今回はありがとうございました。



## 2. 事業計画に基づき実施したこと

### 2.企業（従業員）向け「妊活と仕事の両立パンフレット」の作成

- 各企業へ配布（400部）＋データ
- 医療機関への設置（200部）
- イベント出展時に配布（300部）
- WEHealthで配布（400部）

#### 【パンフレットに関する反応】

- 妊活や不妊治療に関することが網羅されており非常に参考になった。
- 社員からの反応が非常に良かった、増刷希望。
- 男性社員からも読みやすいといった意見があった。
- 当事者の話だけでなく、周囲や上司からどう接したら良いのかなども書かれており、内容が満足のいくものだった。





## 2. 事業計画に基づき実施したこと

従業員向け「不妊治療と仕事の両立に関するセミナー」



【大手生命保険会社様】 従業員数：約60,000人 男女比率：約9割  
【大手製薬企業様】 従業員数：約2,000人 男女比率：約6割

## 2. 事業計画に基づき実施したこと

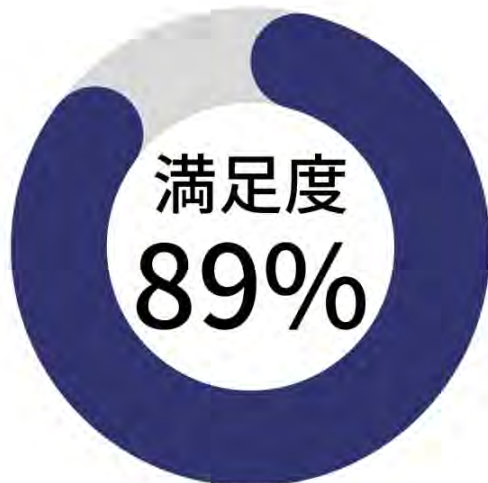
セミナー実施後アンケートの結果  
満足度は89%、定期的に開催希望が71%



女性 78.6%  
男性 21.44%



20代 14.3%  
30代 42.8%  
40代 28.6%  
50代 14.3%



満足度  
89%

### 【アンケートコメント】

- ・ 講師の専門的な研修と体験談両方あったので
- ・ 具体的でイメージがわかりました。
- ・ 件数が非常に多いことを具体的な数字で見せて頂いたので、身近に感じた。
- ・ 不妊治療の伝え方について周囲の人にどのように話せばよいか参考になりました。
- ・ 男性でもわかりやすい内容だった点
- ・ 不妊治療に関する基礎知識、開催自体に意義があると思います。
- ・ 不妊治療の実態をデータ等エビデンスを用いて、わかりやすく説明されていた点

## 2. 事業計画に基づき実施したこと

### 【国際女性デー企画】WEHealth

毎年3月8日の国際女性デーに伴い開催される、“女性のためのヘルスケアイベント”として2021年より開催しているWEHealth。

女性の健康に関するあらゆる知識・モノ・サービスを身近に感じてもらうためのイベントです。

WEHealthでは百貨店という場を借りることによって、普段ヘルスケアニーズが薄い潜在層へもアプローチし、日本の女性の健康底上げ・性に対する意識改革を目指します。私たちは、より多くの女性が健康に輝くことを応援します。



本企画では、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」における目標3・5の推進に対する活動を行います。



会期：

2022/2/23(水)～3/8(火) 2週間

会場：

①大丸梅田店5階 michi kake 中央イベントスペース (営業時間10時～20時)

②オンラインイベント (Youtube配信)

来場者数：

①リアルイベント 合計約700名

②オンラインイベント 合計約1,200名

主催： Women's Empowerment and Health 実行委員会

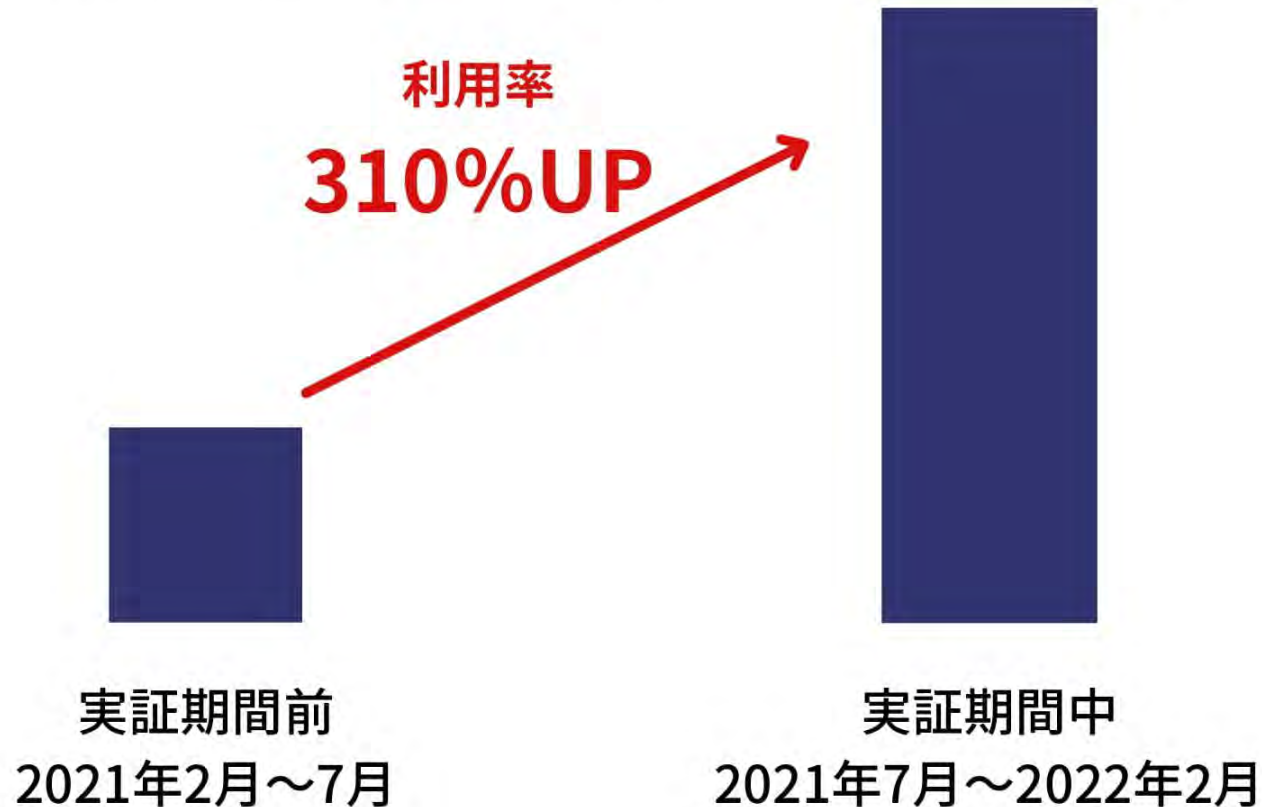
運営： 株式会社ステルラ



### 3. 本事業の成果と課題

妊活・不妊治療を行う当事者のサポートの現状

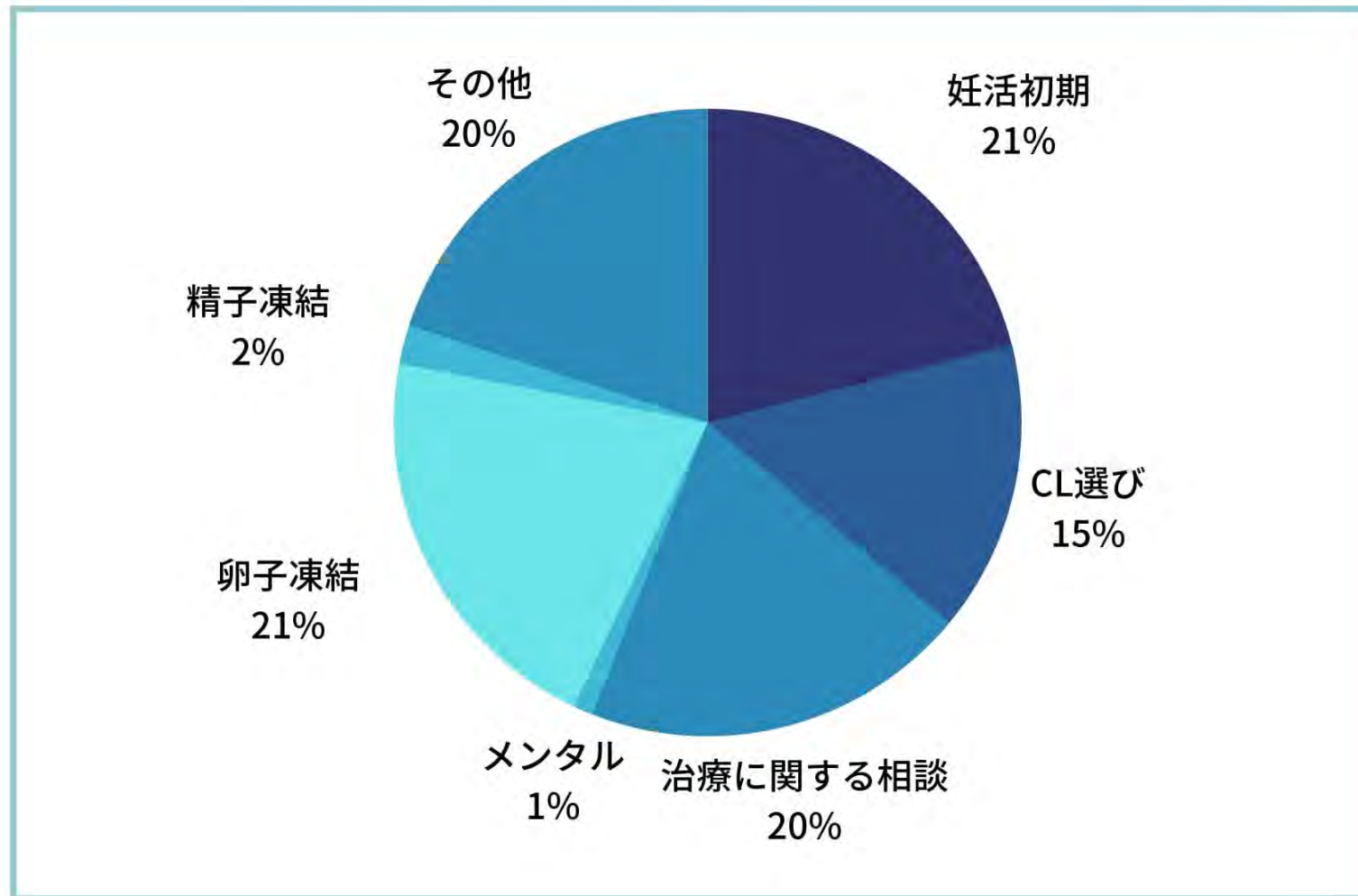
実証期間前と実証期間中でLINE相談利用率を比較





### 3. 本事業の成果と課題

妊活・不妊治療を行う当事者のサポート 相談内容



### 3. 本事業の成果と課題

ヒアリングにより、社内において不妊治療と仕事の両立の  
制度設計のために必要な人材要件が明確化

人事向けセミナーで  
個別対応、  
社内人材の必要性を説明

打ち合わせ時に  
社内アンケートや  
社内窓口の必要性を提示

社内人材の育成  
もしくは  
人材を派遣

実施済み

→期間的な課題もあり導入には至っていないが提案として進行中

### 3. 本事業の成果と課題

パンフレット配布やWEHealthのセミナー申し込み等は一定の成果を上げているが、次のステップにつなげることが難しかった

→セミナー開催へ至らなかった企業へアンケート（5社）と  
デプスインタビュー（2社）を実施

#### 【開催へ至らなかった理由（一部）】

- ・ 妊活/不妊治療よりももっと手前のヘルスケア施策の段階(ex.がん検診、腰痛予防、睡眠など)
- ・ 不妊治療=女性というイメージからどちらかの性別に偏った施策が難しい。
- ・ コロナウイルス感染症による売上への影響が大きく、社内の福利厚生まで手が回せない状態。

### 3. 本事業の成果と課題

#### 課題

- ①不妊治療と仕事の両立支援に関する社内での関心度が低い
- ②予算策定など短期での取り組みが難しい
- ③不妊治療支援だけではなく他の支援策とのバランスが必要

- ①に関する追加取り組み
  - ・ 社外イベントの登壇 参加
  - ・ 人事向けセミナーの実施
  - ・ フェムテックイベントへの参加



## 4. 今後の事業展開

月経・PMS

卵子凍結  
妊活・不妊

妊娠・出産  
育児

更年期

女性のヘルスケア全般の個別サポート制度の導入  
＋  
社内での理解促進に向けた講座や研修活動の提案

# 13.

更年期ケアの重要性を可視化し、社会へ啓蒙@渋谷区@神戸市 自治体連携  
(株式会社TRULY)

TRULY調査報告抜粋Ver

# 更年期ケアの重要性を可視化し、社会へ啓蒙 @渋谷区@神戸市 自治体連携

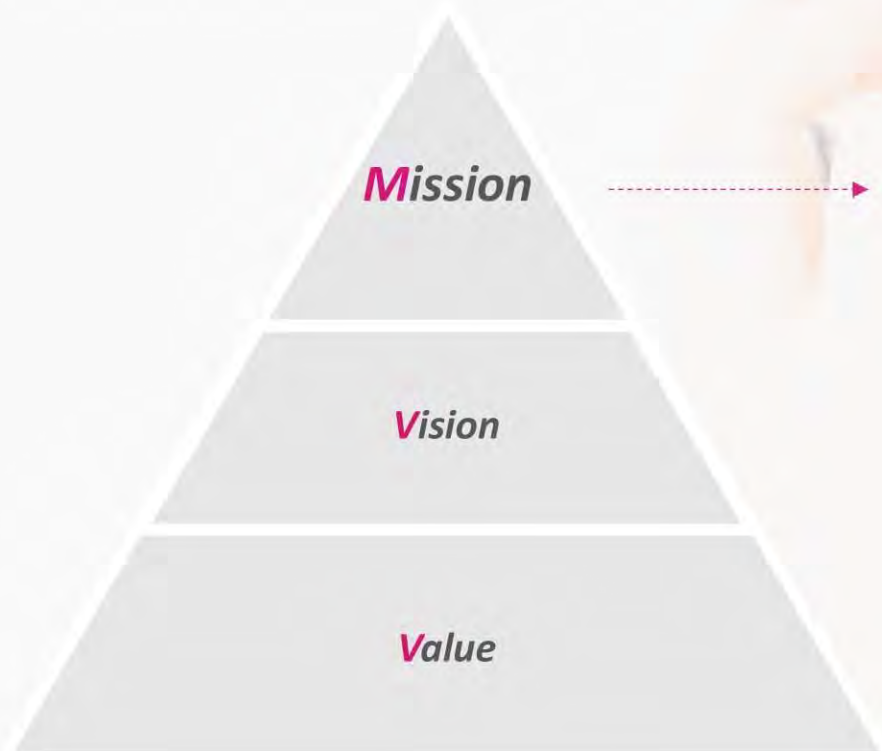
「令和3年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」

【2022年2月18日】

**TRULY**



**TRULY** 's VALUE



閉ざされた悩みに向き合い  
男女が理解し合える社会へ

女性が自分らしく、ずっとキャリアを継続するために。

TRULYは、更年期の先まで、

どこよりも寄り添う、フェムテックカンパニーです。

## STEP 1 知る

女性医師や専門家による従業員全体向けの健康リテラシーコンテンツをセミナー、動画、記事で提供



### ▶ヘルスケアセミナー

健康経営に欠かせない「知っておきたい女性の健康」をテーマに、男女が働きやすい職場づくりについて講演

### ▶ヘルスケア動画

生理、PMS、妊娠、妊活、産後、更年期（男性含む）など、仕事に密接する健康課題について分かりやすく解説



### ▶記事コンテンツ

女性の健康とライフスタイル、キャリアについて、男性の更年期など、幅広い分野について医師や専門家が監修

更年期症状や更年期障害によるパフォーマンスの変化<sup>※1</sup>  
元々の状態の仕事の出来を10点とした場合



## STEP2 調べる

医師や専門家監修のセルフチェックで、現在の心やからだの悩みの状態を確認できます。



### あなたの更年期度

からだ 38%



美容ケア 44%

メンタル 60%

今の自分の身体や心の状態を正しく知るためのセルフチェック

## STEP3 相談する

人に話せない、病院に行くべきかわからない...  
というような悩みでも、医療の専門家が親身に寄り添い、お応えします。



### 相談ジャンル

生理・PMS

デリケートゾーン

妊娠・出産



更年期



メンタル・不眠



性に関すること



パートナーシップ



その他

「更年期ケアの重要性を可視化し、社会へ啓蒙@渋谷区@神戸市 自治体連携」

TRULYの法人向けサービスを活用した、渋谷区民、神戸市民モニターの実証実験





「我慢せず、理解が進み、結果キャリアをあきらめない」

「更年期の対策行動」を「ピンクリボン」のようなオープンアクションへ！

## 女性個人の変容

女性の女性ホルモンの変動、心身に起こりやすい変化を知り、自身の健康状態を理解し、正しいケア&対策する

## 社会の変容

男性や企業を含む社会全体で、更年期を新たなケア分野として正しく向き合い、タブー視せず、理解し合おう

## 働く女性のウェルビーイングの向上

更年期の不調を我慢せず、解決策を見つけ、周りからの理解も得られることで、カラダやメンタルの不調からキャリアをあきらめずに、自分らしく働き続ける環境をつくる



令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」

渋谷区、神戸市のモニターのみなさまの  
アンケート結果のご報告

TRULY

更年期の悩みに、信じられる情報を

## ステップ①

### 事前調査

計89名

事前調査	30代	40代	50代	合計
渋谷区	27	21	10	58
神戸市	0	15	16	31
計	27	36	26	<b>89</b>

## ステップ②

### TRULY使用

チャット相談



ヘルスリテラシー動画



## ステップ③

### 事後調査

計53名

(両方回答は51名)

事後調査	30代	40代	50代	合計
渋谷区	8	14	6	28
神戸市	0	12	13	25
計	8	26	19	<b>53</b>

## 男性向けアンケート

計39名（渋谷区12名、神戸市27名）



調査参加者の9割以上は有職者、25%前後が管理職。  
なお、調査対象者の中で過去に就業経験が無い人はゼロ。

年代は、渋谷区は30代～50代。神戸市は40～50代。



男性向けアンケート

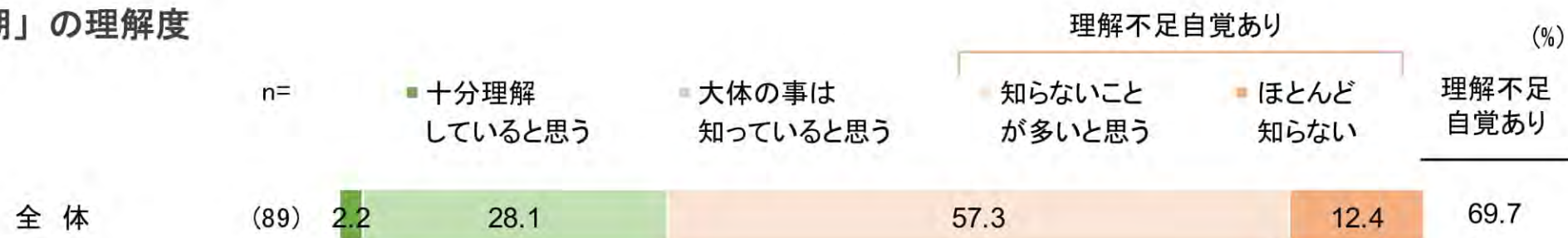
計39名（渋谷区12名、神戸市27名）

p.9参照 年齢差に注意  
・【事前】の方が若い  
・渋谷区の方が若い

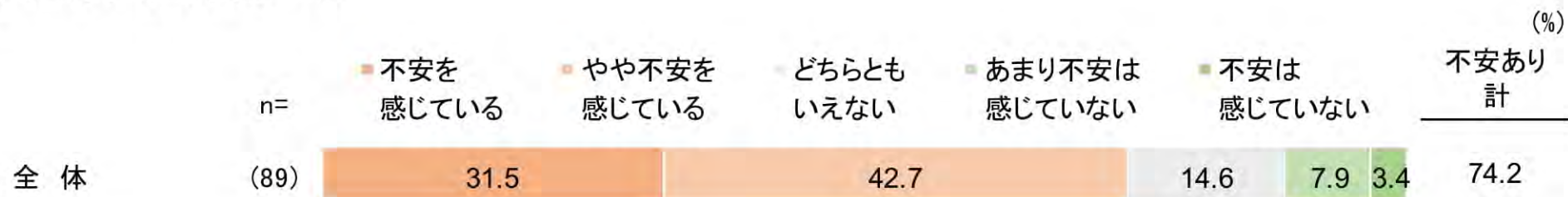


- 更年期はの理解度は、7割が分からないと回答
- 不安を感じている人も7割を超える

## ■ 「更年期」の理解度



## ■ 「更年期」に対する不安レベル





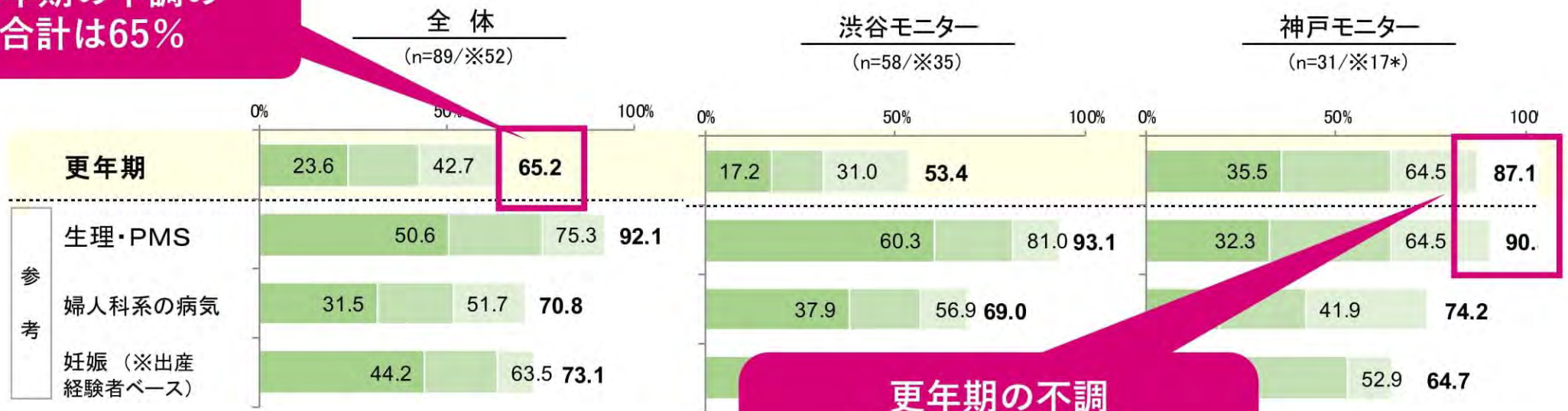
# 1.更年期の特徴

更年期による不調を感じた割合は65%  
40~50代の《神戸モニター》では  
「生理・PMS」と「更年期」の不調の経験は同等。

## ■「更年期」による不調経験

更年期の不調の  
合計は65%

a: 不調経験あり計  
(不調を感じた+やや  
+あまり感じなかった)  
c      b      a  
b: 不調を感じ+やや  
c: 不調を感じた

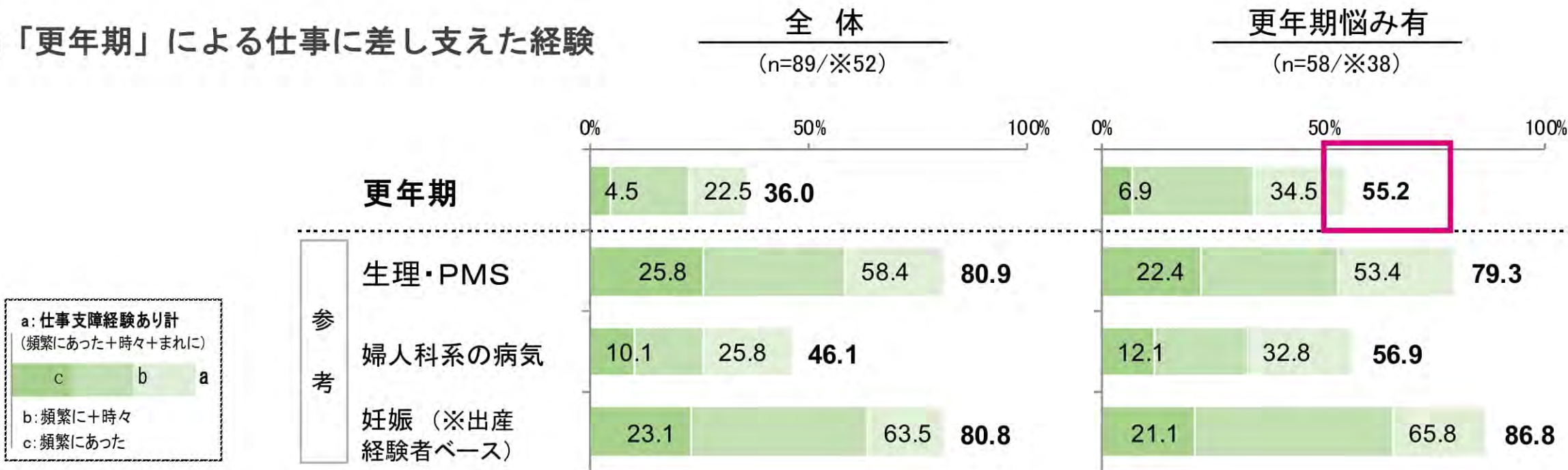


更年期の不調  
は、生理・PMSと  
同程度。

\* n<30は参考値

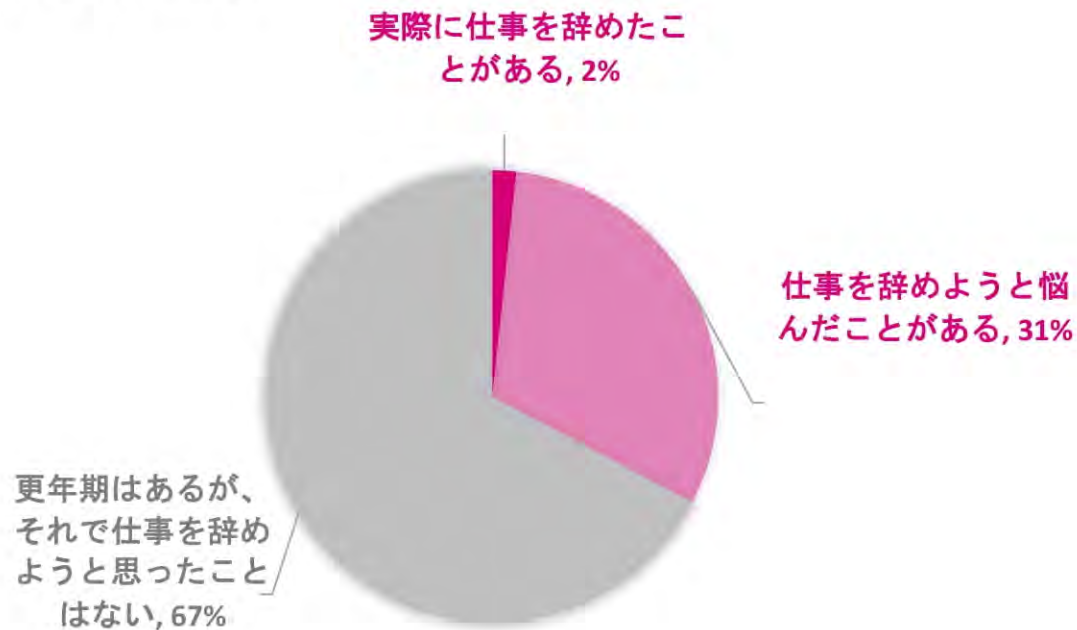
更年期によって仕事に差し支えた経験がある人は、悩みがある人では5割を超える。

### ■ 「更年期」による仕事に差し支えた経験

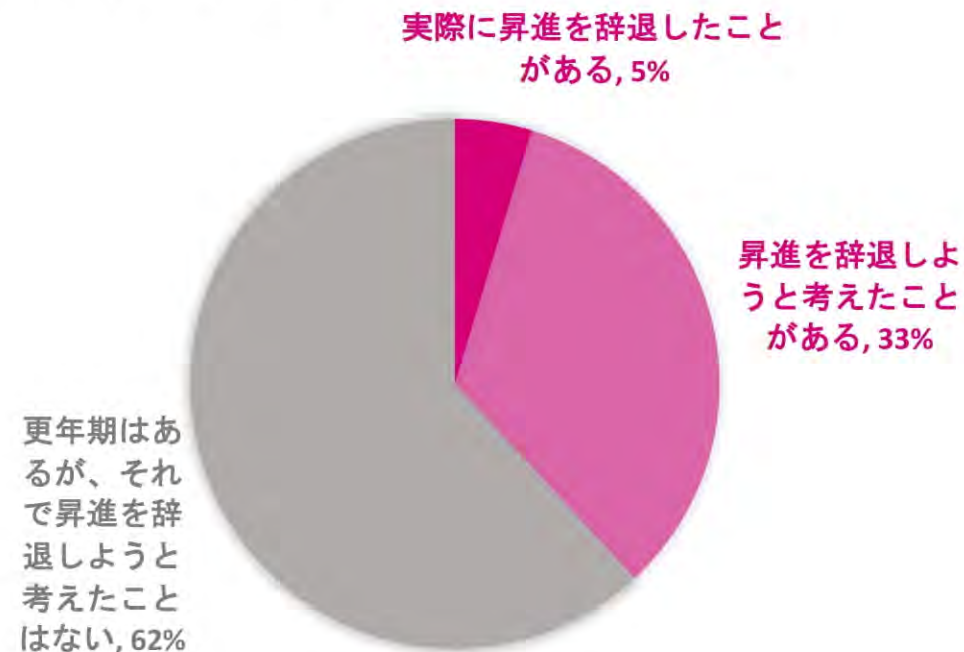


更年期の不調により、33%が仕事を辞めようと悩んだり、昇進の機会があった人は、38%が昇進辞退を考えたことがある。

■更年期による仕事での辞職検討の経験  
(悩みありn=58)



■更年期による仕事での昇進躊躇・辞退の経験  
(悩み有り×昇進機会ありn=21)

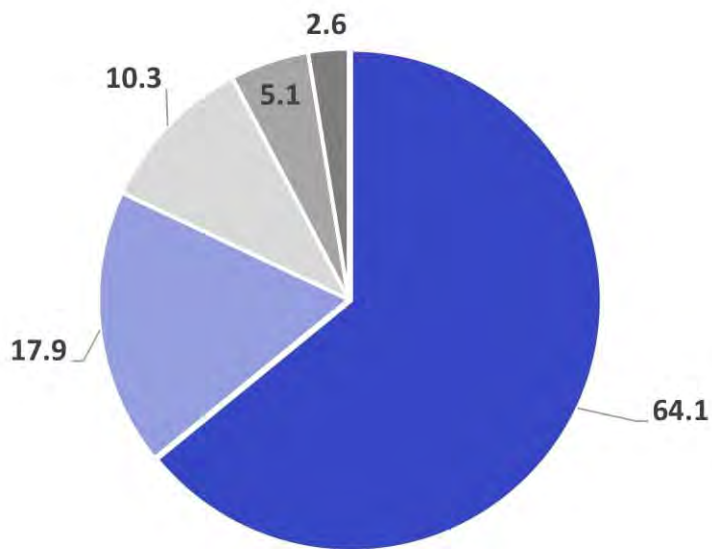




【男性が思う仕事の影響】  
女性ホルモンの崩れによる体調不良が、  
「日々の仕事に影響する」は82%に対し、「キャリアや昇進に影響する」は39%

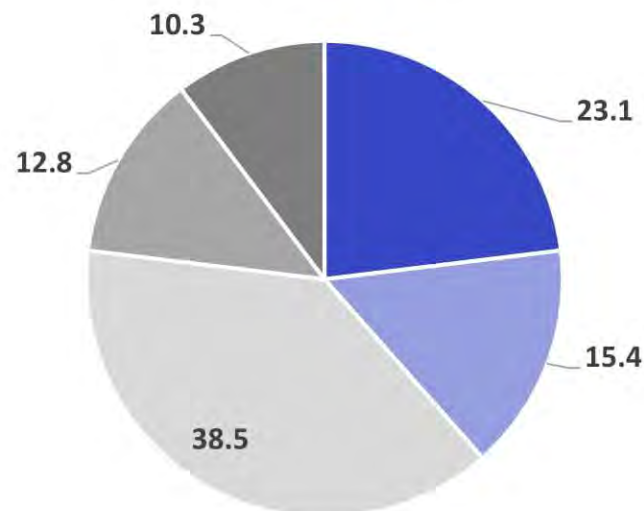
■生理や更年期など、女性ホルモンの崩れによる体調不良による仕事への影響

#### 日々の仕事



- 及ぼすと思う
- やや及ぼすと思う
- どちらともいえない
- あまり及ぼすと思わない
- 及ぼすと思わない

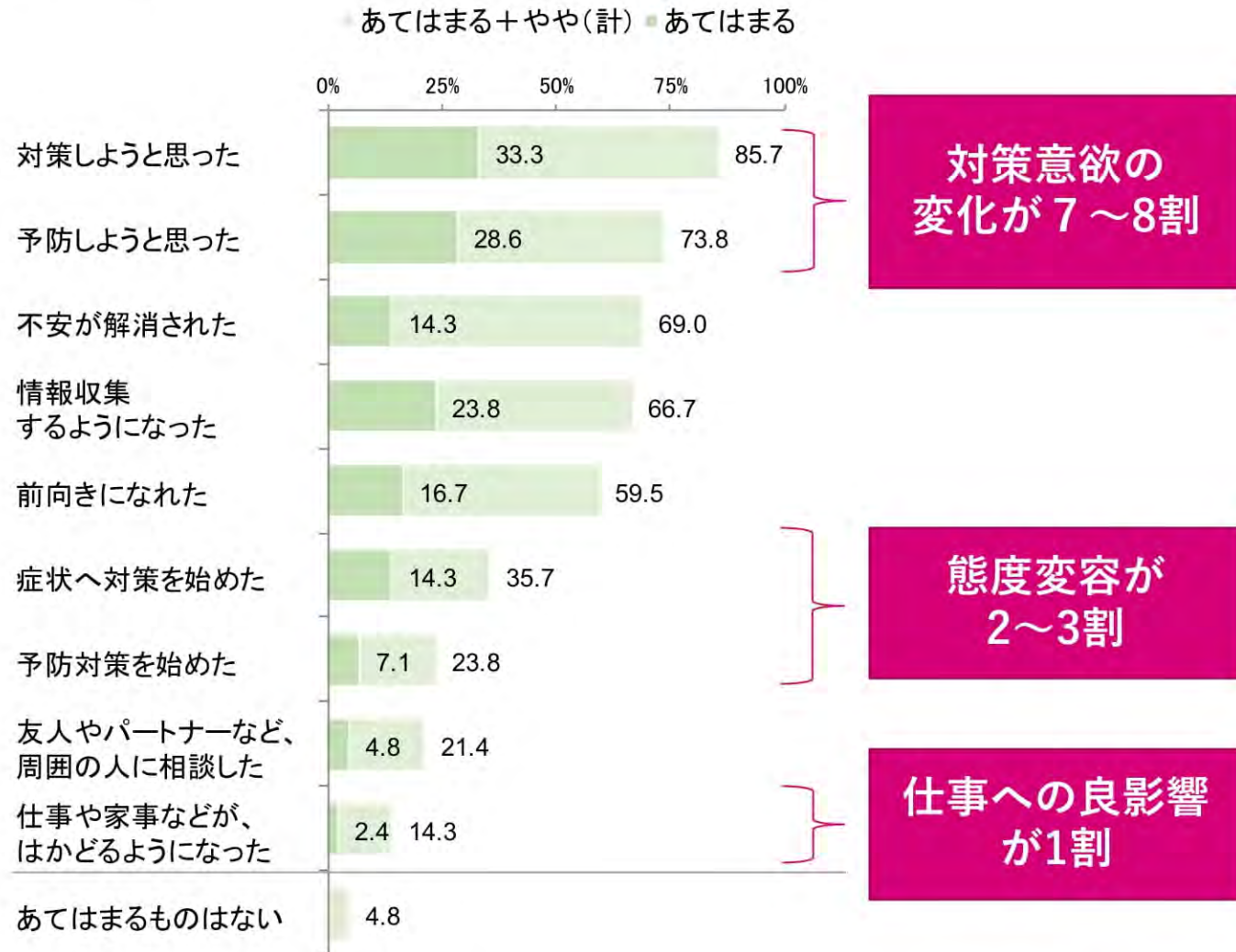
#### キャリア・昇進



- 及ぼすと思う
- やや及ぼすと思う
- どちらともいえない
- あまり及ぼすと思わない
- 及ぼすと思わない



## ■TRULYサービスを利用しての意識変化



「更年期については、対処法がわかったので、**やみくもに不安ということはなくなった。**」  
(44歳 渋谷)

「自身の**健康について気を遣おう**と思えた。」  
(38歳 渋谷)

「自分の悩みをどこにも相談できなかつたが、**どうしたらいいかが分かりスッキリした。**今までは病院に行くのを諦めていたが、近い内に**新しく探し直そう**という気になっている。」(45歳 神戸)

「受診を勧められたので、**受診の予約**を取りました。」  
(52歳 神戸)

「**相談ができる場所があれば更年期も乗り越えられる**と思った。チャットで相談できるのは、不安を素早く解決できるので安心できました。」(45歳 神戸)

・全体の「あてはまる+やや(計)」の多い順にソート

「更年期の未来会議2030」を開催し、実証実験の成果報告および  
更年期世代の男女が働きやすい社会の実現に向けて産官学で議論を行う

VISION CONFERENCE

# 更年期の未来会議 2030

更年期世代の男女が働きやすい社会の実現に向けて産官学で議論

経済産業省 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業」

TRULY × 渋谷区 × 神戸市

2022.2.1 TUE. 13:00 - 17:15

📍 SOIL (Shibuya Open Innovation Lab)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷一丁目13番9号 渋谷たくぎんビル7階

モデレーター	朝日新聞社
経済産業省	春口 浩子
行政	渋谷区・神戸市
専門家	医師 / 宋 美玄先生 予防医学研究者 / 石川 善樹先生
TRULY	二宮・真坂・垂水・成田・村越



**更年期の経験を、良いものにしていく。  
男女共に、自分の心と体を大切にしている。**

TRULYは更年期を女性だけのものとしてとらえるのではなく、男女が互いを理解し自身を大切にできる社会にしていきたい。更年期をネガティブな「課題」としてとらえるのではなく、上手に付き合い、ポジティブな経験にしていけるように変えていきたいという思いが込められている。



実証実験へご協力いただいた渋谷区・神戸市の皆様に感謝いたします。

《更年期の未来会議参加者》

- 経済産業省 九州経済産業局  
春口浩子さま
- 渋谷区 区民部  
グローバル拠点都市推進部  
田坂克郎さま  
瀬野小枝子さま
- 神戸市 企画調整局  
男女共同参画センター  
三和田 智子さま
- 神戸市 医療・新産業本部  
新産業課：武田 卓さま
- 丸の内の森レディースクリニック  
院長/医学博士 宋 美玄先生
- 予防医学研究者/医学博士  
石川 善樹先生
- TRULY：二宮、真坂、垂水、村越



VISION CONFERENCE  
**更年期の未来会議 2030**  
 更年期世代の男女が働きやすい社会の実現に向けて産官学で議論  
 経済産業省 令和3年度「フェムテック等サポーターサービス実証事業」 TRULY × 渋谷区 × 神戸市  
 2022.2.1 TUE. 13:00 - 17:15  
 SOE (Startup Desk Innovation Lab)  
 30-0002 東京都渋谷区神宮一丁目13番9号 渋谷たくぎんビル7階  
 名ダレーター 野村博史  
 経済産業省 春口浩子  
 行政 渋谷区・神戸市  
 専門家 丸の内・森美玄先生  
 予備医学博士/石川善樹先生  
 TRULY 二宮、真坂、垂水、村越

# 14.

女性のライフプランとキャリアの両立支援事業  
(株式会社ninpath)







1

for 中小企業

女性活躍推進のための  
社内整備の機会を提供

社内整備コンサルティング

ライフイベントと両立可能な勤務制度

- ・ リモートワーク環境
- ・ 休暇体制
- ・ フレックス制度、時短勤務 など

担当者研修

キャリアとライフイベント両立のために

- ・ 社会背景
- ・ ライフイベントや不妊治療の知識
- ・ 企業と個人の課題 など

2

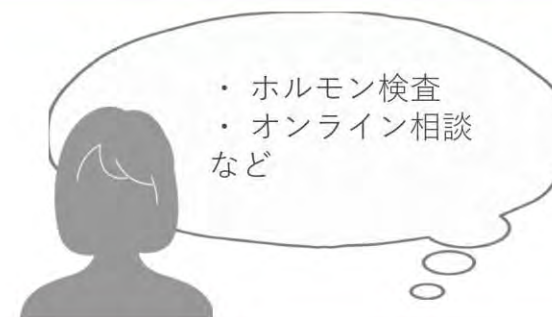
for 従業員

女性のライフイベント・キャリアへの  
理解、その行動機会の提供

女性のライフイベント・キャリアへの理解の共有



女性のライフデザインを促す機会の提供・支援



STEP

1

- ・ 中小企業へアプローチ
- ・ 実施計画策定支援
- ・ 助成金サポート



STEP

2

- ・ 計画に基づいた制度設計
- ・ 制度導入
- ・ セミナー実施
- ・ 希望者にホルモン検査(AMH)実施



STEP

3

- ・ アンケートによる検証



STEP

1

- ・ 中小企業へアプローチ
- ・ 実施計画策定支援
- ・ 助成金サポート

STEP

2

- ・ 計画に基づいた制度設計
- ・ 制度導入
- ・ セミナー実施
- ・ ホルモン検査(AMH)実施

STEP

3

- ・ アンケートによる検証

働き方改革推進支援助成金  
(労働時間短縮・年休促進支援コース) の  
本年度早期終了につき、  
手続きをスキップ

中小企業 5社 について支援完了

- － IT関連 (120名規模)
- － 保育事業 (100名規模)
- － 営業・不動産関連 (60名規模)
- － 薬局 (30名規模)
- － 広告・PR支援 (20名規模)



## 助成金について

- ・ 助成金をきっかけに両立支援を前向きに検討する企業が多かった
- ・ 認知度が低い（特に不妊治療休暇等でも活用可能という点）
- ・ 申請受理の評価観点がまだ統一されていない印象
- ・ 助成金申請増加による早期終了によって実際に利用することができなかった

## 中小企業における不妊治療支援

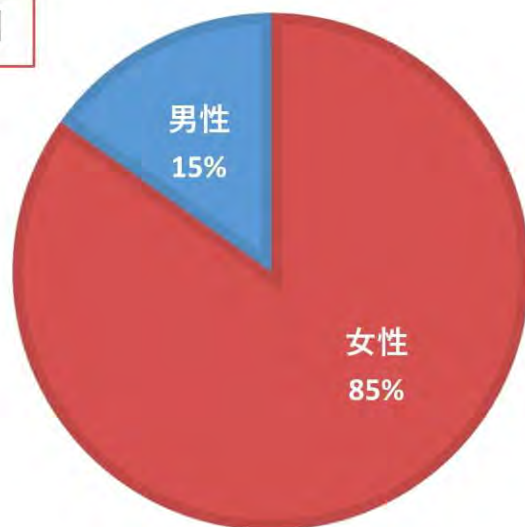
- ・ 自身や従業員に当事者や経験者がいると必要性を強く感じている
- ・ 従業員に長く安心して働いてほしいと想いを尊重して制度導入をすることができた
- ・ 「子どもを望まない」ことを選択した従業員への配慮したいとの声
- ・ 今後の採用のPRとして活用したいとの声も
- ・ 今回結果として制度導入しないという意思決定もあった
- ・ 業態や規模によって制度導入のハードルが様々（不妊治療以前の課題も）

## ■実施概要

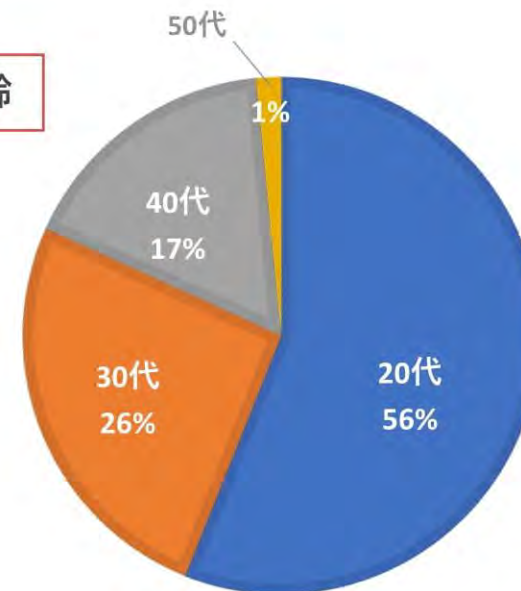
参加企業	:	5社
合計従業員数	:	330名
合計セミナー参加数	:	79名 (アンケート回答数66名)
合計AMH検査実施数	:	79名 (後日実施+家族の実施含む)

## ■セミナー参加者属性

性別

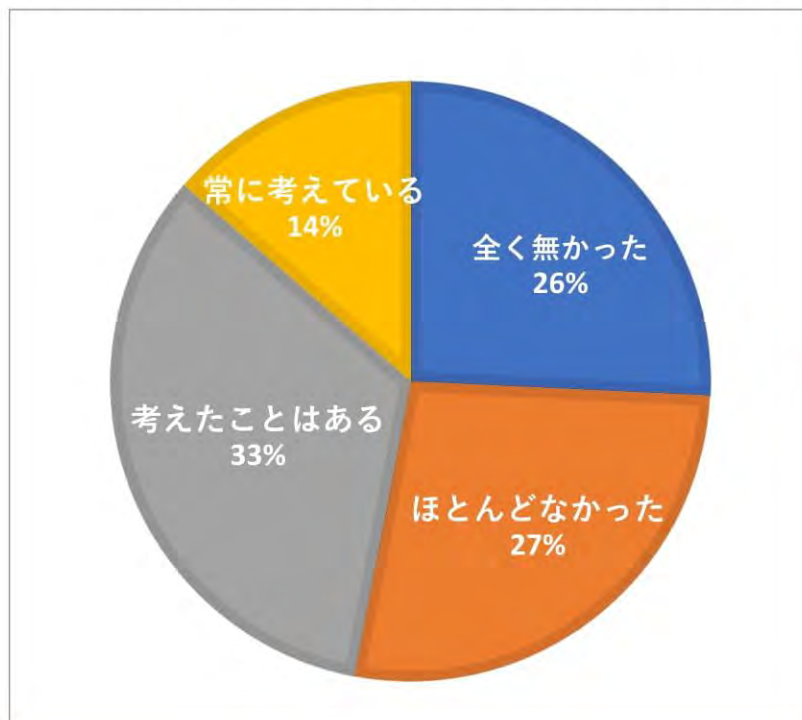


年齢

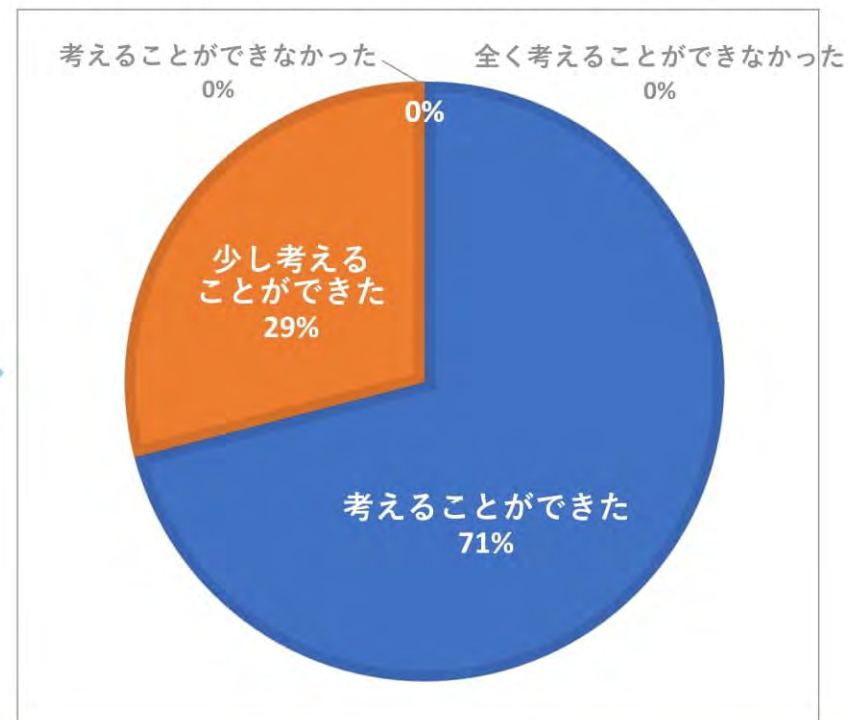


■ ライフデザインの機会提供

ライフイベントと仕事の両立について考え、  
ライフプランニングを行ったことはあったか？



セミナーを通じて  
自分ごとと捉え、考えることができたか？

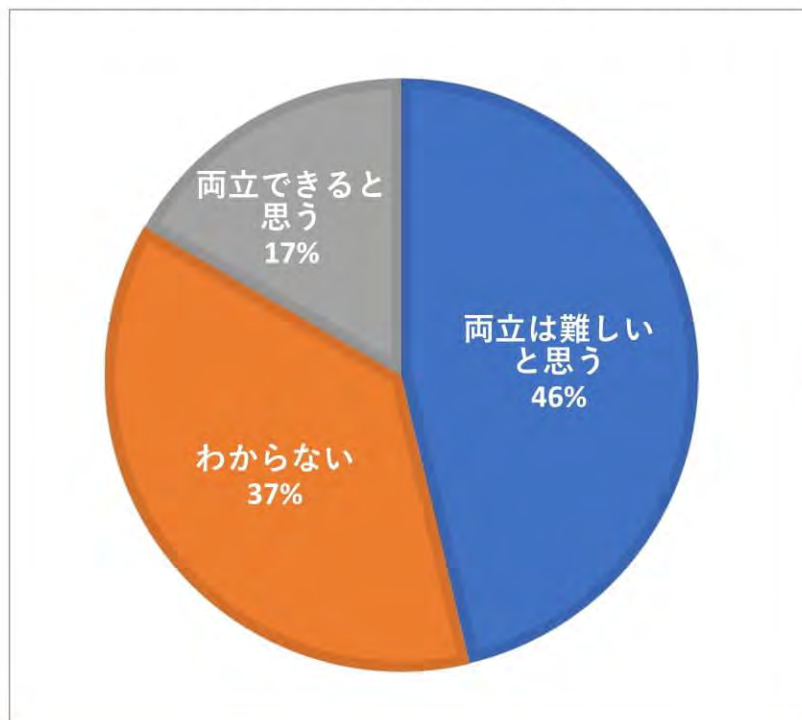


全ての参加者が自分ごとと捉え、ライフデザインを考える事ができた

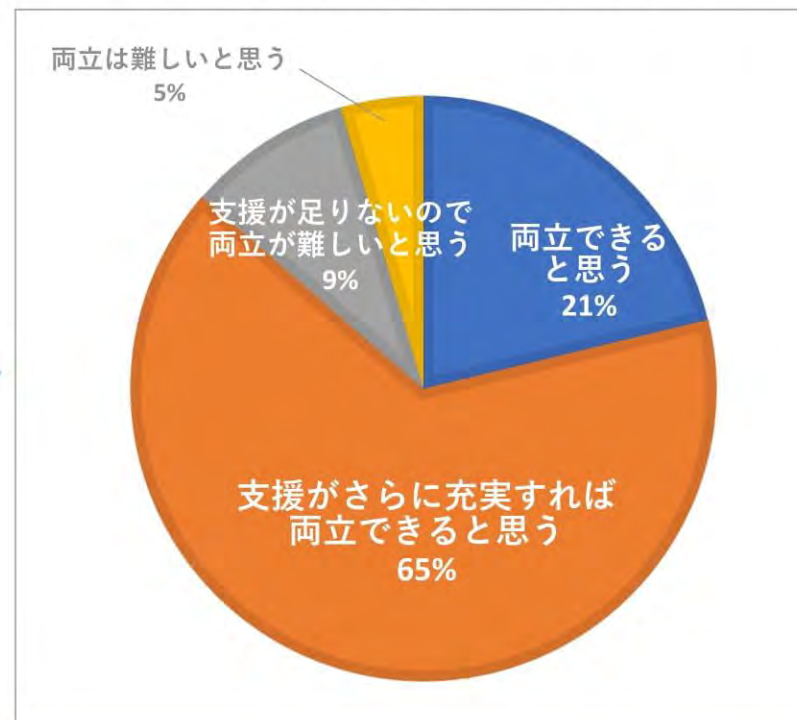


■ キャリアとの両立

現在の環境で不妊治療を行うとしたら  
仕事と両立することができると思うか？



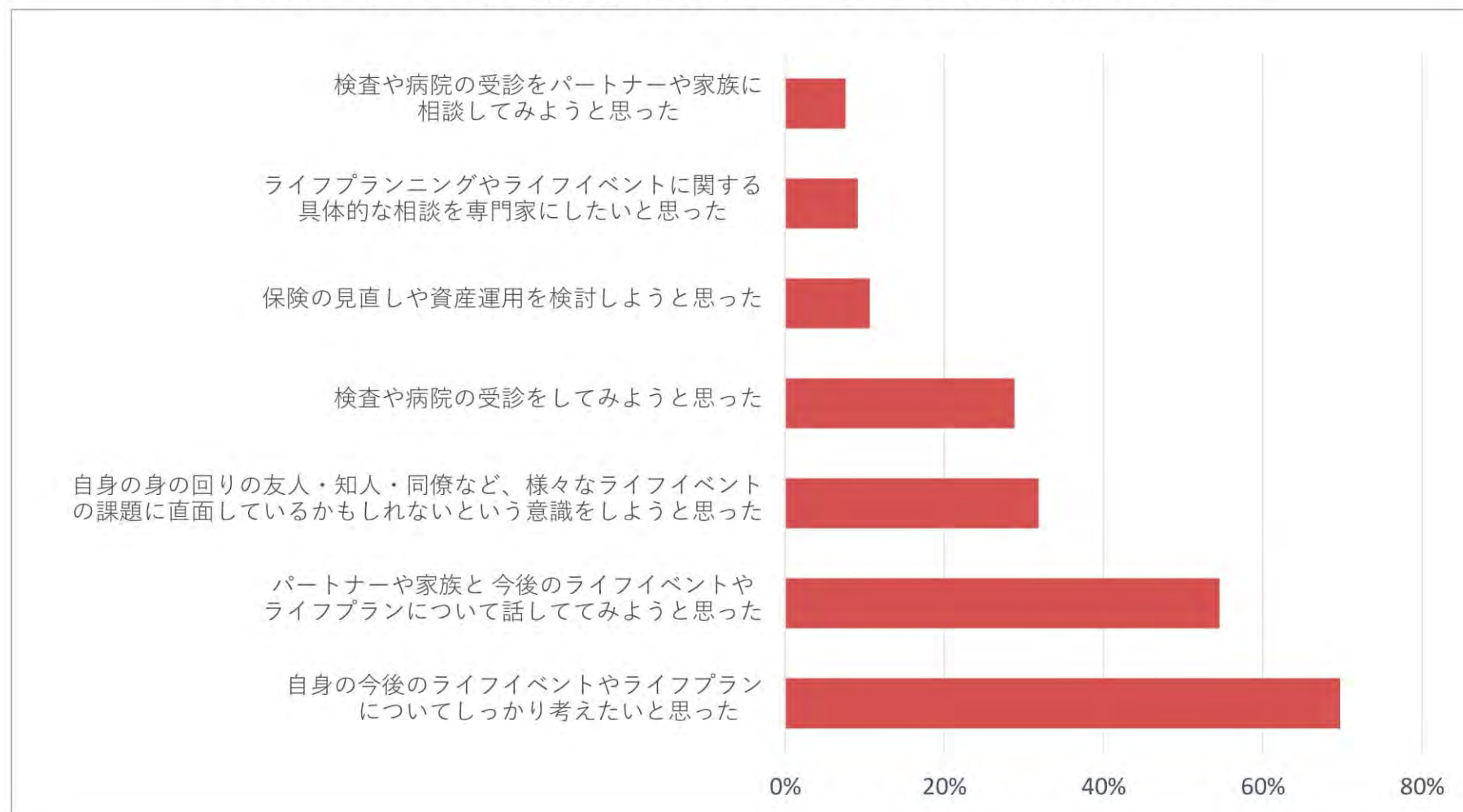
セミナーを受け、  
会社の支援や両立支援制度の活用によって  
仕事との両立ができると思うか？



参加者の9割が、会社の支援によって両立イメージを持てるようになった

■ 今後のアクション

セミナーを通じて、今後 実施しようと思ったことがあれば教えてください。



## セミナーの実施

- ・ 男性従業員の参加率が著しく悪かった。告知内容や企業側の発信方法について要改善
- ・ 参加者の声としても、男性にこそ聞いてほしいという声が多かった  
(オミクロン株拡大による、参加率低下の可能性あり)
- ・ 感染予防のため、従業員のパートナー同席は中止となってしまった
- ・ 今回参加できなかった/しなかった人のためにも継続して実施してほしいとの声も

## AMH検査

- ・ セミナー参加者の検査実施率が極めて高かった
- ・ リモート対応のオペレーションに課題あり
- ・ 検査後のオンライン相談に繋がる事例は現時点では発生していない
- ・ 現状知る機会さえない検査について、実施機会の創出をすることができた



事業  
推進

- ・ 4月より「働き方改革支援助成金」を活用した中小企業支援を継続
- ・ 新くるみん制度の支援を検討
- ・ 大企業向けの支援も検討

連携  
強化

- ・ 企業や従業員の負担を更に減らすため、自治体連携を検討

仕組  
改善

- ・ オンラインスキームの検討・構築
- ・ 動画コンテンツの検討

連携検討可能な、自治体様・企業様、ぜひご連絡をお願いします



子どもを望む、ひとりひとりの道しるべ

- 会社名 株式会社 ninpath
- 代表者 代表取締役 神田 大輔
- 住所 東京都港区新橋 1-12-9 7F
- 設立 2020年3月
- 沿革 2019 年より ninpath を開発  
2020 年 3 月 株式会社 ninpath 創業、Web アプリ版を提供開始  
2020 年 12 月 Android 版、iOS 版を提供開始
- サービス 『不妊治療可視化アプリ』 - 不妊治療の治療記録・管理・比較  
『キャリア両立支援』 - 不妊治療と両立を支援する人材紹介サービス

【お問い合わせ窓口】 ninpath運営事務局 [info@ninpath.co.jp](mailto:info@ninpath.co.jp)



- すでに不妊治療で通院をされている方
- ARTを数回行っているが結果に至らない、またはART検討中の方
- 転院を考え始め、ネットで口コミや治療について色々調べるも、判断に困っている方

## ユーザーが治療結果を登録

みなさんのデータ 治療記録入力

刺激法・薬剤

刺激法\* アンタゴニスト法\*

卵巣刺激薬\* HMGフェリンク\* HMGフジ\*

排卵抑制薬\* セトロライド\*

LHサージ誘起薬\* HCG\* スプレキュア\*

上記以外の種類の薬  
カプセル  
その他  
不明/忘れた

採卵

採卵日

採卵回数\*

IVF/CSI施行数

受精方法\* ひとりかけ法\*

正常受精数\* 9

周期毎の治療結果を登録・管理し、客観的に振り返ることが目的です

## 自分の治療歴の振り返り



治療に関する統計データで知ること、治療内容を理解し、医師との相談などに役立てて頂くことを目指しています

## 他ユーザーのデータと比較

みなさんのデータ 治療記録入力

採卵周期 (刺激法)

施行率 正常受精率 分割胚到達率 胚盤胞到達率

刺激法の胚盤胞到達率

数字をクリックすると使用した薬剤を確認できます\*

	0%	1~49%	50~74%	75~99%	100%
自然妊娠	6	2	2	0	5
低刺激法	24	10	18	5	31
[HCG]HMG+FSH	3	2	1	0	0
シート法	4	10	9	1	7
ロング法	1	0	1	0	0
アンタゴニスト法	16	51	35	12	18
不明	4	3	7	0	4

AMH

卵巣予備力の測定

不妊治療歴



アプリ新機能

メンタル状態のモニタリングから  
カウンセリング・セルフケアまで医師・専門家が連携サポート！

# ninpath ケア

2021年12月  
トライアル運用  
ユーザー登録開始!!

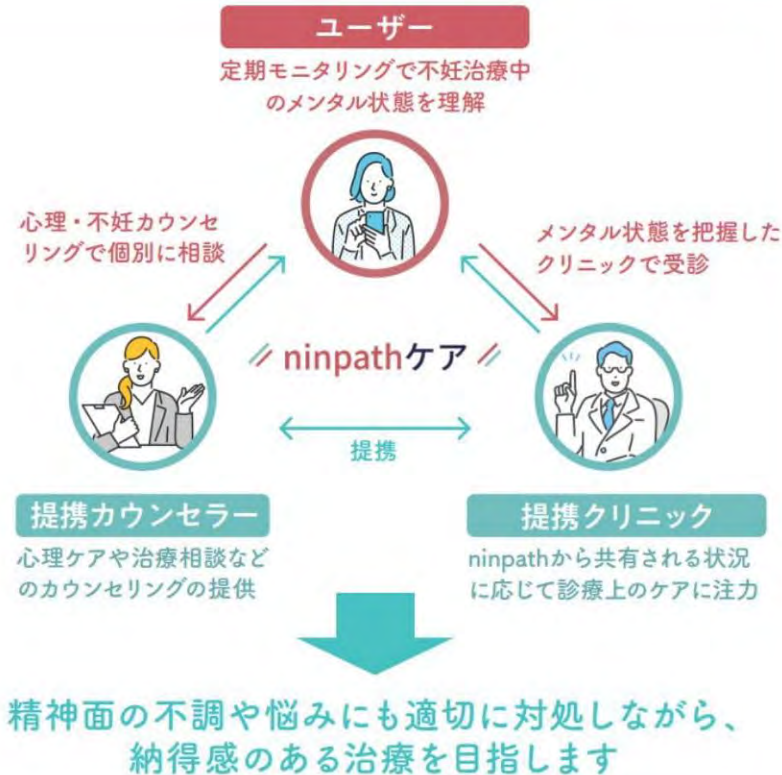


## ninpathケアとは



## 患者様のメリット

- ▶ 定期的に自分のメンタル状態を把握できる
- ▶ プロのカウンセリングが受けられる
- ▶ クリニックと提携しているので安心・信頼感がある



# 15.

個人・企業のヘルスリテラシー向上と日本の8割の雇用を支えるローカル経済圏での  
フェムテック普及展開の仕組みの構築に向けた実証事業  
(株式会社陽と人)



未来のわたしに  
今のわたしが  
できること



個人・企業のヘルスリテラシー向上と日本の8割の雇用を支えるローカル経済圏でのフェムテック普及展開の仕組みの構築に向けた実証事業

株式会社陽と人（ひとびと） 福島県国見町

デリケートゾーンケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』







こんにちは。株式会社陽と人（ひとびと）HITOBITO, INC. 代表の小林<sup>みづ</sup>味愛と申します。2017年8月、福島県国見町に株式会社陽と人を設立しました。東京都立川市で生まれ育った私が初めて福島県を旅したのは、国家公務員として働きはじめた2010年。その後、民間企業に転職し、地域活性化に関わるコンサルティングを行う中で、改めて福島県とのご縁に恵まれました。

地域の<sup>みづ</sup>方々の温かさ、土地に根付く文化、美味しい<sup>みづ</sup>日本酒と料理など、知れば知るほど心を惹かれる福島県の魅力。それと同時に、まだ芽吹いていない数多くの地域資源<sup>みづ</sup>の存在に気付いたのです。「ここは何もない土地だから」と仰る方は多いのですが、私にとっては素晴らしい実や花をつける種の<sup>みづ</sup>宝庫。「活用の仕方次第で、価値あるものに育てられるはず」、そう感じた私は、福島県で地域商社の立ち上げを決意しました。

株式会社陽と人は **未来の相談窓口** です。生産地である福島県に本社を、さらに消費地である東京都にも拠点を構えることで、地域と都市におけるニーズを独自の目線<sup>みづ</sup>でとらえていく。そして「もったいない地域資源」を需要に即したカタチで価値化し、求められる場所へ届けていく仕組みを創出<sup>みづ</sup>しています。これらはもちろん福島県に限った話ではありません。各地の地域<sup>みづ</sup>と都市をつなぎ、新しい流れをつくり、<sup>みづ</sup>しあわせを循環させていきたい。そのために何ができるのかを自らの課題<sup>みづ</sup>としてとらえ、みなさまと一緒に邁進していきます。

## 今日と未来を、晴れやかに。

株式会社陽と人が目指すのは、  
地域を照らし、  
地域で埋もれる種から価値あるものを実らせ、  
地域に新たな風を吹き込み、  
地域の人々の熱量を上げていく、  
太陽のような存在です。

晴れやかな今日から、  
晴れやかな未来がはじまります。





### 柿にまつわる古来の知恵に着目した、デリケートゾーンのケアブランド

「明日 わたしは柿の木にのぼる」は、柿にまつわる古来の知恵に着目したデリケートゾーンケアブランドです。福島県国見町のあんぽ柿製造工程で廃棄されていた柿の皮から抽出した成分を活用することで、地域の持続的な発展も目指しています。



寝不足、不規則な食生活、疲労、免疫力の低下など、私たちの生活の乱れによって、デリケートゾーンの菌のバランスが崩れ、それがおりものの異常やかゆみなど、デリケートゾーンに症状としてあらわれます。そのため、デリケートゾーンは「自分の心とカラダを知るバロメーター」になります。

1日10秒でもデリケートゾーンケアを通して、全ての女性をご自身をいたわるきっかけになりますように。



心も、カラダも、生き方も、これまで歩んできた道のりが、今のわたしを構成している。わたしが選んだものすべてが、未来のわたしをつくっていく。

人生は選択が続くけれど、いつも「正解」なんてだせるわけがない。失敗だって受皿。つまずいたら、立ち上げればいい。疲れてしまったら、休めばいい。

どんな時も、わたしらしく。わたしはわたしを、愛しつづけていたい。自然体でいられれば、毎日を笑顔で過ごせるから。

前を向いて、空を見上げて、木にのぼる自由が、わたしにはある。



石油系界面活性剤をはじめ、防腐剤や鉱物油も無添加。厳選した植物由来成分\*を用いたシンプルな処方こだわり、国内工場にて製造を行っています。





- 「ヘルスリテラシー」「フェムテック」。昨今よく耳にする言葉です。本当はこれらは、私たちが健康な毎日を過ごすために誰しも必要不可欠な概念ですが、体調を崩してから問題意識を持って知る、地方ではタブー視されていてそもそも言葉も認知されていないなど、どうしても日常の中で自分ごとにできないため、情報へのアクセスができなかったり、正しい知識を知る機会に出会えなかったりしている現状があります。そう、「一部の関心のある方」しか知らないし、アクセスしようと思えないのです。
- 私たちは、この状況を改善したいです。**都会も地方も大企業も中小企業も、日本の全ての人たちが女性の身体に関する正しい知識を持った上で、自分で選択できる、パートナーと話せる、身体を害さないで仕事ができる、そんな社会をつくりたい。**
- そして、デリケートゾーンケアブランド（『明日 わたしは柿の木にのぼる』）という導入ハードルが高くない「日常のケア」製品を持っているからこそ届けやすい情報もあると思います。また、福島という地方に根付いた企業だからこそ地方で連携して取り組むことができる環境があると思います。
- だから、私たちがこれらに取り組むべきだと考えています。

ヘルスリテラシーにアクセスすべき女性が  
知らない現状の改善

東京と地方の情報・製品・サービス  
アクセス格差改善

**Concept: 未来のわたしに今のわたしができること**

※コンテンツには「ヘルスリテラシー」や「フェムテック」という言葉は使用しない。  
マジメ一本ではなく、遊びを入れた「楽しい」「面白い」「ワクワク」を入れ込む。





## 知る・興味を持つ



- フェムテックに関心がなくても日常生活で知ってもらえるよう、日用品店舗や生活関連施設との連携した取組の実施。エステ、マッサージなど、未病者が利用する施設との連携した取組の実施。など
- 上記のような施設でお客様にヘルスリテラシー向上に資する情報をお伝えできるように、店舗人材育成プログラムの制作。
- 「明日 わたしは柿の木にのぼる」で培った知見やデータも活かして、女性の身体と心にまつわる科学的根拠に基づいた基礎情報を小冊子(FACTBOOK)として作成。
- 企業への福利厚生として製品の導入。

## 学ぶ・行動する



- 「明日 わたしは柿の木にのぼる」で培った知見・データや企業とのネットワークを活かして、働く女性のヘルスリテラシーに関する講座・研修プログラムを制作。「講座・研修」は「つまらない」「面倒くさい」という印象が強いため、思わず笑ってしまったり「よし、やってみよう」と思えるようなワクワクする新たな仕掛けを実施予定。

【例】

身体を知る

- ・ 女性ホルモンなど女性特有の特徴を学ぶ

仕事への影響を把握する

- ・ 日々の仕事への影響を把握する
- ・ 長期的なキャリア形成への影響を把握する

自分に合った方法を取り入れる

- ・ヘルスリテラシー向上を図る

- キャリアコンサルタントの方々と普及にあたっての連携を構築。

## 地方での仕組みづくり



- 単に単発のイベントやムーブメントのみではなく、長期的に地方で女性活躍を推進するためのフェムテック活用を「仕組み」としてどう構築していくことができるか、が大切。これが移住促進にも資する。
- そのため、福島県をはじめとした地方での「仕組み」づくりとしてできることを、金融機関、メディア、自治体、地元企業の皆様と意見交換を実施する。
- 短期的には、意見交換と各種イベント等での連携を行い、最終的に地域でのエコシステムづくりを案件化する。





## 『働く女性の心と身体FACTBOOK ～未来のわたしに、今のわたしができること』

子宮と膣(生体器)の構造



生理前後の子宮内層の変化



**CHOICE** 疲労やストレス、体重減は生理不調の原因にも、生活習慣を見直すきっかけに。

脳から指令を受けて起る生理と排卵は、さまざまな心と身体の状態に影響を及ぼします。環境の変化や人間関係のストレス、食生活の乱れや過度な運動などが原因で起きる生理不調は、生活習慣の改善によって改善される場合があります。生理には体脂肪率15%以下になると、生理が起きにくくなります。過度なストレスも体脂肪減も、妊娠や出産に備えるために必要なエネルギーを消費し、心身の健康を妨げることがあります。生理と排卵を促すための心と身体、生理と排卵はすべてつながっています。

経閉以外で、生理が止まったままたりたりした場合は、自律神経の乱れやホルモンバランスの崩れ、甲状腺機能低下症などを疑い、正しい生活と十分な睡眠を心がけ、やすやすには薬が必要ありません。

**生理前兆**  
生理前兆とは(14日以内) → 疲労感、頭痛、腰痛、腹痛、吐き気、下痢、便秘、肌荒れ、むくみ、涙もろさ、集中力低下、食欲不振、体重増加、体温上昇、頭痛、腰痛、腹痛、吐き気、下痢、便秘、肌荒れ、むくみ、涙もろさ、集中力低下、食欲不振、体重増加、体温上昇

**生理期**  
生理とは(14日以内) → 経閉、月経不調、月経痛、月経不順、月経過多、月経減少、月経不調、月経痛、月経不順、月経過多、月経減少

**生理後**  
生理後とは(14日以内) → 疲労感、頭痛、腰痛、腹痛、吐き気、下痢、便秘、肌荒れ、むくみ、涙もろさ、集中力低下、食欲不振、体重増加、体温上昇



生理と排卵のしくみって？

**FACT** 生理は妊娠するためのセット。子宮内層を剥がす、大掃除の役割も果たす。

生理は、排卵サイクルの中で、妊娠の準備を整えていることを示す信号でもあります。生理学的には、卵巣から卵巣ホルモンを分泌し、子宮内層を準備し、妊娠の準備を整えていることを示す信号でもあります。生理学的には、卵巣から卵巣ホルモンを分泌し、子宮内層を準備し、妊娠の準備を整えていることを示す信号でもあります。

**FACT** 生理と排卵を促す、大事な指令は「脳」から出ている。

生理と排卵のしくみは、脳からの指令によって決まっています。脳は、自律神経を通じて、卵巣や子宮に指令を送ります。脳からの指令は、自律神経を通じて、卵巣や子宮に指令を送ります。



あなたも生理不調かも？

なかなか人に言えない女性たちの心の声(VOICE)を共有し、産婦人科医監修のもと研究データや知見から知識(FACT)を伝え、少しでも日々を健やかに過ごすための選択肢(CHOICE)を提案しています。



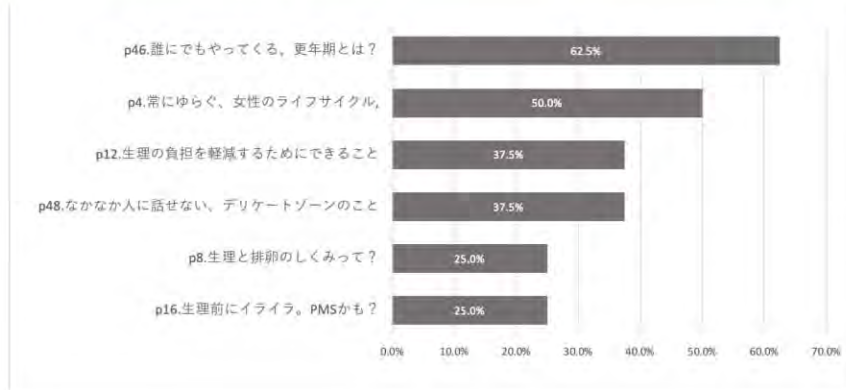
はたらく女性の心と身体FACTBOOK  
未来のわたしに、今のわたしができること

- 【主な内容】**
- ・常にゆらぐ、女性のライフサイクル
  - ・生理と排卵のしくみって？
  - ・生理の負担を軽減するためにできること
  - ・生理前にイライラ。PMSかも？
- COLUMN: 「未病」にアプローチする、漢方って？**
- ・生理が辛い！ 月経困難症とは？
  - ・妊娠ってどうやって成立するの？
  - ・コンドームだけじゃない！ 避妊法
  - ・男女ともに他人事じゃない。不妊症って？
  - ・仕事との両立が困難な不妊治療
  - ・心身が変化する妊娠中の過ごし方
- COLUMN: 妊娠中はがんばらなくていい。**
- ・珍しくはない、流産・死産のはなし
  - ・どうなっているの？ 日本のお産
  - ・出産による会陰の傷を予防するために
- COLUMN: 「オキシトシンで産む」とは？**
- ・予備軍も多い。産後うつとは？
  - ・尿漏れが気になる……
  - ・予防はできる！ 子宮頸がんのこと
  - ・身近な病気、女性特有のがんを知る
  - ・誰にでもやってくる、更年期とは？
  - ・なかなか人に話せない、デリケートゾーンのこと





## FACT BOOKの中で特に参考になった内容 (上位3つまで複数選択可)



年齢を重ねるたびに、なんとなく不調を感じることも増えてきた。疲れやすくなったり、生理痛がひどくなったり、気分が落ち込んでしまったり。こんなはずじゃないのに。無理をしつつなんとか日々をやり過ごしているけれど、本当にこのままでいいのかなあ。これからわたし、どうなっちゃうんだろう？



## 自由記述

- 私が一番印象に残ったのはPMSの話題です。妻がイライラしていることに、なんで？と思うことがしばしばあったし、それが性格的なものだと考えていました。もうちょっと我慢できないのかなと思ったときも、**身近な人ほど主観的な見方が強くなり、間違った見方をすれば関係も綻ぶ可能性もあると思ったので、今回のように知識として学べたことで客観的な視点をもって女性と関われると感じました。**妻の行動にイライラしてしまったときはピンクのメダルを思い出します。
- まず冒頭のゆらぎについて、**自分だけじゃないんだ！と驚いたのと、最近更年期かな？と気になる症状があり、年相応で、女性の体ってよくできてるなあと思いました。**何より驚いたのが、生理の回数がふえたことで、からだの負担が増えていることです。出産は一度だけで、その後は、生理が28日周期でくるので、多いときは月に2回きます。**貧血に悩まされるけど、仕事を休むわけにもいかず、毎月だましだまし、リポDをのんだり、鉄分が入ってるドリンクをのんだり。**でも、根本的に血を増やしていかないと、これからもリスクがどんどん高くなるなと実感しました。
- 更年期の記事では、仕事をやめたひとが1割いるのに衝撃。たしかに親の更年期を振り返ると、とにかくツラそうだったので、それでも仕事をして家計を守ってくれたことに感謝してもしきれないほど、**ありがとうございます**を伝えたいです。
- デリケートゾーンや子宮内膜症など、不調に悩み、手術をしたこともありますが、とにかくデリケートゾーンが体のバロメーターであることはその通り！なので、あ、またかゆみがきたなと思ったら、**体を休めたり、ゆるめることを意識していきたい**と思います。この本は、**多くの女性によんでほしいし、ぜひ息子と一緒によみます。**
- 女性のからだについては、**パートナーとあらためて話してこなかったのが、あらためてよい学びになった。**もっと早い段階で、学んでもよいと思う。**パートナーのからだの仕組みを知ることは、家族のライフサイクルを考えるときにも役立つ**と思う。
- わたしは小学校の先生なのですが、内容がすごくよくて、学びになりました。**保健の授業でも使いたい**と思いました。子どもたちには内容がもう少し簡単な方がいいかもだけど、わたしが中高生のときに欲しかったです。そしてこれから中高生に届けて行ってほしいなとも思いました。**男の人にも読んでほしい。**





### <プログラム概要>

#### PART 1 今の社会について知ろう

～女性がぶつかるキャリアの壁。その背景にあるジェンダーギャップを解消するために～

- **【社会制度の問題】** ジェンダーギャップ指数が示すものと女性活躍を取り巻くこれまでの日本の動き。（男女ともに労働時間の見直しや男性の家庭進出がもたらす効果なども含む。）
- **【組織の問題】** 組織の中、そして個人の中にあるアンコンシャスバイアスに気づく。性差を活かす、とは。マイノリティが「存在しないもの」として扱われることで生じる不利益とは。
- **【性差を活かした社会情勢・事例】** 「ジェンダーダイノベーションズ」や「フェムテック」という世の中の最新の動きを知ろう。（弊社事例含む）
- **【女性特有の健康課題】** なぜ生物学的女性特有の健康課題が「仕事」「キャリア」そして「企業の生産性」に関係するか。管理職と現場のギャップを知る。



#### PART 2 基礎から知ろう女性の健康課題

～マネジメントする上で知っておくべき女性の  
身体のライフサイクルと女性ホルモン～

- **【総論】** 女性特有の健康課題の全体像「常に揺らぐ女性のライフサイクル」。20代から60代まで、年代に応じて様々な課題がなぜ生じるのか。
- **【月経】** 月経とは。なぜ「仕事」と「月経」が関係するのか。知っておくべき「月経」の基礎知識。
- **【不妊】** 仕事との両立に大きな影響を及ぼす不妊治療。不妊原因の約半分は男性にある。
- **【妊娠・出産・流産・死産・産後うつ】** 妊娠・出産を取り巻く現状について。会社としてできること。
- **【女性特有のがん】** 年間1万人以上が子宮頸がんになり、3,000人が亡くなっている。誰でもかかりうる。
- **【更年期】** 誰にでもやってくる更年期。更年期症状を経験した約1割が仕事をやめている。

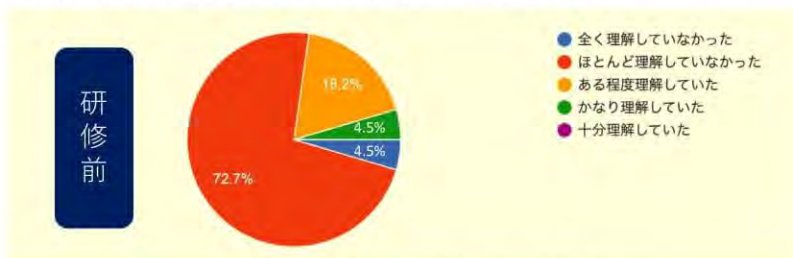
#### PART 3 日々を快適に過ごすためのセルフケア

- 生理の選択肢やデリケートゾーンケアなど、不調により早く気づき、日々快適に過ごすためのセルフケアについて学ぶ。

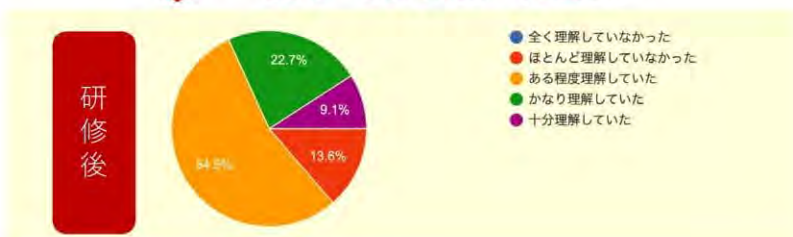


## 女性の身体に関する知識

問) 「働くこと」と「女性の健康の関係性」(月経・生殖・妊娠出産・更年期・婦人科系疾患・ストレスなど)に関して理解していましたか

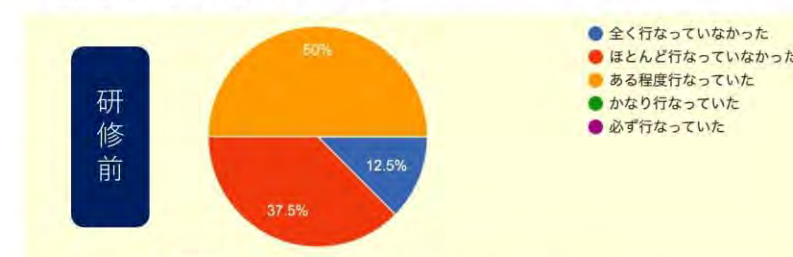


「十分～ある程度理解」と回答した割合…  
23%→86%(+63)へ向上した

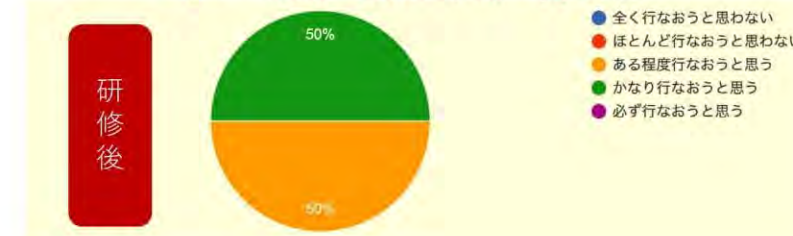


## マネジメントに関する項目

問) 自身がマネジメントする職場環境について、「女性の健康」の観点から課題を把握し改善策を検討できていますか

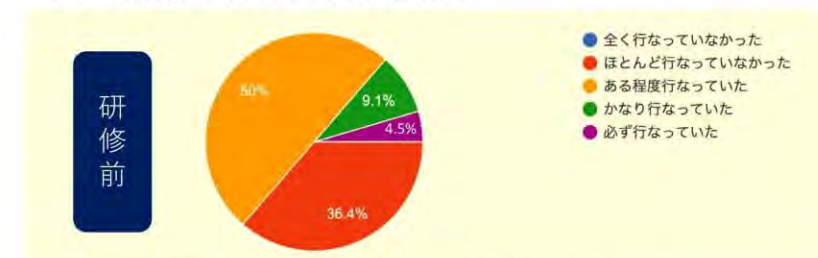


「必ず～ある程度行う」と回答した割合…  
50%→100%(+50)へ向上した

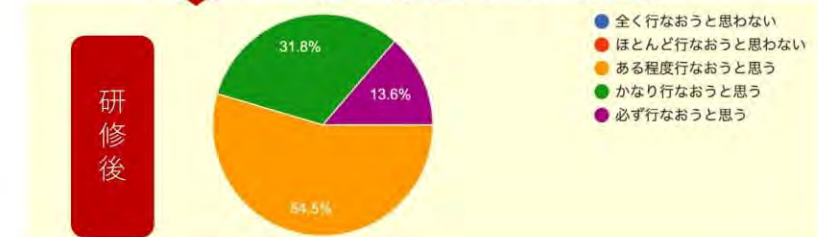


## ヘルスリテラシーの実践力

問) 月経時に辛い症状があるときは積極的に対処を行うなど、自分の体調を管理するために行なっていることがありましたか



「必ず～ある程度行う」と回答した割合…  
64%→100%(+46)へ向上した



## 自由記述

デリケートゾーンがどんな仕組みや役割を担っているのか、また世の中の女性にどんな立場に置かれているのかを理解できました!

女性特有の健康状態について、ビジネスやキャリアアップとの兼ね合いについて非常に気になっていたので、小林さんの話を聞いてセルフマネジメントの一步を踏み出せそうです!

女性の生理の回数の変化、社会的要因に関しての話が衝撃でした。まずは自分の体の状態を知ることが大事だとわかりました。 お話聞けてよかったです。

仕事の中のストレスと意外とつながっているのだと学びになりました。きちんと理解をし、正しい情報を活用することが大事だと思うので、積極的に見ていこうと思います。

婦人科疾患の疑いがあることにあまり意識や気遣うことをしていませんでしたが、改めて自身の身体を気遣おうと思いました。

貴重なお話ありがとうございました。自分の身体の不調にもっと敏感に、知っていこうと思いました。

つつい目先の仕事に追われてしまいましたが、体の健康のこと、ちゃんと考え、ケアを行っていきたくと思いました。

この類の話社内でするのは初めてだったので、緊張していましたが、小林さまのお人柄とわかりやすいプレゼンテーションで、社内でもう少しオープンに話せるきっかけになったと感じました。自分自身も、以前にも増して自分の身体と心を大切に、女性としての機能とうまく向き合いながら、人生を創っていきたくと思いました。

本日はご講演いただきありがとうございました。思っていたより自分の体のことを知らないということがわかりとても学びの多い1時間でした。キャリアのことや、自分自身のライフステージのことを考えると身体は切っても切り離せないものがあるので積極的に勉強していこうと思いました。最近、男女問わず不妊の話など聞くことも多くなってきたのでまずは自分の健康管理から気を遣っていくようにします。

女性の健康課題がテーマの講演だったので、男性、企業の幹部の方に是非聞いて頂きたい内容だった。



### 得られた示唆

- 想定よりも女性もマネジメント層もいわゆるヘルスリテラシーが高くない現状がわかった。そのため、研修などを実施した場合、医療・フェムテック界では基礎的な内容であっても大きな気づきと改善が見られる。専門的な知見を普及するよりも広く基礎的な教育の必要性を痛感した。その際、「医療の当たり前」は「一般の当たり前」ではなく、共感をうみ「私のことだ」と思ってもらえるような考え方が必要ではないか。
- 地方自治体については、「生理の貧困」など福祉の観点から繋がってフェムテックに関心を有することが多かった。そのため、生理の貧困も含め、防災、地方創生、産業活性、女性活躍など部署横断的な体制に仕込めるかが普及の鍵になると考える。そのためにも、現状ロジックの前提となる女性の健康課題に関するデータが不足している。

### 今後の事業展開

- 今年度は地方も含めたエコシステムづくりを実施するための前提となる普及啓発活動や土台づくりを行った（まずは当該分野について問題意識を持ってもらい、知ってもらおうという活動が必要であったため。）。今後は、本事業の成果をもとに、地方に暮らす女性たちの健康実態やあるべき未来・対策を検討し、データ・エビデンスを蓄積した上で、制度・計画・施策への落とし込みを実施していく。
- その上で、制度・計画・施策を充実したものにするための、地域での様々な関係主体が連携したエコシステムの構築に取り組んでいきたい。



# 16.

自治体と連携した

1. 妊活・不妊治療の当事者向けサポート 2. 妊活・不妊治療を支える周囲のサポート啓蒙

(株式会社ファミワン)

自治体や企業のみなさまと連携し  
フェムテックを活用して働く女性の健康を  
サポートし就業継続を支える実証事業

famione

株式会社ファミワン

# 会社概要

社名	株式会社ファミワン
URL	<a href="https://famione.com">https://famione.com</a>
住所	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-14-6-5F
設立	2015年6月1日
事業内容	インターネットコンテンツの企画、開発、運営及びコンサルティング
従業員数	30名（業務委託やアルバイト含む）
代表	代表取締役 石川 勇介
略歴	2006年3月慶應義塾大学経済学部卒業。飲食系ベンチャー企業のチャイナクイック、ERPパッケージベンダーのワークスアプリケーションズを経て、ヘルスケアビジネスを行うエムスリーに2015年5月末まで勤務。コンシューマー向け新規事業「AskDoctors評価・開発支援サービス」の担当として社長直下で企画、営業、運用まで全て実施。広告代理店とも連携し、花王、サントリー、森永乳業、ベネッセなど大手企業の商品認定を行い、TVCM、新聞雑誌、店頭による展開などを推進。その後、私生活における約一年間の妊活で強く感じた課題を解決するため、2015年6月にファミワンを創業。妊活・不妊領域に特化し、コミュニティ、メディア、イベント開催など啓蒙を含め展開中。

## 掲載実績例

日本経済新聞

フジサンケイ ビジネスアイ

赤ちゃんが欲しい

WOMAN EXPO 2015 N IDEA

PRESIDENT  
WOMAN Online  
よりよく働く、生きる、輝く！ 女性の活躍サイト

ウートピ  
wotopi

美ST [美★]

TC TechCrunch

BIZ&TECH Terminal  
installing insights

M mamanoko

Open Network Lab

Morning Pitch



# サービスの紹介

LINEを活用した妊活・不妊治療のパーソナルサポートを  
不妊症看護認定看護師や心理士などの専門家チームと提供



## 妊活LINEサポート ファミワン

不妊症看護認定看護師、臨床心理士、助産師、培養士、ピアカウンセラーなど  
妊活の専門家がLINEを使って、妊活をサポートします。

- 登録ユーザー  
**2万人**  
突破  
※2020年11月現在
- 次もアドバイスを  
受けたいと  
**93%**の  
ユーザーが回答  
※2020年11月現在
- 医療機関・企業・  
行政へ  
**15社**  
提供・連携  
※2020年11月現在

妊活専門家による  
無料サポートを受けてみる

LINE **いますぐLINEで無料相談**



10:25 アドバイス  
https://famione-n.freesapp.com  
famione  
病院選び相談  
(不妊症・不妊症看護認定看護師)

病院選びのご相談ありがとうございます。  
いくつかの病院を挙げてさせていただきます。あくまで目安ですので、あげた病院に必ず行かなければならないわけではありません。決めるのはお2人です。お2人が大切にされるポイント、優先順位に沿って、決められるといいですね。2人にとって1番の病院を見つけることが何より大切になります。  
「あの時この病院に行っておけばよかった」と思わないために、「この病院に行っておよかった」と思えるような病院と出会えると良いですね。  
【悩んでいるとき】、【決められないとき】に役立つような【決めることのコツ】をお伝えします。よろしければご質問になりご自身にあてはめてお考えになってみてくださいね。  
【決めることのコツ】

# 主な提供、研究など

小田急電鉄、mixi等への  
企業の従業員向け福利厚生への提供



小田急電鉄の駅現場（監督者層）に向けた講演

当日の講演の様子



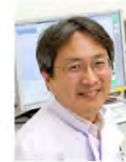
東京大学等との  
多施設共同の臨床研究の実施



スタッフ紹介  
大須賀 稔 Yutaka Osuga



プロフィールと略歴



専門分野 生殖内分泌  
出身大学 東京大学  
卒業年度 昭和60年  
出身地 大阪府

保険契約者や新婚夫婦への  
妊活サポートの提供

CONTACT / お問い合わせ

← WORKSHOP LIST

■8月12日TRUNK(SHOW)■ 今から考える自分の身体。妊活について正しく知ろう

基本情報 午前スタート 午後スタート 有料 健康 夫婦生活 ライフデザイン

開催期間 : 2018.06.23 (Sat) - 2018.08.12 (Sun)  
開催場所 : TRUNK(HOTEL)  
定員 : 20名  
参加費 : 4,000円/席  
応募締切 : 開催日の2日前まで

フジテレビにて放送された  
テレビドラマの医療監修

どんな夫婦も、  
悩みを隠して、  
笑っている。

隣の家族は青く見える

毎週木曜夜10時放送 Every Thursday 10:00 P.M.

フジテレビ

妊活カップル

五十嵐奈々 櫻田 舞子  
五十嵐大器 星山 アンナ

— 家の誰人をも懐に妊活をサポートした夫婦 —

# AGENDA

- ①事業計画（事業目的と実施事項）
- ②事業計画に基づき実施したこと
- ③本事業の成果と課題
- ④今後の事業展開



# 実証実験の概要

自治体や企業と連携することにより、  
幅広い妊活・不妊治療の負担軽減に向けたサポートを実施

16 自治体と連携した 1. 妊活・不妊治療の当事者向けサポート 2. 妊活・不妊治療を支える周囲のサポート啓蒙							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●		●	●	●	
実施体制	代表団体	株式会社 ファミワン				実証地域	全国
	参加団体	-					
	協力団体	・神奈川県横須賀市 ・(株)Public dots & Company		・東京都杉並区 ・群馬県邑楽町			
対象者	・当事者および家族やパートナー ・妊活前のカップル ・同僚、上司等		実施概要	・LINEを使った妊活・不妊治療相談の提供 ・妊活をしている方、不妊治療を受ける方、これから妊活をしようと考えている方など当事者をサポートするセミナーを自治体と連携して実施			

# 実証実験の内容とポイント

今回、LINE妊活サポートと様々な観点でのセミナーを通して妊活における「当事者」と「社会全体」への働きかけを検証

## LINE妊活サポート

→妊活や不妊治療を受けているカップル、月経や更年期などの困りごとを抱えている女性へサポートを行っています。また、男性や支える立場からの利用も可能です。本実証実験では全5回のセミナー参加者へ有料プランを無料で提供いたします。

## 自治体と連携する一般の方向けセミナー

→様々な状況下におかれている方に対して、啓発の意味も込めた全5回のセミナーを開催します。A~Eは現時点の予定。

- A.現在、未来の妊活当事者に対する、仕事と両立する観点からもサポートするセミナー。
- B.管理職、職場の方向け妊活する人を取り囲む方、サポートする側へのセミナー。
- C.子どもや保護者の方への性教育を通し、自分の身体を守ることや妊娠妊活の知識を学ぶセミナー
- D.更年期を軸とし、女性にも男性にも起こりうる身体や心の変化についてのセミナー。
- E.生理の際に起こるトラブルのセルフチェックや対処法など女性の困りごとについてのセミナー。

## 自治体担当者とのワークショップ(ファミワン導入新規開拓)

→妊活・不妊治療支援に関する施策を進めるにあたっての自治体課題を参加者同士でシェアし合い、テクノロジー（フェムテック）や民間のチカラを活用して、働く女性の支援や、仕事との両立支援などをサポートするワークショップを開催します。



# 実証実験のスケジュール

セミナーとワークショップを並行で進行し、  
参加者/利用者が実証実験を経てどう変化したかを集計し検証

	セミナー+サービス提供	ワークショップ
2021年		
7月	<ul style="list-style-type: none"><li>・セミナー企画</li></ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"><li>・セミナー告知開始 A,B,C</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Public dots &amp; Company による公募告知開始</li><li>・公募開始</li></ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"><li>・セミナー開催 A</li><li>・セミナー告知開催 D,E</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・公募締め切り</li></ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"><li>・セミナー開催 B,C</li><li>・セミナー参加経由ファミワン</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治体選定</li></ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"><li>利用者アンケート A</li><li>・セミナー開催 D,E</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ワークショップ開催</li></ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"><li>・セミナー参加経由ファミワン</li></ul>	
2022年		
1月	<ul style="list-style-type: none"><li>利用者アンケート B,C</li><li>・セミナー参加経由ファミワン</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ワークショップ後アンケート</li></ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"><li>利用者アンケート D,E</li></ul>	

※セミナーは全5回開催を予定  
※セミナー参加には直後、セミナー経由ファミワン利用者は二ヶ月後にアンケートを配信



# AGENDA

- ①事業計画（事業目的と実施事項）
- ②事業計画に基づき実施したこと
- ③本事業の成果と課題
- ④今後の事業展開

# AGENDA

- ①事業計画（事業目的と実施事項）
- ②事業計画に基づき実施したこと
  - ・全5回のセミナーの企画、告知、開催
  - ・自治体向けワークショップの開催
- ③本事業の成果と課題
- ④今後の事業展開

# セミナー開催日時やテーマ等の企画確定

## プロジェクト全体、全5回の各セミナー、ワークショップのそれぞれの企画を確定し、プレスリリース等の配信

この事業は経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択されています 

行政課題解決セミナー

フェムテックで行政課題を解決する  
**妊活とヘルスケアセミナー**

自治体 × フェムテック

01 10/11 12:00 - 13:00

「知る」の一步先へ  
**「生理の課題」解決ヒント**

月経トラブルの知識を学び、自分自身の健康を見つめ直す。生活習慣の改善や受診など、適切な対処方法を知って行動できる。

講師 不妊症看護認定看護師 西岡 有可 先生  
出演 丸の内自由クリニック院長 宋 美玄 先生

街ぐるみの健康課題解決

月経、妊活、更年期、性教育。これらは性別、年齢にかかわらず誰もが当事者になる課題で、誰もがサポーターになることができます。正しく知ることが自分を含む自分の大切な人を守ることに繋がります。

わたしたちファミオンは、課題の根本解決に必要な知識・情報に誰でも簡単にアクセスでき、安心して健やかに暮らせる社会にしたいと考えています。

02 10/25 12:00 - 13:00

男女の「更年期」  
本当に必要なサポート&資源は？

身体と心、両方の視点から更年期の知識を学ぶ。数年後の生活をイメージし、今から準備できることを考える。

講師 公認心理師・臨床心理士 戸田 さやか 先生  
出演 広尾レディースクリニック院長 宗田 聡 先生

03 11/8 12:00 - 13:00

妊活を知る  
**他人事から自分事へ**

妊活・不妊治療の基礎知識を理解し、妊婦、出産、育児と同様にライフプランの1つとして考えられるようになる。

講師 不妊症看護認定看護師 西岡 有可 先生  
出演 松本レディースリプロダクションオフィス 院長 松本 玲央奈 先生

04 11/22 12:00 - 13:00

管理職向け！  
**組織のヘルスサポート基礎知識**

更年期や月経というプライベートでセンシティブな問題の基礎知識を理解する。相談しやすい関係性を作るために、当事者の困窮さやコミュニケーションの取り方を知る。

講師 公認心理師・臨床心理士 戸田 さやか 先生

05 12/6 12:00 - 13:00

子どもの権利を守るまっすぐ  
**やさしい性教育**

からだどころ、両方の側面から性教育を考える。子どもや大切な人と一緒に話せる。性教育の重要なトピックを理解する。

講師 公認心理師・臨床心理士 戸田 さやか 先生  
出演 不妊症看護認定看護師 西岡 有可 先生

この事業は経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択されています 

講師・VTR出演

10/11, 11/8, 12/6  
西岡 有可 先生  
不妊症看護認定看護師 (株式会社ファミオン)

10/11 VTR出演  
宋 美玄 医師  
丸の内森レディースクリニック院長

11/8 VTR出演  
松本 玲央奈 医師  
松本レディース リプロダクションオフィス 院長

10/25, 11/22, 12/6  
戸田 さやか 先生  
公認心理師・臨床心理士 (株式会社ファミオン)

10/25 VTR出演  
宗田 聡 医師  
広尾レディース院長、茨城県立医療大学客員教授、東京慈恵会医科大学講師 (非常勤)

プレミアムプラン (通常月額 3,980円) で専門家に個別で相談可能) が無料で使える特別コードをセミナーの最後にお伝えしますので、ぜひご参加ください。※2ヶ月間有効

**セミナー概要**

- 場所 オンライン開催
- 参加費 無料

**ご予約はこちら**

下記のウェブサイトまたはQRコードから参加の申込み

<https://form.run/@femtech-seminar>

**オンラインセミナー参加方法**

**STEP 1**  
申込受付のメールを受信

開催前日までに、受講の手順とともにZOOM URLをメールでご案内します。  
※前日の17時までに届かない場合は、セミナー直前までお問い合わせください。

**STEP 2 (当日)**  
受講に必要な機器を準備

オンラインセミナーには講師のPC画面を共有する形で参加していただきます。参加に必要なPC・スマートフォン・タブレット端末やイヤホン等をご準備ください。

**STEP 3 (当日)**  
オンラインセミナーに参加

申込受付メールに記載されたZOOM URLをクリックし、またはWebブラウザのアドレスバーにコピー&ペーストしてください。  
Zoomのシステムがログインが完了したら[ZOOM]をクリックしていただき、ダイアログが表示されない場合は、画面下の右下に隠れている[ZOOM]をクリックして実行/承認してください。

セミナーに関するお問い合わせ先：株式会社ファミオン <https://famione.co.jp/contact/>  
住所 〒150-0002東京都渋谷区渋谷2-14-6 南青山ビル1107-2062東京慈恵会医科大学内3-6 貴賓山4F 407F 貴賓山階  
※経済産業省は2020年に民間企業経営者団体が設立した社会起業家支援が主目的の、働き、交流する取り組みに対し、活動的に支援を行っています

**famione**



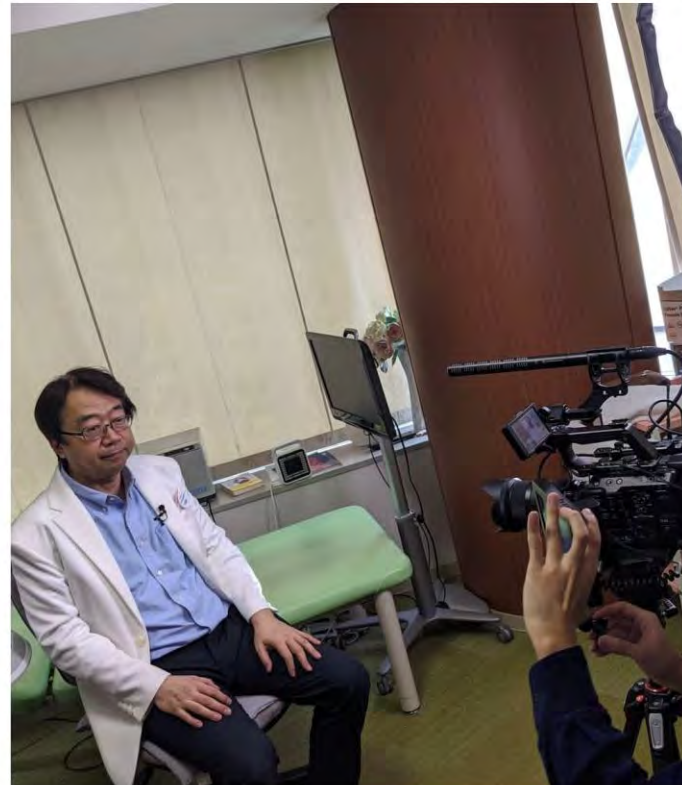
# 登壇者の事前インタビューなどの実施

セミナー開催に向けてVTR登壇を依頼する医師の決定と  
クリニックなどでの事前撮影の実施

松本 玲央奈 医師



宗田 聡 医師

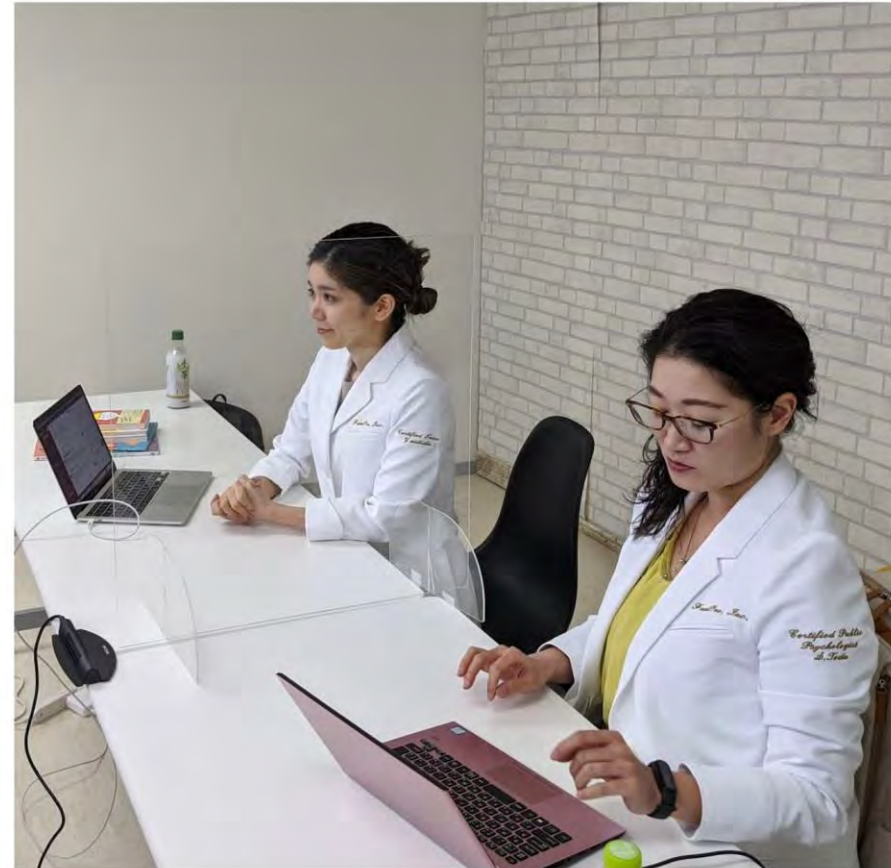


宋 美玄 医師



# 全5回のセミナー当日の運営

10月から12月の間で、ファミワンの看護師・心理士進行で  
都内のスタジオから全5回のセミナーを配信





# 自治体向けワークショップの開催

## Public dots & Company社の「逆プロポ」を活用したワークショップをオンラインで開催

famione

報道関係各位

2021年8月6日  
株式会社ファミワン

**官民共創マッチングプラットフォーム「逆プロポ」を活用した自治体との共創フェムテックを用いて、妊活×まちづくりで暮らしやすい/働きやすい街をともに考える公募を開始**

「子どもを願うすべての人によりよい、幸せな人生を歩める社会をつくる」をビジョンに掲げ、LINEを活用した妊活コンシェルジュサービス「famione (ファミワン)」 <https://lp.famione.com/> を提供する株式会社ファミワン(本社:東京都渋谷区、代表取締役:石川 勇介、以下当社)は株式会社 Public dots & Company(本社:東京都渋谷区、代表取締役:伊藤 大貴、以下「PdC」)と株式会社スカラ(本社:東京都渋谷区、代表取締役:榎野 憲克、以下「スカラ」)が提供する、官民共創マッチングプラットフォーム「逆プロポ」を活用して、フェムテックを用いて、妊活×まちづくりで暮らしやすい/働きやすい街をともに考える自治体の逆公募を開始しました。

プロジェクト詳細ページ: <https://waku-propo.com/project/project006>

「逆プロポ」とは、企業が関心のある社会課題を提示し、それに対して自治体が課題解決のための企画やアイデアを提案する共創サービスとなっており、アイデアを出す側と選ぶ側を従来と逆転させた画期的な仕組みです。「逆プロポ」サービスの第4弾のプロジェクトとなる本件は、地域課題や住民との接点を持つ地方自治体と連携して、昨今の社会課題となっている妊活や不妊治療に取り組む方への支援を進めるため、PdCとスカラが全国の自治体との間に入って公募するものです。当社としては、経済産業省による令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」の採択をうけ、間接補助事業として実施いたします。

逆プロポ × famione



### 官民共創マッチングプラットフォーム「逆プロポ」応募概要



妊活×まちづくりの視点で、暮らしやすい/働きやすい街を一緒に考えたい

#### 逆公募実施の背景

妊活・不妊治療支援の保険適用拡大や、子ども庁の創設などが議論され、わが国での少子化対策、子ども・家族支援がさらに前進するトレンドにあります。これまで妊活・不妊治療においては家庭の経済的負担の問題や、地域医療の問題などがハードルとなり、一人ひとりの希望を阻害したり、自治体が進めようとする施策の課題となってきました。

ファミワンでは、最新の情報通信テクノロジーと、不妊症看護認定看護師や臨床心理士などの専門性を有する人材のアナログ性を掛け合わせて、オンラインでの妊活コンシェルジュ事業などのサービスを展開してきました。

今回、自治体とファミワンの協働により、それぞれが持つ知見や情報、公共性を生かして、働く女性の支援や仕事との両立を推進し、妊活×まちづくりの視点で、暮らしやすく、働きやすい地域づくりを一緒に考えます。



照会先・提出先  
「逆プロポ」事務局 株式会社 Public dots & Company メールアドレス [ppc@publicdots.com](mailto:ppc@publicdots.com)

プロジェクト詳細・応募ページ  
<https://waku-propo.com/project/project006>



# AGENDA

① 当初の事業計画

② 事業計画に基づき実施したこと

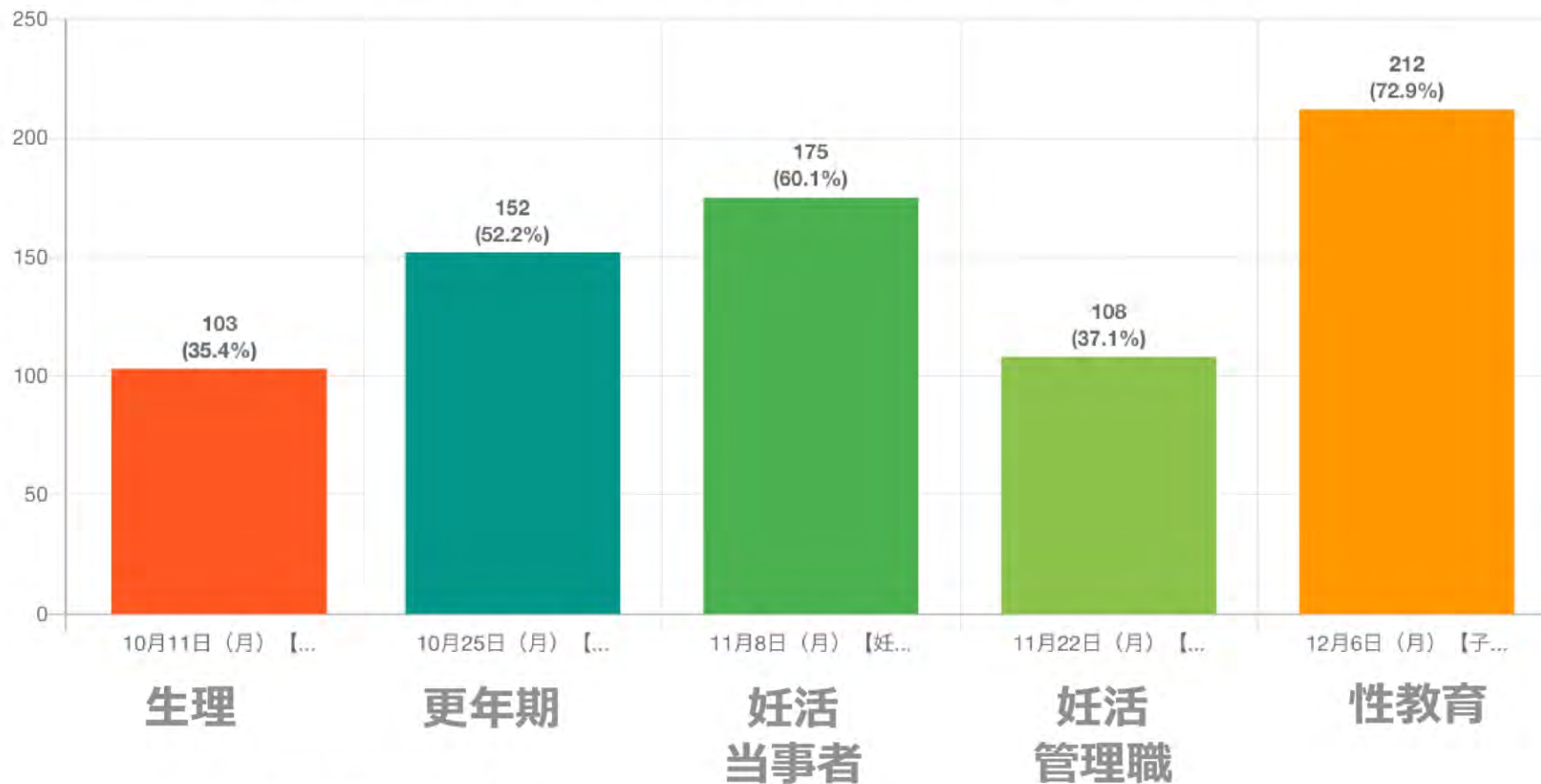
③ 本事業の成果と課題

- ・ 自治体からのニーズの確認
- ・ 各自治体との個別セミナーを追加開催
- ・ 来年度に向けた検討やヒアリング
- ・ LINEサポートの登録数

④ 今後の事業展開

# 合計で936名の申込と646名の参加あり

当初計画していた全5回だけでも750名申込466名参加と  
それぞれのテーマに対して興味関心度合い高い

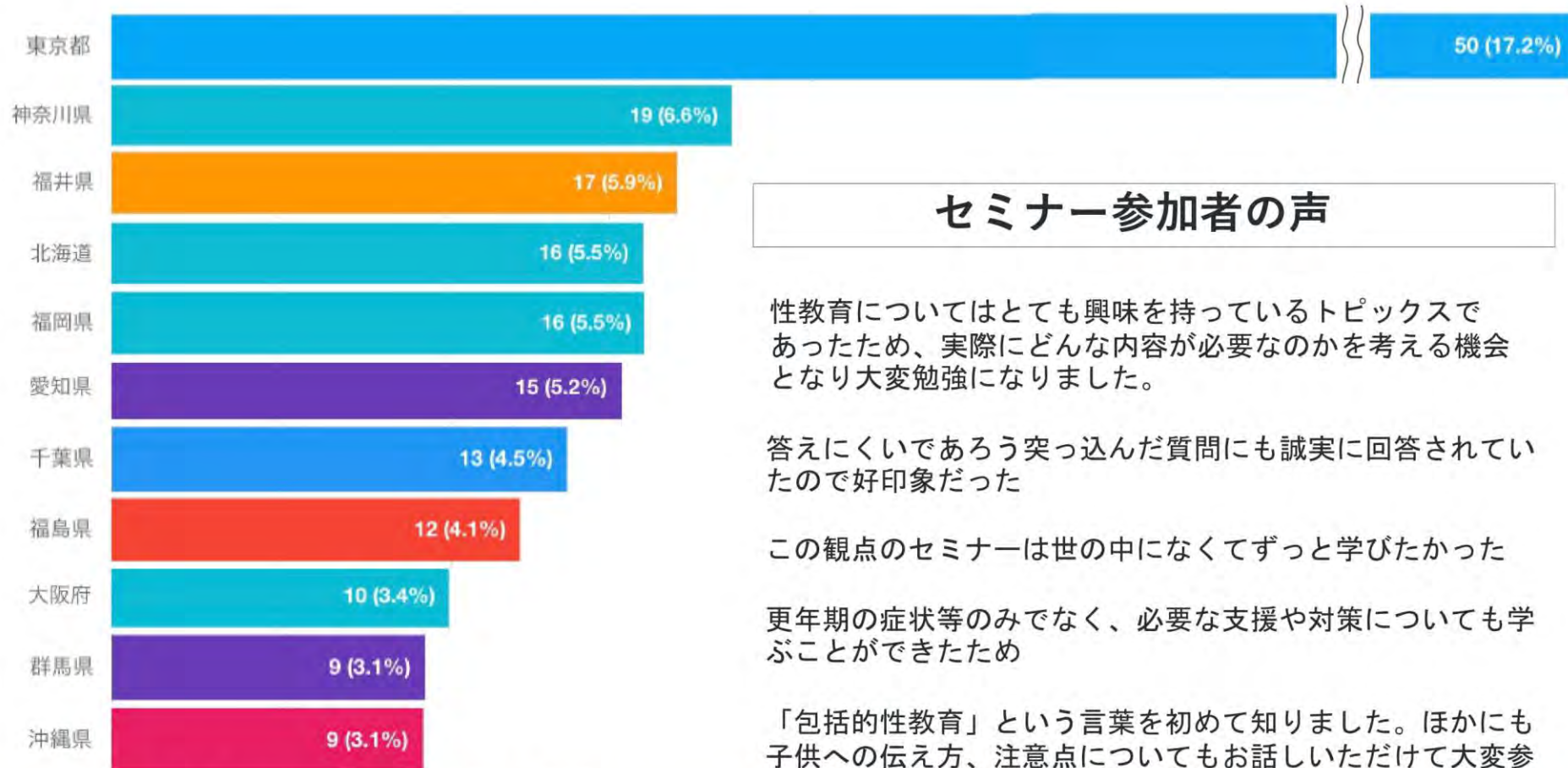


※申込者数の合計は291名。

※「生理」は初回開催だったため103名となっているが、その後の視聴希望も多数。

# 全国から幅広く参加申込いただけている

都心部、地方、関係なく興味関心をもつ方がいる点分かり  
「フェムテック」の課題の共通点とニーズを体感



## セミナー参加者の声

性教育についてはとても興味を持っているトピックスであったため、実際にどんな内容が必要なのかを考える機会となり大変勉強になりました。

答えにくいであろう突っ込んだ質問にも誠実に回答されていたので好印象だった

この観点のセミナーは世の中になくてずっと学びたかった

更年期の症状等のみでなく、必要な支援や対策についても学ぶことができたため

「包括的性教育」という言葉を初めて知りました。ほかにも子供への伝え方、注意点についてもお話しただけで大変参考になりました。

※全5回の申込者291名のうち回答のあった地域一覧

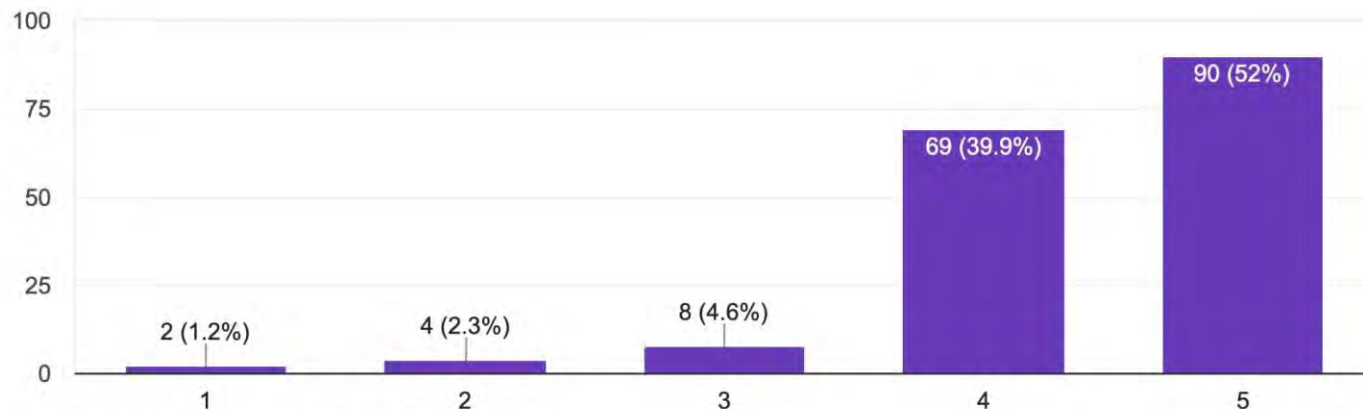


# 91%が理解できた、85%が満足と回答

参加者からも高い評価をいただき、開催の意義を感じた

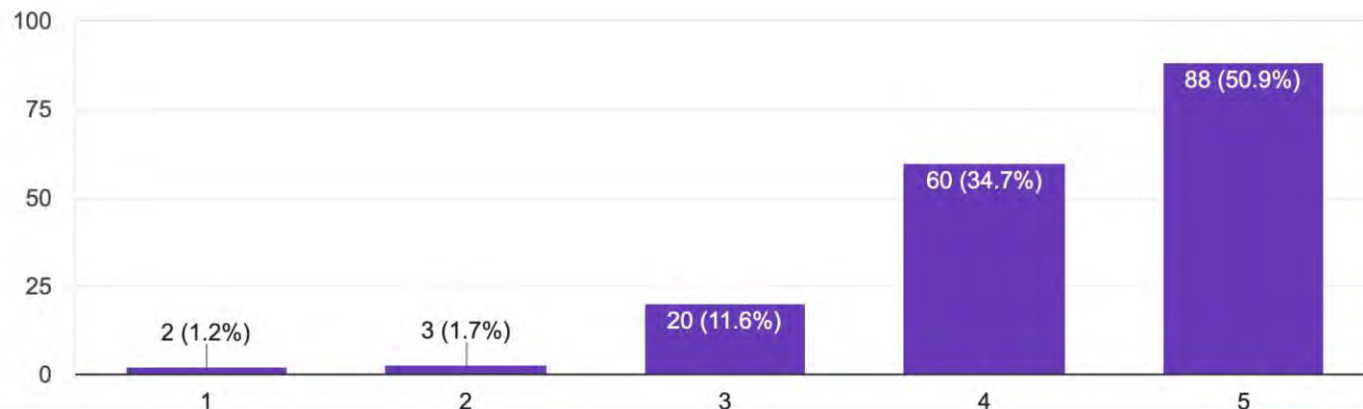
本セミナーの理解度を教えてください。

173件の回答



本セミナーの満足度を教えてください。

173件の回答



# 期間中に新規で自治体へ個別開催も実施

## 広島県三原市が初めての新規協力団体となり個別開催を実施

経産省「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」採択事業  
広島県三原市と連携して、お住いの方やお勤めの方向けに  
「子育て支援」・「女性活躍」の取り組みを開始します



X famione X



経済産業省



三原市にお住まい、または三原市で勤務されているみなさまへ

## 妊活とヘルスケアセミナー

妊活・不妊治療の基礎知識から、  
更年期や月経のヘルスケアサポートまで不妊治療の専門家がお話します。



### ○妊活オンラインセミナー 『妊活を知る 他人事から自分事へ』

- (1) 日時 11月8日(月) 12時~13時(全国対象)  
12月11日(土) 13時30分~14時30分(三原市独自開催)
- (2) 対象 どなたでも参加できます
- (3) 講師 不妊症看護認定看護師 西岡 有可さん  
VTR出演 松本レディース リプロダクションオフィス院長  
松本 玲央奈医師
- (4) 参加費 無料



講師：西岡有可



講師：松本医師

### ○女性活躍オンラインセミナー 『組織のヘルスサポート基礎知識』

- (1) 日時 11月22日(月) 12時~13時(全国対象)  
12月13日(月) 18時30分~19時30分(三原市独自開催)
- (2) 対象 管理職向け
- (3) 講師 公認心理師/臨床心理士 戸田 さやかさん
- (4) 参加費 無料



講師：戸田さやか



# 地域や連携主体も多種多様な開催となる

今回、経産省の実証事業である点が自治体にとっての  
導入・共催のハードルを大いに下げていると実感

広島県三原市とファミワンが連携して、  
お住いの方やお勤めの方向けに「子育て支援」・「女性活躍」  
の取り組みを開始します



東京都調布市後援、調布市助産師会共催にて、  
お住いの方やお勤めの方向けに妊活支援を行います



自治労北海道の229組合の組合員を対象に  
「生理とうまく付き合うコツ」のセミナーを開催



荒川区社会福祉協議会后援、OGP薬局荒川店共催にて  
東京都荒川区の方向けにヘルスケアセミナーを開催



福島県国見町と連携して、  
お住いの方やお勤めの方向けにヘルスケアセミナーを開催



栃木県職員生活協同組合の組合員を対象に、  
妊活とヘルスケアセミナーを開催





# 自治体としては予算がないケースもあり 経産省の補助事業としての意義は大きい

フェムテックを活用した支援の一歩目として  
中学校向け性教育などニーズに合わせて講演内容も調整

経産省「フェムテック等サポートサービス実証事業補助金」採択事業  
島根県知夫村の中学3年生向けにオンラインセミナー  
「中学校を卒業するあなたへ お守りの性教育」を行います



知夫村

× famione ×



経済産業省

## 島根県知夫村の概要と開催背景

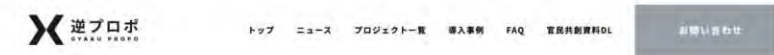
知夫村は本土からフェリーで約2時間、島根県隠岐諸島の最南端に位置する人口約625人の離島で、広大な海と赤壁などの大絶景に囲まれています。村内には小中一貫校が1校で、児童生徒は合わせて33人ほど。高校がないため、中学卒業後はみな島外の高校へ通うこととなります。島を出て本土の高校へ行く生徒もいることから、自分や他者の命やからだの尊さについての学びを「お守り」に、それぞれの道へ旅立ってほしい。そのような思いから、この春中学校を卒業する3年生へ向けて、性教育講座をお届けすることとなりました。

## ご担当者からのコメント

大自然が広がるこの島で、地域から温かく見守られて育った子どもたちへ、これまでたくさんの人から大きな愛情をもらったように、これからは自分たちで誰かを大切にできる素敵な大人になってほしい、このセミナーがそのお守りになることを願っています。

# 「逆プロポ」ワークショップの開催

約30名の応募があり、全国から職員・議員が参加



妊活xまちづくりの視点で、暮らしやすい/働きやすい街を一緒に考えたい

株式会社ファミワン



famione

株式会社ファミワン

自治体職員と妊活支援に取り組む  
フェムテック企業が  
を通して、働く女性  
との自立支援とい  
関して、解決できる  
働いて考えるプロジェクト

## 開催日時

令和3年10月27日(水) 15時~17時

## プログラム

- 地方創生につながる妊活・不妊治療の政策動向について
- 「フェムテック」の自治体活用事例の紹介
- ワークショップ
- 主催会社「株式会社ファミワン」の事業紹介
- 質疑応答

## ワークショップ参加者の声

なかなか他市町村と話す機会がなく、ワークショップがあつという間に時間が過ぎました。都の事例などを知ることができ、県全体で取り組んでいくことで産みたい人が産むために必要な情報にたどり着きやすくなるよう考えていきたいです。

結局、顔見知りの間柄では相談しにくい内容であり、職場として職員の妊活等の実情を把握することは極めて困難と思うので、外部相談窓口が望ましい。

他自治体の方も同じようなことで悩まれていることがわかったことはよかったです。

このような機会がなければ話すことのなかった人たちと意見交換を行うことができた。

不妊治療の保険適用化などの政策動向について知りたくて参加しましたが、その点があまり触れられていなかったもので、少し残念でした。妊活や不妊治療への助成等をしようにも、国の政策が固まらないと難しい点があるので、その情報を必要とする自治体は多いのではないのでしょうか。



# AGENDA

- ① 当初の事業計画
- ② 事業計画に基づき実施したこと
- ③ 事業を実施して分かってきたことや課題
- ④ 今後の事業展開



# 自治体や企業との正式連携を複数予定

本プロジェクトはあくまでも実証事業のため  
この期間の取り組みを元に次に進むことが重要

**現在、来年度導入予定（予算承認待ち）自治体も複数存在**

自治体関係者のみなさまへ

## 不妊治療や女性活躍推進の 課題を専門家がサポート

月経、妊活、更年期、性教育。これらは性別、年齢にかかわらず誰もが当事者になる課題で、誰もがサポーターになることができます。正しく知ることは自分を含む自分の大切な人を守ることに繋がります。

わたしたちファミワンは、課題の根本解決に必要な知識・情報に誰でもすぐにアクセスでき、安心して健やかに暮らせる社会にしたいと考えています。

お問い合わせ

資料請求



### 不妊治療を自分事へ

妊活・不妊治療の基礎知識を理解し、**妊娠、出産、育児と同様にライフプランの1つとして考えられるようになる。**



### 生理の貧困

月経トラブルの知識を学び、自分自身の健康を見つめ直す。生活習慣の改善や受診など、**適切な対処方法を知って行動できる。**



### ヘルスケアと女性活躍支援

更年期や月経というプライベートでセンシティブな問題の基礎知識を理解する。**相談されやすい関係性を作るために、当事者の困難さやコミュニケーションの取り方を知る。**



### 小中学生への性教育

からだところ、**両方の側面から性教育を考える。**子どもや大切な人と一緒に話せる、性教育の重要トピックを理解する。



CONFIDENTIAL

# みなさまからのご連絡お待ちしております

フェムテックを活用して社会を変えていくために  
弊社一社でできることは限界があります。

この実証実験期間も、それ以降も、  
多くの自治体・企業と協業できればと考えています。

子どもを願うすべての人によりそい  
幸せな人生を歩める社会をつくる

famione



# 問い合わせ先

株式会社ファミワン  
代表取締役 石川勇介

080-2243-6995

[y-ishikawa@famione.com](mailto:y-ishikawa@famione.com)



# 17.

日常生活の中で簡便に自身の疲労度・ストレスレベルを可視化し、リアルタイムで感覚刺激を通じた解決を行うアプリ「me-fullness」による、働く女性の疲労・ストレス緩和ソリューションの実証事業  
(株式会社ポーラ・オルビスホールディングス)

令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」

**日常生活の中で簡便に自身の疲労度・ストレスレベルを可視化し  
リアルタイムで感覚刺激を通じた解決を行うアプリ「me-fullness」による  
働く女性の疲労・ストレス緩和ソリューションの実証事業**

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス  
ポーラ化成工業株式会社

me-fullness



# 実証事業の概要

心と体の状態を分析  
(疲労・ストレス)

統合

五感体験によるケア  
(触覚・視覚・聴覚)

(第一弾) スマホアプリ開発



顔や肌を用いて簡単に  
自身の心と体の状態を分析



一人ひとりに最適な  
心拍様振動、音楽・声、アート

徳島市の働く女性を対象に、me-fullness の効果検証





## 予定通り実施

- 2021年 9月：試験計画策定  
：試験に関する倫理委員会の開催・承認取得
- 10月：被験者募集・スクリーニング
- 11月：試験開始
- 12月：試験終了、以降データ解析・デブスインタビュー
- 2022年 2月：本実証試験の結果まとめ・報告

- ① 徳島市と「働く女性活躍推進」に向けた連携協定を締結
- ② アプリの改修
- ③ アプリの効果検証試験 ← 本日報告

**POLA ORBIS HOLDINGS**  
NEWS RELEASE

**徳島市**  
Tokushima City Official Website

2021年9月30日

## 働く女性の活躍推進に向けた連携協定を締結 ポーラ・オルビスホールディングス×徳島市 第一弾 me-fullness プロジェクト

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、代表取締役社長:鈴木 郷史)と徳島市(市長:内藤 佐和子)は、2021年9月29日に働く女性の活躍推進に向けた連携協定を締結しました。第一弾として、経産省補助事業に採択された※1 心と体を満たす“me-fullness(ミーフルネス)”プロジェクト※2の実証事業を徳島市で実施します。

※1 「心と体を満たす“me-fullness”プロジェクトが経産省補助事業に採択」(2021年7月21日) [http://www.pola-rm.co.jp/pdf/release\\_20210721.pdf](http://www.pola-rm.co.jp/pdf/release_20210721.pdf)  
※2 「ポーラ化成、ウェルネステックプロジェクト“me-fullness”をスタート」(2021年7月2日) [http://www.pola-rm.co.jp/pdf/release\\_20210702.pdf](http://www.pola-rm.co.jp/pdf/release_20210702.pdf)



# 試験概要

## 【試験対象者】

徳島市の20-50代の働く女性

## 【試験概要】

「me-fullnessアプリ」を日常的に約1ヶ月間使用したときの効果を検証

## 【評価項目】

疲労・ストレス、睡眠、心理状態、well-beingに関する項目

## 【試験実施期間】

2021年11月中旬～12月下旬

## 【試験参加人数】

参加表明：61名



試験参加：39名



試験完了：31名



デプスインタビュー：2名

(内訳)

阿波女あきんど塾参画企業経営者または従業員：4名

徳島市役所職員：18名

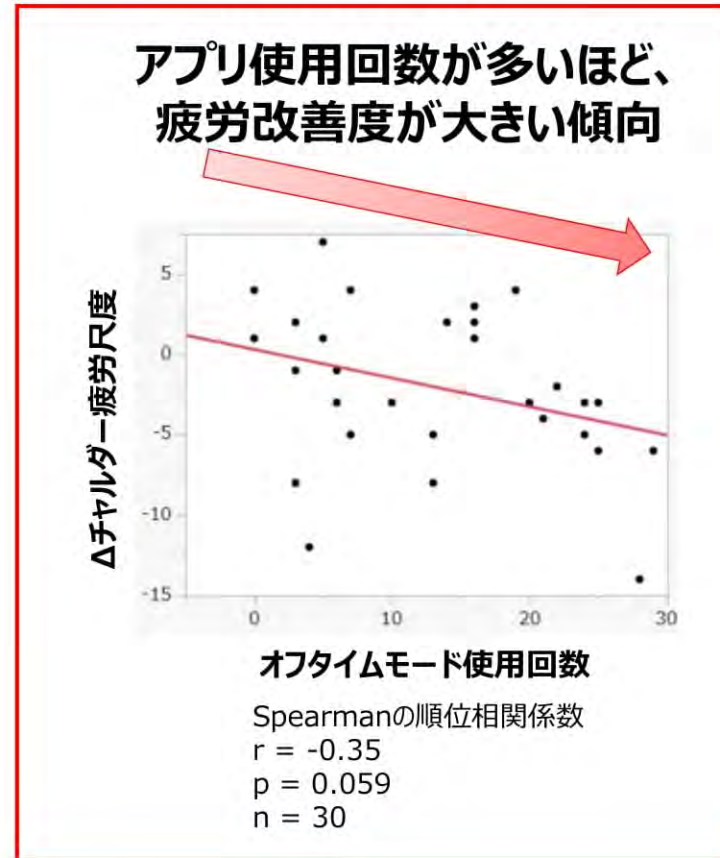
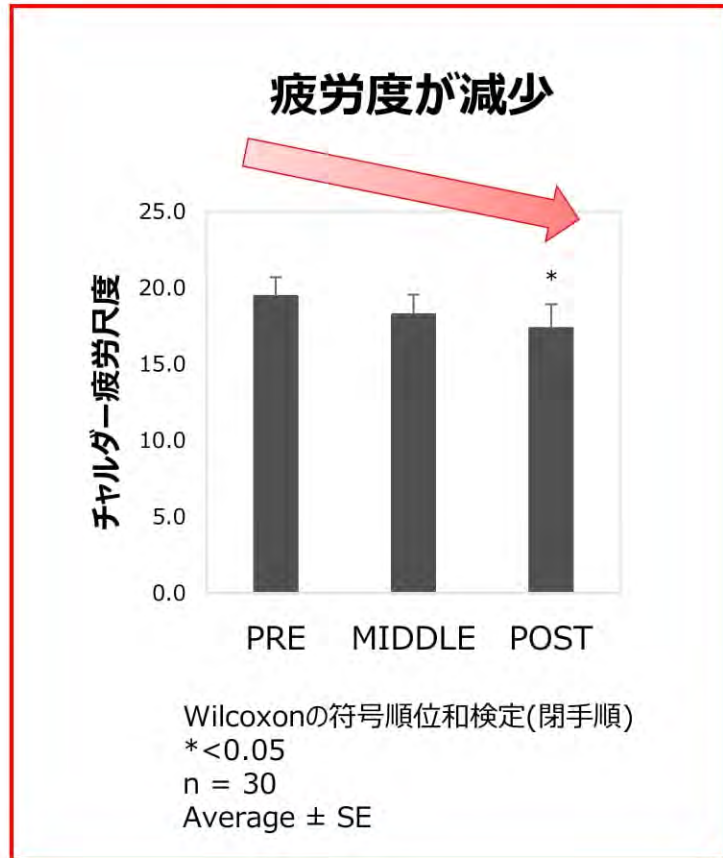
その他（阿波女あきんど塾関連者）：9名

+ 55名（生体試料の解析・評価、及びバックアップとして都市部で同様の試験を実施）



# 定量結果\_疲労度(チャルダ-疲労尺度)

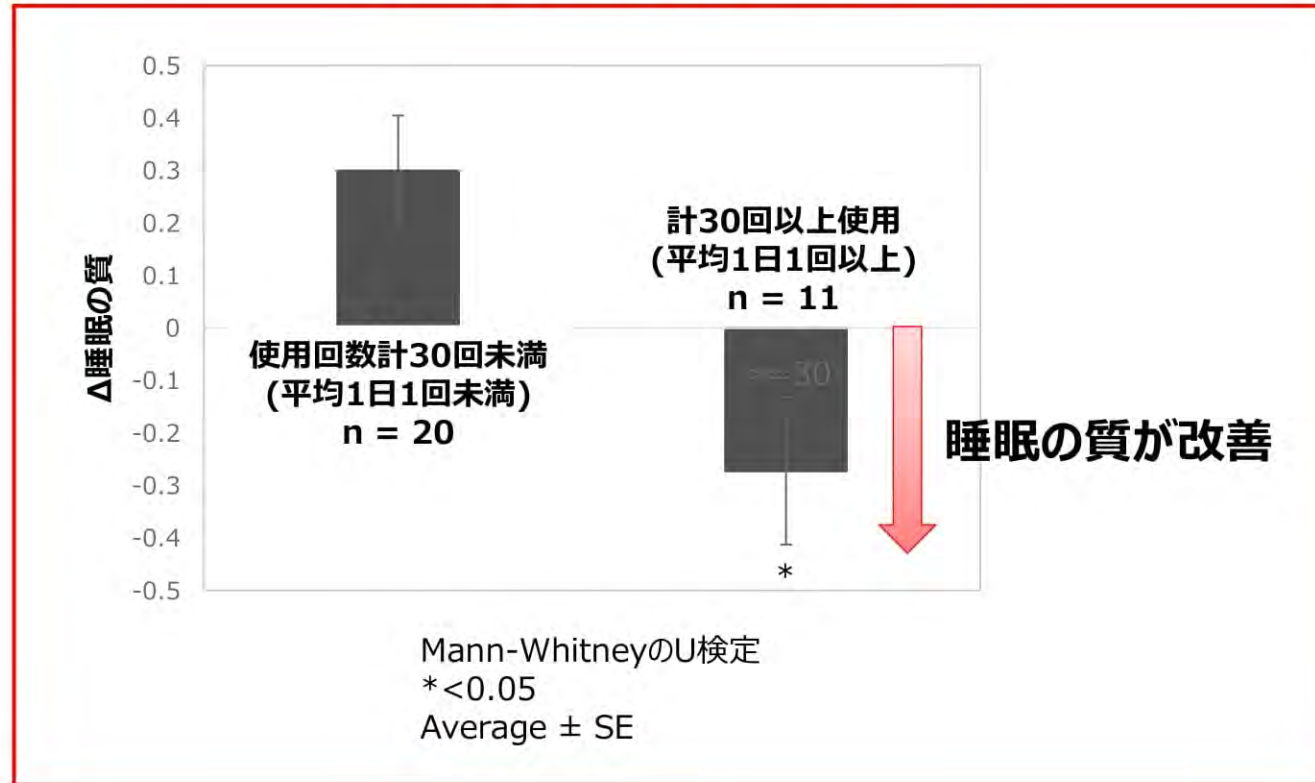
「me-fullnessアプリ」導入後、**疲労度が有意に減少**  
更に、**使用回数が多いほど疲労改善度が大きい傾向**



働く女性に対して『**疲労度改善効果**』あり

# 定量結果\_睡眠の質(ピッツバーグ睡眠質問票)

**使用回数が多い人は、少ない人と比較して  
睡眠の質が有意に改善**



**『睡眠の質』改善には1日1回以上の使用が有効**

生体試料の解析、及びバックアップとして実施した試験の結果

- **疲労度が有意に減少（疲労度が高い人に対して）**
- **睡眠の質改善**
- **ネガティブ感情の改善**
- **ポジティブ感情の改善（疲労度が高い人に対して）**
- **幸せ因子（ありがとう因子※）の改善**
- **体内の疲労マーカーの改善**

※人を喜ばせることが好きで、私を愛してくれる人がいて、感謝する人がたくさんいる。そして、人に親切にしているという人の特徴を表した因子

**徳島市の試験と比較し、より多くの項目で改善効果を確認**  
⇒ **参加者のアプリ平均使用回数の違いによるものだと考察**  
(徳島市の試験：平均使用回数22回、都市部の試験：平均使用回数55回)



**使用回数が多いと『感情』『幸福度』『体内因子』も改善**



## @徳島市（アプリ平均使用回数22回/月、試験完了人数31名）

- 『**疲労度**』改善（※アプリ使用回数が多いほど改善度も大きい）
- 『**睡眠の質**』改善（※アプリ使用回数計30回以上）

## @都市部（アプリ平均使用回数55回/月、試験完了人数55名）

- 『**疲労度**』改善（※疲労度が高い人に対して）
- 『**睡眠の質**』改善
- 『**ネガティブ感情**』改善
- 『**ポジティブ感情**』改善（※疲労度が高い人に対して）
- 『**ありがとう因子**』改善
- 『**体内の疲労マーカー**』改善



アプリをより多く使いたくなる設計が、効果を高めるためのポイント



# デプスインタビュー\_30代女性



- ・ ストレスに無自覚だが、体に不調として現れるタイプ。気付かないだけで、仕事関連でストレスに思うことは多い。
- ・ me-fullnessは、気付けていない自分の心と体の状態を客観的に確認できるところに魅力を感じている。

## 基本プロフィール

※個人情報のため非公開

## ストレスや不調を感じる時

### ストレス

- ・ 普段、疲労感を感じることはあるが、**ストレスはあまり感じていない。人よりも感じにくい。**
- ・ 無自覚だが、ストレスがある時はたくさん寝るように思う。寝たらだいぶスッキリする。また、運動後もスッキリするので、筋トレをすることや、お酒を飲むこともストレスの解消法になっている

### 体の不調

- ・ **体に不調が出てはじめて、ストレスがあったことに気づく。**小さな不調は出やすく、仕事でのミスや人間関係のトラブルがあると頭痛がしたり肌に吹き出物が出たりする。また、プレッシャーや緊張を感じるとお腹が痛くなる。
- ・ **生理前は腹痛、腰痛、頭痛がある。**月によって症状は違う。

## me-fullness 使用評価

### 使用シーン



on time

- ・ 週2~3回程度、平日昼休みに使用。
- ・ 昼食後や仕事中に眠気を感じた時、気持ちをシャキッとさせたくて「シャキッと切り替え」を使用。「ショートブレイク」や「クールダウン」は使用していない。



off time

- ・ 週3~4回程度、寝る直前に使用。
- ・ 心と体の疲れ具合を教えてくれるのでその日の自分の状態を確認するために使用。
- ・ 本当は毎日使用したかったが、習慣づけるのが難しかった。

### 効果感

- ◆ **自分の状態が客観的に確認でき、心や体の不調に気づける**
- ・ 体や心が疲れている・ストレスを溜めているというのを**自分で気付いていない時があるが、アプリを使うようになって気付くようになった。**
- ・ 自分の状態が分かるので、早く寝てゆっくり休もう、疲れた顔にならないように口角を上げるようにしよう等、**日常生活でも気をつけるようになった。**

- ◆ **リラックスできて寝つきがよくなる**
- ・ off timeは映像や音楽がリラックスできるので、気持ちが落ち着く。
- ・ もともと寝付きが悪いわけではないが、使用すると**すごく眠くなり、より寝つきが良くなった。**

### 利用意向

利用意向 やや利用したい | 価格 300円

- ・ off timeの**顔認識の精度**が高くて驚いた。その日の行動と出てくる心と体の結果がリンクしていて、分析結果に納得感があり、**自分の状態を客観的に確認できるのが良い。**
- ・ on timeは手軽さが良かったが、使用しても**劇的に気持ちが変わるというわけではなく、そこまでの効果は感じなかった。**
- ・ 今後、コンテンツが増えるなら利用したい。今のままだと**コンテンツが少なく飽きてしまうので使わないと思う。**
- ・ **職場でアプリを導入した場合：**on timeは会社で使うのに良さそう。軽く体を動かす映像も入っていたら良い。

### 改善ポイント

- ・ **コンテンツのバリエーションを増やしてほしい。**テンション・やる気・集中力をアップさせるもの、朝に目が覚めるみたいなものもあればいい。1週間ごとに変わったり、**指以外でも認証できて選べたりできたら楽しいと思う。**
- ・ **on timeも診断結果が出る**といい。指を当てることで何の意味があるかよく分からなかった。
- ・ **指も顔も認証されにくく使いにくかったので改善してほしい。**



# デプスインタビュー\_30代女性



- 周囲の人の言動に敏感で、ストレスを感じやすいタイプ。上昇志向が強く、頑張りすぎてしまう面もうかがえる。
- me-fullnessは、主に職場で「気持ちを切り替える」「冷静になる」など、気持ちをコントロールするために使用していた。

## 基本プロフィール

※個人情報のため非公開

## me-fullness 使用評価

### 使用シーン



on time

- 週2回程度、平日昼休みに使用。
- 少し気持ちが高ぶっている時は、気持ちを落ち着けるショートブレイク等、その時の気持ちにフィットするメニューを選ぶ。



off time

- 週1回程度、寝る直前に使用。
- 消灯して、うとうとしかけの時にアプリを思い出すことが多く、そのまま寝てしまいがちだった。心地よく眠るためのアプリだし、今日はもう使わず寝てしまおうと思う。

### 効果感

#### ◆ 気持ちを切り替えられる

- 精神的にせかせかしている自分の状態に目を向けることで、落ち着こう、気持ちを切り替えようと思える。
- 悪いように考えすぎてしまっている状態から、コーヒーブレイクをして一息つくような感覚に近い。

#### ◆ 自分の状態を客観的に知れる

- 親指をかざして判定が出ることで、今の状態を知れるツールとしても役立つ。
- 疲労感がある時は「やっぱりストレスがたまってる」と納得できる。逆に、心は元気と判定されても「考え過ぎか」と思える。

#### ◆ いつも忙しない自分に気が付いた

- アプリを使うには両手で持ち、落ち着いて集中する必要がある。いつも同時進行で何かをしていて3分でさえ集中したくない自分に気が付いたのは発見だった。

### 利用意向

#### 利用意向 やや利用したい | 価格 月額300円

- コロナ禍で友達と会ってリフレッシュできない中、くよくよしてしまう時に自分の状態をはかるバロメーターになりそう。
- on timeは、自分の気持ちを切り替えられるし、3パターンどれかに気持ちが当てはまるのも良かった。
- 顔の疲れ度合いや口角の状態を選択する作業自体が、自分の状況を振り返るのに良い。
- 職場でアプリを導入した場合：嬉しいし使いたいが、初めて使う場合は体験者のお勧めがないと使わないかもしれない。

### 改善ポイント

- もっとバリエーションが欲しい。飽きたら使わなくなりそう。リラックス系だけでなく気分が上がるモード、踊っちゃえみたいなモードがあっても良さそう。
- off timeはもう少し簡単にしてほしい。消灯してしまうと、もう一回起き、電気をつけて顔を写すというのが負担。
- 寝る前だけでなく、帰宅後に使えたらもっと使うかもしれない。
- その動作をする意味や効果を解説してほしい。両手で振動を感じることで効果や、親指をあてる理由等、知りたい。

## ストレスや不調を感じる時

### ストレス

- 人と関わる時にストレスを感じやすい。会話の後で「言わなきゃ良かった」と、後から気になってしまい、引きずったりする。
- 誰かが怒られているのを目撃するのもストレスに感じる。
- 休日は、東京や大阪など都心で遊んでリフレッシュしていたが、最近はコロナ禍で息抜きができず、しんどいと感じる。
- 友達とのおしゃべりや一人カラオケ、ジムで体を動かす等で、ストレスを発散している。

### 体の不調

- 昔から偏頭痛と緊張性頭痛があり、定期的に薬をもらう。ストレスで筋肉が凝り固まっているのかなと思う。



「me-fullnessアプリ」は **働く女性** の「**疲労度**」を**改善**する

使用回数・頻度が多いと、

**「睡眠の質」「体内因子」「ネガティブ感情」**

**「ありがとう因子」** の改善も期待できる



効果を高めるために、アプリをより多く  
使いたくなる/使う設計にすることが重要

## 徳島市との連携に関して

徳島市役所と連携させていただき、  
多くの市役所職員にも、試験に参加いただいた



企業だけでは想像が及ばない地域や住民の課題を踏まえ、  
試験デザイン・考察をすることができ、多くのメリットが得られた



**地域・住民の課題解決施策を考える上で、  
自治体との連携は非常に重要であるという示唆を得た**



内藤佐和子市長

### ◇徳島市長コメント◇

『働く女性の活躍推進に関する今回の取り組みは、  
市民にとっても意義がある事であり、今後も徳島市と  
して様々な団体や企業と積極的に取組んでいきたい』



様々な事業会社・自治体と連携し、me-fullnessアプリ/技術を世の中に散りばめ、より多くの人々の心と体を満たしたい

『疲労・ストレス』ケア

(未病、疾患予防など含む)

『女性の健康』ケア

(PMS、更年期、産前産後)

『子供のストレス』ケア

『防災・復興・トラウマ』ケア

などなど...

for 一般消費者

for 従業員

for 地域住民



『well-being』実現に向けた社会実装・外部連携を加速



ご連絡お待ちしております♪

↓ 担当者連絡先 & アプリDLはこちら



※QRコードが読めない方はこちら※



s\_nishikori@po-holdings.co.jp

- もっと知りたい
- 活用を検討したい
- 連携を検討したい
- トライアル・実証試験を検討したい
- その他（アイデアなくても大歓迎）

自治体様、企業様、メディア様、その他の方

♪ どなたでも気軽にご連絡ください♪

# 18.

女性社員が入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する  
健康課題改善プラットフォーム事業  
(丸紅株式会社)

令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」実証事業

入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する  
女性の健康課題改善総合サービス事業

成果報告書



# AGENDA

01 事業の概要

02 事業計画と実施内容

03 本事業の成果と課題

04 今後の事業展開

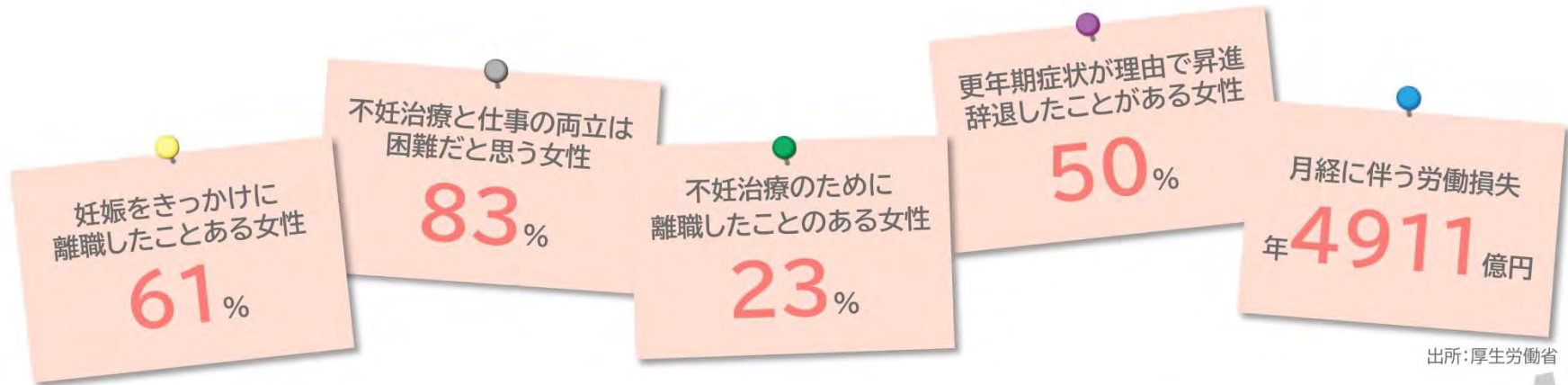
01 事業の概要

02 事業計画と実施内容

03 本事業の成果と課題

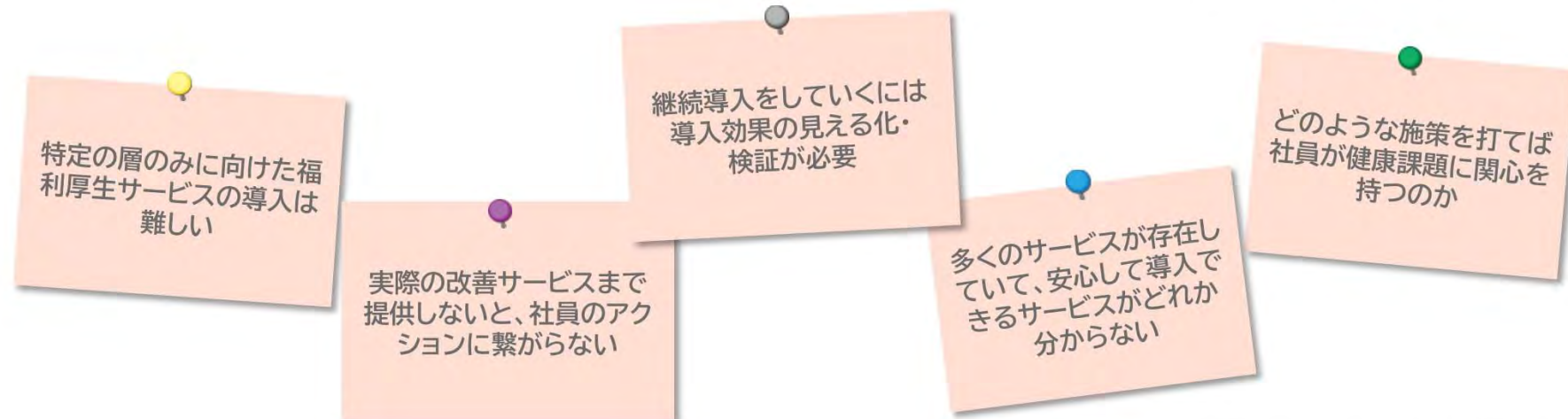
04 今後の事業展開

# 本事業にて解決したい課題



## 解決したい課題

## 導入企業側の悩み





# 働く女性と企業向けfemtech総合サービス

入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する、女性の健康課題改善総合サービス

働く女性が様々なライフステージにおいて向き合う健康課題を総合的にカバー  
月経・妊活・更年期の3つのプログラムで社内啓発～個人への処方までを一気通貫で行える法人向けサービス



# 月経プログラム

## 生理痛・PMSの改善に向けた低用量ピル処方による働きやすさ・生産性向上支援

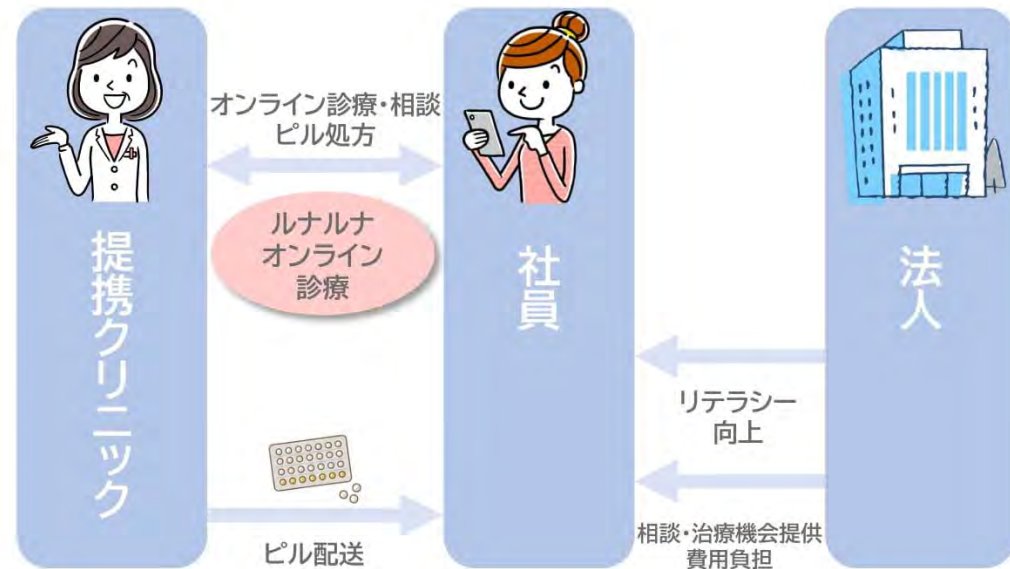
生理痛・月経前症候群(PMS)で仕事に影響を受けつつも通院の時間が限られている社員に対して  
オンラインピル外来サービスを提供し、労働損失削減と社員のQoL向上を促進

### 課題

- PMSの重度社員:約**2%**、中度社員:約**17.5%**
- PMSにおける年間労働損失**4,911**億円(試算)
- 日本の低用量ピルの普及率**2.9%**(フランス33.1%、英国26.1%、カナダ28.5%、米国13.7%)

### サービス内容/導入効果

- 月経・女性ホルモンに関するセミナー  
… 会社全体のリテラシー向上
- オンライン診療・相談  
… 婦人科受診のハードル低下
- 低用量ピル処方  
… PMS改善による健康状態/QoL向上
- 優秀な女性人材の活躍、企業の生産性向上



# 妊活プログラム

## 妊活に関わる社内リテラシー向上とオンライン相談による働きやすさ・キャリアプラン支援

キャリアプラン・ライフプランに大きな影響を与える妊娠・出産について、社内のリテラシーを高めるとともに  
個々人の事情・悩みとよりよいキャリア形成について、社員とパートナーにオンライン相談の機会を提供

### 課題

- 妊娠をきっかけに企業の離職経験のある女性 **61%**
- 不妊治療と仕事の両立が困難と考える女性 **83%**
- 不妊治療を理由に離職経験のある女性 **23%**

### サービス内容/導入効果

- 妊活に関するセミナー  
… 妊娠についての早めの知識獲得  
同僚/上司/部下のリテラシー向上
- オンライン相談  
… 個々人の事情によりそった悩みの解消  
将来設計のサポート
- 妊娠/出産と仕事を両立しやすい職場環境の整備  
ライフプラン/キャリアの早期構築のキッカケ提供





# 更年期プログラム

## 更年期症状に関わる社内リテラシー向上と薬剤処方による働きやすさ・キャリア積み重ね支援

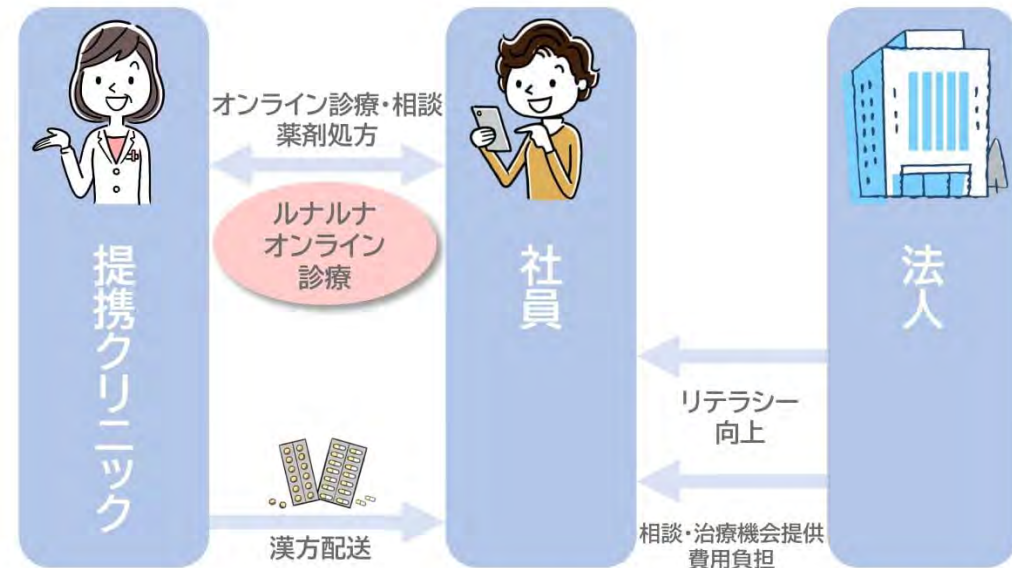
更年期症状で悩みつつも通院の時間が限られている社員に対し、リテラシー向上機会およびオンライン診療を通じた相談・症状改善機会の提供により、キャリア積み重ねの後押しとQoL向上を目指す

### 課題

- 更年期を理由に昇進辞退経験のある女性 **50%**
- 日本企業の女性管理職割合 **12%**(世界**27%**)

### サービス内容/導入効果

- 更年期症状に関するセミナー  
… 会社全体のリテラシー向上  
更年期症状の対処について知識獲得
- オンライン診療・相談  
… 婦人科受診のアクセス改善
- 漢方処方  
… 更年期症状改善によるQoL向上
- 女性幹部/管理職の増加による企業の多様性向上



# パートナー医療機関・医師・専門家

各プログラムを専門医師が担当。セミナーにも登壇。

## 月経プログラム監修



### 甲賀かをり

東京大学医学部附属病院 産婦人科 准教授  
大学院医学系研究科  
生殖・発達・加齢医学専攻産婦人科学講座

## 妊活プログラム監修



### 洞下由記

聖マリアンナ医科大学 大学病院学 講師  
同医科大 大学病院産婦人科医長  
日本産婦人科学会専門医  
日本生殖医学会生殖医療専門医

## 更年期プログラム監修



### 高尾美穂

イク表参道 副院長  
産婦人科専門医・医学博士・  
婦人科スポーツドクター  
㈱ドームアドバイザードクター 他

## 導入効果検証監修



### 井出博生 \*監修のみ担当

東京大学政策ビジョン研究センター  
データヘルス研究ユニット 特任准教授  
研究分野: 医療政策、健康政策、  
病院管理

## サービスのポイント

### 1. 健康課題改善まで踏み込むサービス

- ➔ 啓発・認知、健康課題解決、効果測定まで一気通貫で提供
- ➔ 幅広いライフステージの女性の健康課題を改善することができる総合モデル

### 2. 著名な専門家による監修体制

- ➔ 月経・妊活/不妊・更年期の各分野及び効果検証をそれぞれの専門家が監修  
医学面・安全面・効果検証面の品質を担保

### 3. 効果検証を実施、ROIを可視化

- ➔ 労働生産性改善・エンゲージメント向上など貴社の労働環境・課題に応じたKPIを設定し、現状及び改善効果を分析

### 4. 豊富な専門家・婦人科ネットワーク

- ➔ 1,700万DLのNo.1生理日管理サービス『ルナルナ』を基盤とした  
1,000以上の産婦人科とのネットワークを構築

### 5. 導入しやすい従量課金モデル

- ➔ 定額利用料制ではなく、従業員が医療機関を受診しお薬の処方を開始して初めて料金が発生



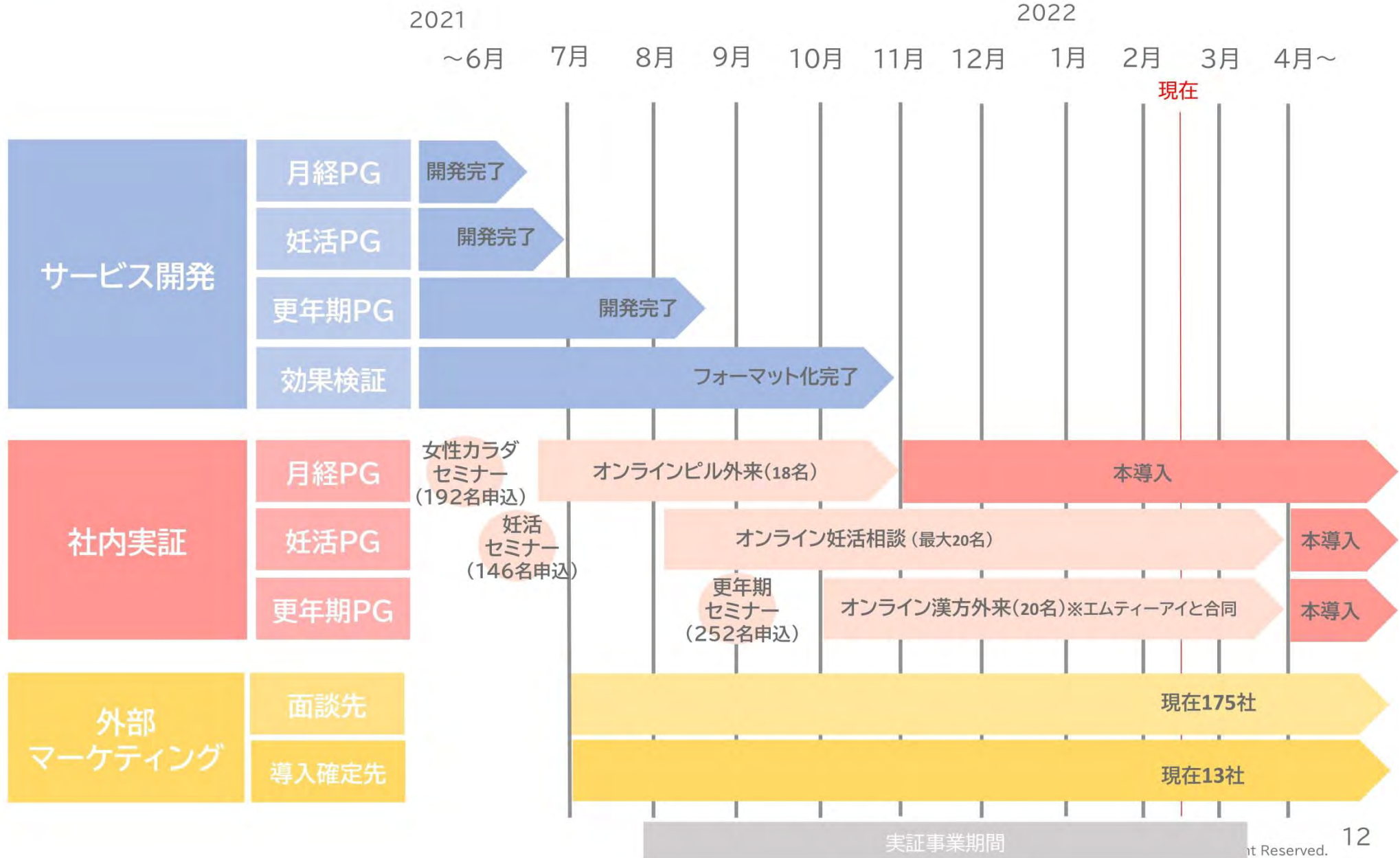
01 事業の概要

02 事業計画と実施内容

03 本事業の成果と課題

04 今後の事業展開

# 事業計画と実施内容



01 事業の概要

02 事業計画と実施内容

03 本事業の成果と課題

04 今後の事業展開



## 実証事業の成果

成果①

サービス開発

▶ 月経・妊活・更年期の各プログラム、  
及び効果検証・実態調査の  
総合サービスが完成

成果②

社内実証

▶ 社内実証結果により、  
本サービスの導入効果を確認

成果③

外部マーケティング

▶ 外部企業様への導入が進み、  
本サービスの社会ニーズを確認

## 成果②:社内実証導入

# 【月経PG】女性のカラダ知識セミナー

実施日程

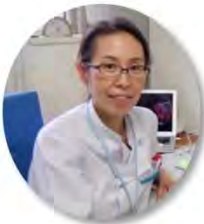
2021年3月11日(オンライン)

申込者数

192人(女性:男性=約7:3)

講義内容

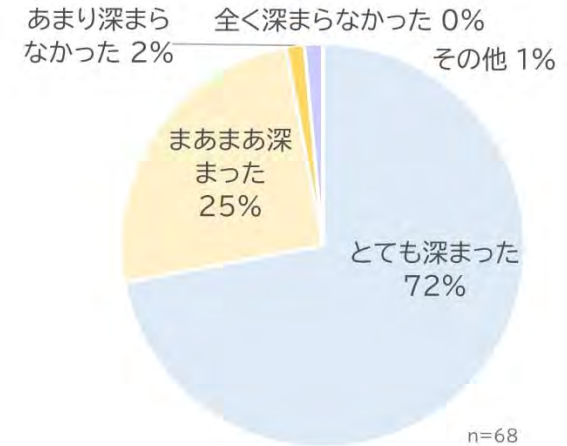
- 女性のカラダ・ホルモンについて
- 低用量ピルについて
- オンラインピル外来PG紹介



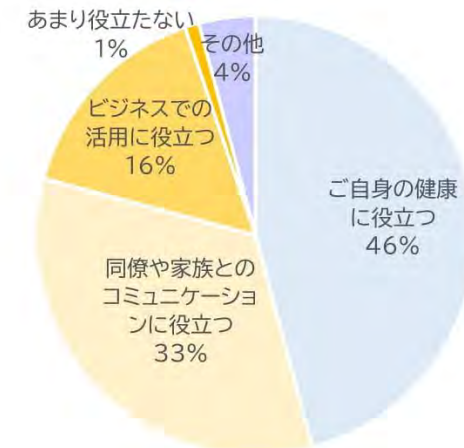
【講師】甲賀かをり先生

東京大学医学部付属病院 産婦人科 准教授  
大学院医学系研究科  
生殖・発達・加齢医学専攻産婦人科学講座

## 女性健康課題への理解度



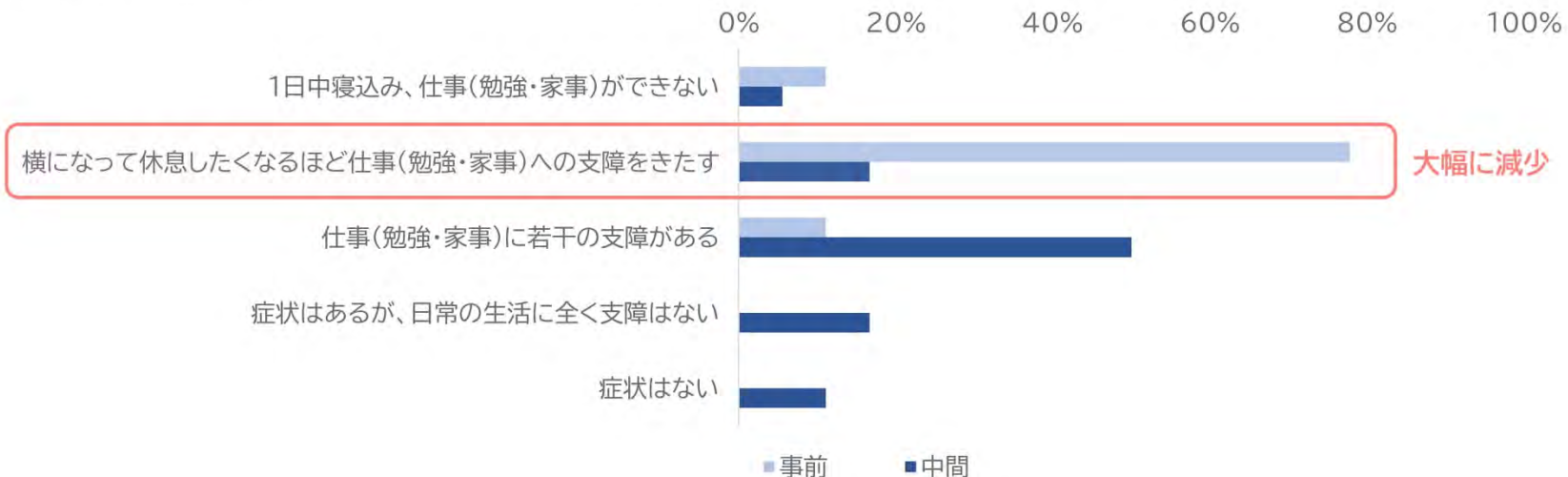
## 今後どう役立つか





# 【月経PG】オンラインピル外来実証調査結果 ①低用量ピルの効果

## 月経随伴症状の度合い



## 利用満足度



# 【月経PG】オンラインピル外来実証調査結果 ②エンゲージメント

友人・知人に丸紅で働く事を勧めたいか (eNPS)



※日本企業平均：マイナス20～マイナス40

仕事の満足度

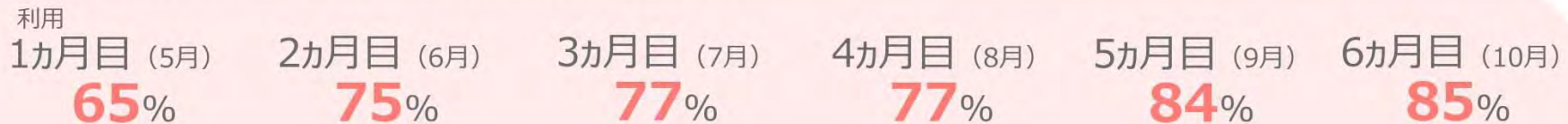
	導入前		導入後	
満足	2	11%	3	20%
まあ満足	14	78%	11	73%
やや不満足	2	11%	1	7%
不満足	0	0%	0	0%
	18	100%	15	100%

# 【月経PG】オンラインピル外来実証調査結果 ③プレゼンティーズム

## プレゼンティーズム（業務パフォーマンス）

直近の生理において不調を感じていた状況での自身の仕事のパフォーマンス

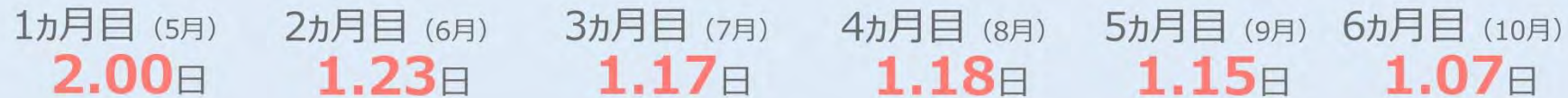
**20%の改善**



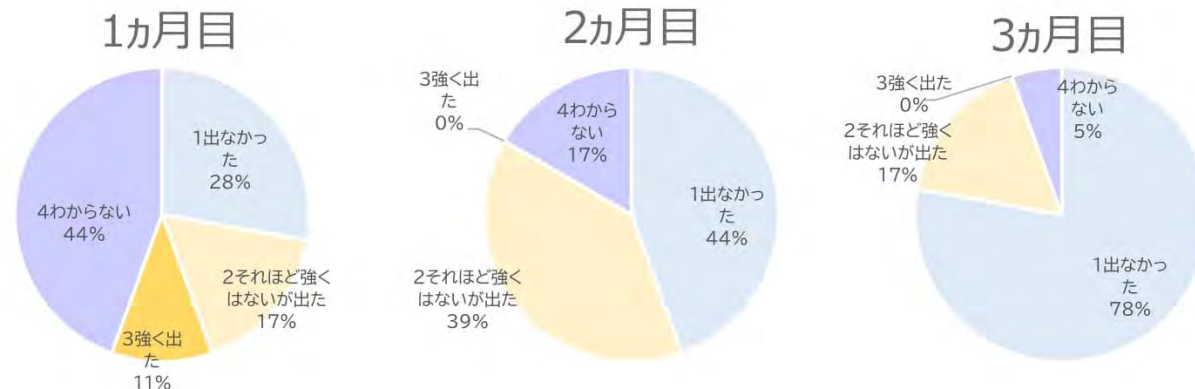
※ 生理に伴う体の不調がないときのパフォーマンス=100%

生理に伴う体の不調が仕事や日常生活に影響を及ぼす日数

**0.93日の改善**



## 低用量ピルの副作用





# 【月経PG】オンラインピル外来実証調査結果 ④労働損失削減ポテンシャル

6ヶ月後の結果より

※当社=女性社員 1,186人、うち対象社員 約640人

- ✓ 日常生活へ影響が出る日は1ヶ月あたり、0.93日改善 (2.0日 → 1.07日)
- ✓ 生理前から生理中の仕事のパフォーマンスは、20pt改善 (65pt → 85pt)

- 対象社員1人あたりの労働損失改善試算額 約 19.4万円 / 年  $+ \alpha$
- 全社(640人の内対象者)の損失改善ポテンシャル 約 2,425万円 / 年 (対象社員が生む付加価値額)

(前提)

- 39才以下の女性社員:約640人
  - 月経随伴症状の重度社員2%、中度社員17.5%(合計19.5%)と仮定 ※バイエル薬局調査
  - 社員1人あたりの給与を日当3万円と仮定
- |                       |              |                                   |
|-----------------------|--------------|-----------------------------------|
| ① 1人あたり労働損失試算額(現状)    | 25.2万円 / 年   | : 日当3万円×2.0日×(1-65%)×12か月         |
| ② 1人あたり労働損失試算額(ピル服用後) | 5.8万円 / 年    | : 日当3万円×1.07日×(1-85%)×12か月        |
| -----                 |              |                                   |
| ③ 1人あたり労働損失試算 額計      | 19.4万円 / 年   | : ①-②                             |
| ④ 対象社員数想定             | 125人         | : 想定女性社員640人 x 月経随伴症状重度/中度社員19.5% |
| ⑤ 全社の労働損失改善ポテンシャル     | 約2,425万円 / 年 | : ③x④                             |

# 【妊活PG】妊活・不妊治療知識セミナー

実施日程

2021年6月23日(オンライン)

申込者数

146人(女性:男性=約7:3)

講義内容

- 女性のカラダ・卵子について
- 妊活と不妊治療について
- 妊活相談サービス紹介



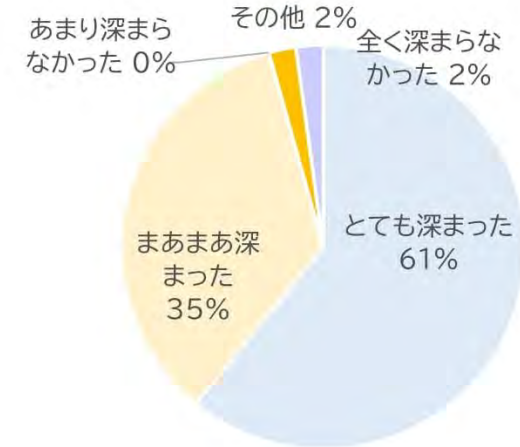
【講師】洞下由記先生

聖マリアンナ医科大学 大学院学 講師

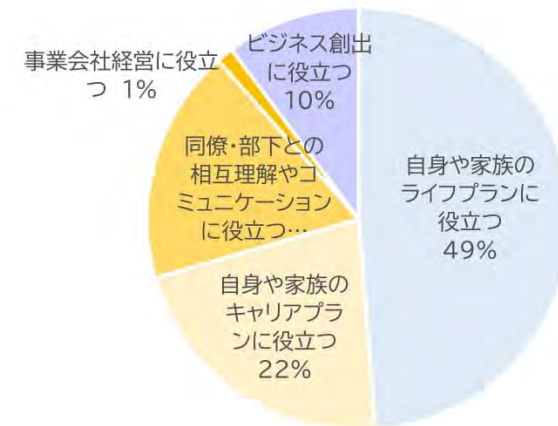
同医科大 大学院産婦人科医長

日本産婦人科学会専門医 日本生殖医学会生殖医療専門医

## 女性健康課題への理解度

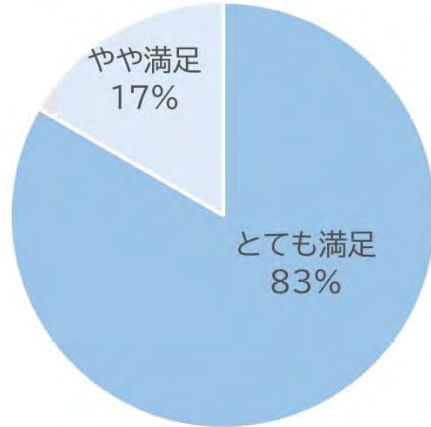


## 今後どう役立つか

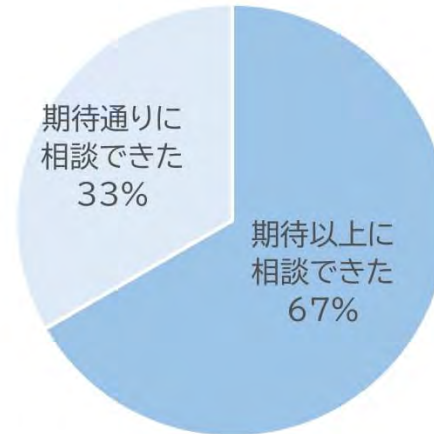


# 【妊活PG】妊活相談サービス実証調査結果

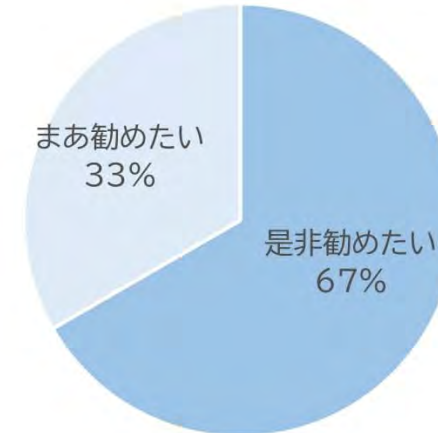
## プログラム参加満足度



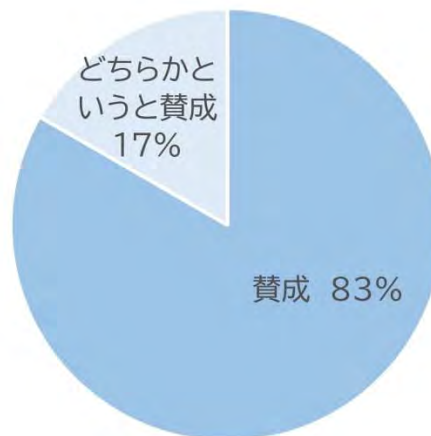
## 相談内容満足度



## 他者への利用推薦意向



## 本導入に関する賛否



## 本導入賛成理由及び利用後の感想

また利用したい

通院の頻度や精神的な負担を考えると、休職した方がいい場合もあるかと思うので。

**通院時間や病院での待ち時間も省けて仕事との両立がしやすかったです。**

丸紅の診療所でも女性の健康相談窓口を現在でも設置しているとの認識ですが、以前ある件で利用したところ、婦人科系の担当医師がいる訳でもなく、満足のいく相談ができなかったため、このような施策は是非前向きに進めていただきたいと思います。

生活面をサポートする制度は充実しているとありがたいです。介護や通院などと合わせて整っていると社員の納得性も高いように思います。

最初治療に進む前にこう言った制度が合ったら大変助かったと思った。あまり周囲へ相談もできず、たまたま治療経験のある妻の知人がいた為、治療に踏み切れたが、それがなかったらなかなか治療に進むことをためらったように思う。

気軽に参加できるから利用したい。

**病気等の症状が無い限り、待ち時間(婦人科系は特に待ち時間が長い印象)を考えるとなかなか病院へ足を運ぶ気持ちになれないが、今回のように自宅でかつパートナーと気軽に専門医とお話できたことはとても有意義だった。**

専門家(医師)のアドバイスを気軽に受けることができ、便利だと感じた。

治療に関する第三者的なアドバイスをもらえる

通っている病院外の医師の方と気軽に相談ができ、具体的なアドバイスを頂くことができた為。



# 【更年期PG】おとな女性(更年期)セミナー

実施日程

2021年9月10日(オンライン)

申込者数

252人(女性:男性=約6:4)

講義内容

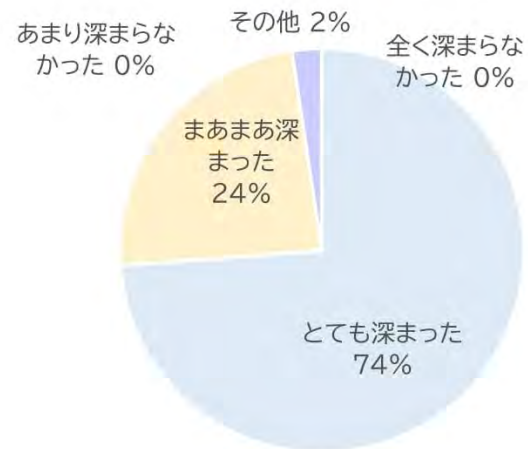
- 更年期の原因・症状・対策について
- 周囲からの接し方について
- オンライン漢方外来サービス紹介



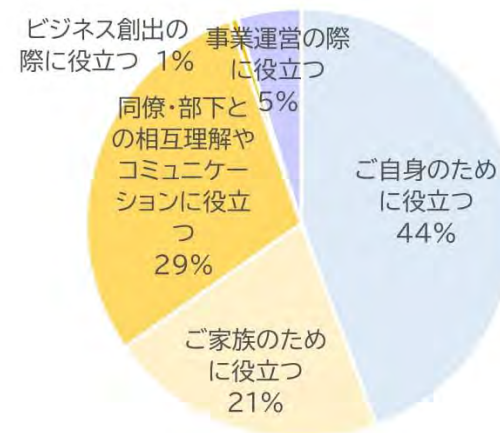
【講師】高尾美穂先生

イーク表参道 副院長  
産婦人科専門医・医学博士・婦人科スポーツドクター  
㈱ドームアドバイザードクター 他

## 女性健康課題への理解度

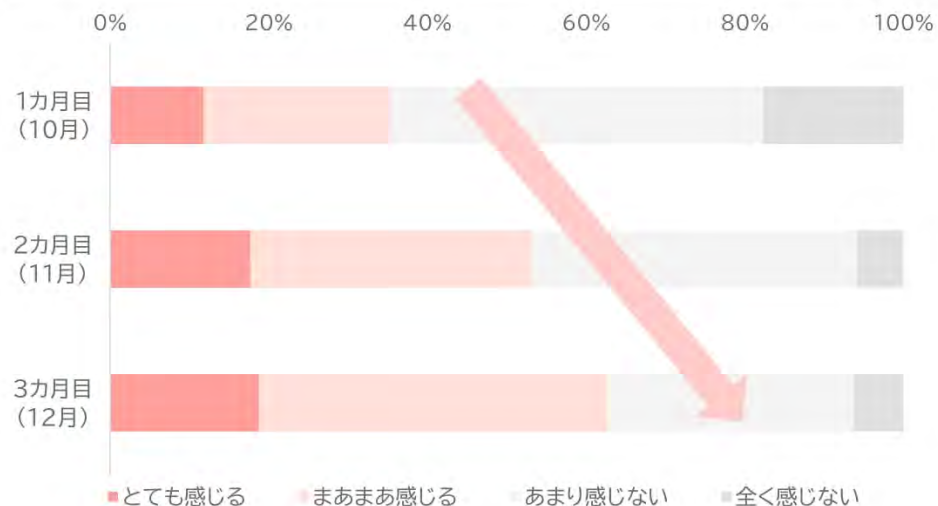


## 今後どう役立つか



# 【更年期PG】オンライン漢方外来検証結果 ①漢方の効果

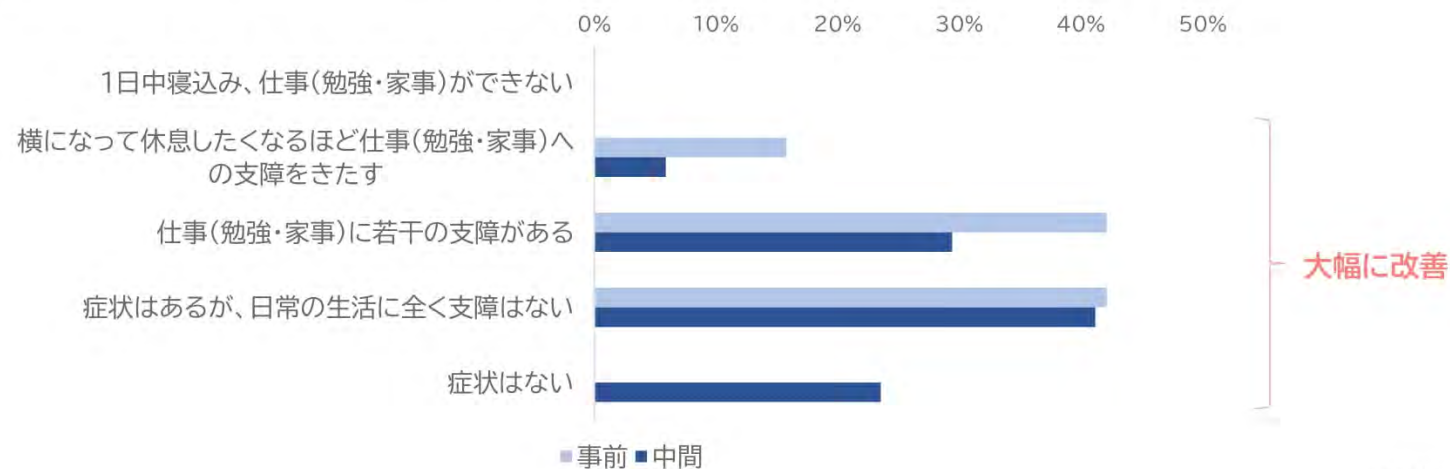
## 薬剤の効果



## どのような効果がありましたか？

- **不正出血が止まった。**
- 以前は平日の我慢の為に週末疲労困憊して動けなくなることがあったが、その**頻度が減少した**と感じている。
- **冷えが改善した。**ほてりも以前ほどではなくなったと思う。
- **ホットフラッシュの解消**にはなった。
- 処方される前は気になっていた「**ほてり、不眠**」が**一切なくなりました。**
- 服用中にははっきりとしか効果は感じられなかったが、**服用をやめたことによって漢方の効果があったことがわかった。**
- 「まあまあ感じる」まではいきませんが、精神的に飲んでる安心感みたいなものはあります。

## 更年期症状の度合い



# 【更年期PG】オンライン漢方外来実証調査結果 ②エンゲージメント

## 友人・知人に丸紅で働く事を勧めたいか (eNPS)

とても勧めたい 10pt  
↓  
全く勧めたくない 1pt

※日本企業の平均eNPS :  
マイナス20～マイナス40



## 仕事の満足度

	導入前		3カ月後	
満足	1	6%	1	6%
まあ満足	11	61%	10	59%
やや不満足	6	33%	4	24%
不満足	0	0%	0	12%
	18	100%	15	100%

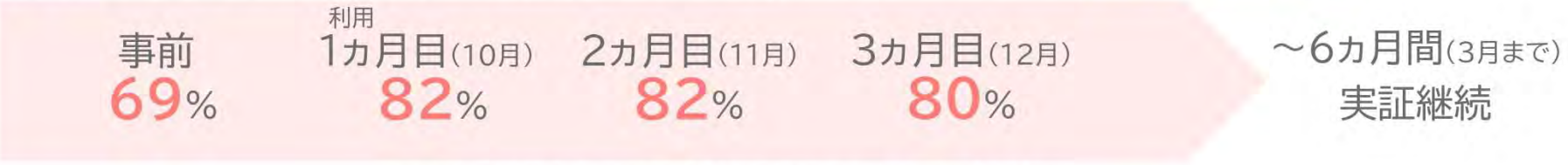


# 【更年期PG】オンライン漢方外来実証調査結果 ③プレゼンティーズム

## プレゼンティーズム（業務パフォーマンス）

更年期に伴う不調を感じている状況での自信の仕事のパフォーマンス

11%の改善



※ 更年期に伴う体の不調がないときのパフォーマンス=100%

更年期に伴う体の不調が仕事や日常生活に影響を及ぼす日数

2.9日の改善



3ヶ月後の結果より

- 対象社員1人あたりの労働損失改善試算額 約 39.1万円 / 年  $+ \alpha$  (対象社員が生む付加価値額)
- 丸紅・エムティーアイの損失改善ポテンシャル 約 3,226万円 / 年 ※ ~ 8,358万円/年

(前提)

- ・ 45-55才の女性社員:約375人
- ・ 上記のうち対象となる社員を22%と仮定 ※『更年期障害』で治療を要する女性は100人中22人」Porter et al. Br J Obst Gyn 1996
- ・ 社員1人あたりの給与を日当3万円と仮定

※ 最大値:対象となる社員を『更年期症状』を自覚する女性57人(100人中)まで広げた場合

- ① 1人あたり労働損失試算額(事前) 51.3万円 / 年 : 日当3万円×4.6日×(1-69%)×12か月
- ② 1人あたり労働損失試算額(服用3ヶ月目) 12.2万円 / 年 : 日当3万円×1.7日×(1-80%)×12か月

## 成果③:外部マーケティング

## 外部マーケティング結果



業界	面談企業数	内)導入確定企業数	内)導入協議中企業数
金融・保険	30社	1社 (生保)	3社
情報通信	19社	2社	2社
製造業	50社	3社 (化粧品、自動車関連)	2社
小売	13社		1社
運輸	13社	2社	
建設	9社		1社
ユーティリティ	8社		
宿泊・観光	4社	1社 (ホテル)	
その他サービス等	29社	4社 (コンサル、卸)	2社
<b>合計</b>	<b>175社</b>	<b>13社</b>	<b>11社</b>



## 課題と対応

## 課題と対応

### 課題①

より多くの利用実績・データを  
積み上げ、サービス効果の蓋然  
性を向上



様々な業種、企業様における  
導入実績を重ね、利用データを  
蓄積

### 課題②

より多様な企業様に利用頂く  
ためのサービスプランの拡充



現行の大企業モデルに加え、  
中小規模企業向けパッケージ  
モデルの開発

### 課題③

働く女性の健康課題を個人の  
課題から企業の経営課題として  
捉える社会通念の広まり



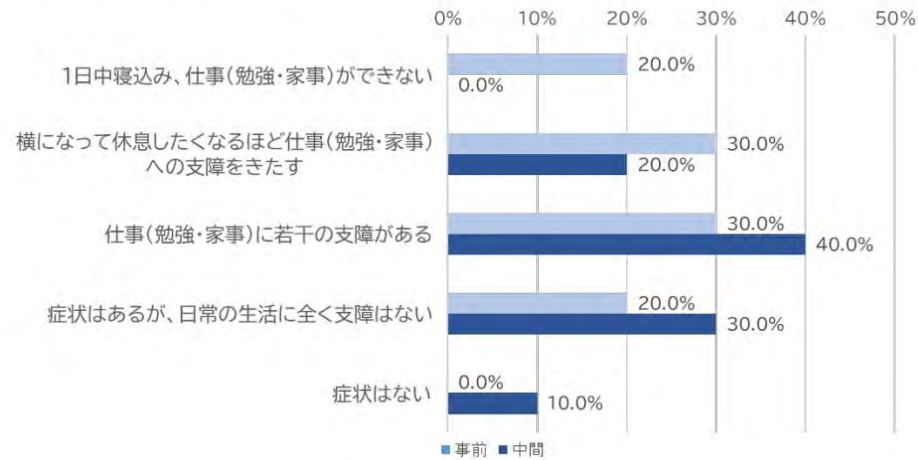
本事業の推進によるボトムアッ  
プを継続  
一方で、国・行政による更なる  
発信、諸施策実施を期待

# (事例)課題①サービス効果の蓋然性向上

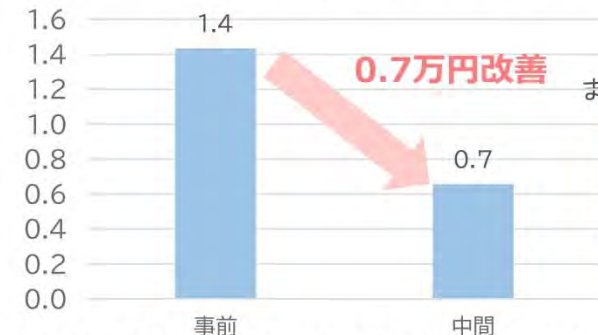
## ■ ポーラ・オルビス ホールディングス様での導入



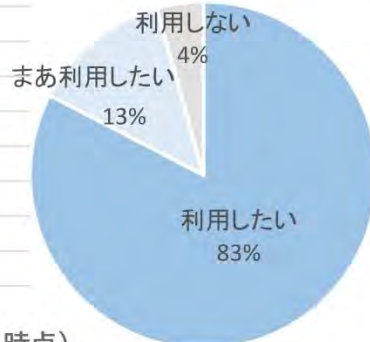
- ✓ 月経随伴症状の程度が大幅に改善
- ✓ 月経不調に伴う労働損失改善試算額: 7千円/人月
- ✓ 回答者の96%が継続利用意向有り



(万円) 1人あたりの労働損失改善試算



継続利用意向



※試験導入時の中間効果検証結果(開始後3ヵ月時点)

## ■ 日本航空様との共同取組み



### News Release

2022年1月27日  
日本航空株式会社  
丸紅株式会社  
株式会社エムティーアイ  
株式会社カラダメディカ

#### JAL・丸紅・エムティーアイ・カラダメディカの4社による 働く女性の健康課題改善に向けた共同取組みの開始について

日本航空株式会社(以下、「JAL」)、丸紅株式会社(以下、「丸紅」)、株式会社エムティーアイ(以下、「エムティーアイ」)、株式会社カラダメディカ(以下、「カラダメディカ」)は、女性特有の健康課題改善から効果検証までを一気通貫でサポートする法人向けサービス(以下、「本サービス」)を活用した「共同取組みに係る覚書」を2022年1月27日に締結し、2月より共同で取組み(以下、「本共同取組み」)を開始します。

本サービスは、丸紅、エムティーアイ、カラダメディカの3社が、2021年7月より共同で開発、法人向けに提供しており、医療機関と連携したオンライン相談・診療サービスの提供、啓発活動などを通じ、生理痛や月経前症候群(PMS)の改善をはじめ、妊活や不妊治療に関するサポート、更年期に現れる症状の改善まで、働く女性がライフステージごとに直面する健康課題の改善を支援するものです。

JALは、お客さまに最高のサービスを提供するためには社員の心身の健康づくりが不可欠という認識のもと、様々な職場で活躍する女性社員の健康課題に対する実態把握と支援が、企業価値の向上とお客さまに提供するサービスの向上に大きく寄与すると考えています。また、JALと丸紅はこれまでも、ビジネスジェット事業、代替航空燃料製造事業など様々な取組みを共同で実施し、ビジネスパートナーとしての関係を構築してきました。

このような背景から、今回JALが本サービスの実証企業として参画し、男女問わず全社員が受講可能な月経・妊活・更年期に関する理解を深めるセミナーと、女性社員を対象にした『ルナルナ オンライン診療』を活用したプログラムを実施することが決定しました。

JAL、丸紅、エムティーアイ、カラダメディカは、本共同取組みを通じ、働く女性の健康課題に関する理解や相互サポートを促進し、より働きやすい社会の形成やダイバーシティ&インクルージョン<sup>\*1</sup>の推進を目指します。



## 今後の事業展開

# 今後の事業展開

短期

中長期

## 中小規模企業モデル

現行の大規模企業向けモデルに加え、  
中小規模企業向けパッケージモデルの  
展開(現在開発中)



## 自治体との協調

自治体とタイアップした本サービスの  
普及、地方展開

## アライアンス

様々な企業との協業による

- 提供サービスメニューの拡充
- 共同事業
- 資本政策

ライフ・ワーク・バランス EXPO 東京 2022



# 19.

周産期遠隔医療プラットフォームを活用した仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる  
実証事業  
(メロディ・インターナショナル株式会社)



フェムテック等サポートサービス実証事業

周産期遠隔医療プラットフォームを活用した  
仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業

# 成果報告書

(2022年3月8日)





# ■ 北海道 北後志 余市町 × 小樽市



人口約2万人  
北後志約3万人



人口約12万人



# 北後志（きたしりべし）地域の出産環境

## ◆北海道社会事業協会小樽病院



2015年6月  
北後志唯一の地域周産期センター  
小樽協会病院で分娩業務休止

2018年7月  
小樽協会病院で産婦人科分娩業務を再開

2020年7月  
母体・新生児搬送の受け入れを再開  
年間109件のお産を担っている

## ◆おたるレディースクリニック

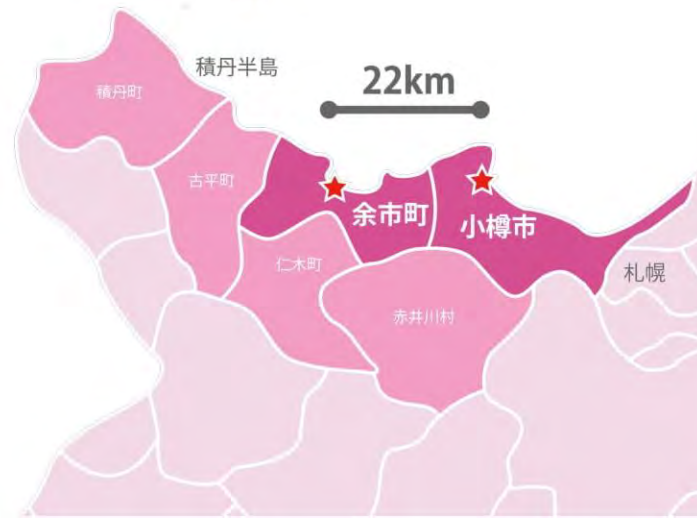


## ◆余市協会病院



これまで余市での出張健診では  
胎児モニタリングは出来なかった

地域のお産を小樽市の  
たった2軒の産婦人科  
病院で背負っています。





# ■ 実証事業の対象、目的



▼Melodyiとは



## 対象者：余市町（北後志）の妊婦とパートナー

- ・ 通院負担／コストの軽減
- ・ 子育てとの両立負担の軽減
- ・ 家族やパートナーの理解度の向上
- ・ リスクへの不安の低減

## サービス提供者：小樽協会病院

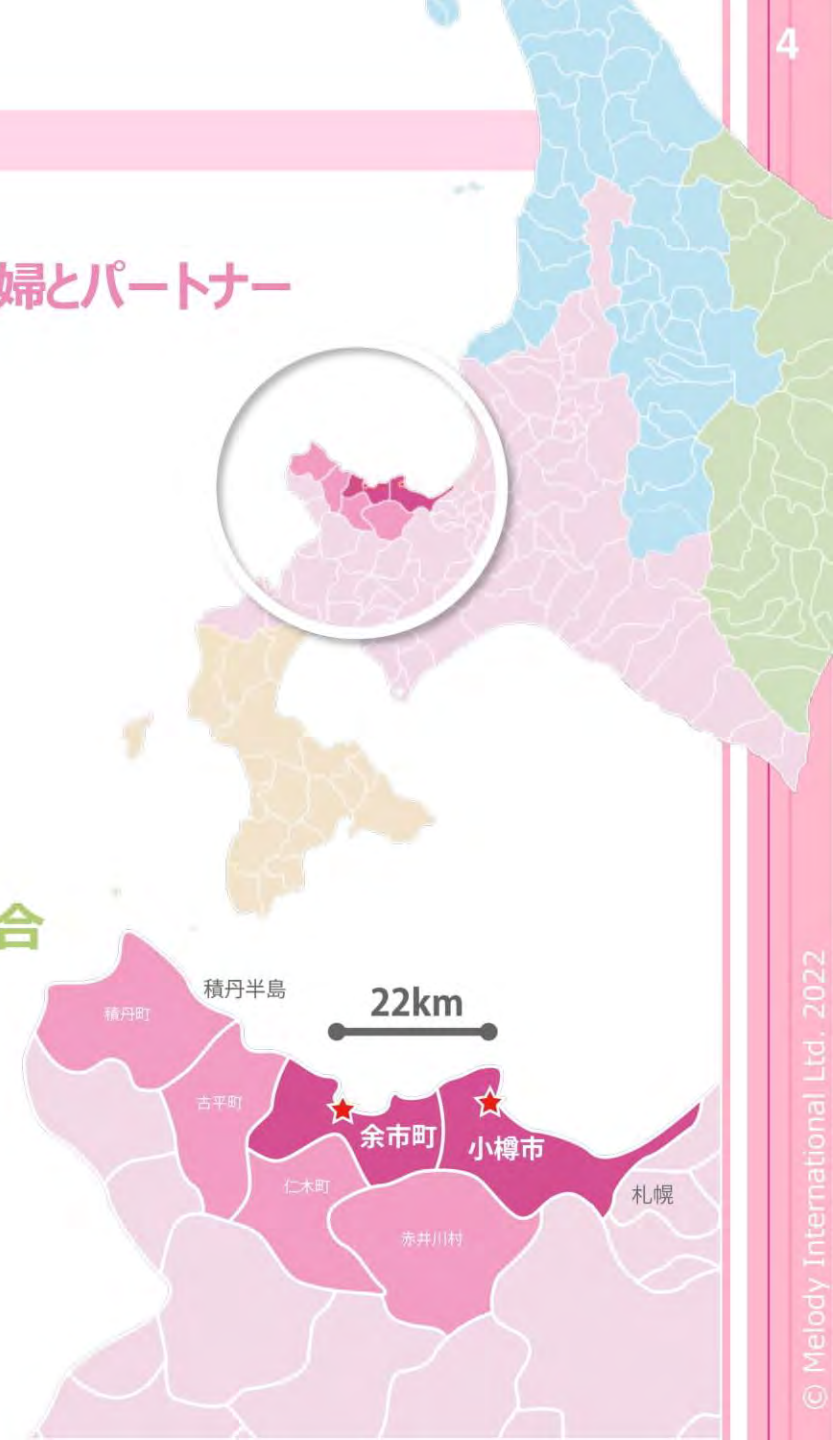
- ・ 出張負担の軽減
- ・ 切迫入院中の試験外泊サポート
- ・ 緊急搬送受入の円滑化
- ・ 地域連携体制、チーム医療の強化

## サービス媒介者：余市町、消防組合

- ・ 各種手続きをスムーズに
- ・ 地域の出産環境の整備
- ・ 救急救命率の向上、リスク低減

## その他：企業や団体

- ・ 休暇取得、福利厚生之最適化
- ・ 妊婦が働く環境や職場理解の促進



## ■ 実証事業のポイント



▶ 余市町での出張助産師外来

▶ 在宅での妊婦健診

▶ 消防組合でのトレーニング





## ■ 事業実施内容



余市町での出張助産師外来：iCTGを使った遠隔胎児モニタリング

在宅での妊婦健診：切迫早産遠隔モニタリング

消防組合での講習会：iCTG + NCPR（新生児蘇生）研修

学会発表：日本遠隔医療学会等にて取り組み事例発表

学会発表：ヘルスケアイノベーションフォーラム 齊藤町長発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイ 利用者ヒアリング



積丹半島

22km

仁木町

小樽市

札幌



# 余市助産師外来×遠隔医療



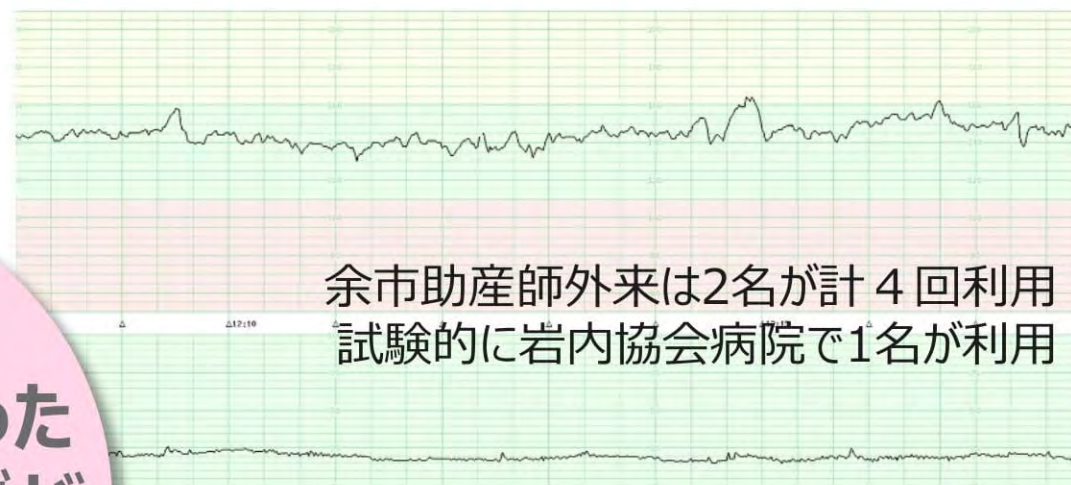
20km  
助産師  
出張



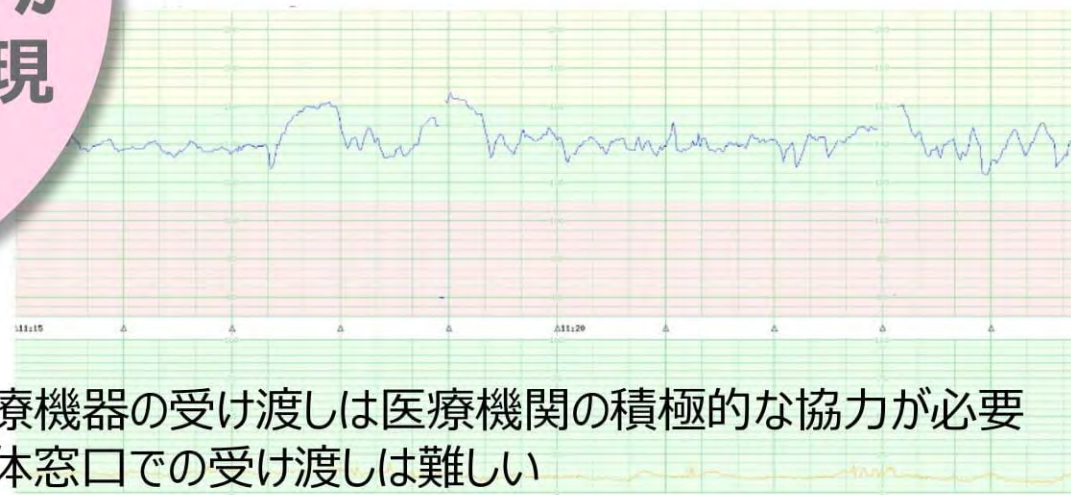


## ■ 余市助産師外来×遠隔医療

助産師外来で計測された胎児心拍陣痛波形は小樽協会病院の端末で良好に再現



これまで難しかった  
胎児モニタリングが  
余市町内で実現



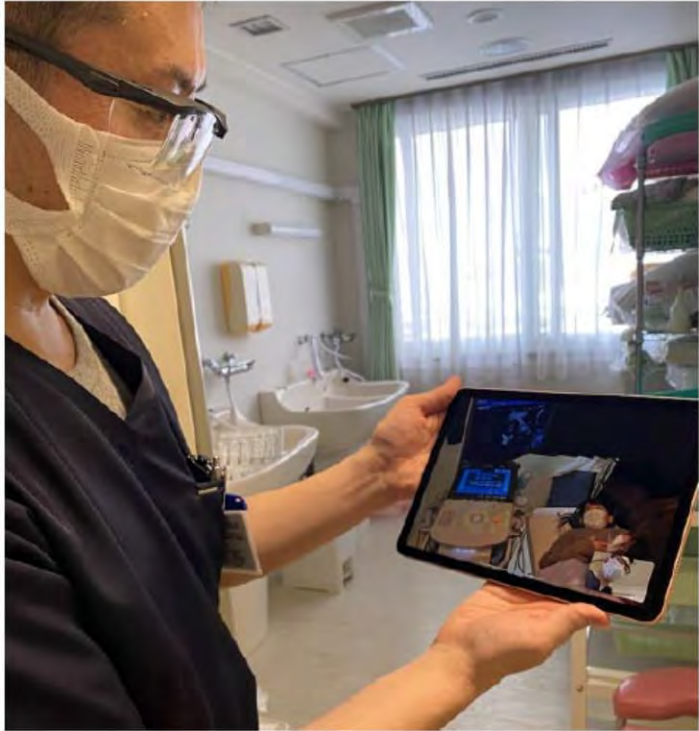
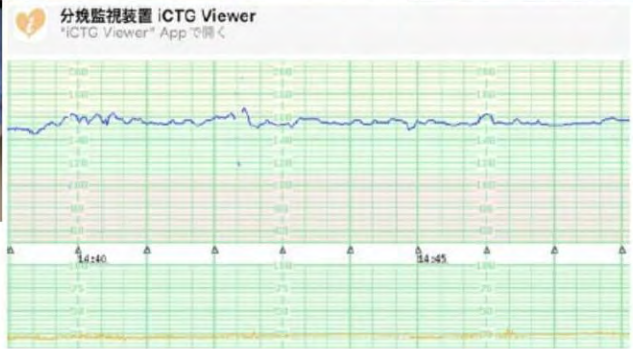
▶ 医療機器の受け渡しは医療機関の積極的な協力が必要  
自治体窓口での受け渡しは難しい



アプリを同期させたiPad® 右：URL入力したPC端末



# フェムテックデバイス導入説明 & 岩内協会病院遠隔助産師外来

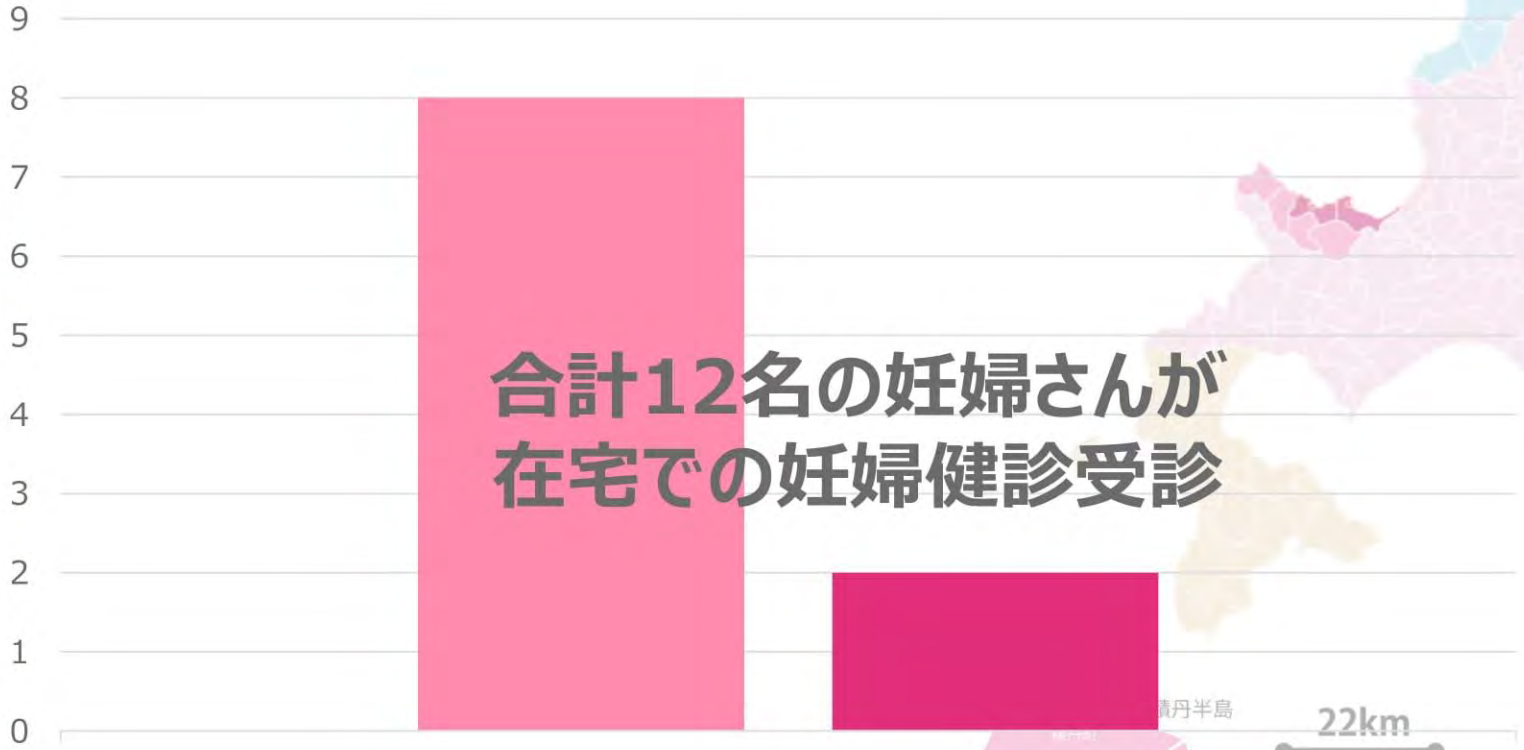


2022.2.24 岩内協会病院での遠隔助産師外来開設





# ■ 在宅での妊婦健診：切迫早産遠隔モニタリング



■ 小樽協会病院 ■ おたるレディースクリニック

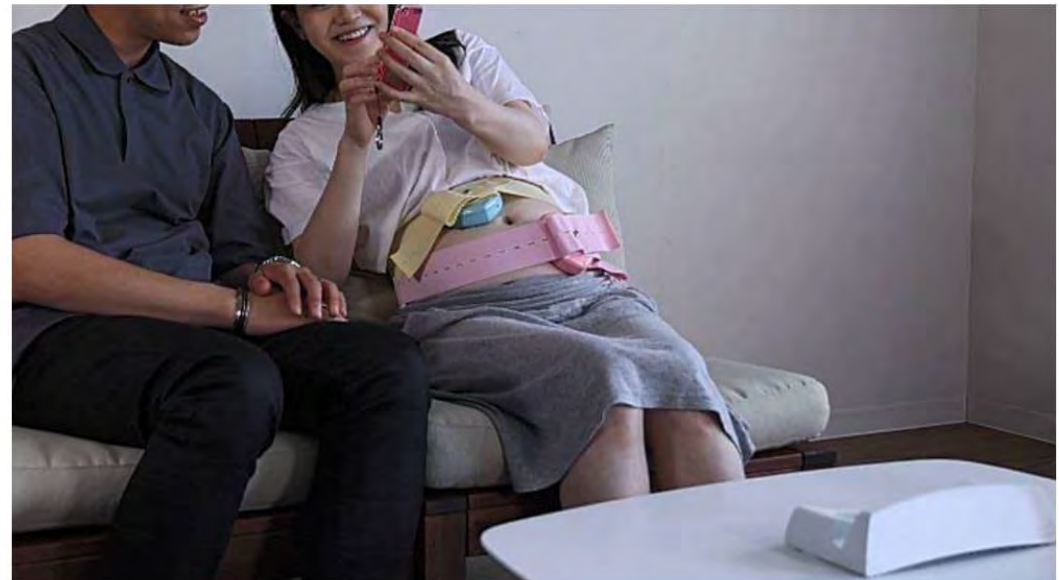


▶ 安全な医療を担保するためには  
2週間毎の「妊婦健診回数を減らせる」のではなく  
より頻回の健診が必要な妊婦の来院回数を増やさない





## ■ 使い方ムービー作成 (サムネイル)





## ■ 妊婦さんの声（在宅妊婦健診 切迫早産遠隔管理）



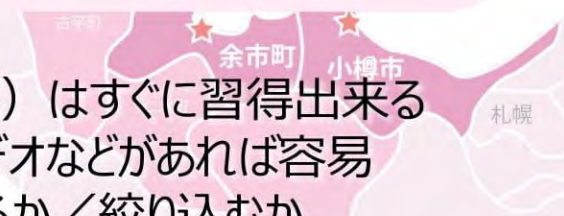
「できれば入院せず家で過ごしたかったから、週2回つけてみてお腹が張らず赤ちゃんが元気なことがわかるだけで安心した。」



「上の子が赤ちゃんの心音のあるところを聞くのが好きで、助産師さん気取りで心音を見つけられます。毎日やりたいと言ってます。」



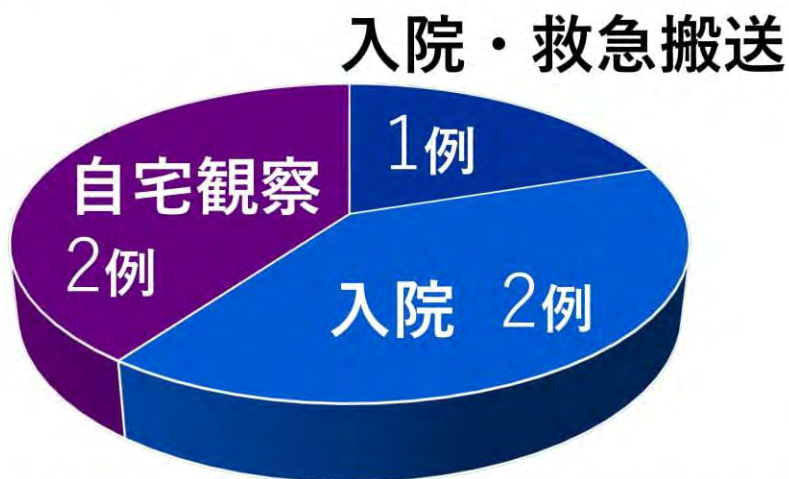
- ▶ 妊婦さんはフェムテックデバイス（iCTG）はすぐに習得出来るスマホは慣れているので、使い方説明ビデオなどがあれば容易
- ▶ 対象妊婦をどこまで拡げることが出来るか／絞り込むか  
不必要な妊婦まで拡げることで、医師によるカバーが困難になる





## ■ その他：COVID-19感染妊婦の診療

- iCTG使用 5例 感染者4例、濃厚接触者1例



### 入院・救急搬送

- ・ 妊娠33週で高次施設へ搬送後に帝王切開分娩
- ・ 術後1日目に気管挿管管理を要した重症例

### 入院

- ・ 妊娠19週 iCTG波形記録困難
- ・ 妊娠31週 iCTG波形記録困難

### 自宅観察

- ・ 妊娠40週濃厚接触者 陣痛発来後に高次施設で経膈分娩
- ・ 妊娠38週に陽性判明 自宅で装着 翌日高次施設へ入院・帝王切開分娩





# ■ 消防組合での分娩監視＋NCPR（新生児蘇生）研修



北後志救急消防本部（余市町）

## iCTGの説明と講習会

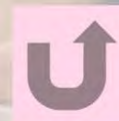
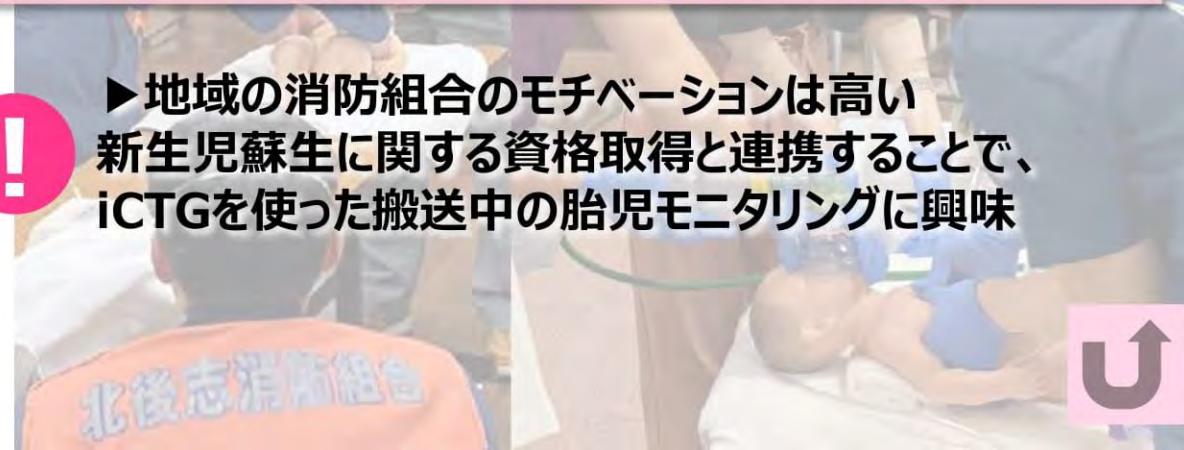
- 46名の救急隊員が受講

## NCPR（新生児蘇生）コースを7回

- 33名の助産師と救急隊員が受講
- 3名の救急救命士が参加



▶ 地域の消防組合のモチベーションは高い  
新生児蘇生に関する資格取得と連携することで、  
iCTGを使った搬送中の胎児モニタリングに興味





# 日本遠隔医療学会等にて事例発表 ▶ 優秀論文賞

経済産業省フェムテック等サポートサービス実証事業  
**周産期遠隔医療プラットフォームを活用した  
 仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業**

遠隔地での助産師外来  
 遠隔妊婦健診

切迫早産外来・入院  
 患者の在宅サポート

妊婦救急搬送時の胎児  
 Well-being評価

## 第25回日本遠隔医療学会学術大会

### 地域と救急を支える遠隔医療

2021.10/9 Sat.-10 Sun

じゅうろくプラザ (JR岐阜駅前)  
 岐阜大学サテライトキャンパス

助産師外来での  
 遠隔医療

• 検査者  
 当院での外来に従事し業務内容  
 アドバンス助産師 CLoCMIP (助産実践能力習熟段階) レベルIII

• 検査項目  
 血圧測定、体重測定、尿検査、下腿浮腫の確認、  
 胎児超音波断層法検査、  
 iCTG®を用いた胎児心拍陣痛図計測

- 大会長 森田 浩之 岐阜大学 総合診療科・総合内科学
- 副大会長 矢部 大介 岐阜大学 腫瘍科・内分泌代謝内科学  
 腫瘍学・免疫内科学
- 実行委員長 中島 英太郎 中部ろうさい病院 内科系診療部門  
 腫瘍科・内分泌内科
- プログラム委員長 森 一郎 岐阜大学 医学部附属病院 総合内科



小樽協会病院

レディース  
 リニク

Google Map

優秀論文賞  
 北海道社会事業協会小樽病院産婦人科  
 黒田 敬史 殿

助産師外来での遠隔妊婦健診におけるIoT胎児モニターの利用

岐阜市で開催された第25回日本遠隔医療学会学術大会JTTA2021において、あなたが発表された上記論文を、審査の結果優秀論文に選定しました。その栄誉を称え、賞状を贈ります。  
 令和3年10月10日

JTTA 一般社団法人日本遠隔医療学会  
 会長 近藤 博史

No.2

No.3

助産師外来で計測された胎児心拍陣痛波形は当院の端末で良好に再現された



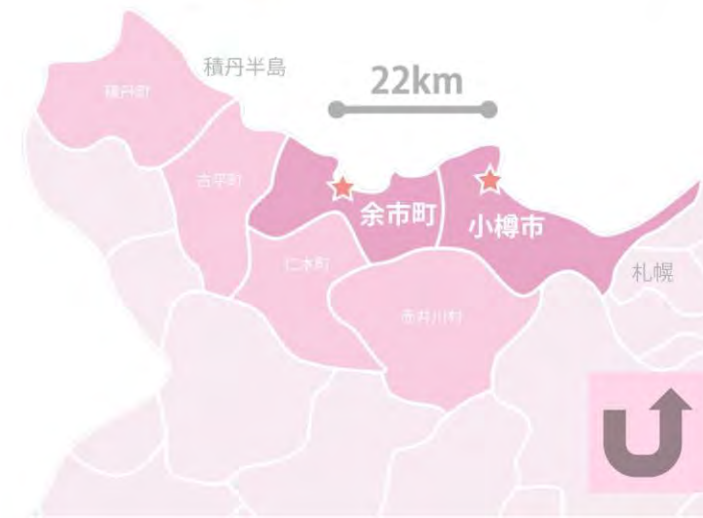


# 事例発表：ヘルスケアイノベーションフォーラム 齊藤町長発表



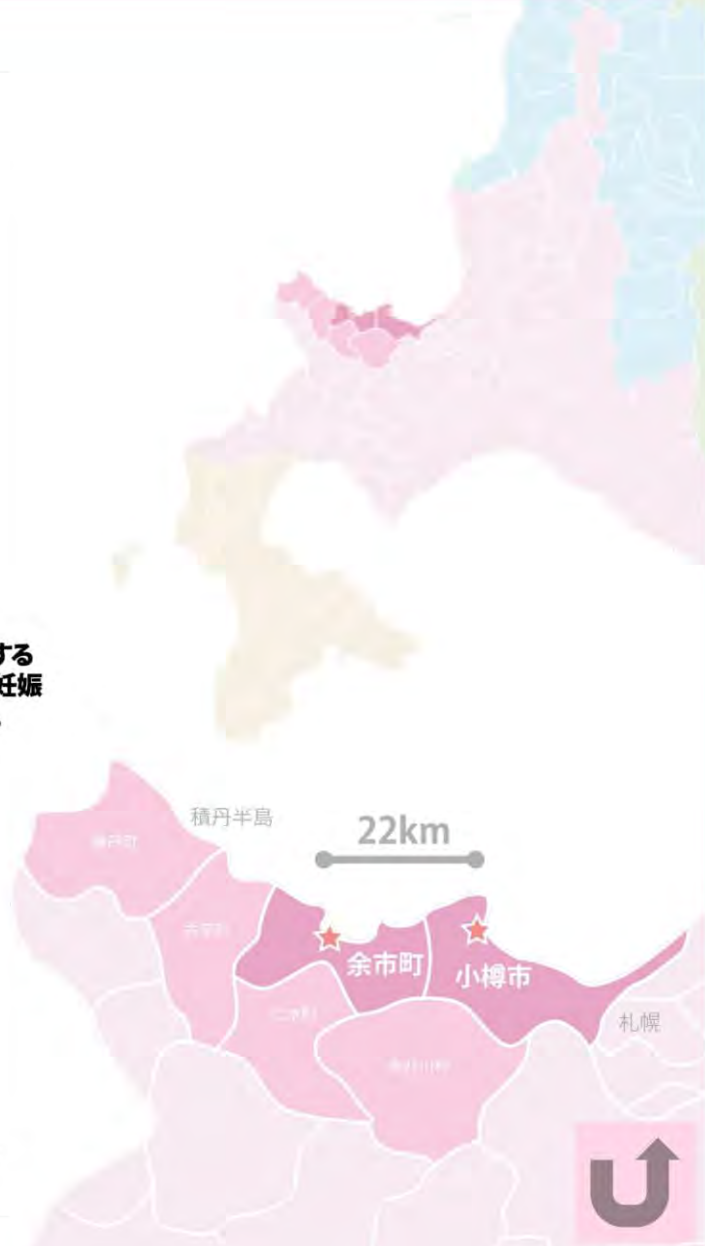
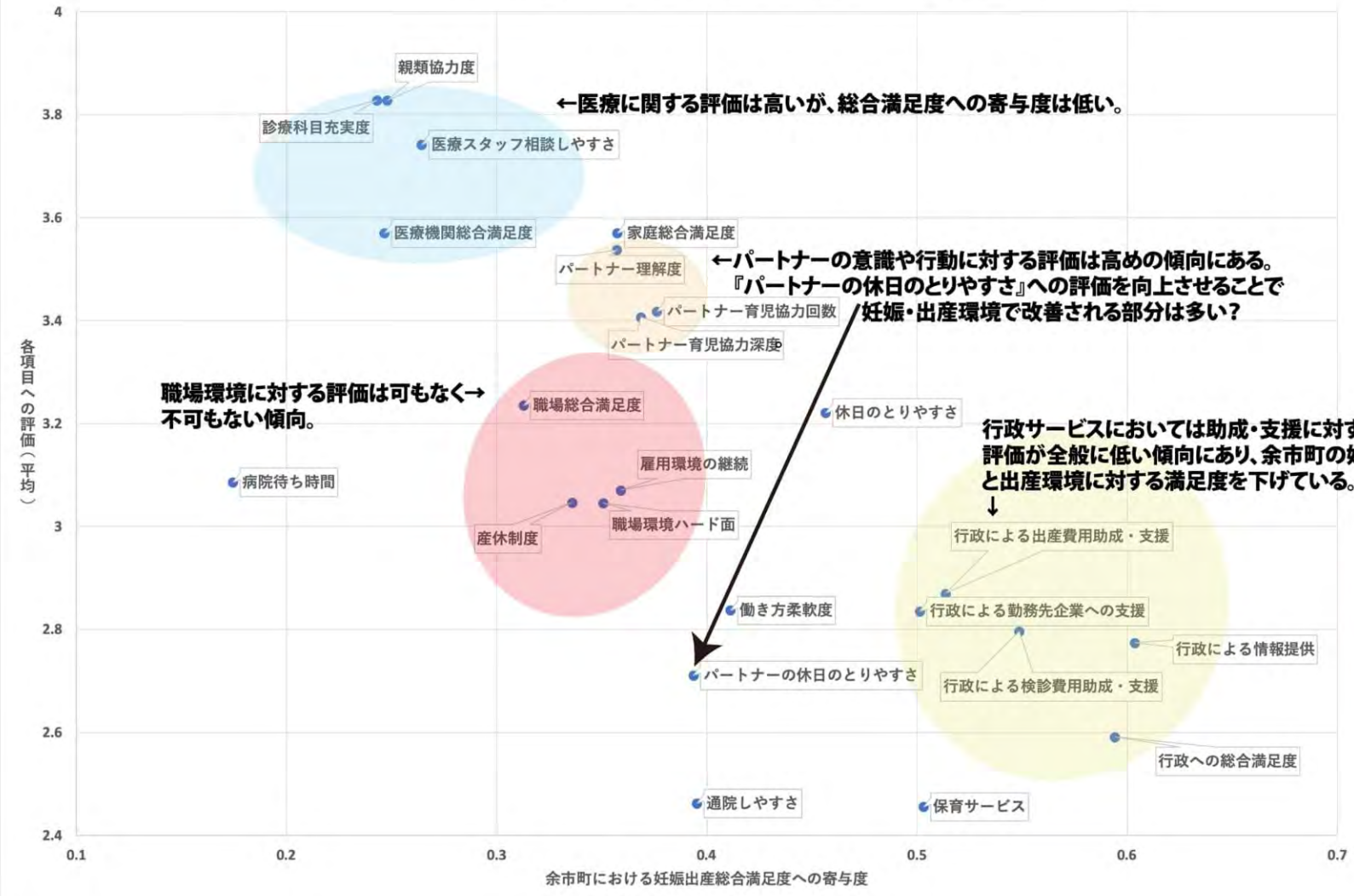
## 齊藤啓介（余市町長）による事業発表

- 余市町が取り組むフェムテック事業の成果について
- 25年間GDPが伸びてない日本だが、2025年までに世界のフェムテック市場が5兆円規模になる、この部分での経済伸張の可能性について解説
- 余市町 子育て・健康推進課長からの報告



# 余市町妊婦アンケート結果

妊娠・出産環境ごとの評価と余市町における妊娠・出産に対する満足度

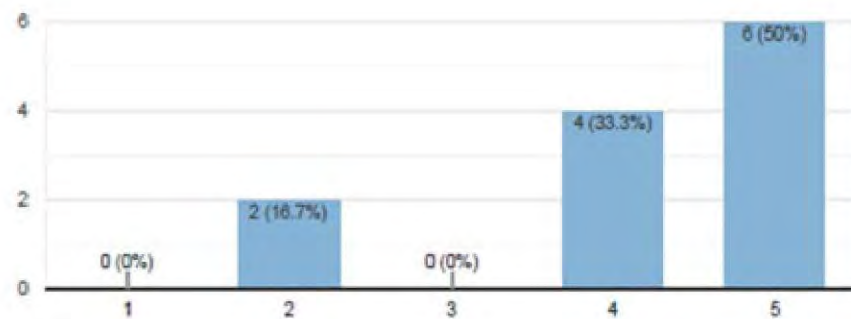




# ■ 在宅 iCTG 遠隔モニタリング 利用者の声

iCTGのご使用を病院ですすめられる前までの、ご自身の病気（切迫早産など）についての心配はどのくらい強いものでしたか？（1心配なし～5心配）

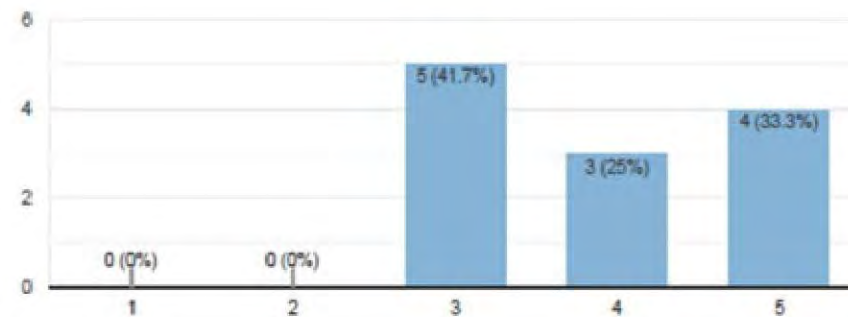
12件の回答



iCTGを使用することで、あなたのご家族の心配はどうなりましたか？

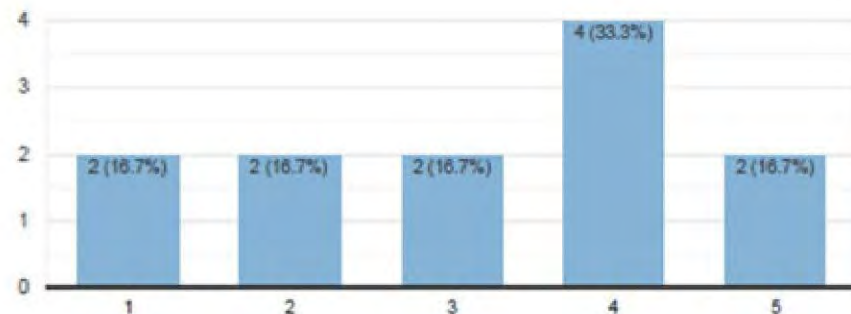
※「変わらなかった」を「3」とします。（1心配増加～5心配減った）

12件の回答



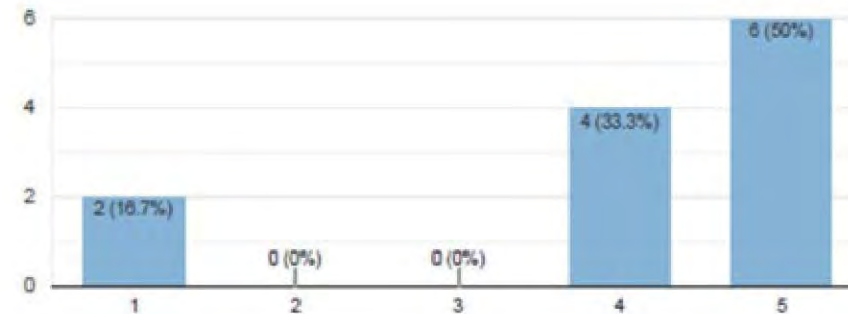
iCTGを使用することで、あなたの社会活動（家事やお仕事）への影響はどうなったと思いますか？（1変化無し～5良い影響）

12件の回答



iCTGによって、あなたの症状やお腹の赤ちゃんに対するご家族の関心はどうなったと思いますか？（1変化無し～5関心向上）

12件の回答





# 「余市モデル」パッケージ化 ▶ 日本全国 ▶ 世界へ

## フェムテックデバイス (iCTG) でより安心・安全な出産

### 自治体連携による出産環境整備

- 自治体（産科無し-人口10万人未満）と自治体（地域周産期母子医療センター有-人口10万人以上）の連携により
- 出張助産師外来による地域での妊婦健診
- リスク妊娠の在宅妊婦モニタリング

### 消防組合との連携による広域救急搬送体制

- 万一の場合の救急搬送時妊婦モニタリング
- 新生児蘇生（NCPR）体制の充実



出張  
助産師外来

小規模自治体  
産科病院なし

中規模自治体  
地域周産期センターあり



在宅妊婦モニタリング



広域消防組合



ありがとうございました

# 20.

女性従業員と企業へのワンストップソリューション伴走支援による  
女性の健康課題解決と就業継続促進に向けた健康相談並びにセミナー事業  
(株式会社SUSTAINABLEME)





SUSTAINABLEME

# 令和3年度フェムテック等実証事業 事業報告

株式会社SUSTAINABLEME

(旧株式会社Rubans 8月20日 登記変更)

SUSTAINABLEME Co.,Ltd.

「どの年代の女性も心身ともに健やかに自己実現できる社会」そんな未来を目指しています。  
そのために、人とテクノロジーの「つながり」を意図したサービスを通して人々の健康意識を高める循環を生み出し、人々を心身ともに健やかに、そして自己実現に近づけていきます。

## 会社概要

会社名	株式会社SUSTAINABLEME (サステイナブルミー)
代表者	後藤 友美
設立	2021年1月15日
所在地	京都市右京区西院久田町21-1-412

## Philosophy

Purpose	健やかな心身を通して輝く人を増やす
Vision	いくつになっても私を諦めない
Mission	つながりで健康意識を高める循環を生み出す

## 提供サービス

### FeMind

女性向けヘルスケア：包括的フェミニンケア講座  
女性自身がカラダの変化を楽しみながら  
やりたいことや夢を諦めないココロとカラダ作り



FeMind

### mystyle

女性向けキャリア支援・ビジネス支援サービス  
女性自身が自らキャリアを切り拓いたり  
独立したりすることを支援する講座とメンタリング



mystyle

### rubans

妊娠出産育児オンラインサービス  
産前産後ママたちに向けた  
産前産後ケア専門家・そのサービスの紹介と情報提供



rubans



「どの年代の女性も心身ともに健やかに自己実現できる社会」そんな未来を目指しています。  
そのために、人とテクノロジーの「つながり」を意図したサービスを通して人々の健康意識を高める循環を生み出し、人々を心身ともに健やかに、そして自己実現に近づけていきます。

## 会社概要

会社名	株式会社SUSTAINABLEME (サステイナブルミー)
代表者	後藤 友美
設立	2021年1月15日
所在地	京都市右京区西院久田町21-1-412

## Philosophy

Purpose	健やかな心身を通して輝く人を増やす
Vision	いくつになっても私を諦めない
Mission	つながりで健康意識を高める循環を生み出す

## 提供サービス

### FeMind

女性向けヘルスケア：包括的フェミニンケア講座  
女性自身がカラダの変化を楽しみながら  
やりたいことや夢を諦めないココロとカラダ作り



FeMind

### mystyle

女性向けキャリア支援・ビジネス支援サービス  
女性自身が自らキャリアを切り拓いたり  
独立したりすることを支援する講座とメンタリング



mystyle

### rubans

妊娠出産育児オンラインサービス  
産前産後ママたちに向けた  
産前産後ケア専門家・そのサービスの紹介と情報提供



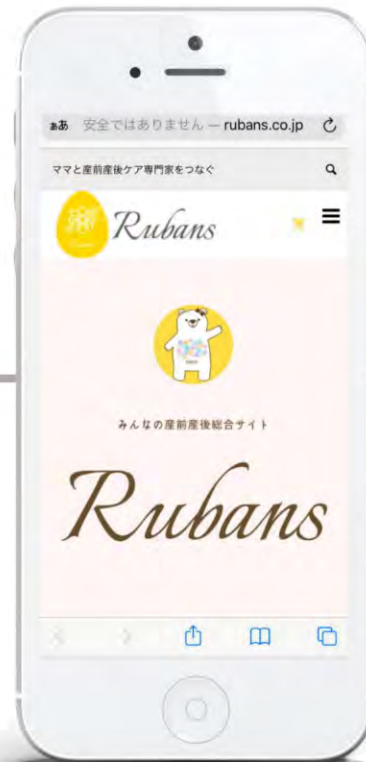
rubans



ママ



悩みを解決したい



専門家



新規顧客を獲得したい

妊娠、出産、育児を支える専門家とママを繋ぐオンラインマッチングプラットフォーム

## 妊娠出産を不安に変えないために 正しい知識を提供し 繋がる安心を届ける





## 企業や自治体、組織団体へのサービス展開をしたい

令和3年度フェムテック等実証事業



### 相談サービス

- 24時間利用可能
- いつでも相談できる
- 専門家からのフィードバック



### セミナー事業

- 女性の健康セミナー
- 従業員、管理職向けWS
- 自分に合った健康情報



### 労働環境コンサル

- 職場環境コンサルテーション
- 管理職向け女性健康セミナー



## セミナー事業へのニーズ・問い合わせ



### 相談サービス

- 24時間利用可能
- いつでも相談できる
- 専門家からのフィードバック



### セミナー事業

- 女性の健康セミナー
- 従業員、管理職向けWS
- 自分に合った健康情報



### 労働環境コンサル

- 職場環境コンサルテーション
- 管理職向け女性健康セミナー

## 4コース 300ページにわたるテキスト開発

## パーソナライズされたフェミニンケアの実現



## やったこと

認可小規模保育園 こどもみらい園の保育士 8 名に  
フェミニンケアのセミナーを実施

## ニーズ

20~60代の幅広い年齢層の女性保育士が、月経に関する  
不調やメンタルヘルス不調を抱え、改善を求めている

## 評価

オリジナル問診票とアンケートで、  
セミナー受講前後のウィメンズリテラシーの変化を調査したところ、  
40点→60~70点へ、平均60%以上の向上が見られた



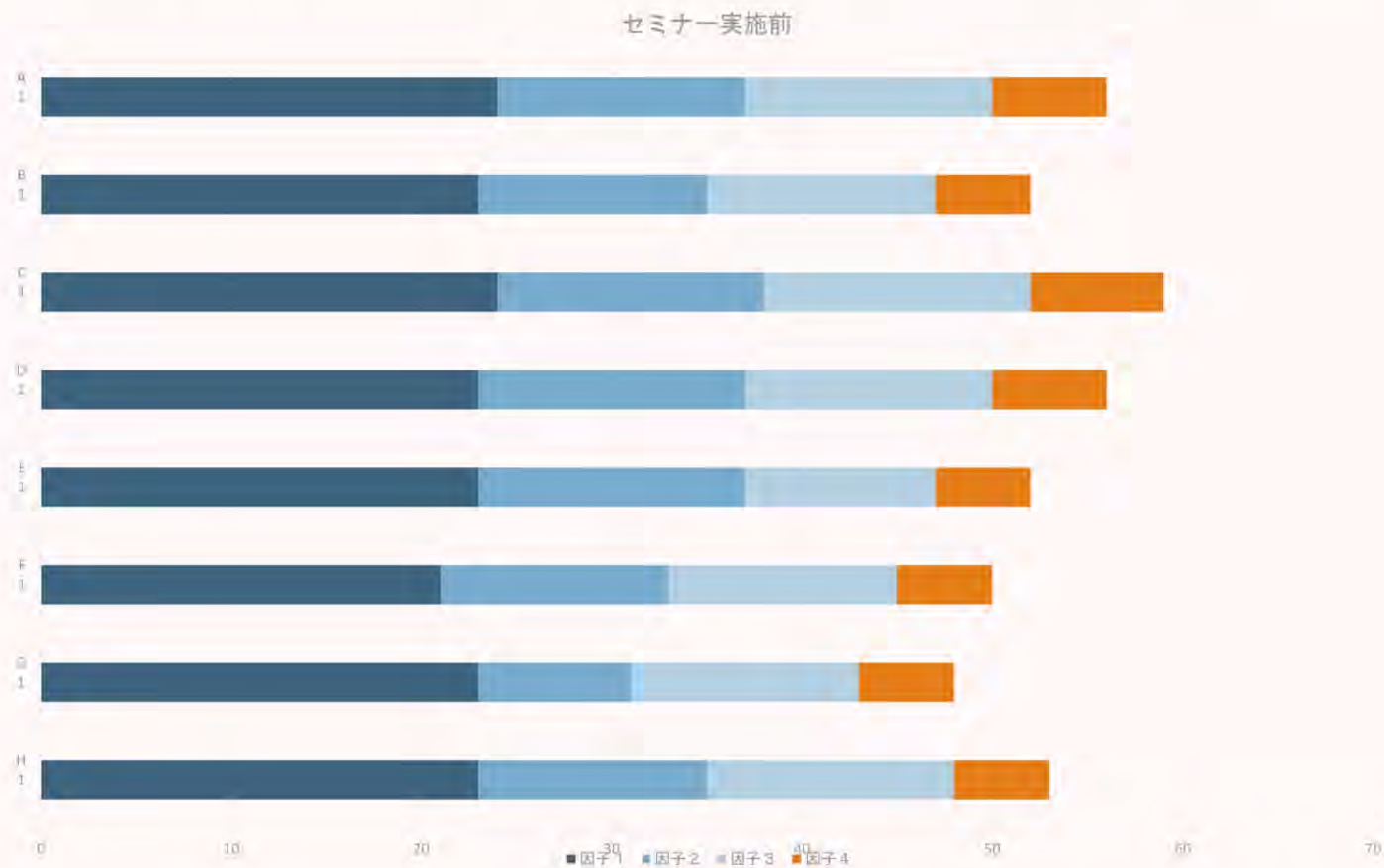


## 測定方法

日本人の働く女性を対象に女性生殖器特有の疾患を予防および早期発見するために開発された、性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度<sup>2</sup>(以降、ヘルスリテラシー尺度)を使用した。ヘルスリテラシー尺度は「女性の健康情報の選択と実践」、「月経セルフケア」、「女性の体に関する知識」、「パートナーとの性相談」の4因子、21項目によって構成されている。各項目に関して「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の4段階で評価した。

表 1. 性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度

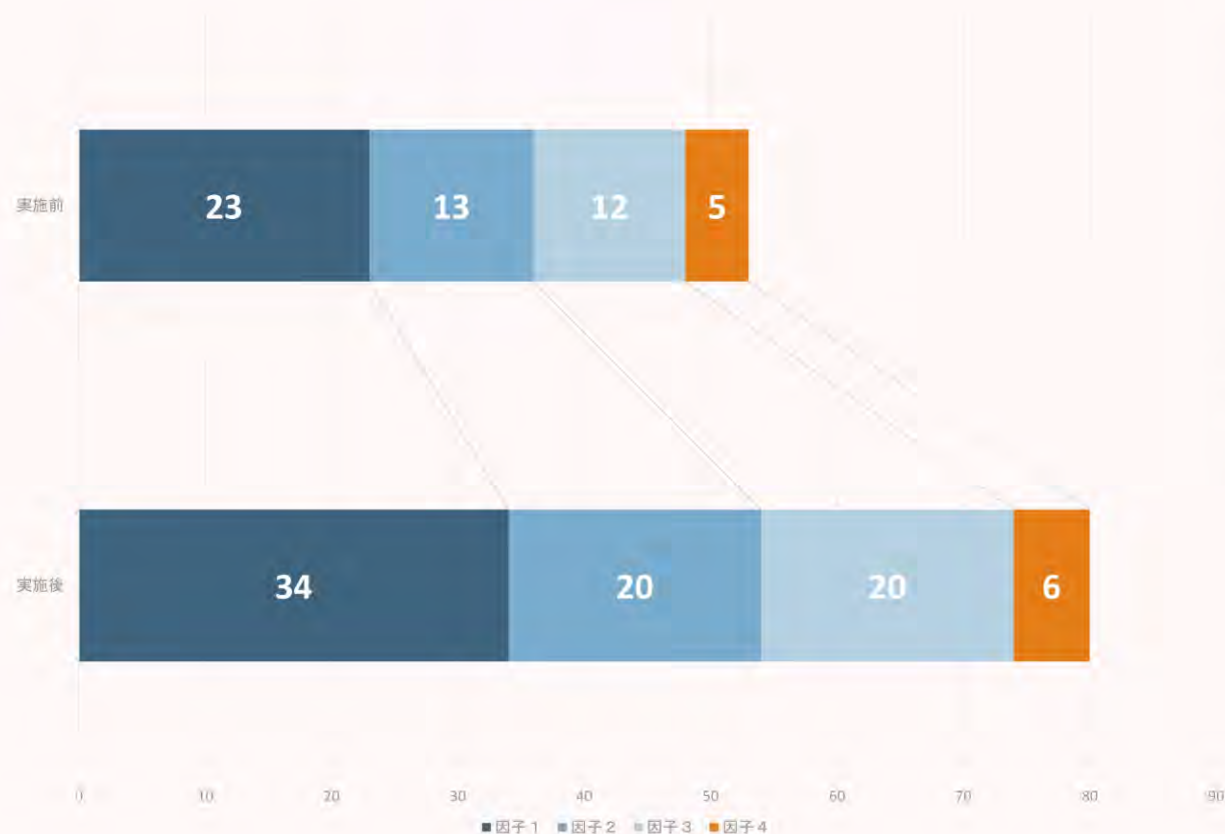
項目
<b>1. 女性の健康情報の選択と実践</b>
1.1 自分の体について、心配ごとがあるときは、医療従事者（医師・保健師・看護師・助産師等）に相談することができる
1.2 インターネット・雑誌等で紹介されている女性の健康についての情報が正しいか検討することができる
1.3 自分の体調を維持するために行っていることがある
1.4 女性の健康についての情報がほしいときは、それを手に入れることができる
1.5 女性の健康についてのたくさんの情報から、自分に合ったものを選ぶことができる
1.6 医療従事者（医師・保健師・看護師・助産師等）のアドバイスや説明にわからないことがあるときは、尋ねることができる
1.7 日常生活の中で見聞きする女性の健康についての情報が、理解できる
1.8 自分の体のことについて、アドバイスや情報を参考にして実際に行動することができる
1.9 医療従事者（医師・保健師・看護師・助産師等）に相談するときは、自分の症状について話すことができる
<b>2. 月経セルフケア</b>
2.1 自分の月経周期を把握している
2.2 体調の変化から月経を予測することができる
2.3 月経を体調のパロメーター（基準・目安）にしている
2.4 月経時につらい症状があるときは、積極的に対処法をおこなっている
2.5 月経に伴う心身の変化に気づいている
<b>3. 女性の体に関する知識</b>
3.1 月経のしくみについての知識がある
3.2 妊娠のしくみについての知識がある
3.3 子宮や卵巣の病気についての知識がある
3.4 性感染症の予防についての知識がある
3.5 避妊の方法についての知識がある
<b>4. パートナーとの性相談</b>
4.1 必要ときは、パートナーと避妊について話し合うことができる
4.2 パートナーと性感染症の予防について話し合うことができる



## 測定方法

日本人の働く女性を対象に女性生殖器特有の疾患を予防および早期発見するために開発された、性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度2(以降、ヘルスリテラシー尺度)を使用した。ヘルスリテラシー尺度は「女性の健康情報の選択と実践」、「月経セルフケア」、「女性の体に関する知識」、「パートナーとの性相談」の4因子、21項目によって構成されている。各項目に関して「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の4段階で評価した。

セミナー実施前後比較



因子1：33%向上、因子2：34%向上、因子3：38%向上、因子4：5%向上

性成熟期女性のヘルスリテラシー尺度のうち、2. 月経セルフケアおよび3. 女性の体に関する知識において本セミナー事業を通しリテラシー向上されたことが示された。

一方で、4. パートナーとの性相談においては5%の向上に留まった。

本結果より、本セミナー事業はウィメンズヘルスリテラシー向上に寄与することが示されたが、パートナーとの関係性や性感染症に関する項目が他の項目に比べると少なく、パートナーシップ並びに不妊治療を含めたヘルスリテラシーを向上させる基盤づくりの必要性が示された。



## 某百貨店

## 某広告代理店

## 某自治体



### ニーズ

フェムテック商品展開、  
女性のライフスタイル・  
ヘルスケア支援をする中  
、女性のコミュニティ作  
りの一環としてセミナー  
をやってほしい。

来年度入社する新人研  
修の一環として、女性  
新入社員が周りに相談  
できないと抱え込む前  
に、セミナーを実施し  
てほしい。

製造業の中小企業も多く  
男性社会が色濃く残る中  
、行政ととして民間の女  
性活躍を推進したく、  
リテラシー向上のセミナ  
ーをしてほしい。

## 企業や自治体とセミナー事業などの要件定義中。





## 概要

一般社団法人日本産前産後ケア子育て支援学会の令和3年度フェムテックセミナーを企画補佐・運営を行った。



## ニーズ

フェムテックサービスをより活用するべくウィメンズヘルスリテラシー向上をテーマにしたセミナーを行った



## 評価

初のセミナーにも関わらず、約100名の集客があり、事後アンケートでは、フェムテック市場について知れた、フェムテックとの融合を図るためにもウィメンズヘルスリテラシー向上支援が重要であると感じた等とコメントも見られ、フェムテックセミナーに対するニーズが顕著であることがわかった。

令和3年度フェムテックセミナー  
主催 | 一般社団法人 日本産前産後ケア子育て支援学会



開催日 | 12月4日-5日  
開催場所 | オンライン

本セミナーは以下の研修に該当します  
産前産後のケア（5G認定セミナー）  
助産師の方 | 2022年度アドバンス助産師更新要件「ウィメンズヘルスケア研修」・2022年アドバンス助産師更新要件「産科研修」（申請中）

### 開催概要

開催日 | 令和3年12月4日-5日（2日間）  
開催場所 | オンライン開催  
開催形式 |  
・開催当日は事前収録した講座を受講していただきます  
・開催ごし週間アーカイブ配信を行います  
・当日ご参加が難しい場合はアーカイブにてご受講ください  
・アーカイブ視聴ご希望の場合も事前申し込みが必要です  
・各種単位取得希望の方は当日出席確認を行います

	1日参加	2日参加
学費	2,000円	3,000円
資料費	3,000円	3,000円

参加申込 | Peatixよりお申し込みください  
<https://femtec-seminar.peatix.com>

### プログラム

- 12月4日（土）  
・産前産後ケア実証事業について  
・産前産後ケア実証事業の意義  
・産前産後ケア実証事業の現状  
・産前産後ケア実証事業の課題  
・産前産後ケア実証事業の展望  
・産前産後ケア実証事業のまとめ
- 12月5日（日）  
・産前産後ケア実証事業について  
・産前産後ケア実証事業の意義  
・産前産後ケア実証事業の現状  
・産前産後ケア実証事業の課題  
・産前産後ケア実証事業の展望  
・産前産後ケア実証事業のまとめ

セミナー特設ホームページ | <https://femsemi.jimdofree.com>

1. セミナーの引き合いの一方、相談サービス、労働環境コンサルのニーズが低い。
2. 女性社員の健康課題改善に着目した相談サービスや労働環境コンサルではなく、広義のダイバーシティ推進や経営コンサルを包含したサービスを求める声が多い。



## 相談サービス

- 24時間利用可能
- いつでも相談できる
- 専門家からのフィードバック



## セミナー事業

- 女性の健康セミナー
- 従業員・管理職向けWS
- 自分に合った健康情報



## 労働環境コンサル

- 職場環境コンサルテーション
- 管理職向け女性健康セミナー



1. セミナーの引き合いの一方、相談サービス、労働環境コンサルのニーズが低い。
2. 女性社員の健康課題改善に着目した相談サービスや労働環境コンサルではなく、広義のダイバーシティ推進や経営コンサルを包含したサービスを求める声が多い。

## 某メーカー

「女性の健康改善テーマだと当社としては、テーマとして狭い。  
**LGBT、外国人労働者も含めた包括的ダイバーシティ推進の評価改善システムの導入を求めている**」

## 某IT企業

「すでに様々なウェルネス系サービスを導入していて、評価と選定の時期に該当する。**人事コンサルとして、導入済サービスの評価と整理を一緒にしてくれるのであれば検討余地あり**」

## 某広告代理店

「『**中小企業向け×人事評価・経営支援**』で個別コンサルするサービスを共同開発できないか」



1. 企業の福利厚生でなくても、**女性の心と体のリテラシーを包括的に勉強したい女性個人**もいる。
2. **専門家自身が、女性向けヘルスケアについて包括的に勉強したい。**
3. 専門家自身が、**より多くの女性を支援するために、ビジネススキルやキャリア開発を求めている。**

## →事業の内容を3事業柱にピボット

	 <b>FeMind</b>	 <b>mystyle</b>	 <b>rubans</b>
提供内容	包括的フェミニンケア講座	ビジネススキル支援講座	産前産後ケアマッチング
対象	専門家・一般女性向け 企業・団体へは  FeMind+biz	専門家向け	専門家・一般ママ向け
サービス背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 女性の性について学ぶ機会の損失</li> <li>• 子宮にかかる負担期間の延長</li> <li>• 閉経後の寿命の延伸</li> <li>• フェミニンケアを正しく学ぶ機会がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療の知識技術があってもビジネススキルを学んだことがない</li> <li>• キャリアの作り方がわからない</li> <li>• オリジナルコンテンツが作れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 孤独な妊娠出産子育て</li> <li>• 産後うつ</li> <li>• サポーターの所在が不明</li> </ul>
提供価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フェミニンケアを通して自分の体を知る</li> <li>• フェムテックについて知ることができる</li> <li>• 人に伝え多くの女性を輝かせることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ビジネス・キャリアスキルを磨くことができる</li> <li>• 独立などキャリアの幅が広がる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全国各地のサポーターを検索することができる</li> <li>• サポーターのサービスを予約できる</li> </ul>

## 当初のプラン

多くの女性を支援するために、

- 。 個人向けには、rubans
- 。 企業向けには、  
①rubansのオンライン相談に、②セミナーと ③組織改善コンサルを加えた事業を企業の福利厚生として展開する

## 学び

### 企業

- 。 女性社員のリテラシー向上目的など、セミナー単体のニーズはある。
- 。 他方、オンライン相談と組織改善コンサルについては、女性特化型より、広義のダイバーシティ推進と人事・経営コンサルを求めている

### 専門家

- 。 女性向けヘルスケアについて包括的に勉強したい。
- 。 より多くの女性を支援するために、ビジネススキルやキャリア開発を求めている。

### 女性個人

- 。 女性の心と体について勉強したい個人もいる。

## 今後のプラン

多くの女性にリーチし、支援するために  
専門家向けサービスをリッチにし、3つの事業柱で行う、

### FeMind

包括的フェミニンケア講座  
フェミニンケア専門家養成講座



FeMind

### mystyle

女性向けキャリア支援  
ビジネス支援サービス



mystyle

### rubans

妊娠出産育児オンラインサービス



rubans



＼ みんなたいせつなわたし ／

SUSTAINABLEME

SUSTAINABLEMEとは「持続可能なわたし」という意味があります

みんなひとりひとりが「大切なわたし」です

女性×フェミニンケア×ビジネス支援で

妊娠・出産～更年期～シニア期まで

女性自身がわたしを大切にしながら女性であることを楽しみ

どの年代の女性も自分らしい人生を諦めず健やかに自己実現できる

ウェルビーイングな社会を目指して活動しています

▶ お問い合わせ      Mail : [info@sustainableme.co.jp](mailto:info@sustainableme.co.jp)



# 3

自治体向け実態調査結果

# 自治体向け実態調査\_調査概要

本調査は、全国のすべての自治体を対象として、自治体における女性活躍推進に向けた健康課題解決の取組実態やその中でのフェムテックの認知度・活用意向、また今後に向けた自治体との協働におけるポイントを明らかにすることを目的に実施した。

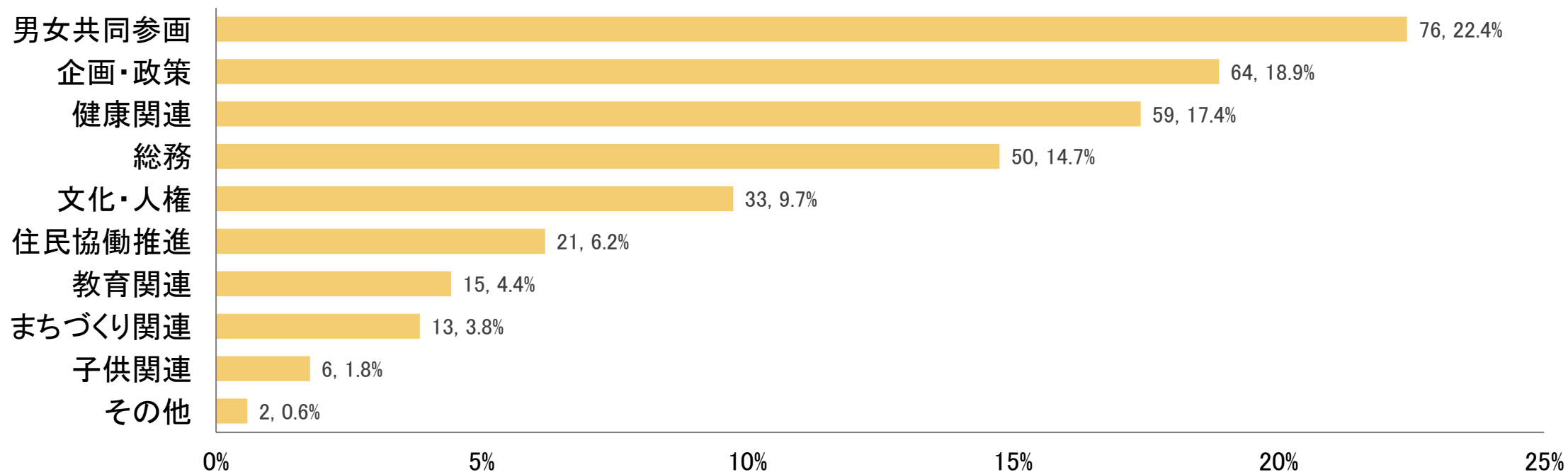
## 調査概要

調査名	自治体における女性活躍推進に向けた健康課題解決に関する実態調査
実施期間	2021年12月～2022年2月
調査対象	全都道府県および市区町村
調査方法	<ul style="list-style-type: none"><li>Webアンケート<ul style="list-style-type: none"><li>都道府県の男女共同参画担当部署より傘下の市区町村に展開いただく形で実施</li></ul></li><li>インタビュー<ul style="list-style-type: none"><li>上記回答者のうち、5自治体にデプスインタビューを実施</li></ul></li></ul>
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>女性活躍推進に向けた健康課題解決の取組状況／取組予定／抱える課題</li><li>女性活躍推進に向けた健康課題解決の所管部局</li><li>フェムテックの認知度</li><li>フェムテックの活用状況／活用意向／抱える課題</li></ul>
回答数	19.0%(339/1,788団体) <ul style="list-style-type: none"><li>都道府県:29/47件(61.7%)</li><li>市区町村:310/1741市区町村(17.8%)</li></ul>

# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(1/11)

多くの自治体が、関連する複数の課を回覧する形で回答した。回答者の属性をみると、代表回答者が所属する課の種別は、男女共同参画関連課が最も多く、次いで政策企画関連課、健康関連課であった。なお、課名は事務局にて分類の上、集計した。

## 回答者のペルソナ(単一回答)



(n=339)

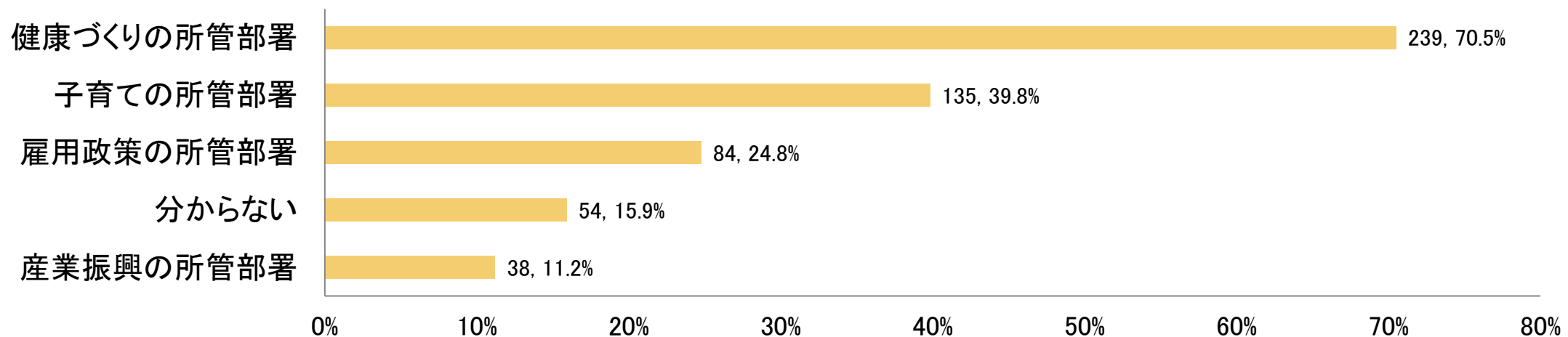
※課名をPwCにて分類の上集計



# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(2/11)

女性活躍推進に向けた健康課題解決に取り組む庁内の担当部署は自治体によって異なり、健康づくりの所管部署が最も多かった。

## 女性活躍推進に向けた健康課題解決に取り組む庁内の担当部署(複数回答)



(n=334)

※%は、全回答者に占める回答者の割合

# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(3/11)

住民や地域内の企業等に向けたサービスとして現在取り組まれている内容は、情報提供・普及啓発が領域横断的に多かった。一方で、「企業における職場環境改善、両立支援」については領域横断的に実施率が低かった。また、テーマごとに取組の実施状況をみると、妊娠・出産関連の取組が多かった。

女性活躍推進に向けた健康課題解決について、現在取り組んでいる内容(複数回答)

	月経	妊娠・出産	不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー全般	その他健康づくり全般
情報提供・普及啓発	27%	71%	58%	63%	31%	52%	32%	53%
相談窓口の設置	22%	67%	41%	60%	26%	29%	17%	35%
企業における職場環境改善、両立支援	4%	12%	7%	2%	1%	2%	1%	4%
健康診断・検診の実施	3%	51%	4%	15%	5%	61%	10%	27%
助成制度	2%	55%	67%	47%	1%	19%	4%	11%

(n=339)

# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(4/11)

今後取り組みたい内容については、領域横断的に「情報提供・普及啓発」の割合が多かった。なお、回答率の伸びをみた場合、「企業における職場環境改善、両立支援」は全領域において回答率の向上が見られた。そのほか「月経、更年期、ヘルスリテラシー全般」の領域において、「情報提供・普及啓発」の回答率の伸びが大きかった。

女性活躍推進に向けた健康課題解決について、  
現在取り組んでいる内容と今後取り組みたい内容(複数回答)

現在

	月経	妊娠・出産	不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー全般	その他健康づくり全般
情報提供・普及啓発	27%	71%	58%	63%	31%	52%	32%	53%
相談窓口の設置	22%	67%	41%	60%	26%	29%	17%	35%
企業における職場環境改善、両立支援	4%	12%	7%	2%	1%	2%	1%	4%
健康診断・検診の実施	3%	51%	4%	15%	5%	61%	10%	27%
助成制度	2%	55%	67%	47%	1%	19%	4%	11%

(n=339)

今後

	月経	妊娠・出産	不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー全般	その他健康づくり全般
情報提供・普及啓発	46%	53%	50%	50%	49%	51%	48%	54%
相談窓口の設置	18%	36%	25%	34%	19%	22%	14%	20%
企業における職場環境改善、両立支援	9%	13%	12%	7%	6%	6%	6%	8%
健康診断・検診の実施	1%	26%	3%	11%	4%	31%	7%	16%
助成制度	2%	29%	31%	29%	2%	12%	4%	7%

(n=339)

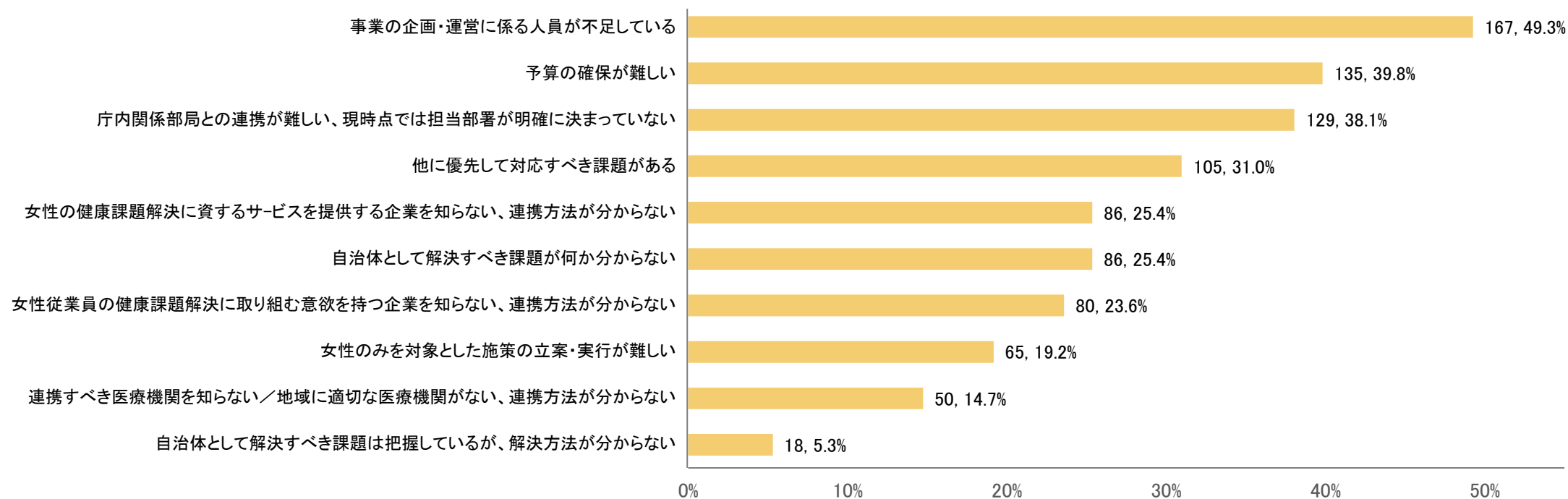
※%は、全回答者に占める回答者の割合。ハイライトは、現在の取組より回答率が向上したもの



# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(5/11)

事業を企画・実施する上での課題や困難については、「事業の企画・運営に係る人員の不足」を約半数の自治体が課題として挙げており、次いで「予算の確保が困難」、「関係部局との連携が困難、現時点では担当部署が未定」の回答が続いた。

## 女性活躍推進に向けた健康課題解決に係る事業を企画～実施する上での課題や困難 (複数回答)



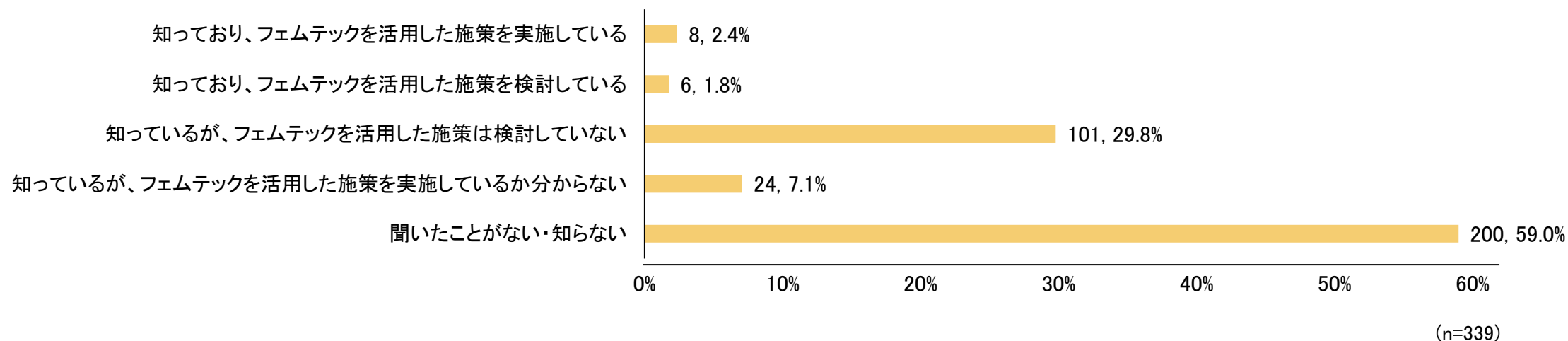
(n=339)

※%は、全回答者に占める回答者の割合

# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(6/11)

「フェムテック」の認知度については、「聞いたことがない・知らない」の回答が58.7%で最も高かった。「知っており、フェムテックを活用した施策を実施している」、「知っており、フェムテックを活用した施策を検討している」と回答した自治体はいずれも2%程度であった。

## 「フェムテック」の認知度(単一回答)



# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(7/11)

フェムテックを活用した施策を実施・検討している自治体において、領域ごとに取り組を整理したところ、「情報提供・普及啓発」に関する取組内容が最も多かった。現時点では、フェムテックを活用し「企業における職場環境改善」、「健康診断・検診の実施」を実施・検討している自治体は確認できなかった。

## 具体的な実施事項(自由回答)

実施済/実施中	
取組内容	詳細
情報提供・普及啓発	「生理フレンドリーな街づくり」をテーマに生理についての話や、フェムテックの活用についての講座を開催
	モバイルアプリを活用し、情報発信
	生理の貧困問題をテーマにワークショップを開催。様々な生理用品を展示し、自分にとって心地のよいものを試すことができるということを参加者へ周知
相談窓口の設置	「出産、育児、子育て」アプリの導入
	子育て年代の方々の健康づくりをお手伝いする『マイ保健師』制を取り入れています。妊娠から出産、就学までのお子さんや保護者の方の相談に応じる
	子育て支援や育児についての相談等を行い、子育て中の家族の社会的孤立や育児不安に対して、地域ぐるみで子育ての応援をする環境づくりを推進
	民間企業へ委託し、LINEを活用して専門家チームが不妊や妊活についての悩みに相談対応
助成制度	女性活躍推進「先進性」モデリング事業費補助金にて「女性活躍推進に関する先進性のある取組みを試験的に実施する事業」を支援 (例1) フェムテック製品・サービスを女性従業員向けの福利厚生として活用
その他	フェムテックに限らず、医療・健康機器産業全般への県内製造業の製品開発や取引支援を実施しており、その中にフェムテックに該当する案件も含む

実施予定	
取組内容	詳細
情報提供・普及啓発	女性の健康問題をテーマにしたセミナー
	女性の妊娠・出産、更年期障害等と仕事の両立や悩みの不安等の解消に向けて、フェムテックの製品・サービスの企業への導入を促進する情報発信を主とする事業
	庁内でのアンケート調査、企業への情報提供、企業研修への講師の派遣、フェムテック企業とのマッチング支援等
	女性の課題解決に関する研究シーズの事業化・法人化を後押しするためのセミナー開催
助成制度	別事業で実施しているビジネスコンテストに本分野の表彰新設
その他	公共施設における生理用ナプキン無料提供サービスの導入

(n=13)

※フェムテックについて「知っており、フェムテックを活用した施策を実施している」、「知っており、フェムテックを活用した施策を検討している」と回答した団体の回答をPwCにて整理

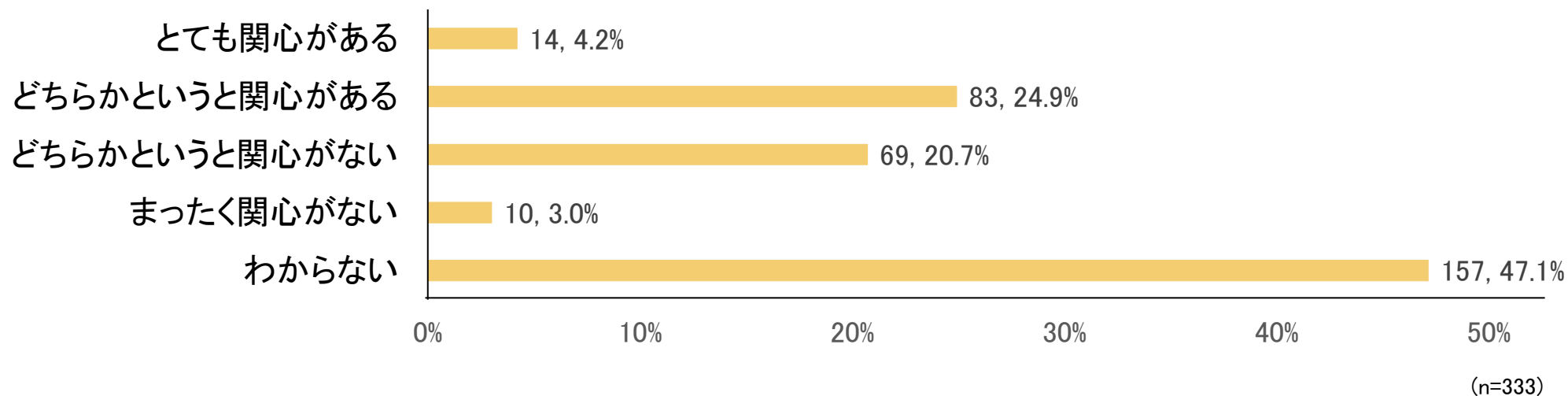
※複数の取組を実施している自治体についても、取組内容別に分解し、記載



# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(8/11)

女性活躍推進に向けた健康課題解決に係る事業におけるフェムテック活用の関心について、「わからない」の回答が約半数で最も多かった。「とても関心がある」「どちらかというに関心がある」の回答は約3割であった。

女性活躍推進に向けた健康課題解決に係る現在・今後の事業における「フェムテック」の活用の関心度(単一回答)



# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(9/11)

うち、フェムテックの活用に関心のある領域・取組について、「不妊領域における助成制度」との回答が最も多かった。また、領域横断的に「情報提供・普及啓発」が最も多く、次いで「企業における職場環境改善」、「相談窓口の設置」と続いた。

## フェムテックの活用に関心のある領域・取組(複数回答)

	月経	妊娠・出産	不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー全般	その他健康づくり全般
情報提供・普及啓発	83.5%	78.4%	78.4%	64.9%	81.4%	76.3%	81.4%	83.5%
相談窓口の設置	28.9%	30.9%	29.9%	25.8%	29.9%	26.8%	17.5%	17.5%
企業における職場環境改善、両立支援	33.0%	36.1%	36.1%	26.8%	28.9%	28.9%	24.7%	23.7%
健康診断・検診の実施	6.2%	10.3%	7.2%	7.2%	5.2%	9.3%	4.1%	4.1%
助成制度	5.2%	10.3%	86.6%	8.2%	1.0%	5.2%	1.0%	1.0%

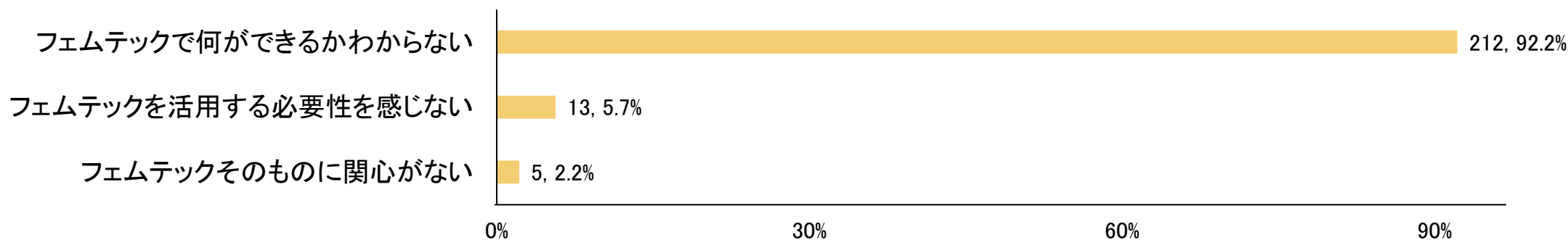
(n=97)

※ %は、フェムテックの活用について「とても関心がある」、「どちらかというに関心がある」の回答者に占める回答者の割合

# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(10/11)

一方で、フェムテックの活用に関心がない理由は「フェムテックで何ができるかわからない」が92.5%で最も多く、「フェムテックを活用する必要性を感じない」「そのものに関心がない」の回答は7.5%にとどまった。

## フェムテックの活用に関心がない理由(単一回答)



(n=230)

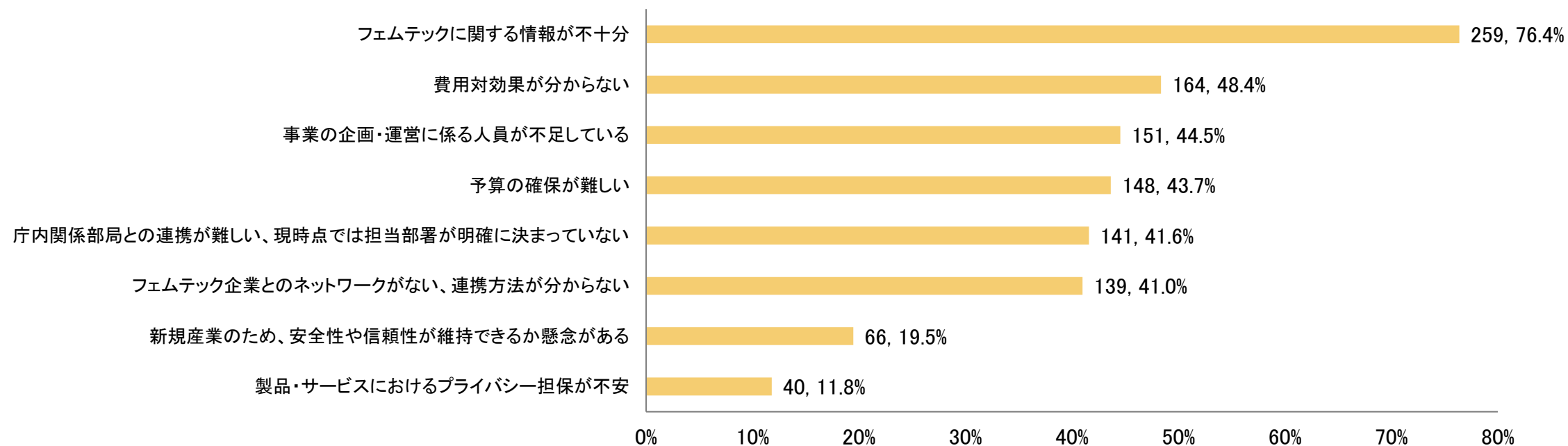
※ %は、フェムテックの活用について、「どちらかというに関心がない」、「全く関心がない」、「わからない」の回答者に占める回答者の割合



# 自治体向け実態調査\_アンケート結果(11/11)

フェムテックへの関心度・認知度は関係なく、フェムテックを活用して取組を今後行う場合に想定される課題については、「フェムテックに関する情報が不十分」が76.3%で最も多く、次いで「費用対効果がわからない」、「事業の企画・運営に係る人員が不足している」が続いた。

## 女性活躍推進に向けた健康課題解決に係る事業を「フェムテック」を活用して企画～実施する上での課題や困難(複数回答)



(n=339)

※%は、全回答者に占める回答者の割合

# 自治体向け実態調査\_インタビュー結果

自治体におけるフェムテックサービス導入・活用におけるポイントとして、「地域課題の特定」「キーパーソンからの理解獲得」「実現可能な範囲からの取組実施」が挙げられた。また、要望としては、共通して情報共有のニーズが強かった。

## 女性活躍推進に向けた健康課題解決に係る事業を「フェムテック」を活用して企画～実施する上での課題や困難(複数回答)

項目	事例
政策的位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェムテック活用を通じて解決したい地域課題が明確               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓地域課題を基礎データを持って適切に把握している</li> <li>✓フェムテック活用は女性活躍推進に向けた手段の一部でしかかないため、フェムテックを活用して最終的に解決すべき課題を特定できている</li> <li>✓また、自治体における政策の中でのフェムテック活用の位置付けが明確になっている</li> </ul> </li> </ul>
事業概要	体制(内部) <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画～実施に係る関係者(所管部署)が明確               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓連携が必要不可欠な関係者が整理されており、部署横断的な協力が可能な状態になっている</li> </ul> </li> <li>・首長等のキーパーソンからの理解を獲得               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓フェムテック活用ができている自治体は、首長等の理解が得られているケースが大半である</li> </ul> </li> </ul>
	体制(外部) <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施に係り、連携が必要となる組織・団体とのリレーション構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓事業を企画～実施するにあたり必要な支援を外部組織・団体(フェムテック企業含む)から得られる体制が日頃から構築できている</li> </ul> </li> </ul>
	予算 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実現可能な範囲での取組から着手               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓予算確保をするとするとハードルが高いため、既存事業にアドオン形や外部組織・団体の取組を後援する形での関りができている</li> </ul> </li> </ul>
要望	情報共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体のフェムテック活用事例の共有               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓自治体で新たな事業への予算要求を行うにあたって、他自治体の成功事例があるとスムーズに決裁される傾向にある</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体として活用できる国の予算の共有               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓活用できる国の予算情報等を知りたいニーズが高い傾向にある</li> </ul> </li> </ul>

# 自治体向け実態調査\_今後に向けて

Webアンケート及び5自治体へのデプスインタビューの結果より見えてきた、今後より自治体でフェムテック活用を推進するためのポイントは以下の3点と考えられる。

## 自治体におけるフェムテック活用に向けたポイント

1

### 政策上の位置づけの明確化

誰のどのような課題を解決するためのフェムテック活用か、各自治体の政策の中での位置づけを明確にし、庁内の合意形成を促進する。それに伴い所管部署も明確になっていく。

2

### エビデンスの準備

地域の住民や企業の支援ニーズを正確につかむための基礎データが不足しているケースも散見される。まずは情報を集めることで、どのような課題を解決するためにどのようなフェムテックを活用することが必要か、明確になっていく。

3

### 事例の共有

フェムテックを活用することでどのようなメリットがあるのか等の事例に加えて、自治体としてどのようなリソース(人員、予算)で取組を推進したのか等の他自治体がどのようなスキームで取組を実施しているのか事例を共有し、参入ハードルを下げしていく必要があると思料する。



# 4

## 成果報告会資料

～パネルディスカッション

『民間企業や自治体における  
フェムテックサービスの活用』

# パネルディスカッション

## ～民間企業や自治体における フェムテックサービスの活用～

### <パネリスト>

株式会社パソナグループ HR本部 ワークライフファシリテーターグループ グループ長 齋藤 満梨奈 氏

株式会社タウ 総務部 健康管理課 主任 酒匂 こず枝 氏

東京都渋谷区 グローバル拠点都市推進室 瀬野 小枝子 氏

広島県三原市 経営企画課 総合企画係長 清水 逸司 氏

# 企業/自治体の取り組み内容 株式会社パソナグループ



4分

テーマ①  
なぜ企業として  
女性の健康支援に取り組むのか

# Social Solution Company Pasona Group

- 創業 : 1976年2月16日
- 本社所在地 : 東京都千代田区大手町2-6-2  
JOB HUB SQUARE (東京駅徒歩1分)
- 事業内容 : エキスパートサービス(人材派遣)  
BPOサービス(委託・請負)  
HRコンサルティング  
教育・研修  
グローバルソーシング(海外人材サービス)  
キャリアソリューション(人材紹介、再就職支援)  
アウトソーシング  
ライフソリューション  
地方創生ソリューション
- 社員数 : 21,789名 (2021年5月時点)
- グループ会社 : 連結子会社: 62社、持分法適用会社: 10社

## 1 HR/BPO Solution

Dotank Partnerとしてお客様に寄り添い 経営課題を解決

## 2 Life Solution

心豊かに暮らせる多様なインフラを創り、一人ひとりの働くを応援

## 3 Global Solution

グローバル戦略パートナーとして企業の海外事業をサポート

## 4 Regional Solution

全国各地で地域活性化を推進

## 5 Diversity

働きたいと願う誰もが活躍できる社会を創る



# 私たちパソナグループの想い

パソナグループは「働く女性を応援すること」を創業のきっかけとしています。  
 年齢、性別、国籍、雇用形態の違いやハンディキャップの有無に関わらず、  
 全ての方が活躍できる社会を目指しており、中でも**女性活躍推進に力を入れて参りました。**

## 女性社員の活躍状況

項目	割合
<u>女性社員比率</u>	64.3%
<u>全管理職に占める女性割合</u>	56.3%
<u>役員に占める女性割合</u>	34.5%
<u>女性社員の出産後の復職率</u>	100%
<u>1年間の育児休業取得者</u>	100名以上

## 女性活躍推進の取り組み



事業所内保育施設  
（パソナアミリーナ高槻）



家族の職場見学日  
（パソナアミリーナ高槻）



働き方革命  
（パソナアミリーナ高槻）



ママ社員向け  
 キャリアデザインプログラム  
（IDOBATA）



女性リーダー育成プログラム  
（パソナアミリーナ高槻）



仕事と介護の両立支援  
（パソナアミリーナ高槻）

## 外部評価

ダイバーシティ  
 経営企業100選  
 選出

経済産業省主催 平成26年度



- 日本経済新聞  
 2015年「人を活かす会社」調査ダイバーシティ経営 第2位
- 日本WOMEN  
 女性活躍ランキング 総合9位
- 日本生産性本部  
 女性活躍パワーアップ大賞 優秀賞
- 楽天  
 「みんなの就職活動日記調査」インターンシップ人気企業 第2位
- 日本経済新聞・マイナビ  
 2017年就職人気企業ランキング 人材サービス部門 第1位



2017  
 健康経営優良法人  
 Health and productivity  
 ホワイト500



2018  
 健康経営優良法人  
 Health and productivity  
 ホワイト500



2019  
 健康経営優良法人  
 Health and productivity  
 ホワイト500



2020  
 健康経営優良法人  
 Health and productivity  
 ホワイト500



2021  
 健康経営優良法人  
 Health and productivity  
 ホワイト500



# パソナグループの仕事は「人を活かす」こと



# 事例紹介

対象：女性従業員（妊娠中や産休・育休中の女性は除く）

当社の軽～中労働（営業やデスクワーク等）を主とする

- 介入軍 30名
- 対照群 30名

実施内容：産婦人科・小児科に特化したオンラインサポート

- ① オンライン相談（いつでも）
- ② オンライン定期面談（毎月30分×1回）
- ③ 定期的な医療記事配信



「ヘルスリテラシー向上・行動変容・生活習慣改善・生産性」すべて良好な変化あり

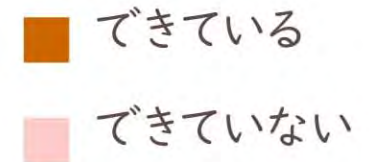
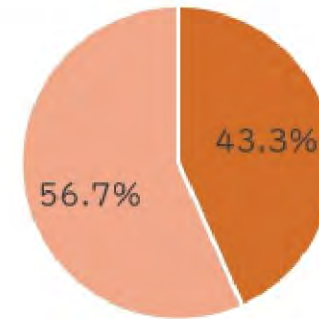
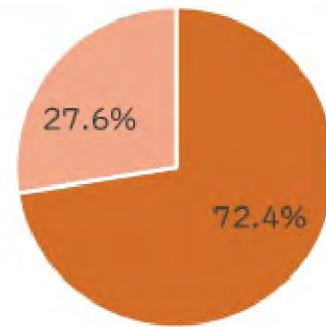
質問

介入群

対照群

(受診行動)

婦人科系の症状や泌尿器系の症状を感じた時は、適切に産婦人科を受診できていると思いますか？



(生産性)

「症状や不安、負担があるときに、こなせている仕事の質」

体調変化がある際の仕事の質を普段の60%以上維持できる人が

**介入群93% 対照群75%**



1分

テーマ②

フェムテックサービス導入にあたって  
のポイント

## 悩みの把握

① 不調・病気の  
発生状況

② 不調を原因とした  
仕事への影響

## 対策状況

③ 不調や病気  
に対する理解度

④ 自身の不調への  
相談状況

## 要望

⑤ 会社に対して  
期待すること

※ 対象：パソナグループ女性社員 660名  
実施時期：2021.07.19-2週間

# アンケートから明らかになったこと

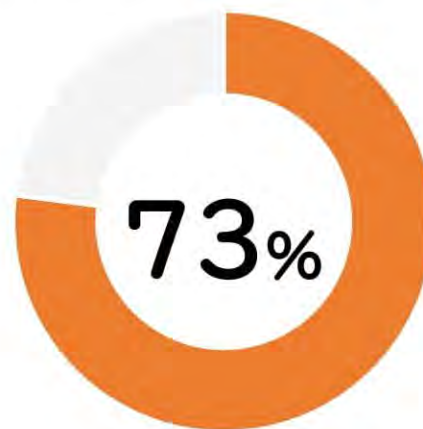
年代・ライフステージに応じて、  
様々な不調を抱えている

直近3年以内に発生した症状

	月経関連の 症状や疾病	妊娠・出産に 関する症状・疾 病	更年期障害	子宮内膜症・ 卵巣のう腫、子 宮筋腫など	乳がん・子宮 がんなど
20代	66%	8%		1%	3%
30代	52%	30%		13%	3%
40代	40%	8%	19%	18%	4%
50代以上	1%		38%	1%	1%
全体	44%	14%	12%	13%	3%

不調や病気知識が足りず、  
自分ゴト化されていない

メカニズムを理解していない割合



「どのような症状かは知っているが、  
その原因は知らなかった」を  
1項目以上選んだ人の割合

不調をそのままにし適切な処置を  
出来ていない社員が多い

受診・相談していない理由

- 1位 そこまで深刻な症状ではないから
- 2位 忙しくて、時間がないため
- 3位 どこに受診・相談したら  
いいか分からない



# パソナが大切にしていること



性別問わず  
共通理解を育む

女性特有の健康課題について、  
メカニズムや対策を男女共に理解し、  
共に支えあえる会社に



女性の健康講座



1人1人の  
悩みに寄り添う

専門家によるアドバイスを通じて、  
ライフステージ毎に異なる  
悩みや不安に寄り添い、改善へと導く



相談窓口



セルフケアの  
実践をサポート

忙しい日々の中で、  
すぐに実践できるアドバイスを提供し、  
不調の緩和や未然防止に



運動・食事実践講座



1分

テーマ③

フェムテック活用への期待

## 共通理解を育む 「リテラシー教育」

## 行動変容を促す 「環境整備」

### ①女性の健康研修

産婦人科医&産業医の研修動画

- ・月経トラブル編
- ・更年期編
- ・女性に多い病気編
- ・管理職編



### ②相談窓口

産婦人科医・小児科医による  
オンライン相談窓口

 産婦人科オンライン

 小児科オンライン

### ③運動・食事实践講座

トレーナー・管理栄養士による  
健康コンテンツの定期配信





# 健康経営を推進する企業様を1社でも多く増やしたい



## 産業保健サポート

専門家による社員の健康管理を強化したい、  
法令遵守を徹底したい企業におススメ！

- 産業医・保健師サービス
- 健康管理業務アウトソーシング
- 産保サーベイ（産業保健実態評価）



## 健康経営推進サポート

進んでいない健康経営を加速化させたい、  
ホワイト500を目指したい企業におススメ！

- 健康経営PDCAコンサルティング
- 健康経営PDCAサーベイ



## ウェルネスサポート

社員・家族の健康リテラシーを向上させたい、  
多くの社員への浸透を図りたい企業におススメ！

- 健康LIVEセミナー
- Habi+（習慣化プログラム）



## 女性の健康サポート

女性特有の健康課題を理解し、女性が  
イキイキ働ける環境を望む企業におススメ！

- Kira+sup（キラサポ）  
リテラシーを高める産婦人科医による健康セミナー、  
1人1人の悩みに寄り添うオンライン相談窓口

# 最後に、聴講者の皆さまへメッセージ

女性の健康支援を拡充している中で、様々な効果を体感しています。  
性別・年代問わず、働きやすい会社であり続けたいと思います。



## エンゲージメント

男女共にサポートしあい、働きやすい職場に



## 女性活躍

どのライフステージでも女性がイキイキと活躍できる



## 人事制度設計

働く女性に寄り添うことができれば、男女、年代問わず  
働きやすい人事制度を整えられる

### パソナグループ健康宣言

パソナグループは「人を活かす」企業として、  
私たちに関わるあらゆる人々の、心身ともに健康で心豊かな生活の実現を目指します。

また、経営トップの健康経営に対する方針のもと、健康に関する様々な事業活動を通じて、人々の健康づくりに貢献することを誓います。

- 一、健康的に働く環境を育む
- 一、健康的な文化を創造する
- 一、健康的な食を創る

# 企業 / 自治体の取り組み内容 株式会社タウ





# 健康座談会 ～妊活・不妊治療～

これから妊活を考える人、いま不妊治療をしている人、  
女性看護のスペシャリストである**助産師さん**と  
不妊治療の**経験者である さん**と  
オンライン座談会をしてみませんか？

詳細

日時：12月21日（火）12：00～12：30

方法：ZOOM ※名前非公開、音声のみの参加も可能です

申込：カオナビ



内容

- ・ 事前にカオナビにて募集した質問への回答  
（株式会社 With Midwife助産師・中濱さん、佐藤さん）
- ・ 仕事と治療をどのように両立したかの  
経験談（ さん）
- ・ 会社の福利厚生での100%活用術 など



ご質問などは健康管理課・酒匂（7128）まで☎



# 健康座談会 ～妊活・不妊治療～

時間

12 : 00～12 : 30

With Midwife

内容

- ・ 自己紹介
- ・ 事前質問への回答
- ・ 質疑応答



中 濱 摩 美



佐 藤 祐 佳

- Q. 福利厚生に不妊治療の補助があるみたいだけど、  
どうやって使うの？
- Q. そもそも治療と仕事って両立できるのかしら？



話したくないことはもちろん話さなくてOKです。



# 2021年4月1日より新たな福利厚生 制度として拡充！！

福利厚生制度が  
拡充されます！  
2021年4月1日～

約5組に1組の夫婦が  
不妊治療を受ける時代

負担額が大きい…



通院が多い…  
身体、精神的にも負担…

『ホームドクター』  
の設置も検討中！

当社専属の医師を社内に配置することで、  
いつでも社員の皆さまご利用いただける  
体制を検討中しています。  
社員の皆さまの心と体を支え、健康的に  
働ける環境を提供いたします！



## 妊活支援制度

妊活の経済的援助、環境面の支援を整備します！

費用補助 → 治療費の**半額補助** (上限10万円)  
人事部へご連絡ください

休暇 → **特別有休**の適用 (年10回まで)  
人事部へご連絡ください

相談 → **相談窓口**設置  
健康管理課へご相談ください

対象：費用補助・特別休暇は社歴3年以上の全社員 性別不問



# THE CARE

## 株式会社タウ 従業員様 ご利用案内

Work on Life はたらくために、大切なことを。

- 1 幅広い相談を匿名で
- 2 いつでも、どこでも安心を
- 3 一番大切にしているのは「寄り添う」こと

### こんな時に相談を!!

キャリアと子育ての相談、  
専門家に聞いてほしい...  
(30代/女性)

男性にも更年期があるんだね。  
どうすればいいのかな?  
(50代/男性)

最近よく眠れない。  
この気分の落ち込み、  
早めに解決したいな。  
(40代/女性)

妻が生理前後つらそう。  
何かできることないかな?  
(30代/男性)

### ご利用方法

- 1 QRコードよりフォームにアクセス
- 2 IDと所属企業、相談内容を入力
- 3 御社専用のケアラーがメールにて対応致します



### 私たちがサポートします



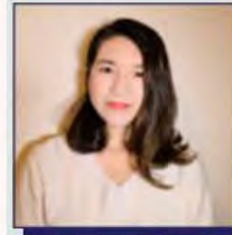
助産師とは、妊産婦や赤ちゃんのお世話をする専門職で、全員が看護師資格を、半数が保健師資格を持ち合わせています。妊婦一出席だけでなく、健康全般、性教育から更年期ケア、パートナーシップやジェンダー課題、そしてメンタル領域まで広く学んでおり、そのスキルと経験で人生に深く寄り添うことができる今の時代に求められるプロフェッショナルです。

With Midwife

本社：大阪府大阪市北区南船場1丁目11番4号 大船場ビル4ビル9階523  
支社：京都府下京区玉造町西堀町363番地 ウェルネスビル3階  
Email: thecare@withmidwife.jp HP: https://thecare.biz/jp/



2022年1月31日までのサービスです。  
ぜひご利用ください！



佐藤 祐佳



岸畑 聖月



中濱 摩美



で相談できる！

# 企業 / 自治体の取り組み内容 東京都渋谷区

ちがいを  
ちからに  
変える街。



渋谷区  
Shibuya City



***TRULY***



# 実証実験事業 ～Innovation for New Normal from Shibuya～

## 【事業の概要】

- ・ 社会課題を解決するようなサービスやテクノロジーを募集
- ・ 実証実験の場を提供

## 【株式会社TRULY】

- ・ 更年期など大人の女性の悩みに寄り添う健康相談サービス



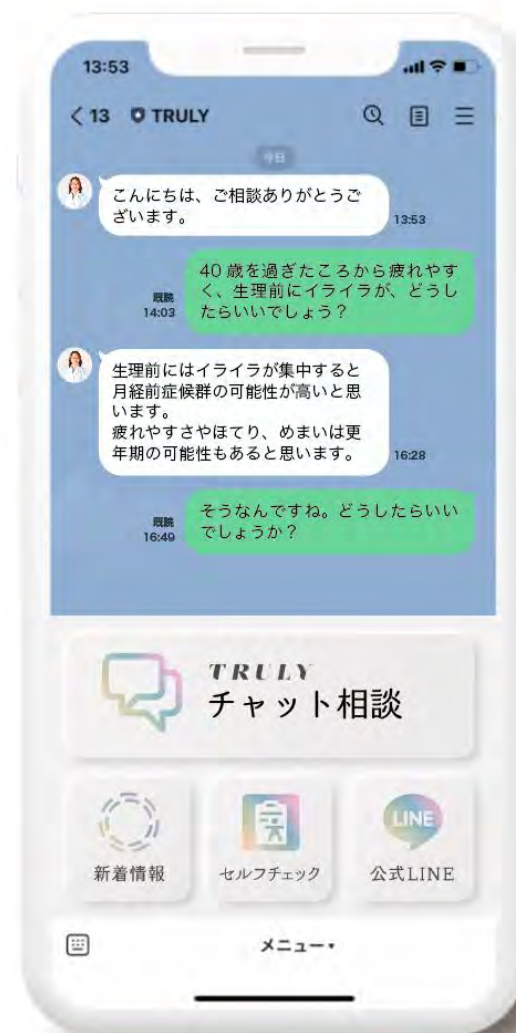
# 【実施内容】

## 【対象】

- ・ 区民モニター + 渋谷区職員 + α
- ・ 30代～50代

## 【実施内容】

- ・ 実証実験期間2か月
- ・ 健康相談チャット利用
- ・ ヘルスリテラシー動画鑑賞
- ・ 利用前後のアンケート調査



# 実施結果

## 【サービス利用前】

- ・更年期に対する**理解不足** 7割
- ・更年期に対する**不安** 7割強
- ・更年期の不調による**昇進辞退/辞退を検討** 4割

キャリアへの  
影響大

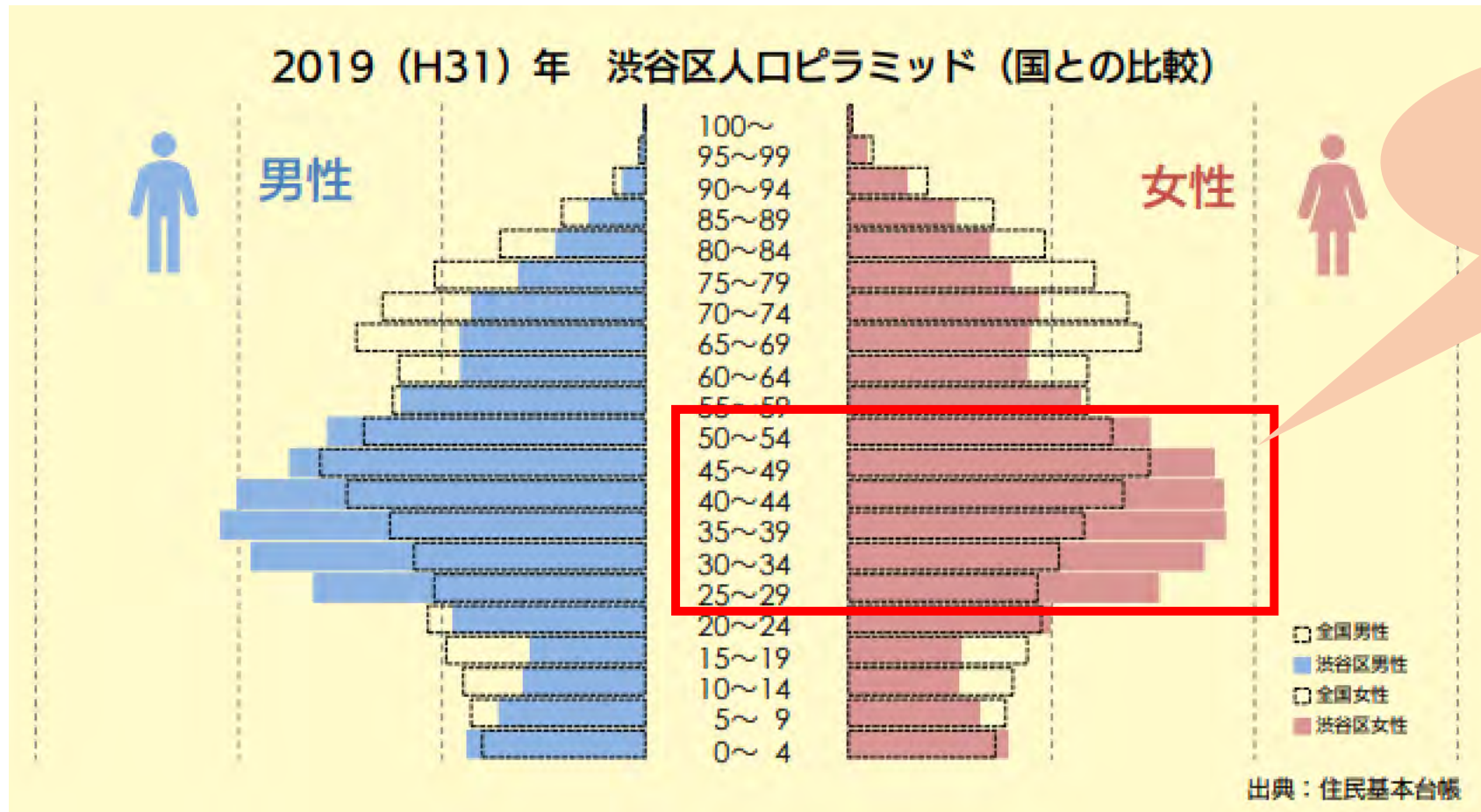
## 【サービス利用後】

- ・更年期への**対策・予防への意欲**の高まり 7～8割
- ・対策・予防の開始など**行動変容** 2～3割
- ・更年期への**理解度** 20%アップ ↗
- ・更年期への**不安** 10%ダウン ↘



# 行政として取り組む意義

## 【渋谷区の人口構造】



25~54歳の割合大

# 企業 / 自治体の取り組み内容 広島県三原市

# 三原市のフェムテックへの取組



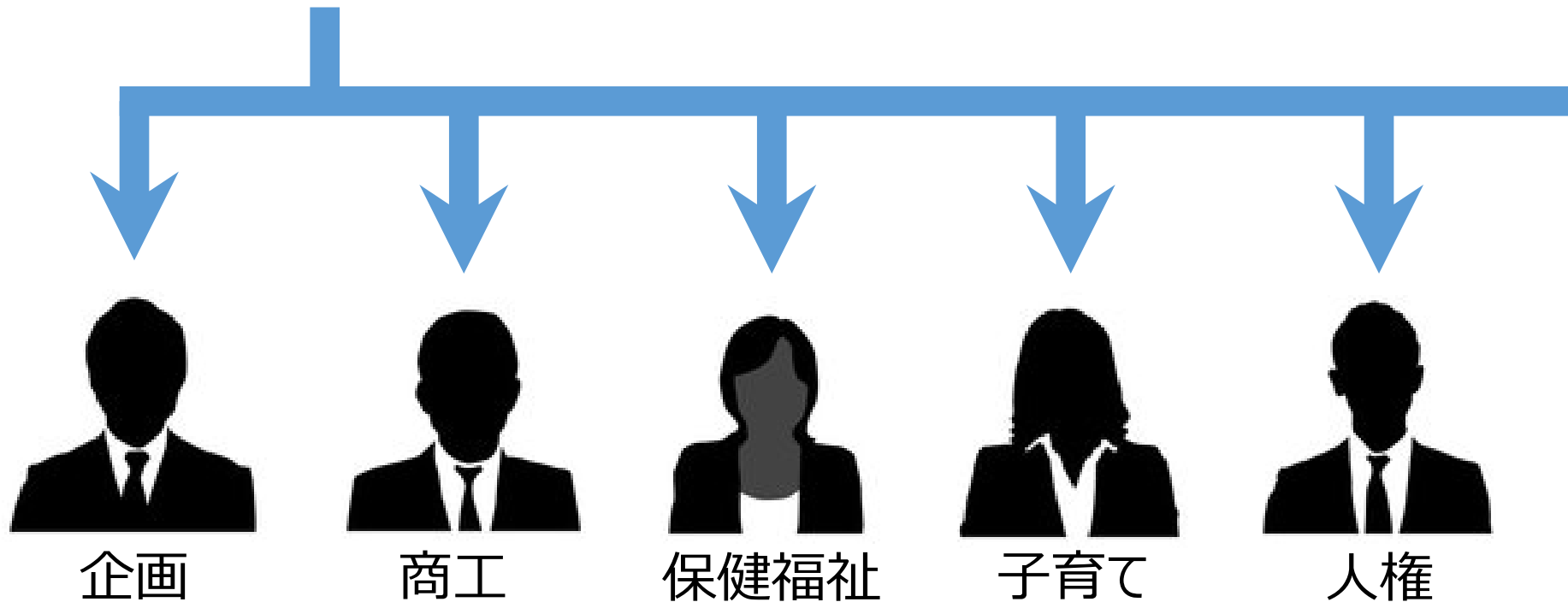
広島県三原市



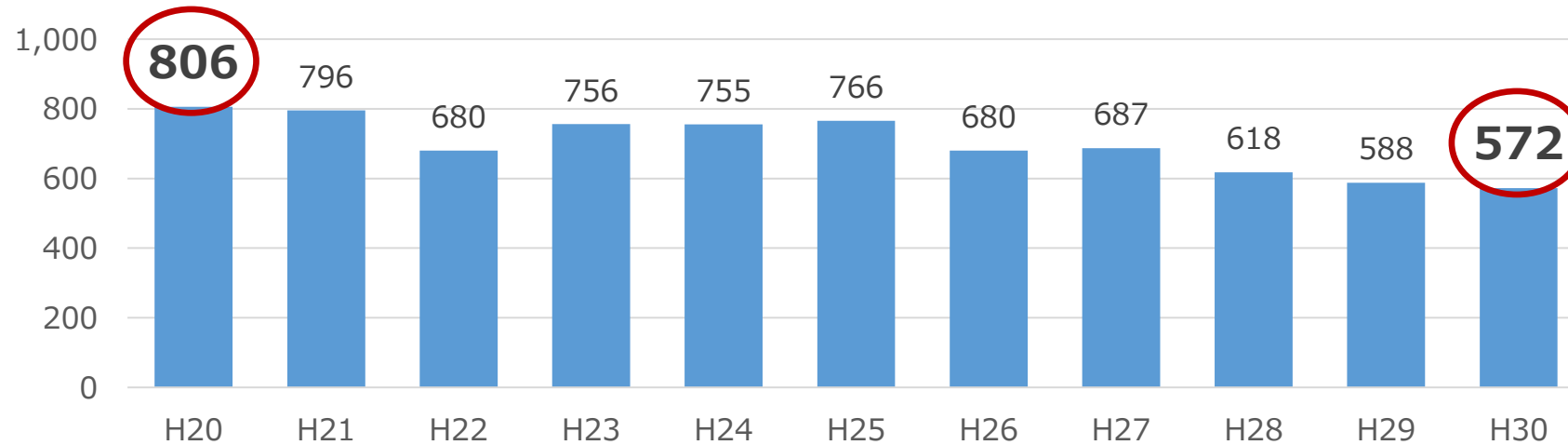


# 子育て支援 と 女性活躍

を組織横断で検討（R2年度～）



## ○出生数が10年間で約3割減少

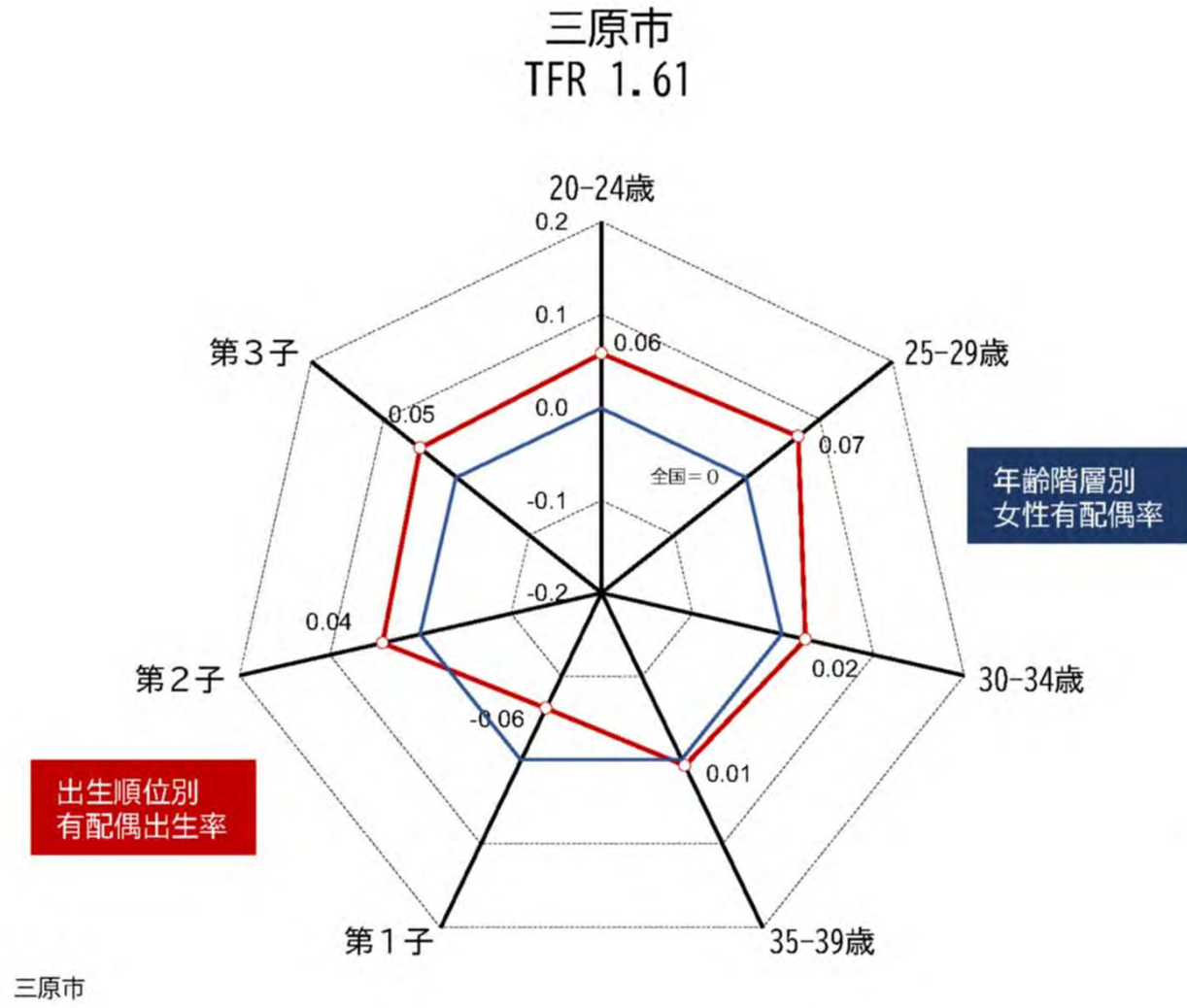


出典：人口動態統計

## ○女性活躍推進は、今後も拡大していく動き

2015 (H27)	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）が成立
2019 (R1)	女性活躍推進法等の一部を改正する法律が成立
2020 (R2)	労働者数301人以上の事業主行動計画の策定・情報公表の義務化
2022 (R4)	上記の義務化が、労働者数101人以上～300人の事業主に拡大

# 課題

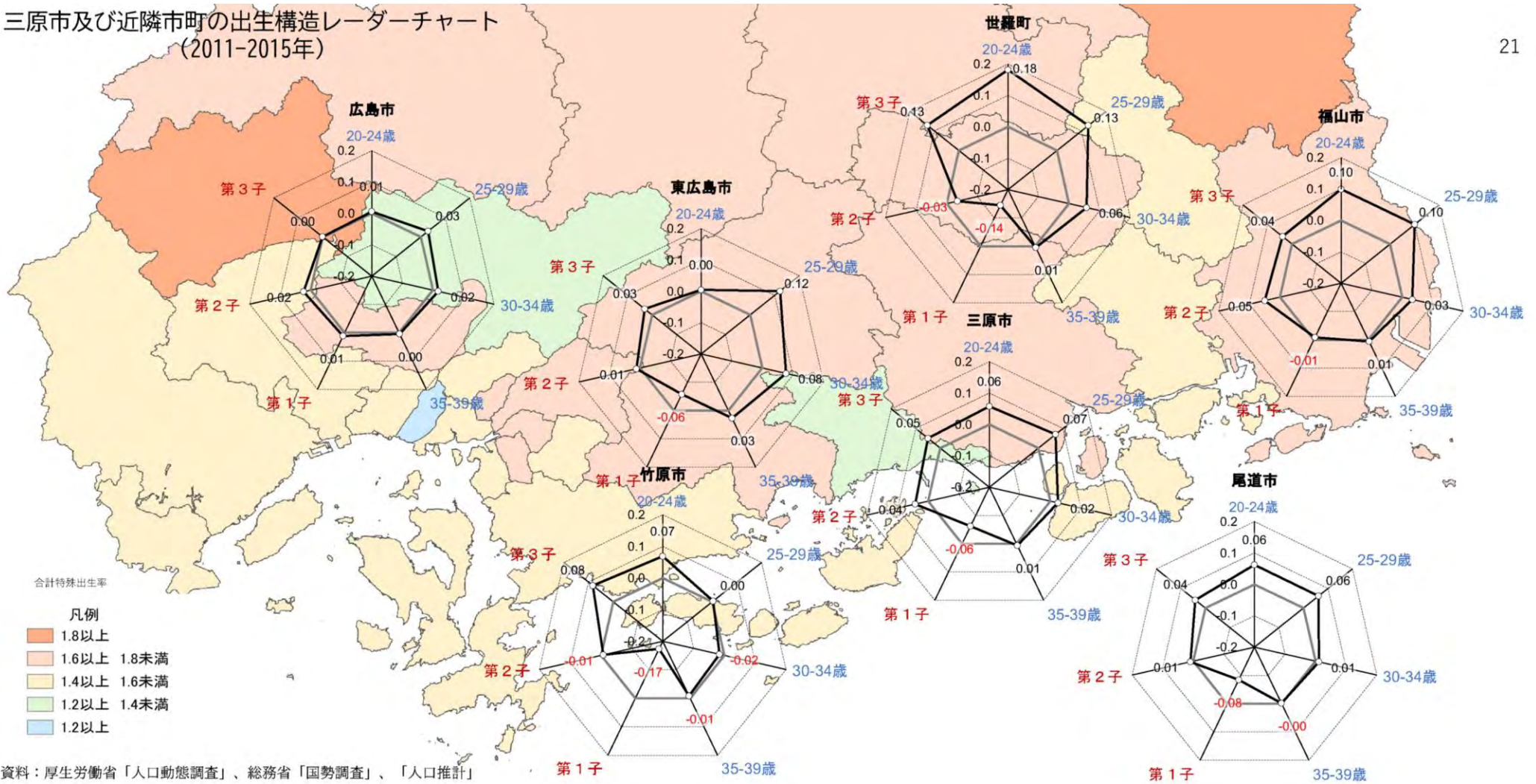


➤ 20歳代女性の有配偶率は高いが、30歳代女性で全国平均に近づく。

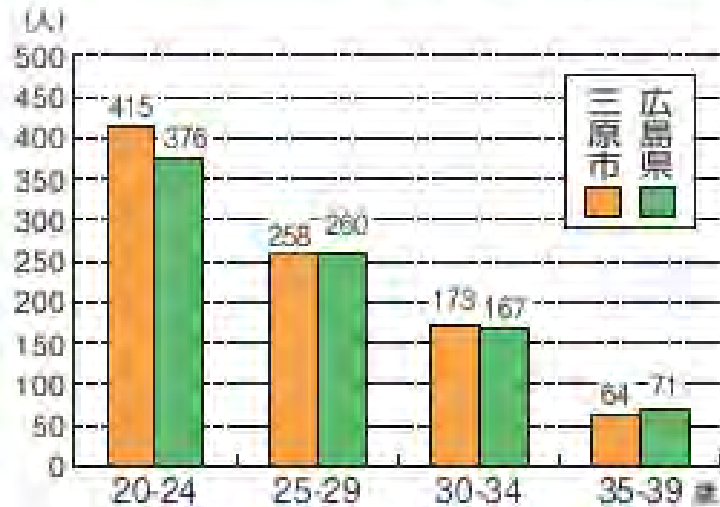
➤ 第1子の有配偶出生率が全国平均よりも低く、第2子・第3子への影響が懸念



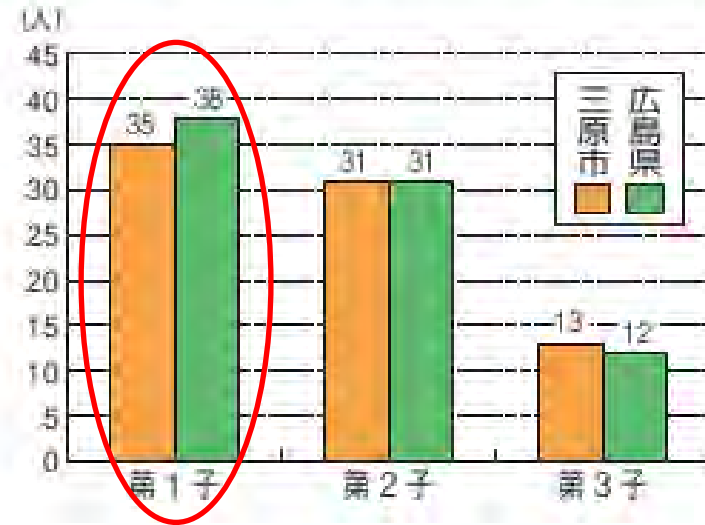
### 三原市及び近隣市町の出生構造レーダーチャート (2011-2015年)



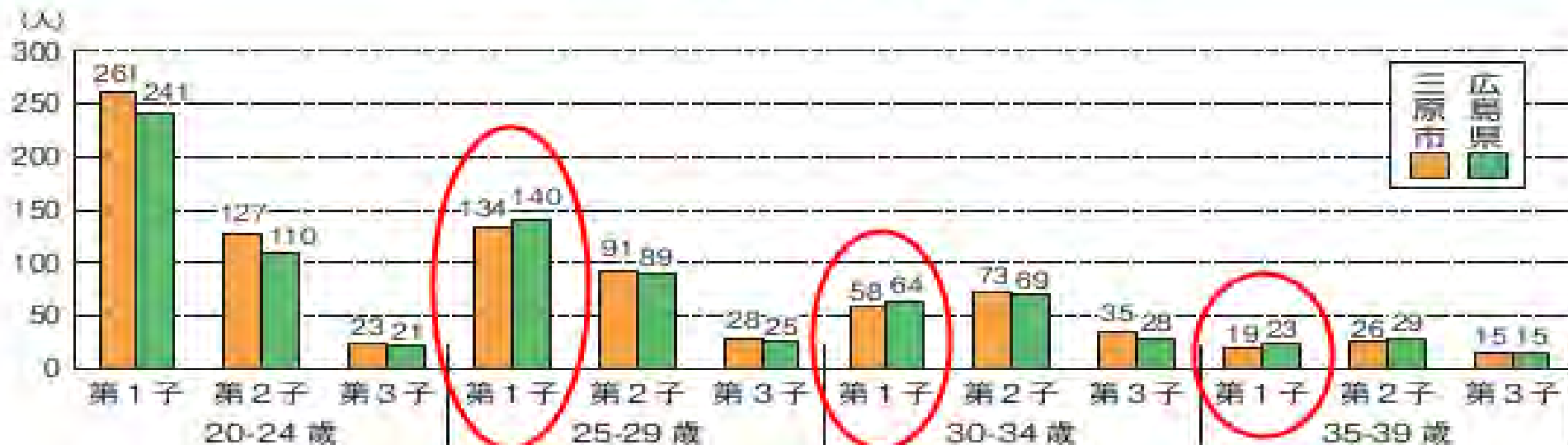
母の年齢階層別有配偶出生率  
(各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率  
(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率  
(各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



## **<課題のまとめ>**

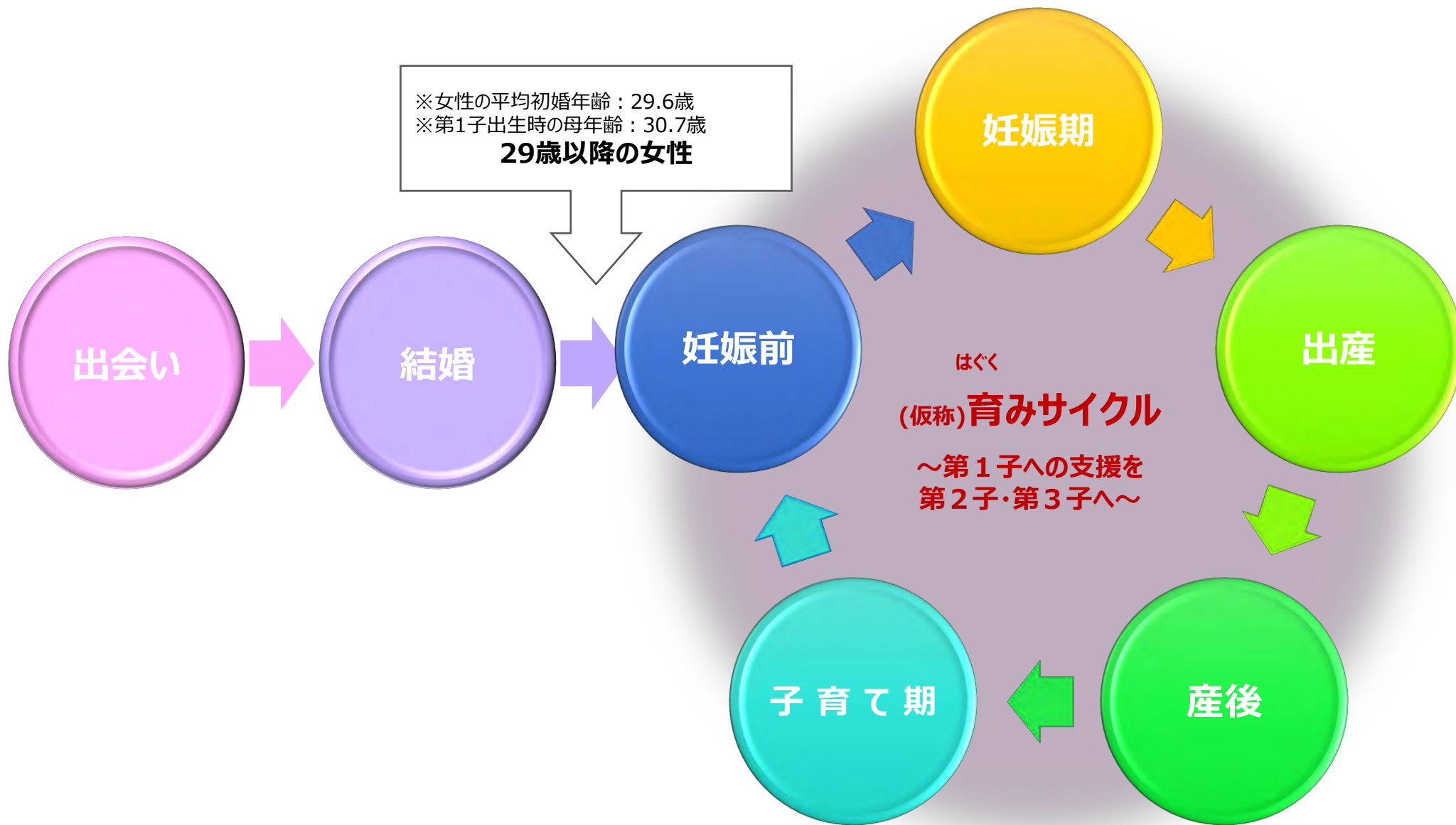
- ✓ 第1子有配偶出生率の向上が必要**
  - ✓ 30代女性の有配偶率の向上が必要**
  - ✓ 25-39歳の第1子を持つことに対する支援が必要**
- ⇒これらは第2子以降への支援にもつながる**



# 取組の方向性

- **三原市内で家族を育む取組を進める。**
- **結婚した夫婦の第1子誕生を祝う場所が三原になっていることをめざす。**

# 【第1子誕生までのライフイベント】



# フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金

令和3年度予算額 1.5億円（新規）

経済産業政策局経済社会政策室

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 働く女性の妊娠・出産等ライフイベントに起因する望まない離職等を防ぎ、個人のウェルビーイングと人材の多様性を高め、中長期的企業価値の向上を図ります。  
（※不妊治療と両立できず離職した女性：22.7%（2018年））
- フェムテック企業、導入企業、医療機関、自治体等が、連携して実施する、妊娠・出産等のライフイベントと仕事の両立、ヘルスリテラシー向上等の個人のウェルビーイング実現に向けた実証事業に係る費用の一部を補助します。
- サポートサービスの普及に係る課題等の解決を促進し、地域に根ざした連携の全国へのヨコ展開を図ります。

### 成果目標

- 個人のウェルビーイング実現によりライフイベントと仕事の両立を図り、企業の人材多様性を確保します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### 対象事業

- フェムテック等の製品・サービスを活用した、ウェルビーイング実現に向けた事業

【事業例】・女性の健康に関する理解促進

- ・女性の健康やライフイベントに伴う悩みや不安に関する相談
- ・妊娠・出産、不妊治療、更年期障害等と仕事の両立サポート
- ・働く女性のウェルビーイング支援環境整備
- ・フェムテック等の製品・サービスの普及促進・展示 等

### 対象者

- フェムテック企業、導入企業、医療機関、自治体等による連携体又は連携体を構成する事業者  
（単体又は複数をお問わない）

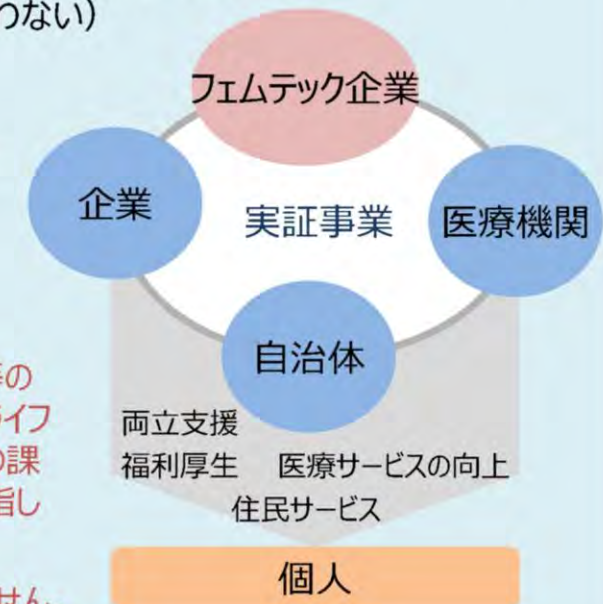
### 補助内容

- 事業費の2/3以内（上限500万円）
- 全国20件程度

### 【留意点】

本事業における「フェムテック等の製品・サービス」とは、女性がライフステージに応じて抱える健康の課題解決に資する事業全般を指します。

技術を利用した事業に限りません。





# (株)ファミワン様との連携



この事業は経済産業省の「フェムテック等サポートサービス  
実証事業費補助金」に採択されています

三原市にお住まい、または三原市で勤務されているみなさまへ

## 妊活とヘルスケアセミナー

妊活・不妊治療の基礎知識から、  
更年期や月経のヘルスケアサポートまで不妊治療の専門家がお話します。



妊活当事者向け！

1回目 11/08 月 12:00-13:00 全国対象

2回目 12/11 土 13:30-14:30 三原市限定

妊活を知る  
他人事から自分事へ

妊活・不妊治療の基礎知識を理解し、妊娠、出産、育児  
と同様にライフプランの1つとして考えられるようになる。

管理職者や周囲の方向け！

1回目 11/22 月 12:00-13:00 全国対象

2回目 12/13 月 18:30-19:30 三原市限定

組織のヘルスサポート  
基礎知識

更年期や月経というプライベートでセンシティブな問題の  
基礎知識を理解する。相談されやすい関係性を作るため  
に、当事者の困難さやコミュニケーションの取り方を知る。

### セミナー概要

- 場所 オンライン開催
- 参加費 無料
- 対象者 妊娠を希望する人、その配偶者(市外在住の方でも参加可能)、当事者、周囲の管理職者などなたでも参加できます。
- 注意事項 セミナーを受講可能なパソコン、タブレット、スマホなどをご準備ください

※講師は裏面を参照ください

ご予約はこちら

下記のウェブサイトまたは  
QRコードから  
参加の申込みを  
お願いいたします



<https://form.run/@mihara-famione>



市長の定例記者会見の様子 (R3.10.25)

## 妊活支援セミナーを開催

■当事者向け：

11/8 (全国) , 12/11 (三原限定)

■管理職や周囲の方向け：

11/22 (全国) , 12/13 (三原限定)

# <セミナーの結果>

## ■ 当事者向け

11/8 (全国)	6名参加
12/11 (三原限定)	11名参加

## ■ 管理職や周囲の方向け

11/22 (全国)	19名参加
12/13 (三原限定)	22名参加

## ■ 参加者の声

- 自分の知らなかった観点からの考え方を知ることができた。
- 相談しやすい関係づくりに向けて、まずは知ることに取り組むことができた。
- 学びが多く、有意義なセミナーでした。現場の声と組織との橋渡しをしていければと思います。
- 妊活を知ることが自分の為にもなるし、周囲への理解にもつながると思います。
- 市民の皆さんが抱える課題や困難に寄り添い、フェムテックをはじめとしたテクノロジーなども活用しながら解決に向けた取組を推進できるよう、引き続き検討を進めたいと思います。

# NHK様からの取材&ユニ・チャーム(株)様との勉強会

**勉強会：11/18（木）職員17名参加**

経営企画課，地域企画課，保健福祉課，児童保育課，  
子育て支援課，商工振興課

**番組放送：NHK総合（広島県向け）**

12/10（金），12/21（火）

**NHKBS 1（全国）**

2/2（水）



本事業に関して、お問い合わせ等ございましたら、下記までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

PwCコンサルティング合同会社 公共事業部  
「フェムテック等サポートサービス実証事業」事務局

・ [jp\\_cons\\_femtech@pwc.com](mailto:jp_cons_femtech@pwc.com)

( 受付時間 9 : 15 ~ 17 : 15 / 月 ~ 金 ( 祝日除く ) )

▼ 経済産業省HP



▼ 本事業のHP



▼ 本事業SNS



成果報告会の記録動画は  
こちらからご視聴いただけます

こちらからアクセス下さい



<https://youtu.be/E3VE1TJtLyM>

© 2022 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.